

## 第3章 外国人意識調査 調査結果の詳細



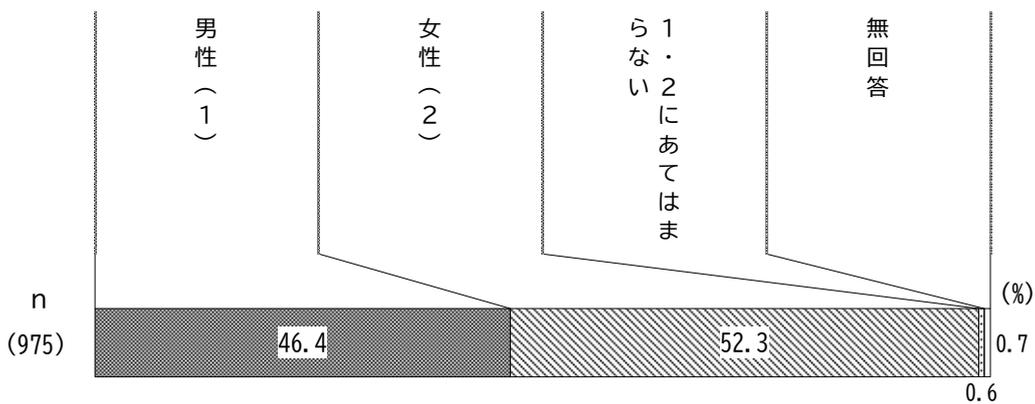
# 1. 回答者の属性

## (1) 性別

問1 あなたの性別をお選びください。(ひとつだけ○)

「男性」が46.4%、「女性」が52.3%となっている。

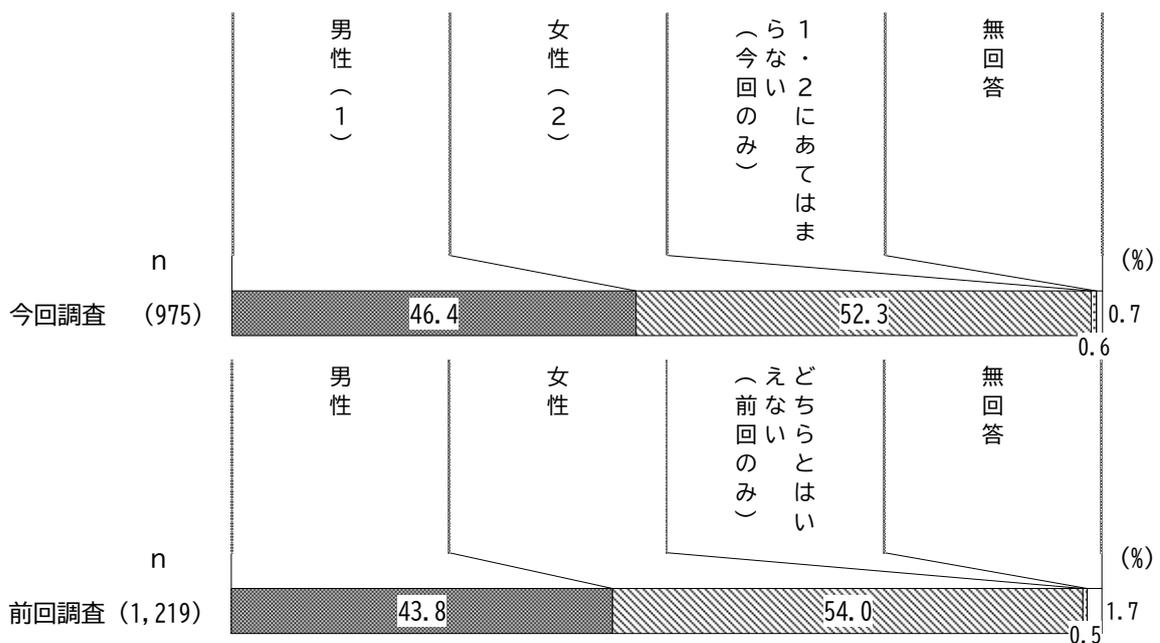
図表 性別（単一回答）



### 【参考：経年比較】

前回との比較では、各項目で多少の増減があるものの、大きな違いはみられない。

図表 【参考：経年比較】性別（単一回答）



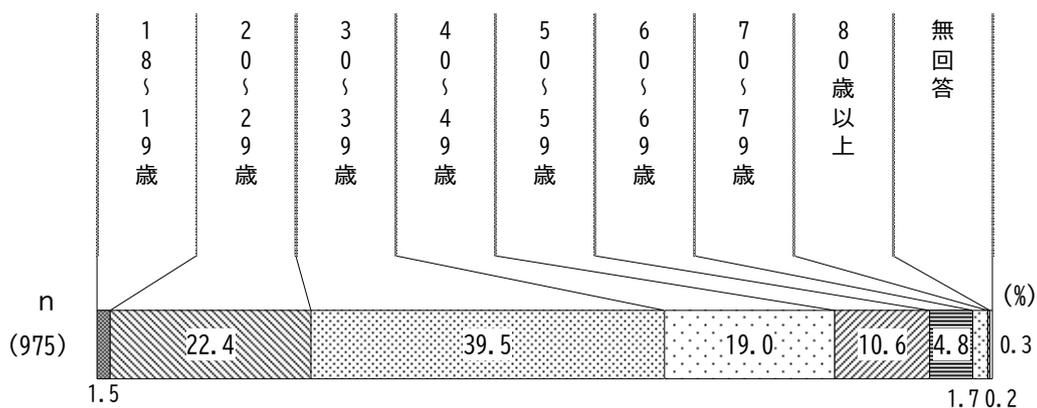
※前回調査の選択肢「どちらともいえない」が、今回調査より「1・2にあてはまらない」に変更になっており、参考までに経年比較した。

(2) 年齢

問2 あなたの年齢をお答えください。(ひとつだけ○)

「30～39歳」(39.5%)が最も高く、次いで、「20～29歳」(22.4%)、「40～49歳」(19.0%)となっている。

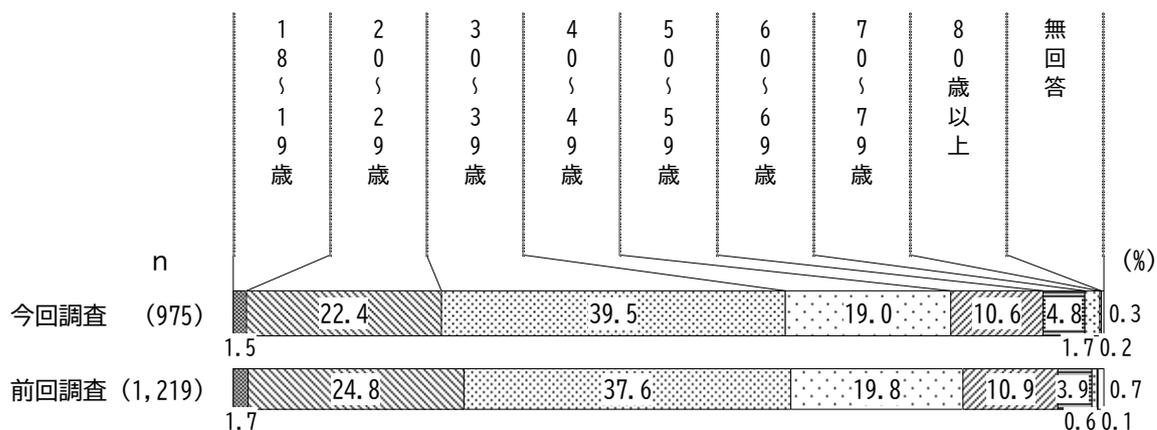
図表 年齢 (単一回答)



【経年比較】

前回との比較では、各項目で多少の増減があるものの、大きな違いはみられない。

図表 【経年比較】年齢 (単一回答)

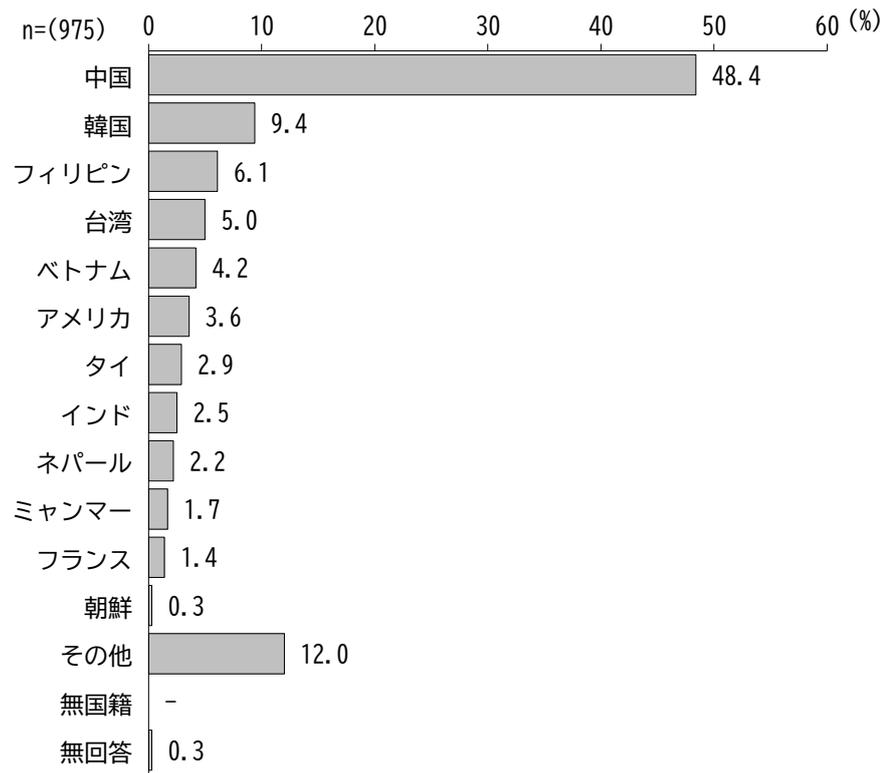


(3) 国籍・出身地域

問3 あなたの国籍・出身地域をお選びください。(ひとつだけ○)

「中国」(48.4%)が最も高く、次いで、「韓国」(9.4%)、「フィリピン」(6.1%)となっている。

図表 国籍・出身地域 (単一回答)

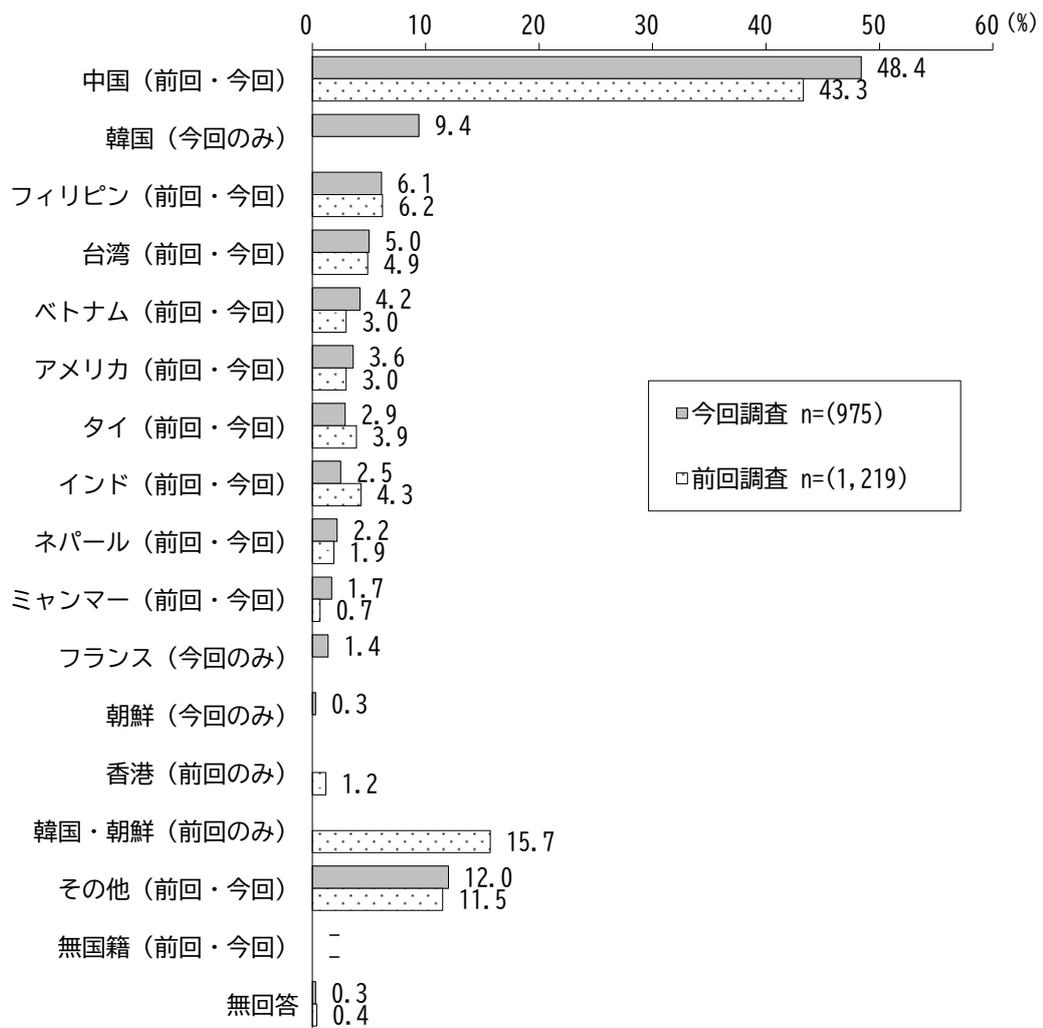


※「その他」の内訳は、ロシア(12件)、香港(11件)、インドネシア(8件)、イギリス・スペイン(各7件)、ドイツ・イタリア・カナダ(各6件)等が回答されている。

【経年比較】

前回との比較では、「中国」が5.1ポイント増加している。また、その他の国籍・出身地域に大きな違いはみられない。

図表 【経年比較】国籍・出身地域（単一回答）



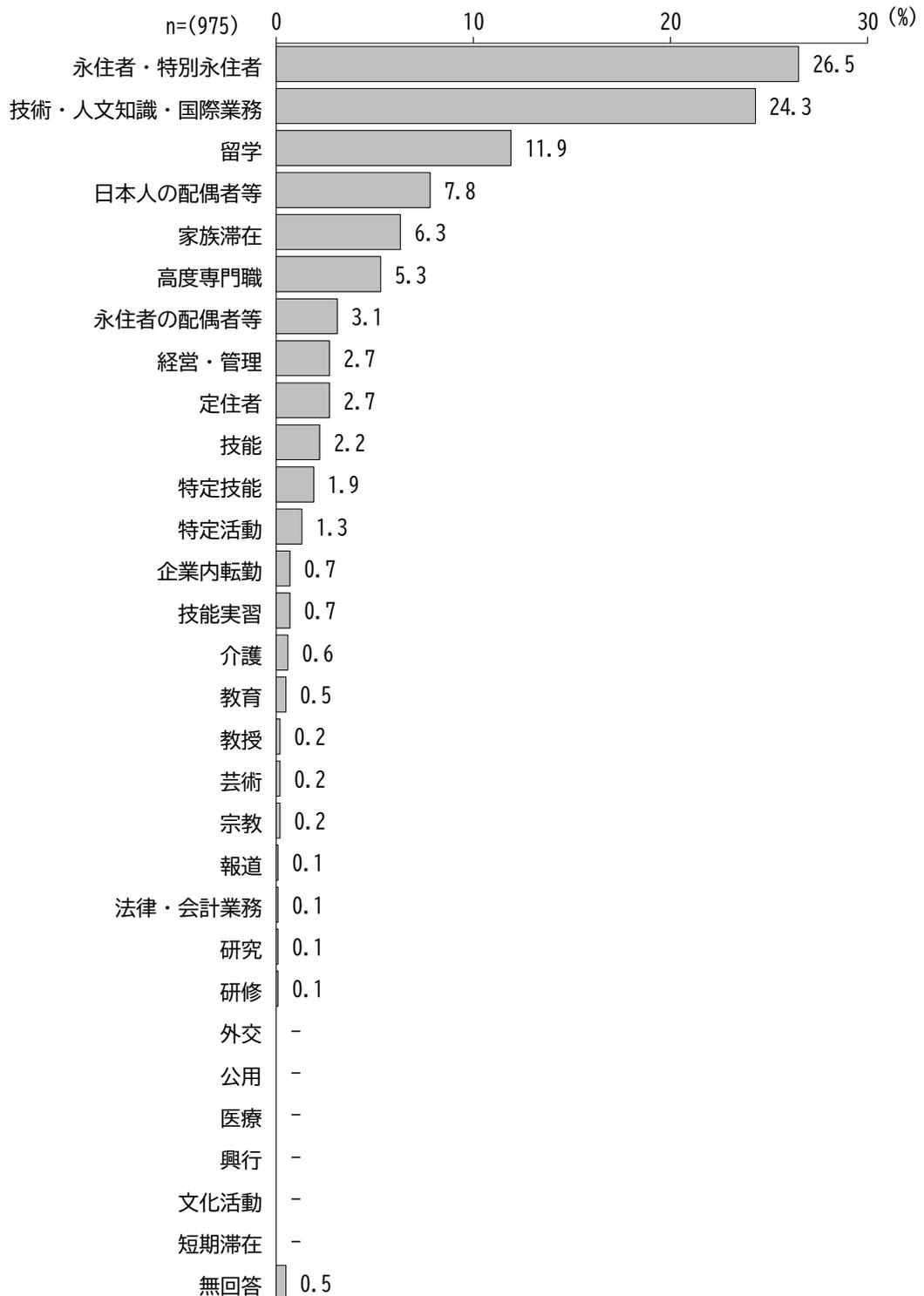
※今回調査より、選択肢「香港」が削除された。  
 ※今回調査より、選択肢「韓国・朝鮮」を「韓国」「朝鮮」に分けた。  
 ※今回調査より、選択肢「フランス」が追加された。

(4) 在留資格

問4 あなたの日本での在留資格をお選びください。(ひとつだけ○)

「永住者・特別永住者」(26.5%)が最も高く、次いで、「技術・人文知識・国際業務」(24.3%)となり、ともに約4人に1人の割合となっている。

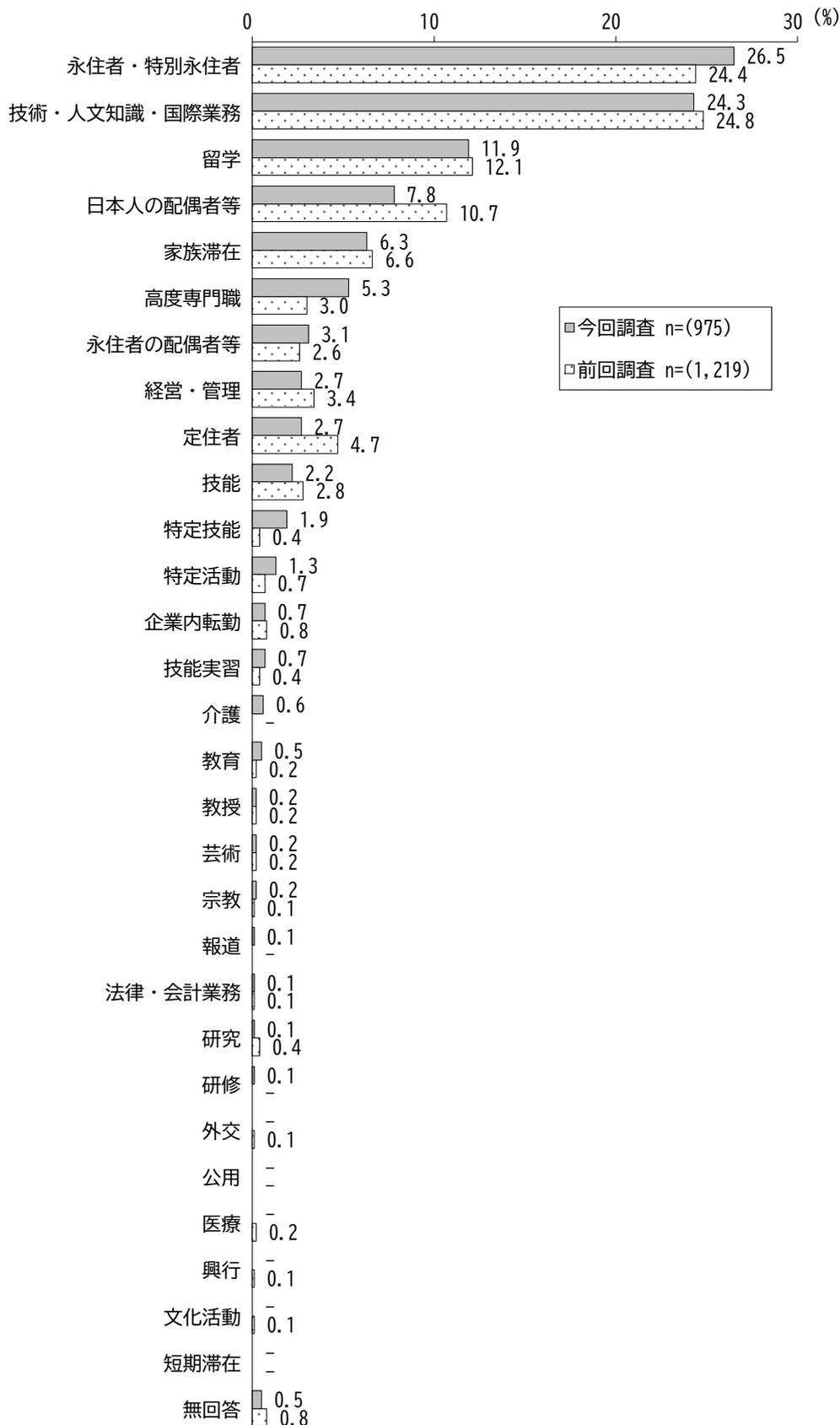
図表 在留資格 (単一回答)



【経年比較】

前回との比較では、各項目の割合に大きな違いはみられないが、前回1位の「技術・人文知識・国際業務」と前回2位の「永住者・特別永住者」の順位が入れ替わっている。

図表 【経年比較】在留資格（単一回答）



【国籍別】

「韓国」「台湾」で「永住者・特別永住者」が、「台湾」「アメリカ」で「技術・人文知識・国際業務」が、「ベトナム」で「特定技能」が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高い。

図表 在留資格（国籍別）

上段:人数 下段:%	調査数	永住者・特別永住者	技術・人文知識・国際業務	留学	日本人の配偶者等	家族滞在	高度専門職	永住者の配偶者等	経営・管理	定住者	技能
全体	975 100.0%	258 26.5%	237 24.3%	116 11.9%	76 7.8%	61 6.3%	52 5.3%	30 3.1%	26 2.7%	26 2.7%	21 2.2%
中国	472 100.0%	127 26.9%	118 25.0%	87 18.4%	18 3.8%	33 7.0%	30 6.4%	15 3.2%	19 4.0%	3 0.6%	6 1.3%
韓国	92 100.0%	47 51.1%	14 15.2%	1 1.1%	6 6.5%	5 5.4%	2 2.2%	4 4.3%	1 1.1%	7 7.6%	3 3.3%
ベトナム	41 100.0%	4 9.8%	11 26.8%	4 9.8%	1 2.4%	4 9.8%	1 2.4%	-	-	-	2 4.9%
フィリピン	59 100.0%	11 18.6%	5 8.5%	-	9 15.3%	2 3.4%	-	7 11.9%	-	7 11.9%	6 10.2%
台湾	49 100.0%	20 40.8%	16 32.7%	5 10.2%	1 2.0%	1 2.0%	5 10.2%	-	1 2.0%	-	-
アメリカ	35 100.0%	8 22.9%	12 34.3%	1 2.9%	8 22.9%	-	1 2.9%	-	-	3 8.6%	-
その他	224 100.0%	41 18.3%	61 27.2%	18 8.0%	32 14.3%	16 7.1%	13 5.8%	4 1.8%	5 2.2%	6 2.7%	4 1.8%

上段:人数 下段:%	調査数	特定技能	特定活動	企業内転勤	技能実習	介護	教育	教授	芸術	宗教	報道
全体	975 100.0%	19 1.9%	13 1.3%	7 0.7%	7 0.7%	6 0.6%	5 0.5%	2 0.2%	2 0.2%	2 0.2%	1 0.1%
中国	472 100.0%	2 0.4%	6 1.3%	4 0.8%	1 0.2%	1 0.2%	-	-	-	-	-
韓国	92 100.0%	-	-	-	-	-	-	1 1.1%	1 1.1%	-	-
ベトナム	41 100.0%	10 24.4%	-	-	2 4.9%	1 2.4%	-	-	-	-	-
フィリピン	59 100.0%	4 6.8%	-	-	4 6.8%	1 1.7%	2 3.4%	-	-	-	-
台湾	49 100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アメリカ	35 100.0%	-	-	-	-	-	-	-	1 2.9%	1 2.9%	-
その他	224 100.0%	3 1.3%	7 3.1%	3 1.3%	-	3 1.3%	3 1.3%	1 0.4%	-	1 0.4%	1 0.4%

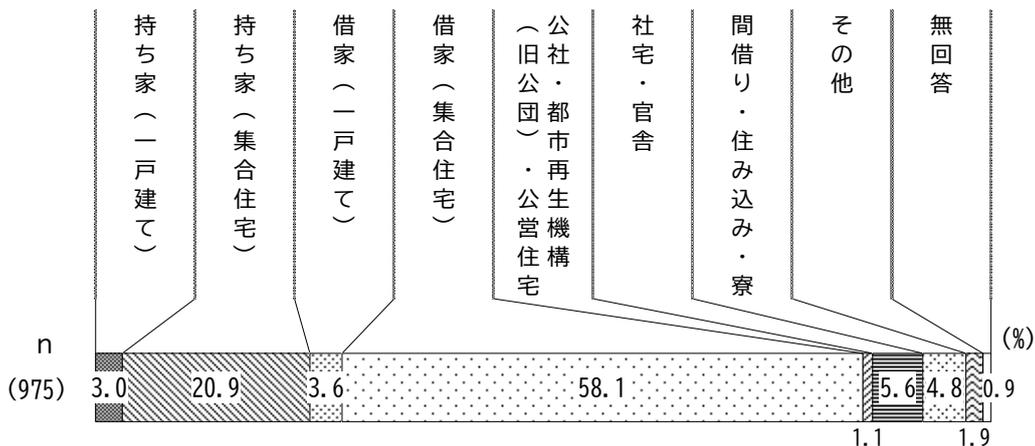
上段:人数 下段:%	調査数	法律・会計業務	研究	研修	外交	公用	医療	興行	文化活動	短期滞在	無回答
全体	975 100.0%	1 0.1%	1 0.1%	1 0.1%	-	-	-	-	-	-	5 0.5%
中国	472 100.0%	1 0.2%	-	-	-	-	-	-	-	-	1 0.2%
韓国	92 100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ベトナム	41 100.0%	-	-	1 2.4%	-	-	-	-	-	-	-
フィリピン	59 100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 1.7%
台湾	49 100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アメリカ	35 100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	224 100.0%	-	1 0.4%	-	-	-	-	-	-	-	1 0.4%

(5) 居住形態

問5 あなたのお住まいは、次のうちどれにあたりますか。(ひとつだけ○)

「借家（集合住宅）」（58.1%）が最も高く、次いで、「持ち家（集合住宅）」（20.9%）、「社宅・官舎」（5.6%）となっている。

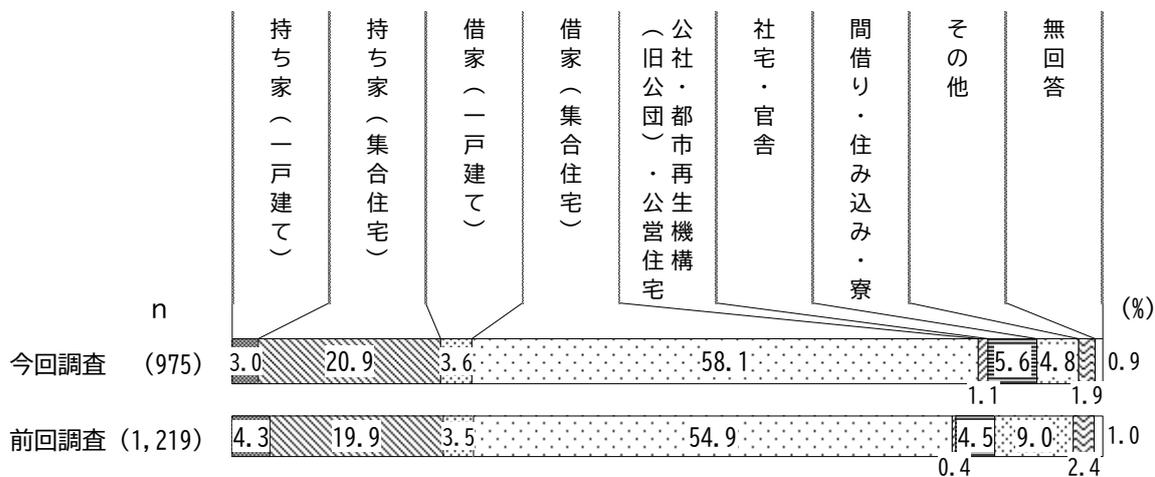
図表 居住形態（単一回答）



【経年比較】

前回との比較では、「借家（集合住宅）」がやや増加している。一方、「間借り・住み込み・寮」はやや減少している。

図表 【経年比較】 居住形態（単一回答）

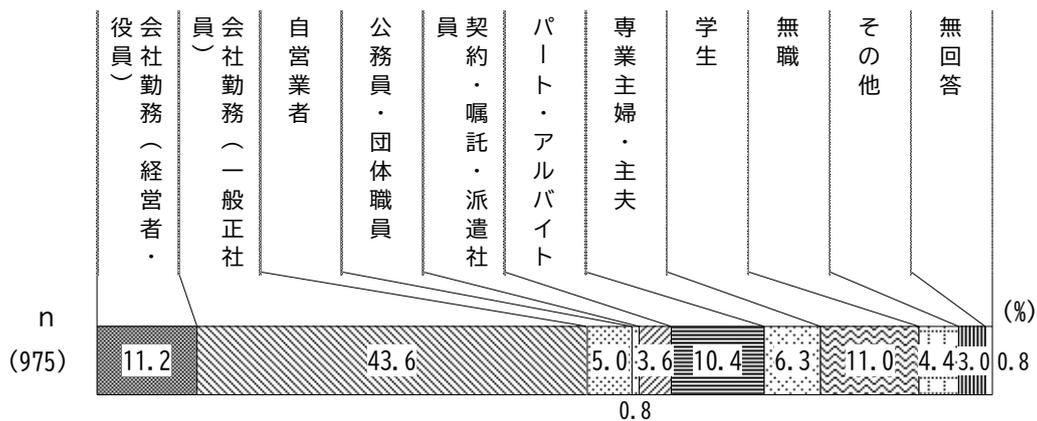


(6) 職業

問6 あなたのお仕事は、大きく分けて以下の中のどれにあたりますか。(ひとつだけ○)

「会社勤務(一般正社員)」(43.6%)が最も高く、次いで、「会社勤務(経営者・役員)」(11.2%)、「学生」(11.0%)、「パート・アルバイト」(10.4%)となっている。

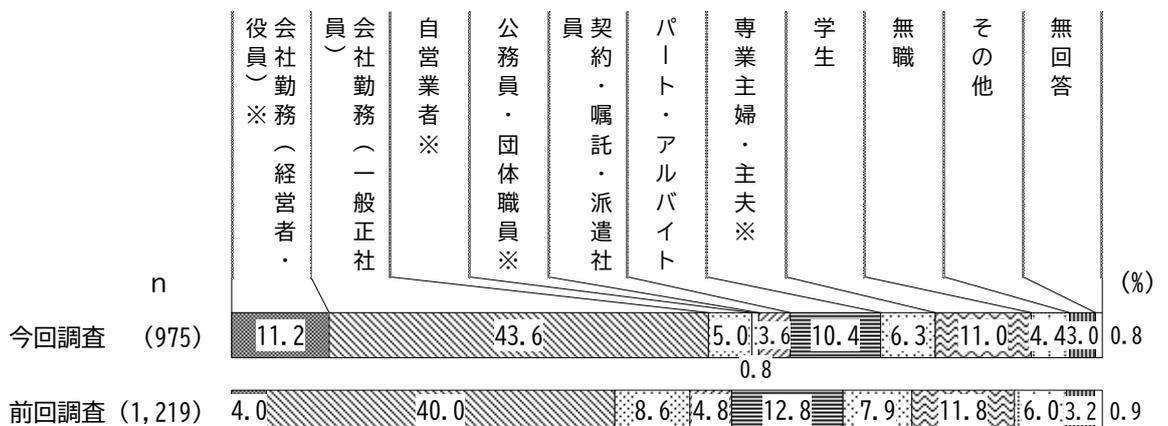
図表 職業 (単一回答)



【経年比較】

前回との比較は、選択肢が一部異なるため参考程度にとどめる。

図表 【経年比較】職業 (単一回答)



※今回調査の選択肢「会社勤務(経営者・役員)」は前回調査では「会社勤務(役員)」、「自営業者」は「自営業者・経営者」、「専業主婦・主夫」は「家事」であった。

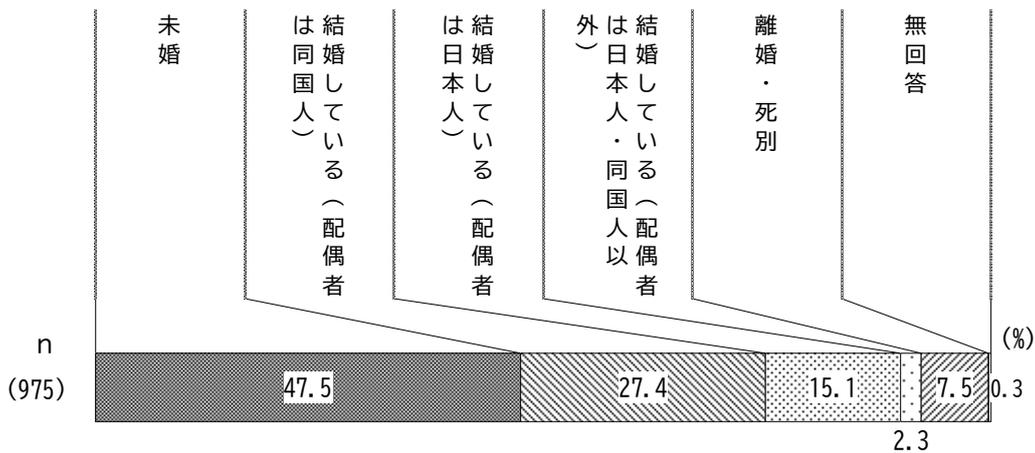
※今回調査より、選択肢「公務員・団体職員」が追加された。

(7) 結婚の有無

問7 あなたは結婚していますか。(ひとつだけ○)

「未婚」(47.5%)が最も高く、次いで、「結婚している(配偶者は同国人)」(27.4%)、「結婚している(配偶者は日本人)」(15.1%)となっている。

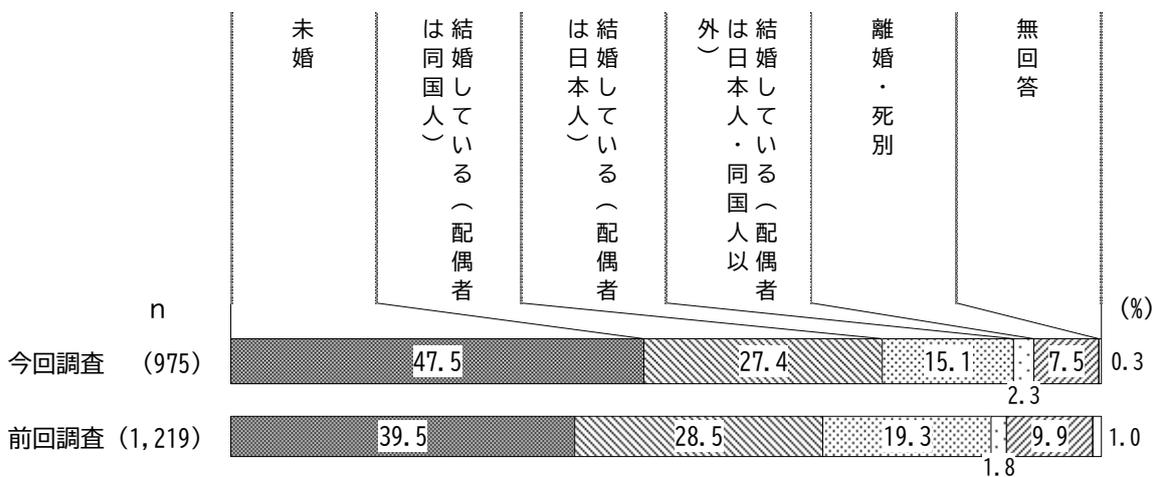
図表 結婚の有無(単一回答)



【経年比較】

前回との比較では、「未婚」が8.0ポイント増加している。

図表 【経年比較】結婚の有無(単一回答)

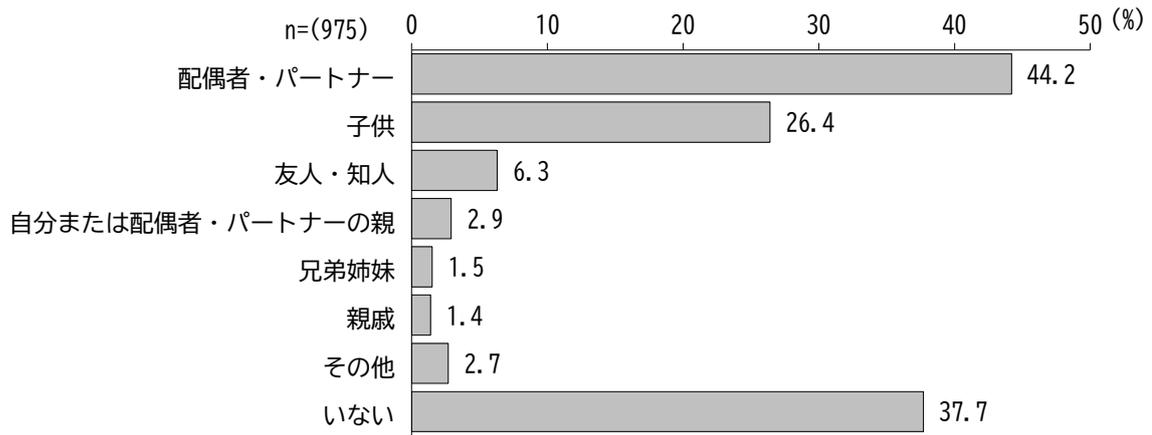


(8) 同居者

問8 あなたが現在一緒に住んでいる人はどなたですか。(当てはまるもの全てに○)

「配偶者・パートナー」(44.2%)が最も高く、次いで、「いない」(37.7%)、「子供」(26.4%)となっている。

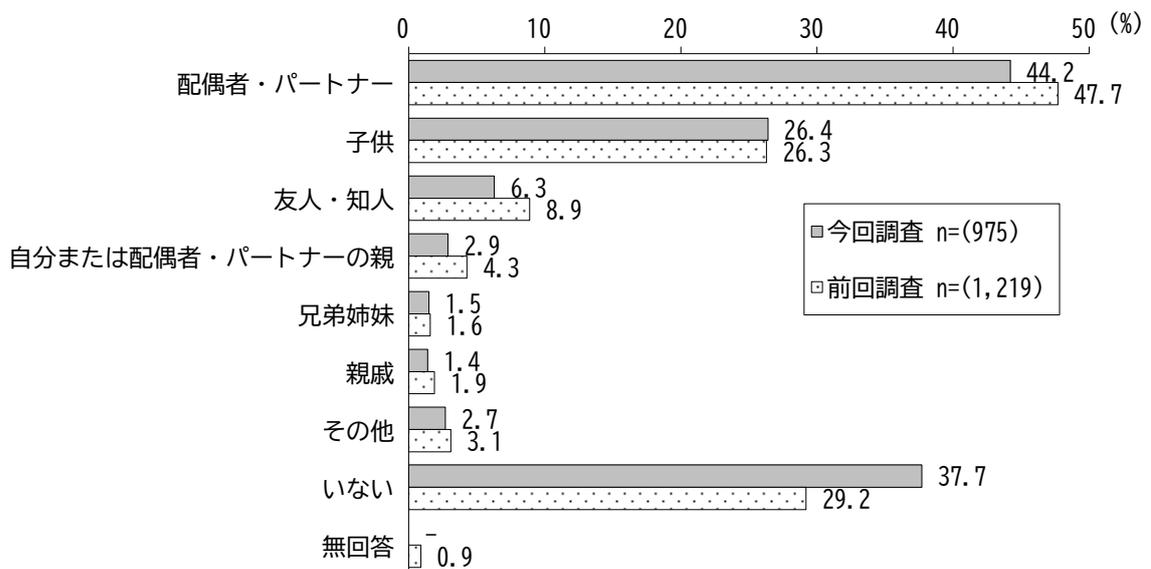
図表 同居者（複数回答）



【経年比較】

前回との比較では、「いない」が8.5ポイント増加しており、外国人区民の単身世帯が増加している可能性がうかがえる。

図表 【経年比較】同居者（複数回答）

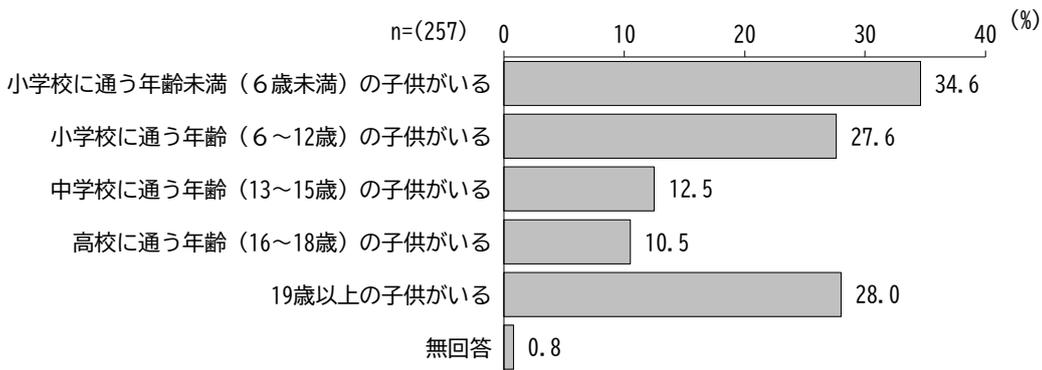


(9) 子供の年齢

問8-2 【問8で「2 子供」と回答した方にお聞きします。  
 あなたの子供は何歳ですか。(当てはまるもの全てに○)

「小学校に通う年齢未満（6歳未満）の子供がいる」（34.6%）が最も高く、次いで、「19歳以上の子供がいる」（28.0%）、「小学校に通う年齢（6～12歳）の子供がいる」（27.6%）となっている。

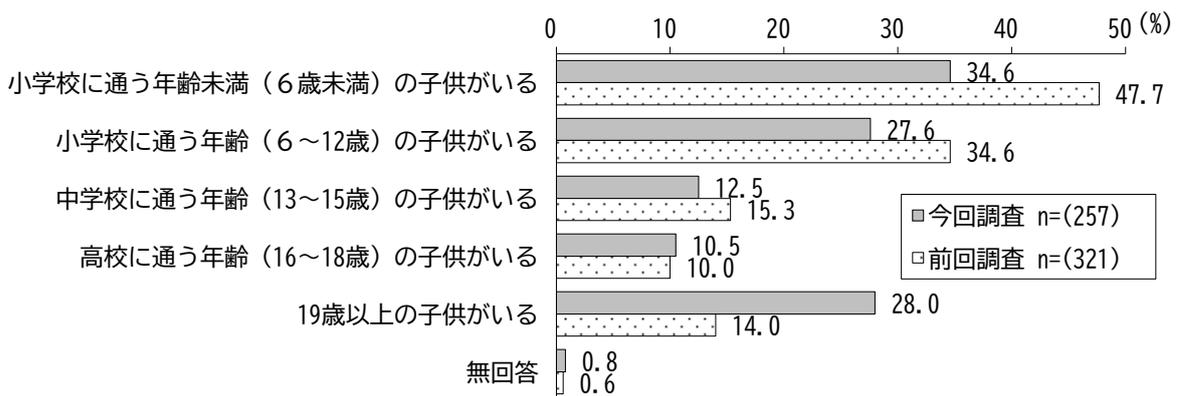
図表 子供の年齢（複数回答）



【経年比較】

前回との比較では、「19歳以上の子供がいる」が14.0ポイント増加している。一方、「小学校に通う年齢未満（6歳未満）の子供がいる」が13.1ポイント減少している。

図表 【経年比較】子供の年齢（複数回答）

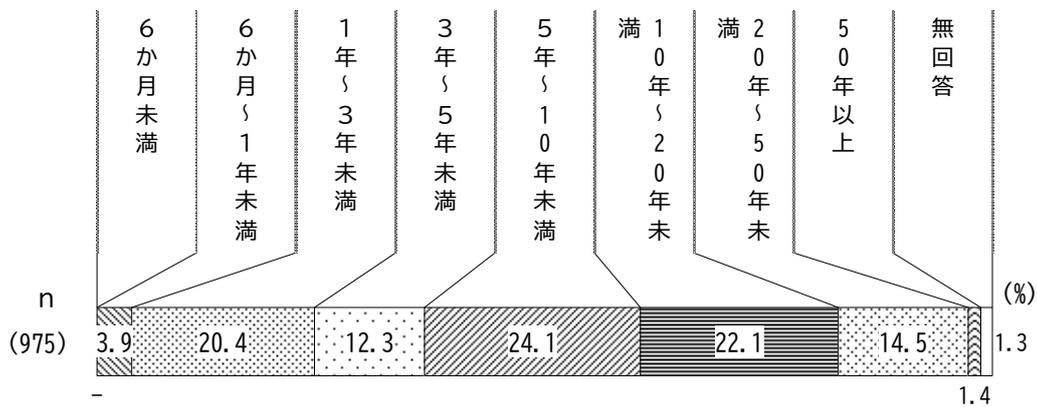


(10) 日本での居住年数

問9 あなたは、日本にどのくらい住んでいますか。(ひとつだけ○)

「5年～10年未満」(24.1%)が最も高く、次いで、「10年～20年未満」(22.1%)、「1年～3年未満」(20.4%)となっている。

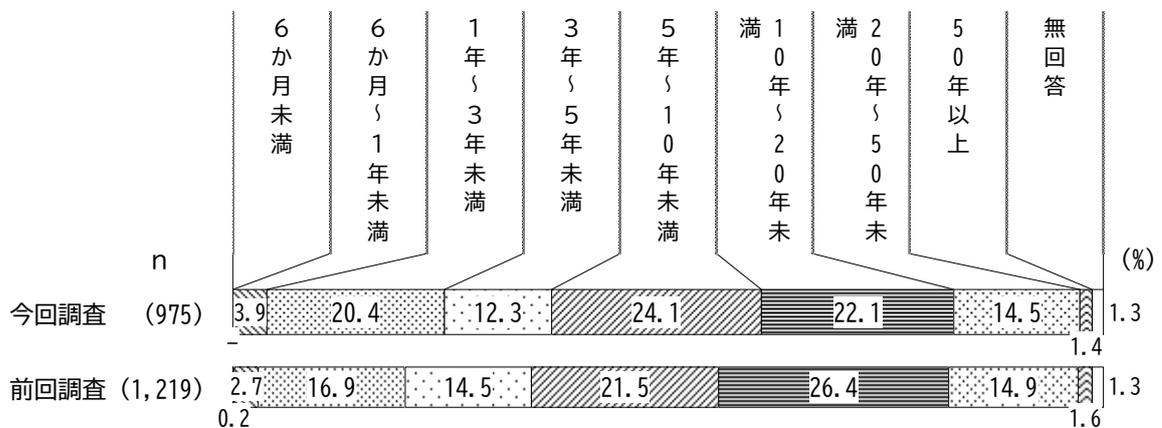
図表 日本での居住年数(単一回答)



【経年比較】

前回との比較では、各項目の割合に大きな違いはみられないが、居住年数10年未満がやや増加している。

図表 【経年比較】日本での居住年数(単一回答)

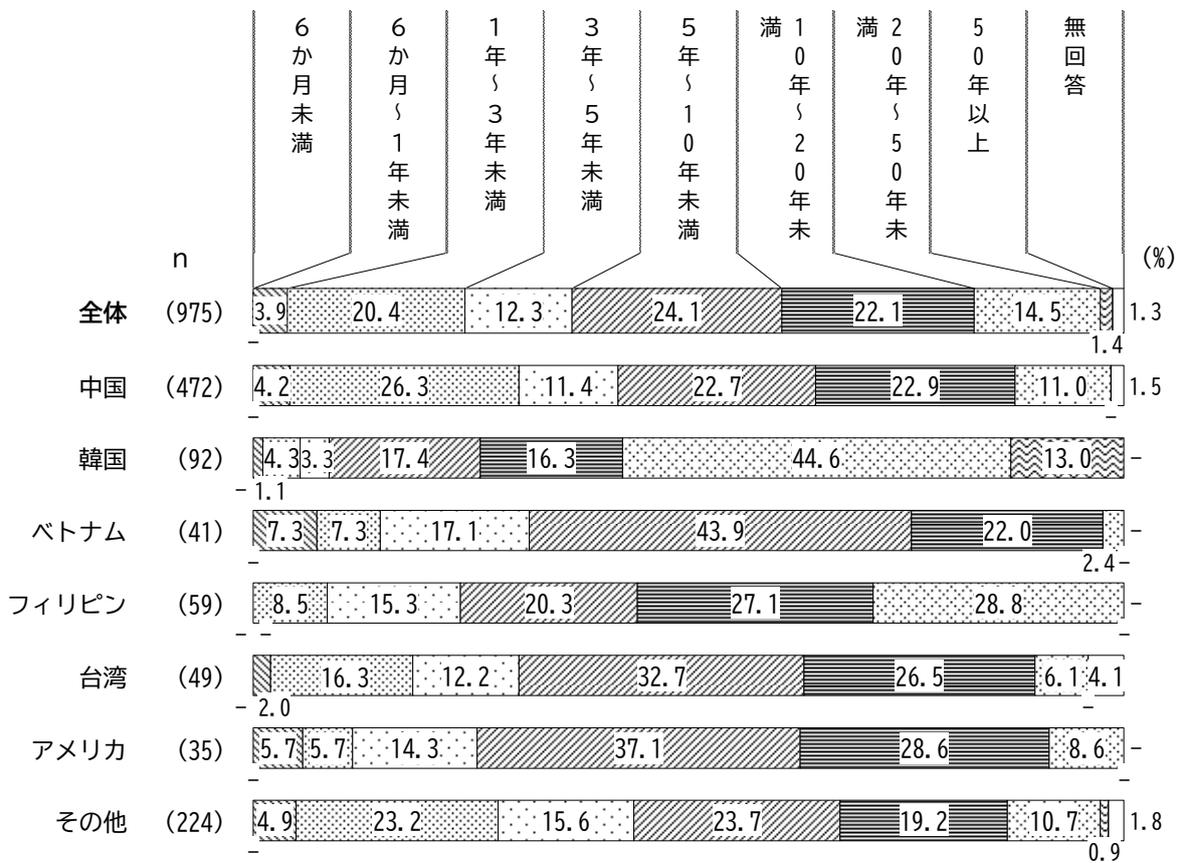


【国籍別】

「中国」で「1年～3年未満」、「ベトナム」「台湾」「アメリカ」で「5年～10年未満」、「フィリピン」で「10年～20年未満」「20年～50年未満」、「韓国」で「20年～50年未満」「50年以上」が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高い。

居住年数が10年未満と回答した人の合計で高いのは「中国」「ベトナム」「台湾」「アメリカ」「その他」である。一方、居住年数が10年以上と回答した人の合計で最も高いのは「韓国」で、次いで、「フィリピン」の順である。

図表 日本での居住年数（国籍別）



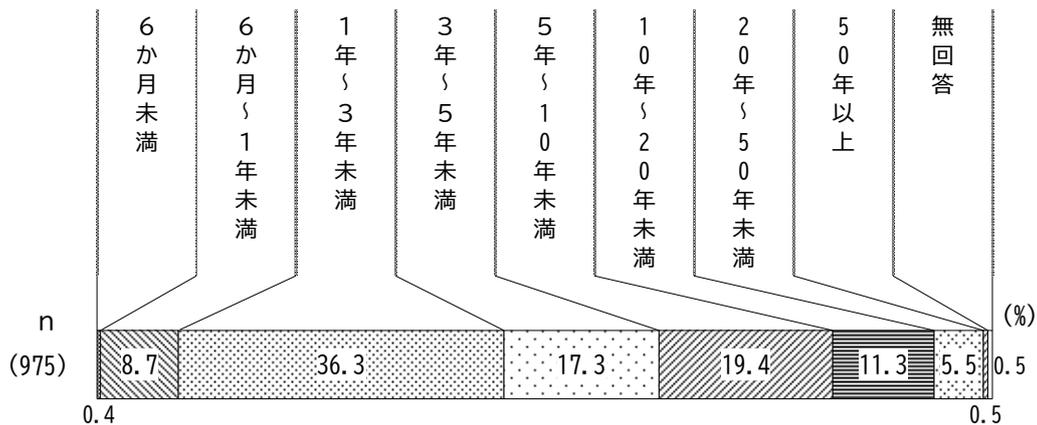
※国籍別のクロス表は、回答数30以下の「朝鮮」「ネパール」「インド」「ミャンマー」「タイ」「フランス」を「その他」に含めて掲載している（以降同様）。

(11) 台東区での居住年数

問10 あなたは、台東区にどのくらい住んでいますか。(ひとつだけ○)

「1年～3年未満」(36.3%)が最も高く、次いで、「5年～10年未満」(19.4%)、「3年～5年未満」(17.3%)となっている。

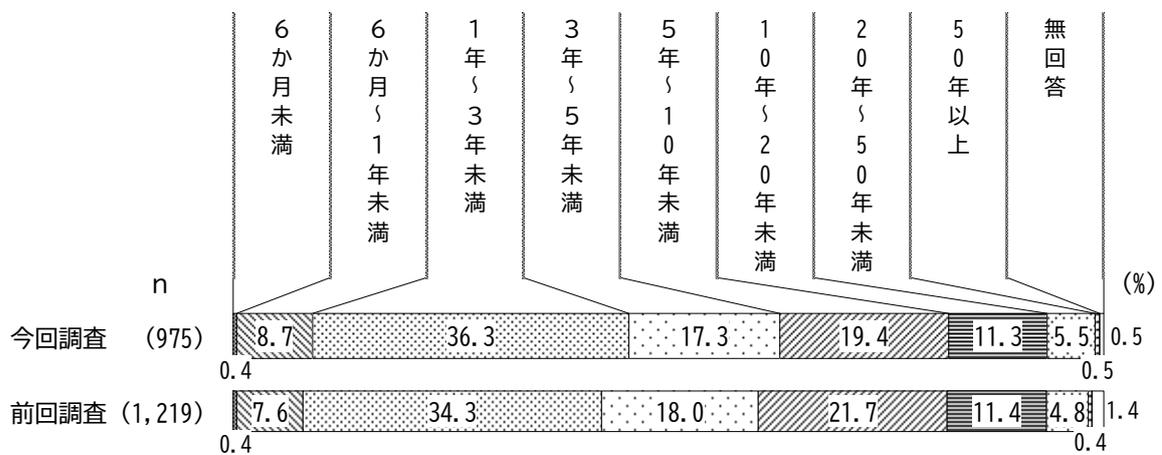
図表 台東区での居住年数 (単一回答)



【経年比較】

前回との比較では、各項目の割合に大きな違いはみられず、居住年数5年未満にも違いはみられない。

図表 【経年比較】 台東区での居住年数 (単一回答)



【国籍別】

「中国」「ベトナム」で「1年～3年未満」、「台湾」で「3年～5年未満」、「アメリカ」で「3年～5年未満」「5年～10年未満」、「韓国」「フィリピン」で「10年～20年未満」「20年～50年未満」が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高い。台東区での居住年数が5年未満と回答した人の合計で最も高いのは「ベトナム」で、次いで、「台湾」が高くなっている。

一方、台東区居住年数が10年以上と回答した人の合計で高いのは「韓国」「フィリピン」などである。

図表 台東区での居住年数（国籍別）

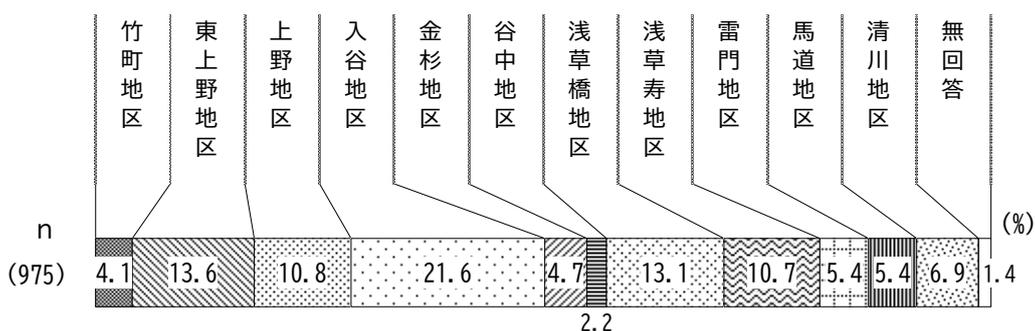
上段:人数 下段:%	調査数	6か月未満	6か月～ 1年未満	1年～ 3年未満	3年～ 5年未満	5年～ 10年未満	10年～ 20年未満	20年～ 50年未満	50年以上	無回答
全体	975 100.0%	4 0.4%	85 8.7%	354 36.3%	169 17.3%	189 19.4%	110 11.3%	54 5.5%	5 0.5%	5 0.5%
中国	472 100.0%	4 0.8%	44 9.3%	203 43.0%	76 16.1%	86 18.2%	43 9.1%	13 2.8%	- -	3 0.6%
韓国	92 100.0%	- -	5 5.4%	15 16.3%	13 14.1%	16 17.4%	18 19.6%	21 22.8%	4 4.3%	- -
ベトナム	41 100.0%	- -	3 7.3%	20 48.8%	8 19.5%	9 22.0%	- -	- -	- -	1 2.4%
フィリピン	59 100.0%	- -	2 3.4%	13 22.0%	10 16.9%	13 22.0%	13 22.0%	8 13.6%	- -	- -
台湾	49 100.0%	- -	4 8.2%	15 30.6%	16 32.7%	8 16.3%	5 10.2%	1 2.0%	- -	- -
アメリカ	35 100.0%	- -	3 8.6%	9 25.7%	8 22.9%	10 28.6%	3 8.6%	2 5.7%	- -	- -
その他	224 100.0%	- -	24 10.7%	78 34.8%	37 16.5%	47 21.0%	27 12.1%	9 4.0%	1 0.4%	1 0.4%

(12) 居住地域

問11 あなたの住んでいる地域を把握するため封筒のお名前の右下にある1～11の数字を選択してください。(ひとつだけ○)

「入谷地区」(21.6%)が最も高く、次いで、「東上野地区」(13.6%)、「浅草橋地区」(13.1%)となっている。

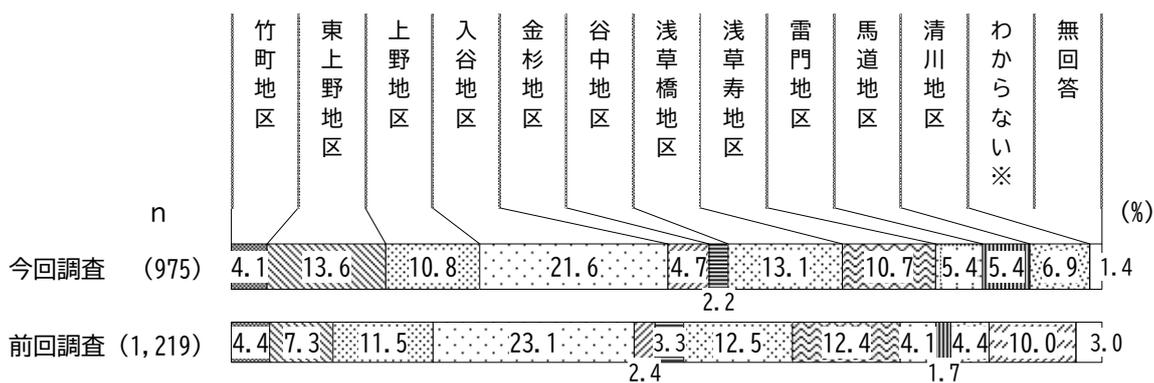
図表 居住地域 (単一回答)



【経年比較】

前回との比較では、「東上野地区」が6.3ポイント増加している。

図表 【経年比較】居住地域 (単一回答)



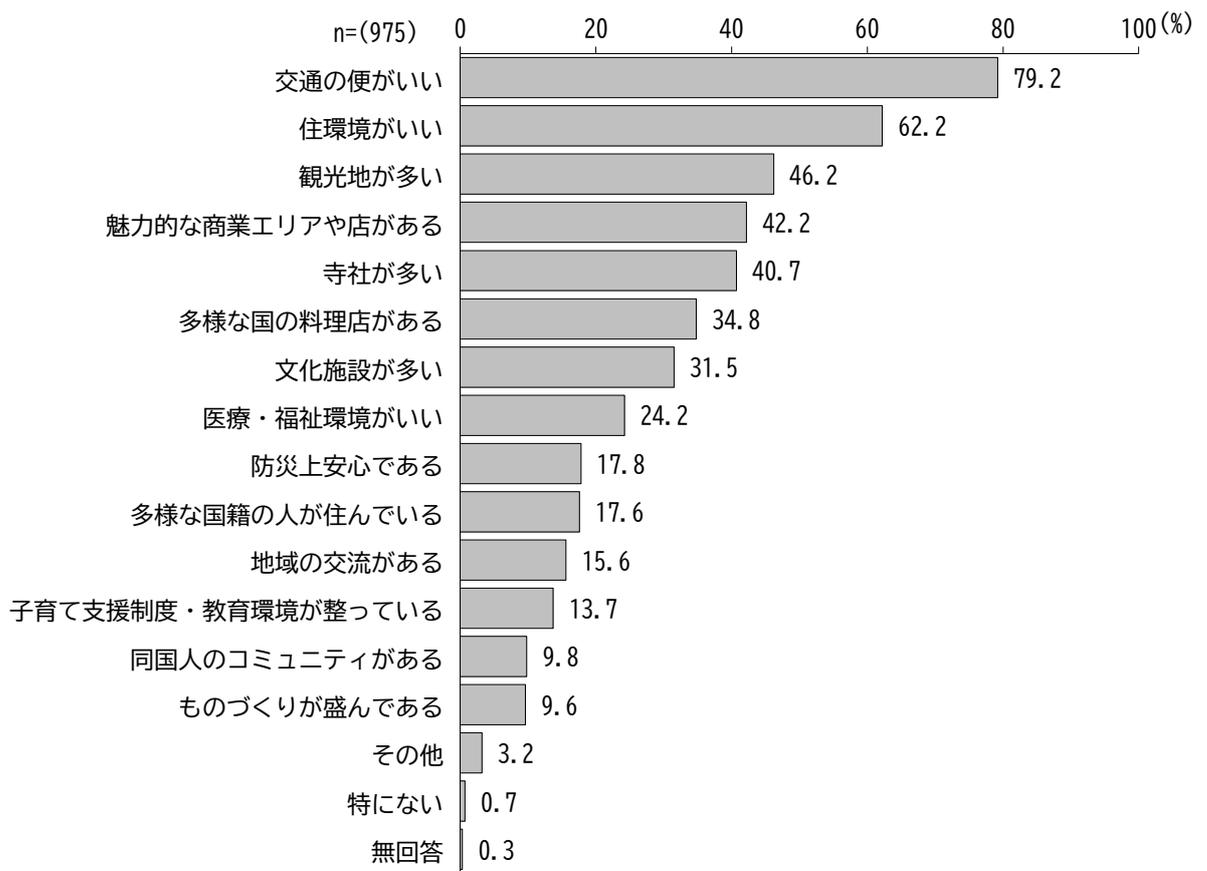
※今回調査より、選択肢「わからない」が削除された。

(13) 台東区の魅力

問12 台東区の魅力は何だと思えますか。(当てはまるもの全てに○)

「交通の便がいい」(79.2%)が最も高く、次いで、「住環境がいい」(62.2%)、「観光地が多い」(46.2%)、「魅力的な商業エリアや店がある」(42.2%)、「寺社が多い」(40.7%)、「多様な国の料理店がある」(34.8%)となっている。

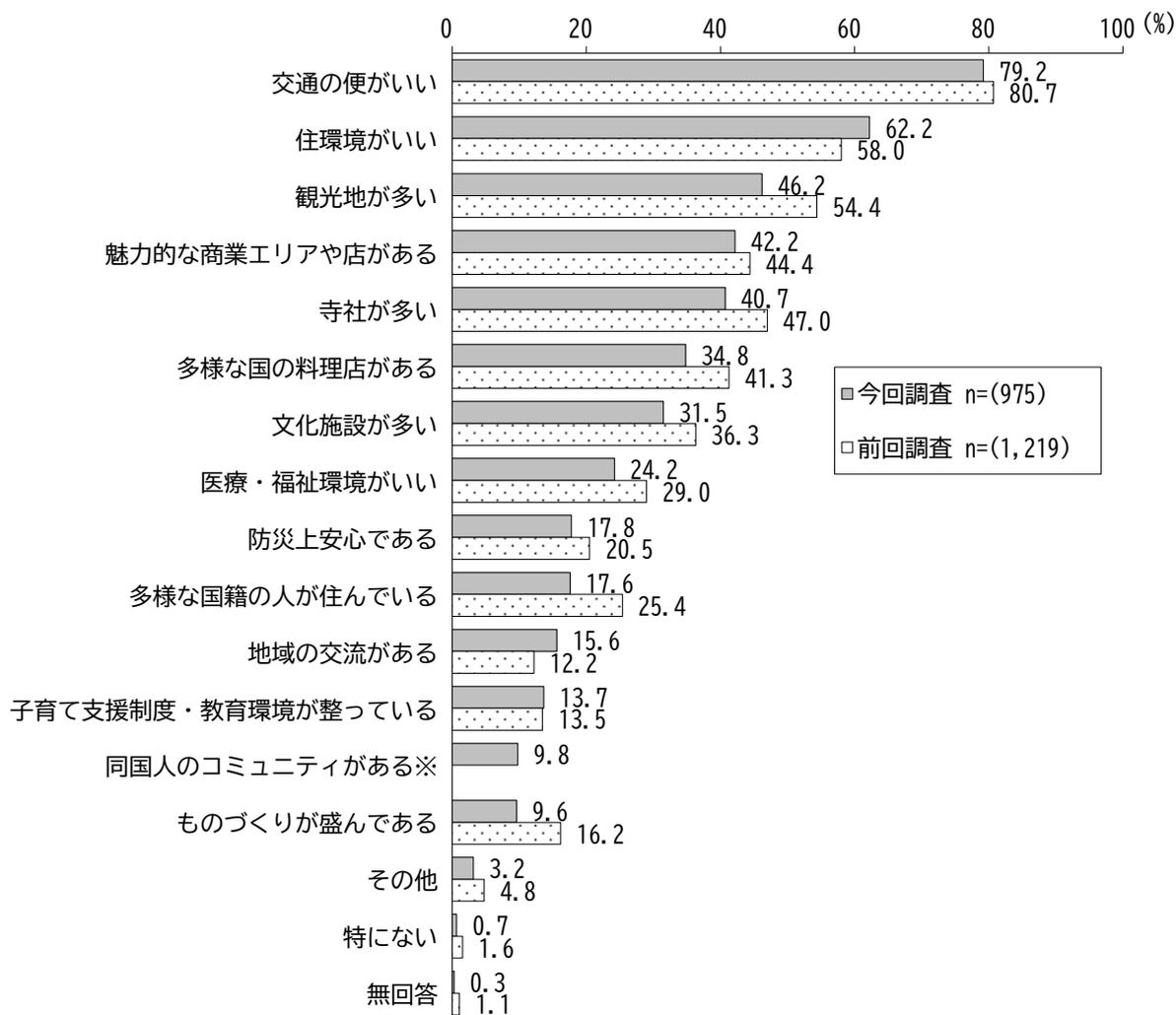
図表 台東区の魅力 (複数回答)



【経年比較】

前回との比較では、減少している項目が多く、「観光地が多い」が8.2ポイント、「多様な国籍の人が住んでいる」が7.8ポイント、「ものづくりが盛んである」が6.6ポイント、「多様な国の料理店がある」が6.5ポイント、「寺社が多い」が6.3ポイント、いずれも減少している。

図表 【経年比較】台東区の魅力（複数回答）



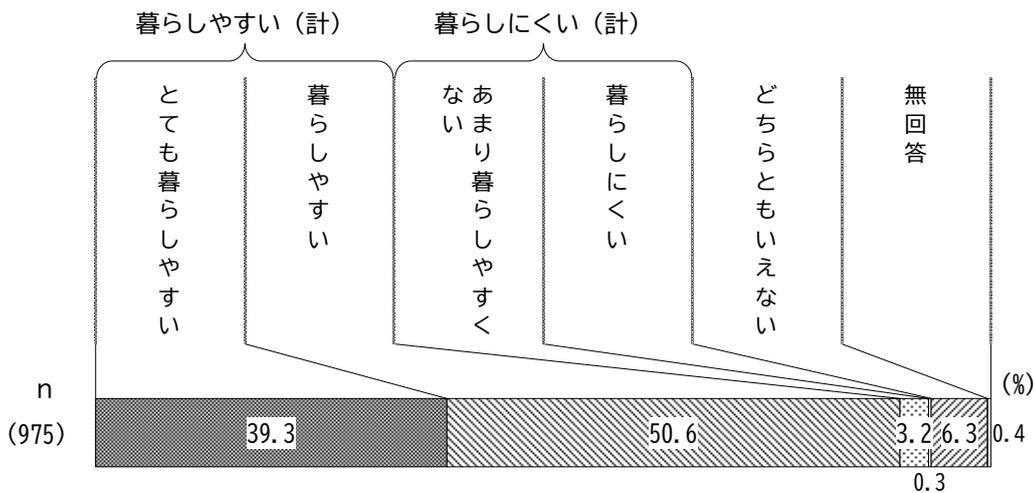
※今回調査より、選択肢「同国人のコミュニティがある」が追加された。

(14) 台東区の暮らしやすさ

問13 台東区は暮らしやすいと思いますか。(ひとつだけ○)

「暮らしやすい」(50.6%)が最も高く、次いで、「とても暮らしやすい」(39.3%)となっている。「とても暮らしやすい」「暮らしやすい」の合計の割合は89.9%、「あまり暮らしやすい」「暮らしにくい」の合計の割合は3.5%である。

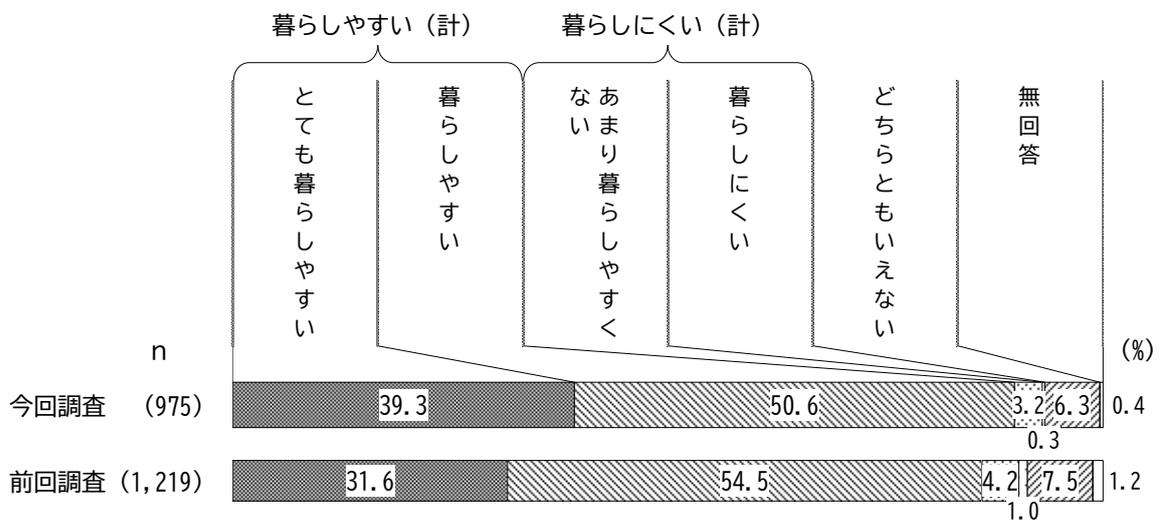
図表 台東区の暮らしやすさ (単一回答)



【経年比較】

前回との比較では、「とても暮らしやすい」「暮らしやすい」の合計の割合がやや増加している。

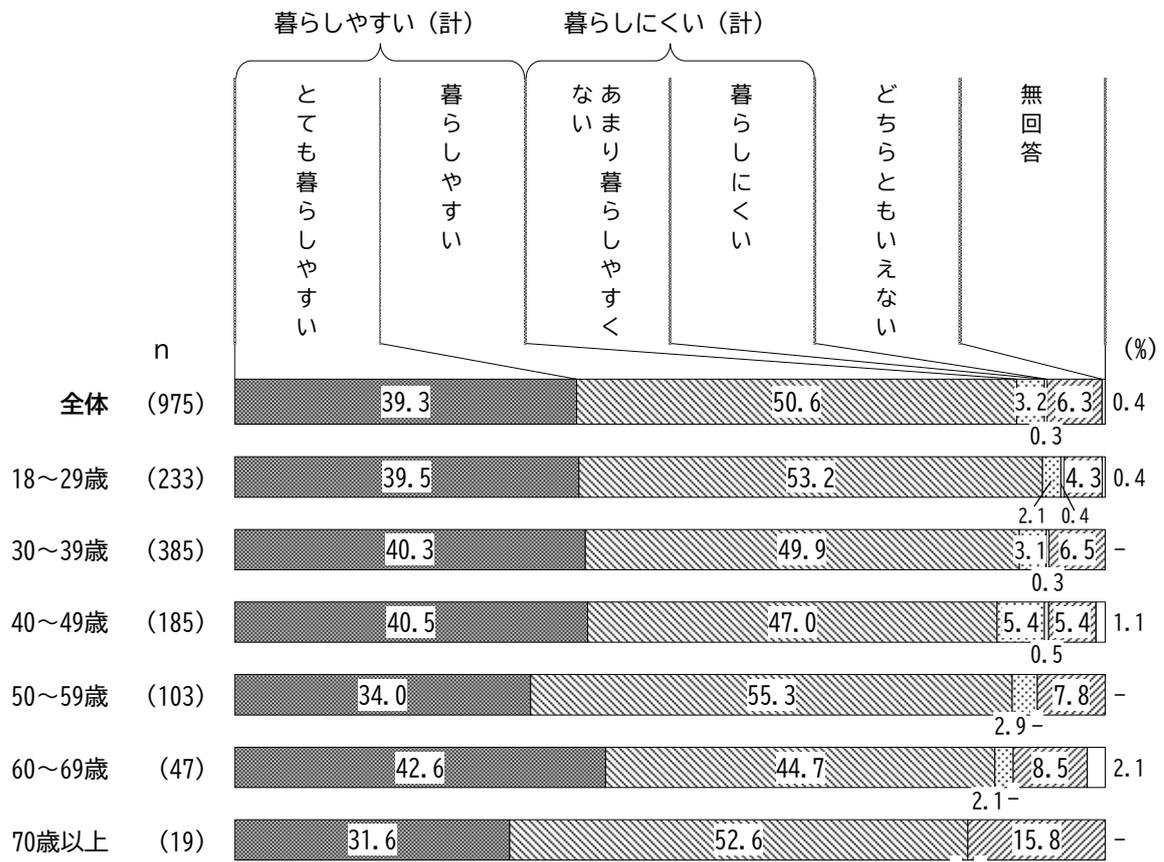
図表 【経年比較】台東区の暮らしやすさ (単一回答)



【年齢別】

「とても暮らしやすい」「暮らしやすい」の合計の割合をみると、全ての年代において80%以上となっており、特に40歳未満で90%台となっている。

図表 台東区の暮らしやすさ（年齢別）



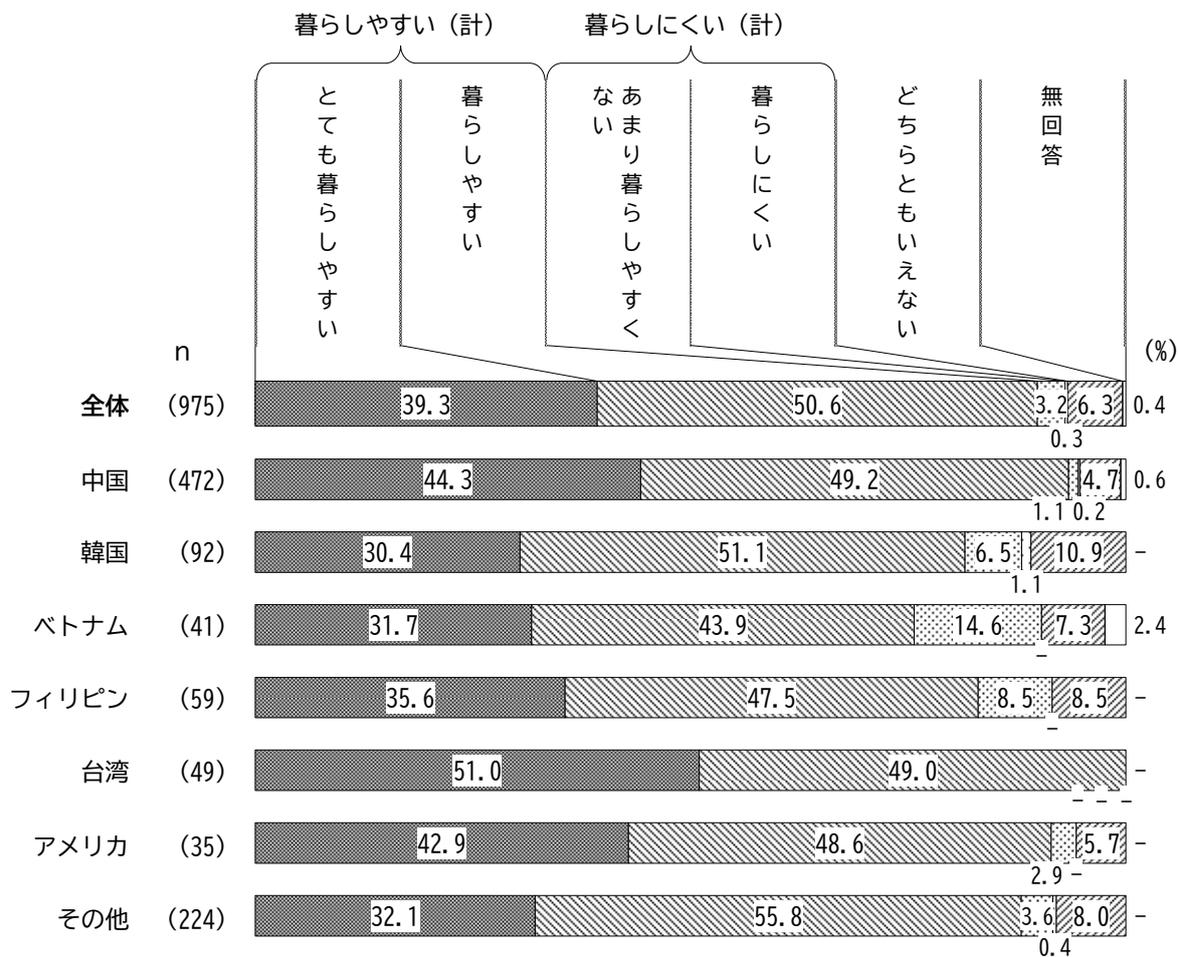
※年齢別のクロス表は、「18～19歳」「20～29歳」を合わせて「18～29歳」に、「70～79歳」「80歳以上」を合わせて「70歳以上」として掲載した（以降同様）。

【国籍別】

「とても暮らしやすい」「暮らしやすい」の合計の割合をみると、「台湾」「中国」「アメリカ」で90%台、「その他」が80%を超えている。

一方で、「韓国」は約80%、「ベトナム」は70%台半ばでやや低い傾向がみられる。

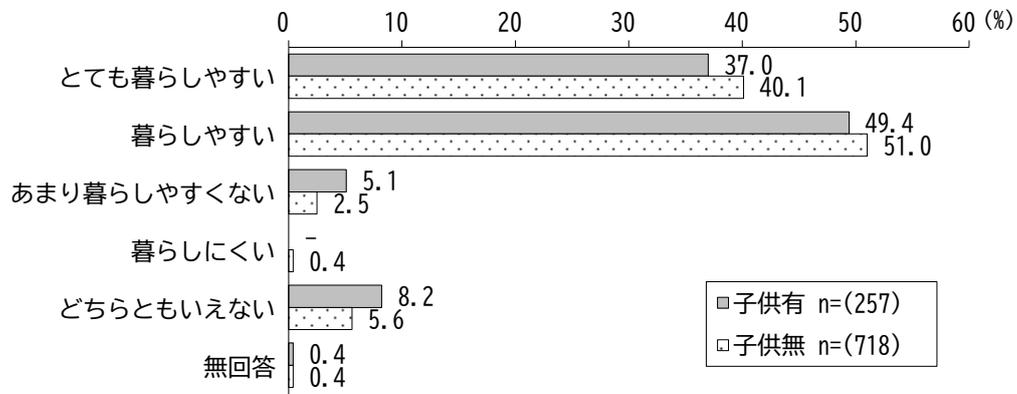
図表 台東区の暮らしやすさ（国籍別）



【子供の有無別】

「子供無」で「とても暮らしやすい」「暮らしやすい」の合計の割合が、「子供有」よりやや高い。

図表 台東区の暮らしやすさ（子供の有無別）



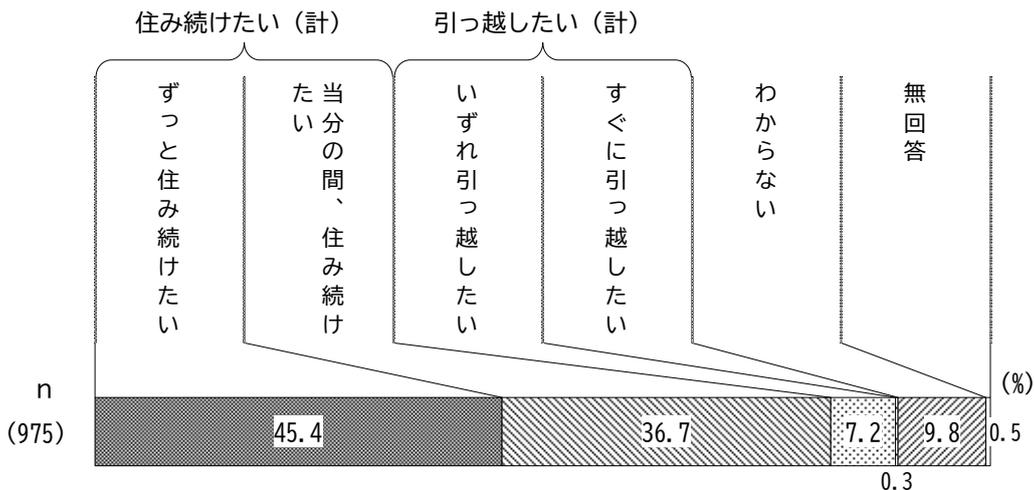
※子供の有無として、調査票問8の選択肢のうち、「子供」の回答者を「子供有」、それ以外を「子供無」として集計している（以降同様）。

(15) 台東区への定住意向

問14 台東区にどのくらいの期間住みたいと思いますか。(ひとつだけ○)

「ずっと住みたい」(45.4%)が最も高く、次いで、「当分の間、住みたい」(36.7%)となっている。

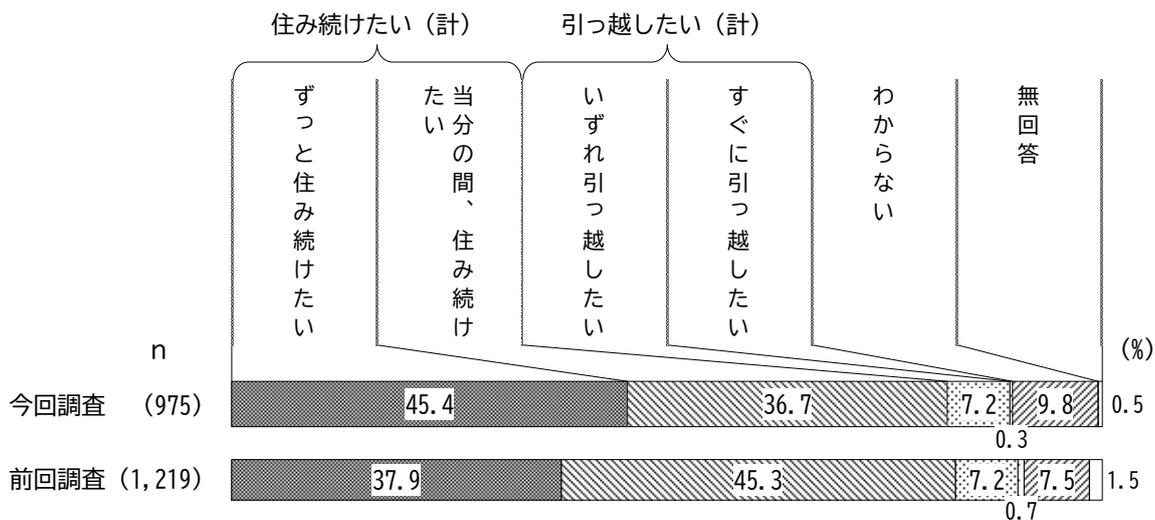
図表 台東区への定住意向 (単一回答)



【経年比較】

前回との比較では、「ずっと住みたい」が7.5ポイント増加している。一方、「当分の間、住みたい」が8.6ポイント減少している。

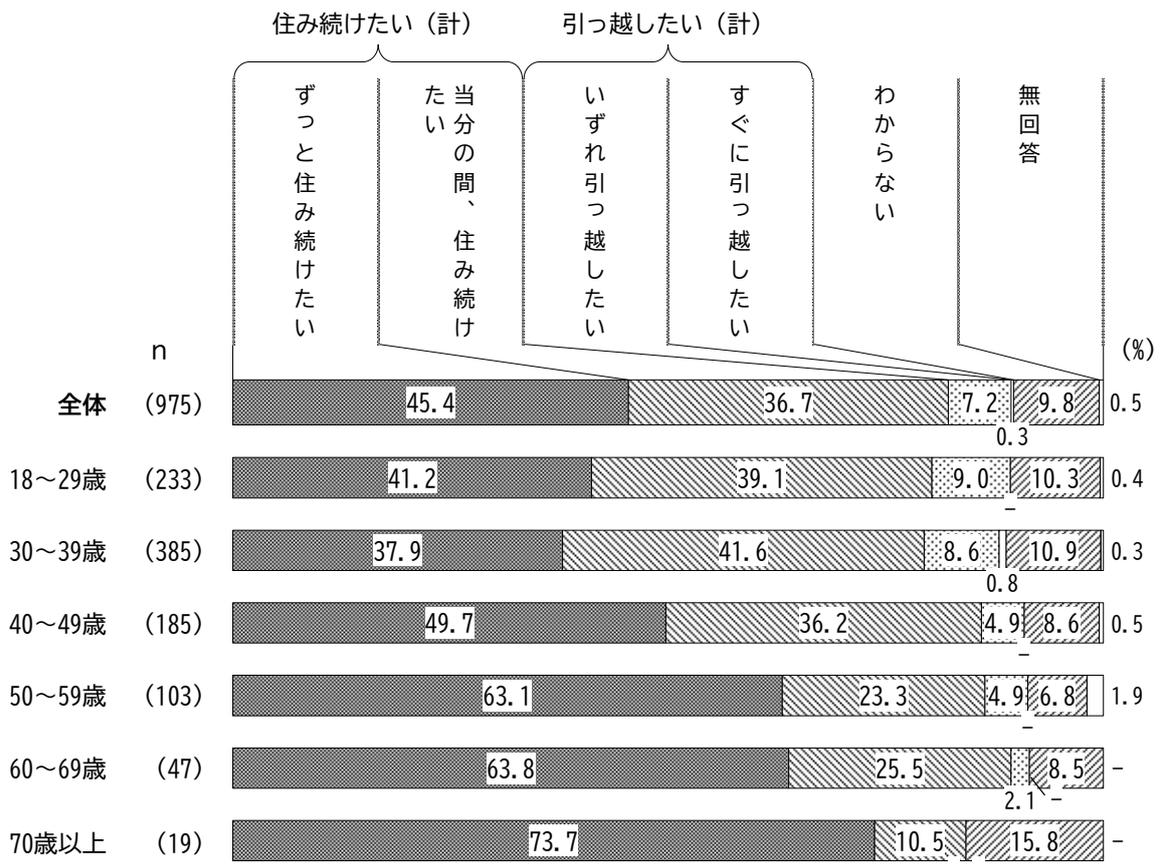
図表 【経年比較】 台東区への定住意向 (単一回答)



【年齢別】

「60～69歳」「50～59歳」で「ずっと住みたい」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。  
 回答数の少ない「70歳以上」を含め、年代が高くなるにつれて「ずっと住みたい」が高くなり、「60～69歳」「50～59歳」では60%台となっている。「30～39歳」「18～29歳」は「当分の間、住みたい」が40%前後となっている。

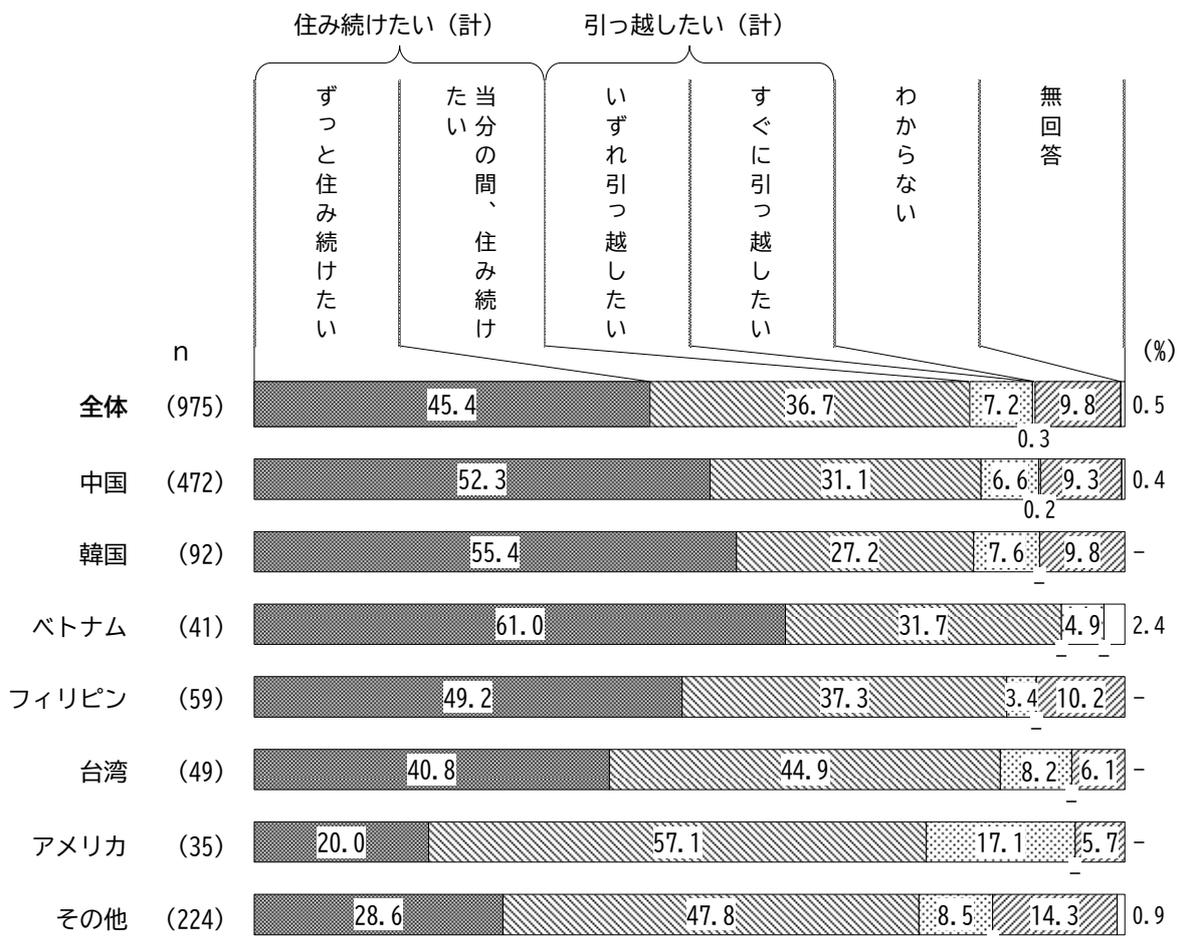
図表 台東区への定住意向（年齢別）



【国籍別】

「中国」「韓国」「ベトナム」で「ずっと住みたい」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。一方、「その他」「アメリカ」では「ずっと住みたい」割合が低く、「アメリカ」では半数以上が「当分の間、住みたい」と回答している。

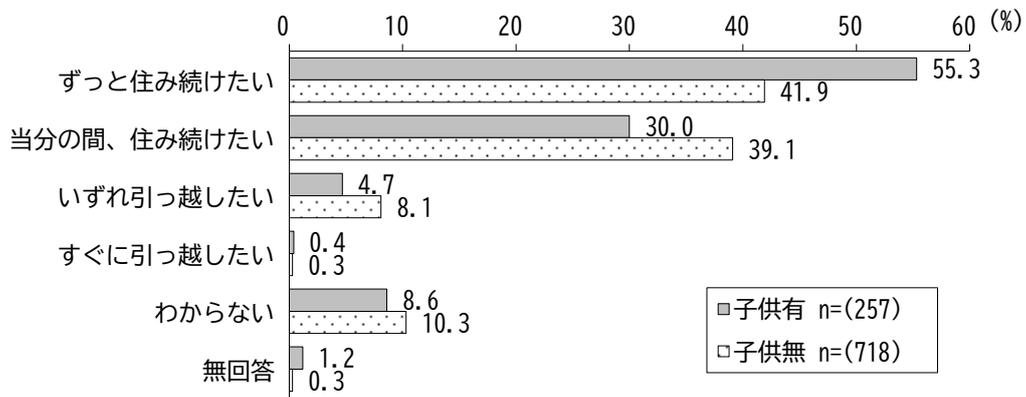
図表 台東区への定住意向（国籍別）



【子供の有無別】

「子供有」で「ずっと住みたい」が「子供無」より13.4ポイント高い。  
 一方、「子供無」で「当分の間、住みたい」が「子供有」より9.1ポイント高い。

図表 台東区への定住意向（子供の有無別）



## 2. ことばについて

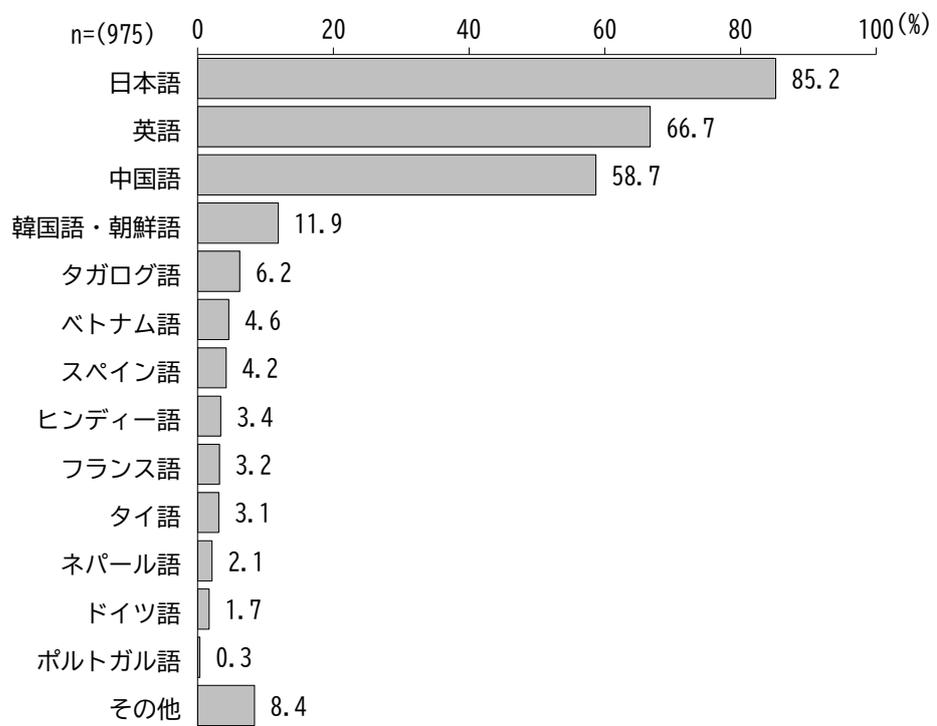
### (1) わかる言語・最も得意な言語

問15 わかる言語はどれですか。(当てはまるもの全てに○)  
また、その中で最も得意な言語はどれですか。項目の番号を1つご記入ください。

#### 【① わかる言語】

わかる言語は、「日本語」(85.2%)が最も高く、次いで、「英語」(66.7%)、「中国語」(58.7%)となっている。

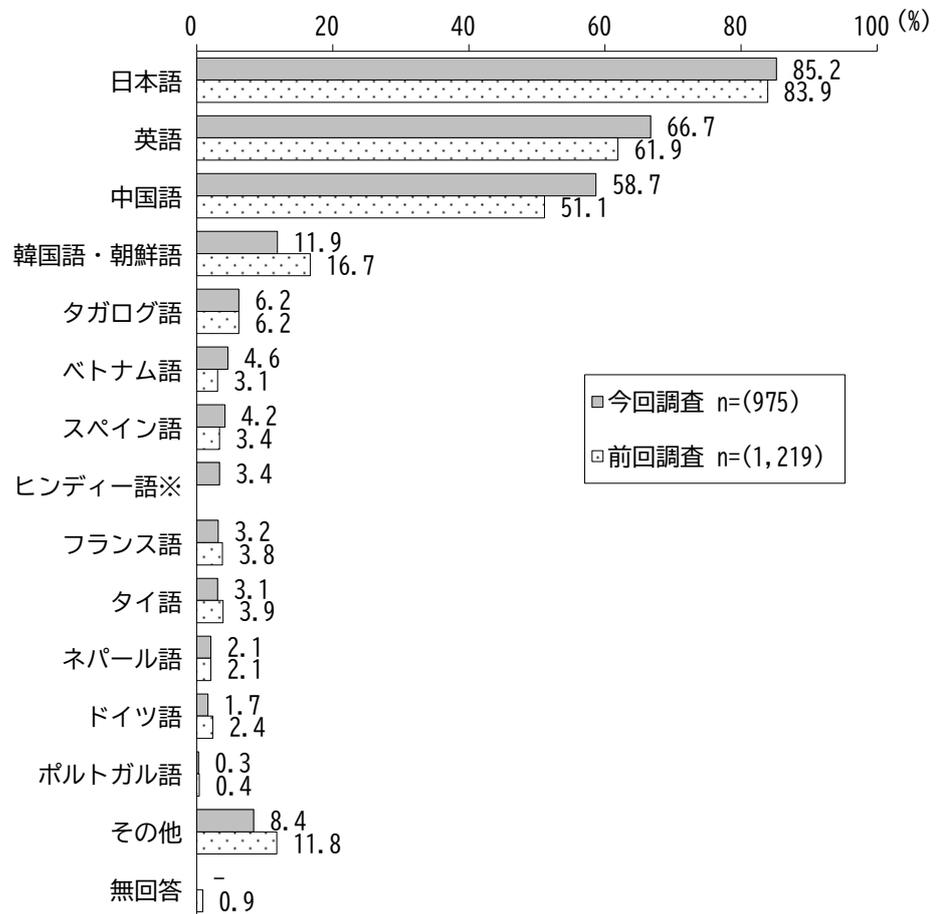
図表 わかる言語（複数回答）



【経年比較】

前回との比較では、「中国語」が7.6ポイント増加している。また、「英語」はやや増加している。一方で、「韓国語・朝鮮語」はやや減少している。

図表 【経年比較】わかる言語（複数回答）



※今回調査より、選択肢「ヒンディー語」が追加された。

### 第3章 外国人意識調査 調査結果の詳細

#### 【国籍別】

「英語」は「アメリカ」「フィリピン」「その他」などで90%以上となっている一方で、「ベトナム」で17.1%、「韓国」で39.1%となっている。

「日本語」がわかる割合は、「韓国」「台湾」など東アジア圏の国・地域で高くなっている。

一方、「インド」などは「日本語」がわかる割合が低い傾向があるが、多くの国籍で70%以上が「日本語」がわかると回答している。

図表 わかる言語（国籍別）

上段:人数 下段:%	調査数	日本語	英語	中国語	韓国語・朝鮮語	タガログ語	ベトナム語	スペイン語
全体	975 100.0%	831 85.2%	650 66.7%	572 58.7%	116 11.9%	60 6.2%	45 4.6%	41 4.2%
中国	472 100.0%	412 87.3%	296 62.7%	471 99.8%	21 4.4%	-	3 0.6%	8 1.7%
韓国	92 100.0%	84 91.3%	36 39.1%	5 5.4%	84 91.3%	-	-	-
朝鮮	3 100.0%	3 100.0%	1 33.3%	-	2 66.7%	-	-	-
ベトナム	41 100.0%	35 85.4%	7 17.1%	4 9.8%	-	-	41 100.0%	-
フィリピン	59 100.0%	46 78.0%	55 93.2%	1 1.7%	2 3.4%	59 100.0%	-	5 8.5%
ネパール	21 100.0%	15 71.4%	13 61.9%	-	-	-	-	-
インド	24 100.0%	13 54.2%	23 95.8%	-	-	-	-	-
台湾	49 100.0%	45 91.8%	37 75.5%	49 100.0%	2 4.1%	-	-	-
ミャンマー	17 100.0%	17 100.0%	8 47.1%	-	-	-	-	-
タイ	28 100.0%	19 67.9%	14 50.0%	-	-	-	-	-
アメリカ	35 100.0%	31 88.6%	35 100.0%	5 14.3%	3 8.6%	-	1 2.9%	4 11.4%
フランス	14 100.0%	8 57.1%	14 100.0%	-	-	-	-	1 7.1%
その他	117 100.0%	101 86.3%	109 93.2%	35 29.9%	2 1.7%	-	-	23 19.7%

上段:人数 下段:%	調査数	ヒンディー語	フランス語	タイ語	ネパール語	ドイツ語	ポルトガル語	その他
全体	975 100.0%	33 3.4%	31 3.2%	30 3.1%	20 2.1%	17 1.7%	3 0.3%	82 8.4%
中国	472 100.0%	-	6 1.3%	2 0.4%	-	5 1.1%	-	9 1.9%
韓国	92 100.0%	-	-	-	-	-	-	-
朝鮮	3 100.0%	-	-	-	-	-	-	-
ベトナム	41 100.0%	-	-	-	-	-	-	-
フィリピン	59 100.0%	-	-	-	-	-	-	1 1.7%
ネパール	21 100.0%	9 42.9%	-	-	20 95.2%	-	-	1 4.8%
インド	24 100.0%	23 95.8%	1 4.2%	-	-	-	-	4 16.7%
台湾	49 100.0%	-	-	-	-	-	-	-
ミャンマー	17 100.0%	-	-	1 5.9%	-	-	-	8 47.1%
タイ	28 100.0%	-	-	26 92.9%	-	-	-	1 3.6%
アメリカ	35 100.0%	-	1 2.9%	-	-	-	-	1 2.9%
フランス	14 100.0%	-	14 100.0%	-	-	2 14.3%	-	1 7.1%
その他	117 100.0%	1 0.9%	9 7.7%	1 0.9%	-	10 8.5%	3 2.6%	56 47.9%

※上記のクロス表は、調査票問3の選択肢の国籍をすべて掲載した。

【日本居住年数別】

「5年～10年未満」で「日本語」、「1年～3年未満」から「5年～10年未満」までで「英語」、「1年～3年未満」で「中国語」、「20年以上」で「韓国語・朝鮮語」の割合が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

「日本語」がわかる割合は、3年未満までは70%台であるのに対し、3年以上は80%以上となっている。「英語」がわかる割合は、年数が経つにつれて低くなる傾向がみられ、「20年以上」で最も低く、40%を超えている。

図表 わかる言語（日本居住年数別）

上段:人数 下段:%	調査数	日本語	英語	中国語	韓国語・朝鮮語	タガログ語	ベトナム語	スペイン語
全体	975 100.0%	831 85.2%	650 66.7%	572 58.7%	116 11.9%	60 6.2%	45 4.6%	41 4.2%
1年未満	38 100.0%	28 73.7%	27 71.1%	24 63.2%	1 2.6%	- -	3 7.9%	2 5.3%
1年～3年未満	199 100.0%	155 77.9%	150 75.4%	137 68.8%	10 5.0%	5 2.5%	3 1.5%	10 5.0%
3年～5年未満	120 100.0%	100 83.3%	91 75.8%	75 62.5%	4 3.3%	10 8.3%	8 6.7%	3 2.5%
5年～10年未満	235 100.0%	212 90.2%	175 74.5%	136 57.9%	25 10.6%	12 5.1%	20 8.5%	13 5.5%
10年～20年未満	215 100.0%	188 87.4%	136 63.3%	135 62.8%	24 11.2%	16 7.4%	10 4.7%	9 4.2%
20年以上	155 100.0%	137 88.4%	64 41.3%	56 36.1%	52 33.5%	17 11.0%	1 0.6%	3 1.9%

上段:人数 下段:%	調査数	ヒンディー語	フランス語	タイ語	ネパール語	ドイツ語	ポルトガル語	その他
全体	975 100.0%	33 3.4%	31 3.2%	30 3.1%	20 2.1%	17 1.7%	3 0.3%	82 8.4%
1年未満	38 100.0%	3 7.9%	- -	1 2.6%	3 7.9%	1 2.6%	- -	5 13.2%
1年～3年未満	199 100.0%	6 3.0%	7 3.5%	6 3.0%	8 4.0%	5 2.5%	- -	18 9.0%
3年～5年未満	120 100.0%	4 3.3%	4 3.3%	2 1.7%	3 2.5%	2 1.7%	- -	11 9.2%
5年～10年未満	235 100.0%	4 1.7%	14 6.0%	8 3.4%	2 0.9%	4 1.7%	2 0.9%	26 11.1%
10年～20年未満	215 100.0%	6 2.8%	4 1.9%	7 3.3%	4 1.9%	4 1.9%	1 0.5%	14 6.5%
20年以上	155 100.0%	9 5.8%	2 1.3%	5 3.2%	- -	1 0.6%	- -	7 4.5%

※日本居住年数別のクロス表は、「50年以上」が回答数30以下であるため、「20年以上～50年未満」「50年以上」を合わせて「20年以上」として掲載している（以降同様）。

【年齢別】

「日本語」「英語」「中国語」は、年齢が若いほど割合がおおむね高い傾向にある。

「18～29歳」で「英語」「中国語」、「30～39歳」で「英語」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。「50～59歳」「60～69歳」で「韓国語・朝鮮語」「タガログ語」が全体平均と比較して5ポイント以上高いものの、「英語」「中国語」は5ポイント以上低い。

図表 わかる言語（年齢別）

上段:人数 下段:%	調査数	日本語	英語	中国語	韓国語・朝鮮語	タガログ語	ベトナム語	スペイン語
全体	975 100.0%	831 85.2%	650 66.7%	572 58.7%	116 11.9%	60 6.2%	45 4.6%	41 4.2%
18～29歳	233 100.0%	210 90.1%	171 73.4%	158 67.8%	16 6.9%	7 3.0%	23 9.9%	7 3.0%
30～39歳	385 100.0%	341 88.6%	297 77.1%	233 60.5%	34 8.8%	19 4.9%	19 4.9%	22 5.7%
40～49歳	185 100.0%	146 78.9%	112 60.5%	109 58.9%	21 11.4%	12 6.5%	3 1.6%	8 4.3%
50～59歳	103 100.0%	82 79.6%	50 48.5%	48 46.6%	21 20.4%	15 14.6%	-	3 2.9%
60～69歳	47 100.0%	37 78.7%	12 25.5%	16 34.0%	18 38.3%	5 10.6%	-	1 2.1%
70歳以上	19 100.0%	13 68.4%	6 31.6%	6 31.6%	6 31.6%	1 5.3%	-	-

上段:人数 下段:%	調査数	ヒンディー語	フランス語	タイ語	ネパール語	ドイツ語	ポルトガル語	その他
全体	975 100.0%	33 3.4%	31 3.2%	30 3.1%	20 2.1%	17 1.7%	3 0.3%	82 8.4%
18～29歳	233 100.0%	5 2.1%	5 2.1%	1 0.4%	10 4.3%	5 2.1%	-	20 8.6%
30～39歳	385 100.0%	14 3.6%	13 3.4%	14 3.6%	6 1.6%	7 1.8%	1 0.3%	41 10.6%
40～49歳	185 100.0%	9 4.9%	10 5.4%	9 4.9%	2 1.1%	5 2.7%	1 0.5%	14 7.6%
50～59歳	103 100.0%	4 3.9%	3 2.9%	4 3.9%	2 1.9%	-	1 1.0%	5 4.9%
60～69歳	47 100.0%	1 2.1%	-	2 4.3%	-	-	-	2 4.3%
70歳以上	19 100.0%	-	-	-	-	-	-	-

【居住地域別】

「英語」は「馬道地区」「浅草橋地区」「浅草寿地区」「金杉地区」で70%台となっている一方で、「上野地区」で48.6%、「清川地区」で58.2%となっている。「中国語」は「雷門地区」で70%、「入谷地区」「浅草橋地区」で60%台となっている。

「日本語」がわかる割合は、「上野地区」を除き、いずれの地区も80%以上となっており、特に「馬道地区」「東上野地区」では90%台となっている。

図表 わかる言語（居住地域別）

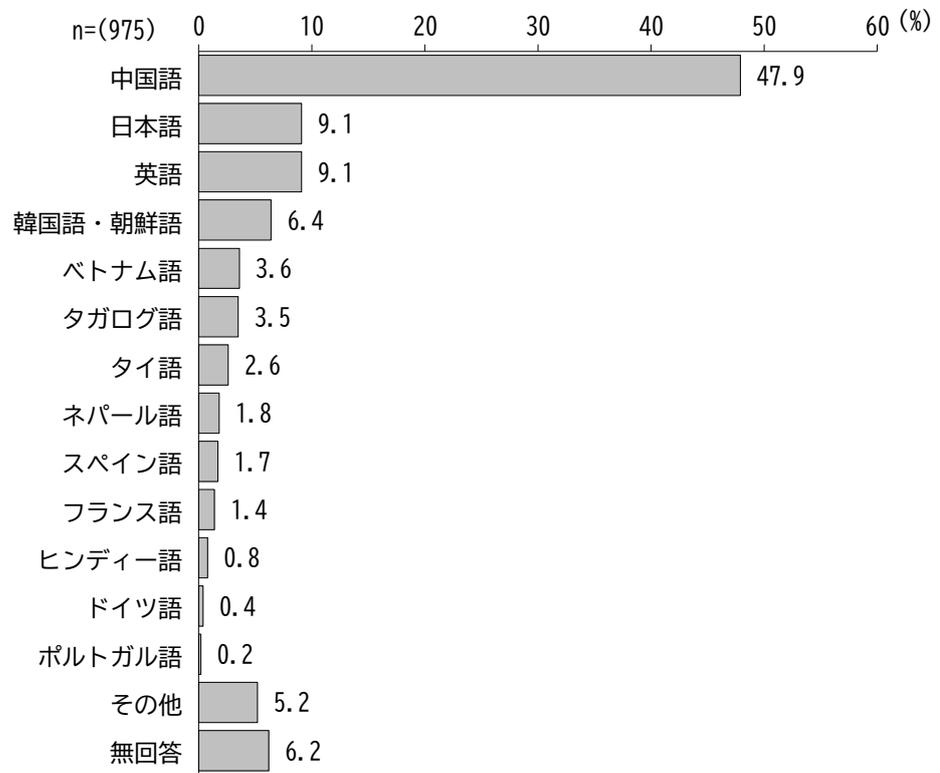
	調査数	上段:人数 下段:%		日本語	英語	中国語	韓国語・朝鮮語	タガログ語	ベトナム語	スペイン語
		人数	%							
全体	975	975	100.0%	831	650	572	116	60	45	41
				85.2%	66.7%	58.7%	11.9%	6.2%	4.6%	4.2%
竹町地区	40	40	100.0%	33	27	18	8	2	-	2
				82.5%	67.5%	45.0%	20.0%	5.0%	-	5.0%
東上野地区	133	133	100.0%	121	93	72	15	13	10	4
				91.0%	69.9%	54.1%	11.3%	9.8%	7.5%	3.0%
上野地区	105	105	100.0%	80	51	61	13	4	7	4
				76.2%	48.6%	58.1%	12.4%	3.8%	6.7%	3.8%
入谷地区	211	211	100.0%	181	133	142	16	6	11	8
				85.8%	63.0%	67.3%	7.6%	2.8%	5.2%	3.8%
金杉地区	46	46	100.0%	39	33	26	9	4	1	1
				84.8%	71.7%	56.5%	19.6%	8.7%	2.2%	2.2%
谷中地区	21	21	100.0%	18	13	4	4	-	-	-
				85.7%	61.9%	19.0%	19.0%	-	-	-
浅草橋地区	128	128	100.0%	111	95	81	14	13	7	6
				86.7%	74.2%	63.3%	10.9%	10.2%	5.5%	4.7%
浅草寿地区	104	104	100.0%	89	77	55	15	6	3	6
				85.6%	74.0%	52.9%	14.4%	5.8%	2.9%	5.8%
雷門地区	53	53	100.0%	45	37	38	3	2	3	4
				84.9%	69.8%	71.7%	5.7%	3.8%	5.7%	7.5%
馬道地区	53	53	100.0%	50	41	30	9	6	-	2
				94.3%	77.4%	56.6%	17.0%	11.3%	-	3.8%
清川地区	67	67	100.0%	56	39	39	8	3	2	4
				83.6%	58.2%	58.2%	11.9%	4.5%	3.0%	6.0%

	調査数	上段:人数 下段:%		ヒンディー語	フランス語	タイ語	ネパール語	ドイツ語	ポルトガル語	その他
		人数	%							
全体	975	975	100.0%	33	31	30	20	17	3	82
				3.4%	3.2%	3.1%	2.1%	1.7%	0.3%	8.4%
竹町地区	40	40	100.0%	4	2	2	-	1	-	2
				10.0%	5.0%	5.0%	-	2.5%	-	5.0%
東上野地区	133	133	100.0%	8	3	1	4	2	-	14
				6.0%	2.3%	0.8%	3.0%	1.5%	-	10.5%
上野地区	105	105	100.0%	3	2	5	2	-	-	5
				2.9%	1.9%	4.8%	1.9%	-	-	4.8%
入谷地区	211	211	100.0%	4	4	5	7	3	2	20
				1.9%	1.9%	2.4%	3.3%	1.4%	0.9%	9.5%
金杉地区	46	46	100.0%	1	3	4	1	1	-	6
				2.2%	6.5%	8.7%	2.2%	2.2%	-	13.0%
谷中地区	21	21	100.0%	1	1	4	2	-	-	1
				4.8%	4.8%	19.0%	9.5%	-	-	4.8%
浅草橋地区	128	128	100.0%	3	3	2	1	2	1	5
				2.3%	2.3%	1.6%	0.8%	1.6%	0.8%	3.9%
浅草寿地区	104	104	100.0%	4	5	4	3	3	-	7
				3.8%	4.8%	3.8%	2.9%	2.9%	-	6.7%
雷門地区	53	53	100.0%	1	3	-	-	1	-	9
				1.9%	5.7%	-	-	1.9%	-	17.0%
馬道地区	53	53	100.0%	-	3	-	-	3	-	4
				-	5.7%	-	-	5.7%	-	7.5%
清川地区	67	67	100.0%	-	1	2	-	1	-	9
				-	1.5%	3.0%	-	1.5%	-	13.4%

【② 最も得意な言語】

わかる言語の中で、最も得意な言語は、「中国語」(47.9%)が最も高く、次いで、「日本語」「英語」(ともに9.1%)、「韓国語・朝鮮語」(6.4%)となっている。

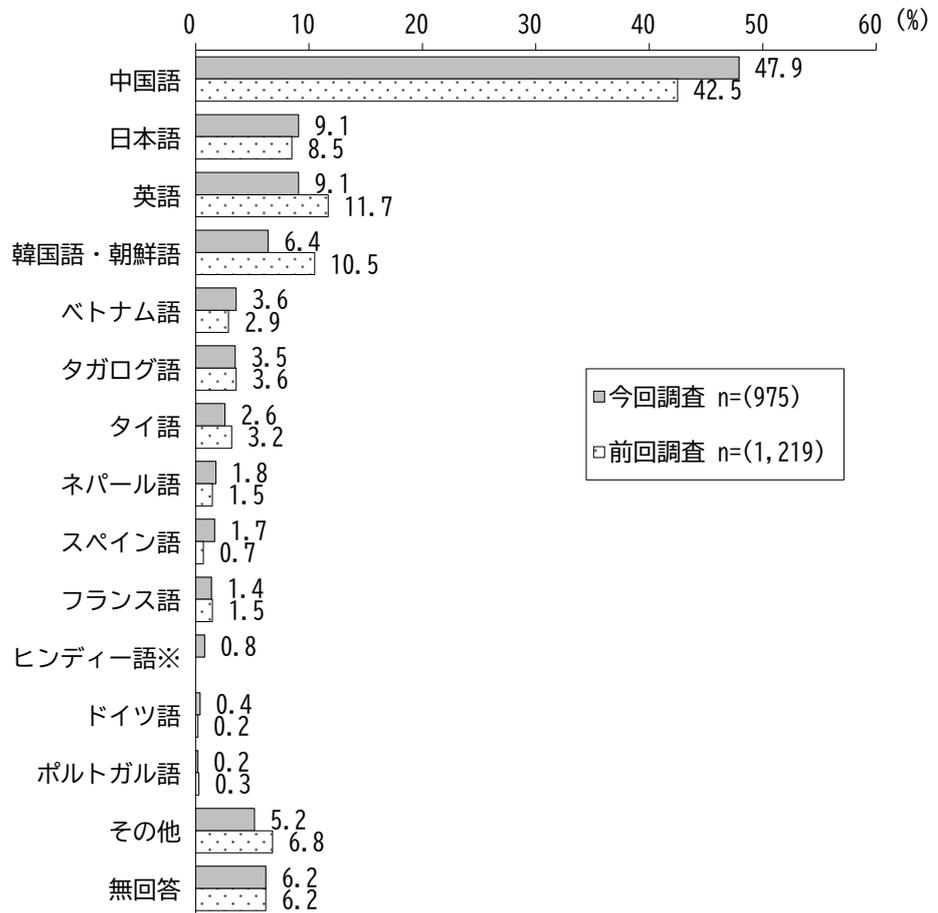
図表 最も得意な言語 (単一回答)



【経年比較】

前回との比較では、「中国語」が5.4ポイント増加している。また、「日本語」は、前回4位から今回2位へと上昇している。

図表 【経年比較】最も得意な言語（単一回答）



※今回調査より、選択肢「ヒンディー語」が追加された。

### 第3章 外国人意識調査 調査結果の詳細

#### 【国籍別】

「韓国」で「日本語」の割合が約30%となっており、全体平均と比較して5ポイント以上高い。「英語」の割合は「アメリカ」とともに「その他」で高くなっている。

図表 最も得意な言語（国籍別）

上段:人数 下段:%	調査数	中国語	日本語	英語	韓国語・朝鮮語	ベトナム語	タガログ語	タイ語	ネパール語
全体	975 100.0%	467 47.9%	89 9.1%	89 9.1%	62 6.4%	35 3.6%	34 3.5%	25 2.6%	18 1.8%
中国	472 100.0%	412 87.3%	30 6.4%	- -	4 0.8%	- -	- -	- -	- -
韓国	92 100.0%	- -	28 30.4%	1 1.1%	58 63.0%	- -	- -	- -	- -
朝鮮	3 100.0%	- -	3 100.0%	- -	- -	- -	- -	- -	- -
ベトナム	41 100.0%	- -	2 4.9%	- -	- -	35 85.4%	- -	- -	- -
フィリピン	59 100.0%	- -	1 1.7%	7 11.9%	- -	- -	34 57.6%	- -	- -
ネパール	21 100.0%	- -	1 4.8%	1 4.8%	- -	- -	- -	- -	18 85.7%
インド	24 100.0%	- -	- -	11 45.8%	- -	- -	- -	- -	- -
台湾	49 100.0%	42 85.7%	4 8.2%	3 6.1%	- -	- -	- -	- -	- -
ミャンマー	17 100.0%	- -	8 47.1%	- -	- -	- -	- -	- -	- -
タイ	28 100.0%	- -	1 3.6%	- -	- -	- -	- -	25 89.3%	- -
アメリカ	35 100.0%	- -	2 5.7%	32 91.4%	- -	- -	- -	- -	- -
フランス	14 100.0%	- -	- -	2 14.3%	- -	- -	- -	- -	- -
その他	117 100.0%	11 9.4%	9 7.7%	32 27.4%	- -	- -	- -	- -	- -

上段:人数 下段:%	調査数	スペイン語	フランス語	ヒンディー語	ドイツ語	ポルトガル語	その他	無回答
全体	975 100.0%	17 1.7%	14 1.4%	8 0.8%	4 0.4%	2 0.2%	51 5.2%	60 6.2%
中国	472 100.0%	- -	- -	- -	1 0.2%	- -	5 1.1%	20 4.2%
韓国	92 100.0%	- -	- -	- -	- -	- -	- -	5 5.4%
朝鮮	3 100.0%	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
ベトナム	41 100.0%	- -	- -	- -	- -	- -	- -	4 9.8%
フィリピン	59 100.0%	- -	- -	- -	- -	- -	1 1.7%	16 27.1%
ネパール	21 100.0%	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 4.8%
インド	24 100.0%	- -	- -	8 33.3%	- -	- -	2 8.3%	3 12.5%
台湾	49 100.0%	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
ミャンマー	17 100.0%	- -	- -	- -	- -	- -	8 47.1%	1 5.9%
タイ	28 100.0%	- -	- -	- -	- -	- -	- -	2 7.1%
アメリカ	35 100.0%	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 2.9%
フランス	14 100.0%	- -	12 85.7%	- -	- -	- -	- -	- -
その他	117 100.0%	17 14.5%	2 1.7%	- -	3 2.6%	2 1.7%	35 29.9%	6 5.1%

※上記のクロス表は、調査票問3の選択肢の国籍をすべて掲載した。

【日本居住年数別】

「中国語」の割合は「1年未満」「1年～3年未満」で全体平均と比較して5ポイント以上高く、「20年以上」で23.2%と低くなっている。「20年以上」で「日本語」「韓国語・朝鮮語」の割合が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 最も得意な言語（日本居住年数別）

上段:人数 下段:%	調査数	中国語	日本語	英語	韓国語・朝鮮語	ベトナム語	タガログ語	タイ語	ネパール語
全体	975 100.0%	467 47.9%	89 9.1%	89 9.1%	62 6.4%	35 3.6%	34 3.5%	25 2.6%	18 1.8%
1年未満	38 100.0%	21 55.3%	- -	4 10.5%	1 2.6%	3 7.9%	- -	1 2.6%	3 7.9%
1年～3年未満	199 100.0%	121 60.8%	15 7.5%	17 8.5%	3 1.5%	3 1.5%	2 1.0%	5 2.5%	6 3.0%
3年～5年未満	120 100.0%	63 52.5%	6 5.0%	14 11.7%	3 2.5%	7 5.8%	4 3.3%	2 1.7%	3 2.5%
5年～10年未満	235 100.0%	113 48.1%	12 5.1%	22 9.4%	16 6.8%	15 6.4%	4 1.7%	6 2.6%	2 0.9%
10年～20年未満	215 100.0%	106 49.3%	13 6.0%	23 10.7%	14 6.5%	7 3.3%	11 5.1%	6 2.8%	4 1.9%
20年以上	155 100.0%	36 23.2%	41 26.5%	8 5.2%	25 16.1%	- -	13 8.4%	4 2.6%	- -

上段:人数 下段:%	調査数	スペイン語	フランス語	ヒンディー語	ドイツ語	ポルトガル語	その他	無回答
全体	975 100.0%	17 1.7%	14 1.4%	8 0.8%	4 0.4%	2 0.2%	51 5.2%	60 6.2%
1年未満	38 100.0%	2 5.3%	- -	- -	- -	- -	3 7.9%	- -
1年～3年未満	199 100.0%	3 1.5%	4 2.0%	- -	- -	- -	12 6.0%	8 4.0%
3年～5年未満	120 100.0%	- -	3 2.5%	2 1.7%	- -	- -	6 5.0%	7 5.8%
5年～10年未満	235 100.0%	8 3.4%	5 2.1%	- -	2 0.9%	2 0.9%	15 6.4%	13 5.5%
10年～20年未満	215 100.0%	3 1.4%	2 0.9%	1 0.5%	1 0.5%	- -	9 4.2%	15 7.0%
20年以上	155 100.0%	1 0.6%	- -	5 3.2%	1 0.6%	- -	6 3.9%	15 9.7%

### 第3章 外国人意識調査 調査結果の詳細

#### 【居住地域別】

「竹町地区」で「韓国語・朝鮮語」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

「中国語」は「雷門地区」「入谷地区」「馬道地区」で50%台となっている。「日本語」が最も得意な割合は、「浅草橋地区」「浅草寿地区」「馬道地区」で10%台となっている。

図表 最も得意な言語（居住地域別）

上段:人数 下段:%	調査数	中国語	日本語	英語	韓国語・朝鮮語	ベトナム語	タガログ語	タイ語	ネパール語
全体	975 100.0%	467 47.9%	89 9.1%	89 9.1%	62 6.4%	35 3.6%	34 3.5%	25 2.6%	18 1.8%
竹町地区	40 100.0%	16 40.0%	1 2.5%	4 10.0%	7 17.5%	- -	1 2.5%	2 5.0%	- -
東上野地区	133 100.0%	61 45.9%	11 8.3%	13 9.8%	7 5.3%	8 6.0%	9 6.8%	1 0.8%	3 2.3%
上野地区	105 100.0%	52 49.5%	10 9.5%	6 5.7%	7 6.7%	6 5.7%	2 1.9%	4 3.8%	2 1.9%
入谷地区	211 100.0%	114 54.0%	16 7.6%	20 9.5%	11 5.2%	7 3.3%	4 1.9%	4 1.9%	7 3.3%
金杉地区	46 100.0%	22 47.8%	4 8.7%	3 6.5%	3 6.5%	1 2.2%	3 6.5%	3 6.5%	1 2.2%
谷中地区	21 100.0%	4 19.0%	2 9.5%	5 23.8%	2 9.5%	- -	- -	4 19.0%	2 9.5%
浅草橋地区	128 100.0%	63 49.2%	15 11.7%	12 9.4%	7 5.5%	6 4.7%	5 3.9%	2 1.6%	- -
浅草寿地区	104 100.0%	42 40.4%	14 13.5%	11 10.6%	7 6.7%	3 2.9%	4 3.8%	3 2.9%	3 2.9%
雷門地区	53 100.0%	29 54.7%	3 5.7%	2 3.8%	1 1.9%	1 1.9%	2 3.8%	- -	- -
馬道地区	53 100.0%	27 50.9%	7 13.2%	5 9.4%	4 7.5%	- -	3 5.7%	- -	- -
清川地区	67 100.0%	31 46.3%	6 9.0%	7 10.4%	5 7.5%	2 3.0%	- -	1 1.5%	- -

上段:人数 下段:%	調査数	スペイン語	フランス語	ヒンディー語	ドイツ語	ポルトガル語	その他	無回答
全体	975 100.0%	17 1.7%	14 1.4%	8 0.8%	4 0.4%	2 0.2%	51 5.2%	60 6.2%
竹町地区	40 100.0%	- -	2 5.0%	3 7.5%	- -	- -	2 5.0%	2 5.0%
東上野地区	133 100.0%	1 0.8%	1 0.8%	1 0.8%	- -	- -	9 6.8%	8 6.0%
上野地区	105 100.0%	2 1.9%	- -	- -	- -	- -	4 3.8%	10 9.5%
入谷地区	211 100.0%	2 0.9%	2 0.9%	- -	- -	2 0.9%	12 5.7%	10 4.7%
金杉地区	46 100.0%	- -	1 2.2%	- -	1 2.2%	- -	4 8.7%	- -
谷中地区	21 100.0%	- -	1 4.8%	- -	- -	- -	1 4.8%	- -
浅草橋地区	128 100.0%	3 2.3%	1 0.8%	1 0.8%	- -	- -	3 2.3%	10 7.8%
浅草寿地区	104 100.0%	3 2.9%	2 1.9%	1 1.0%	1 1.0%	- -	4 3.8%	6 5.8%
雷門地区	53 100.0%	4 7.5%	1 1.9%	- -	- -	- -	6 11.3%	4 7.5%
馬道地区	53 100.0%	1 1.9%	2 3.8%	- -	1 1.9%	- -	1 1.9%	2 3.8%
清川地区	67 100.0%	1 1.5%	1 1.5%	- -	1 1.5%	- -	5 7.5%	7 10.4%

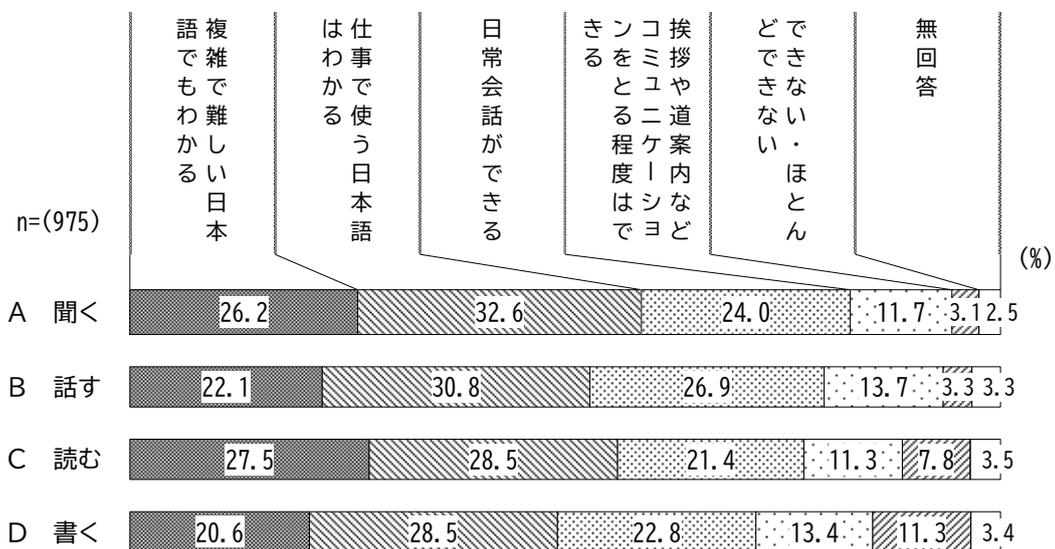
(2) 日本語の習得度

問16 あなたはどのくらい日本語ができますか。(それぞれひとつに○)

「A. 聞く」「B. 話す」「C. 読む」の習得度は、「複雑で難しい日本語でもわかる」「仕事で使う日本語はわかる」「日常会話ができる」の合計の割合が80%前後となっている。「D. 書く」の習得度は、「複雑で難しい日本語でもわかる」「仕事で使う日本語はわかる」「日常会話ができる」の合計の割合が71.9%となっている。

一方、「できない・ほとんどできない」は、「聞く」「話す」は3%台だが、「読む」は7.8%、「書く」は11.3%となっている。

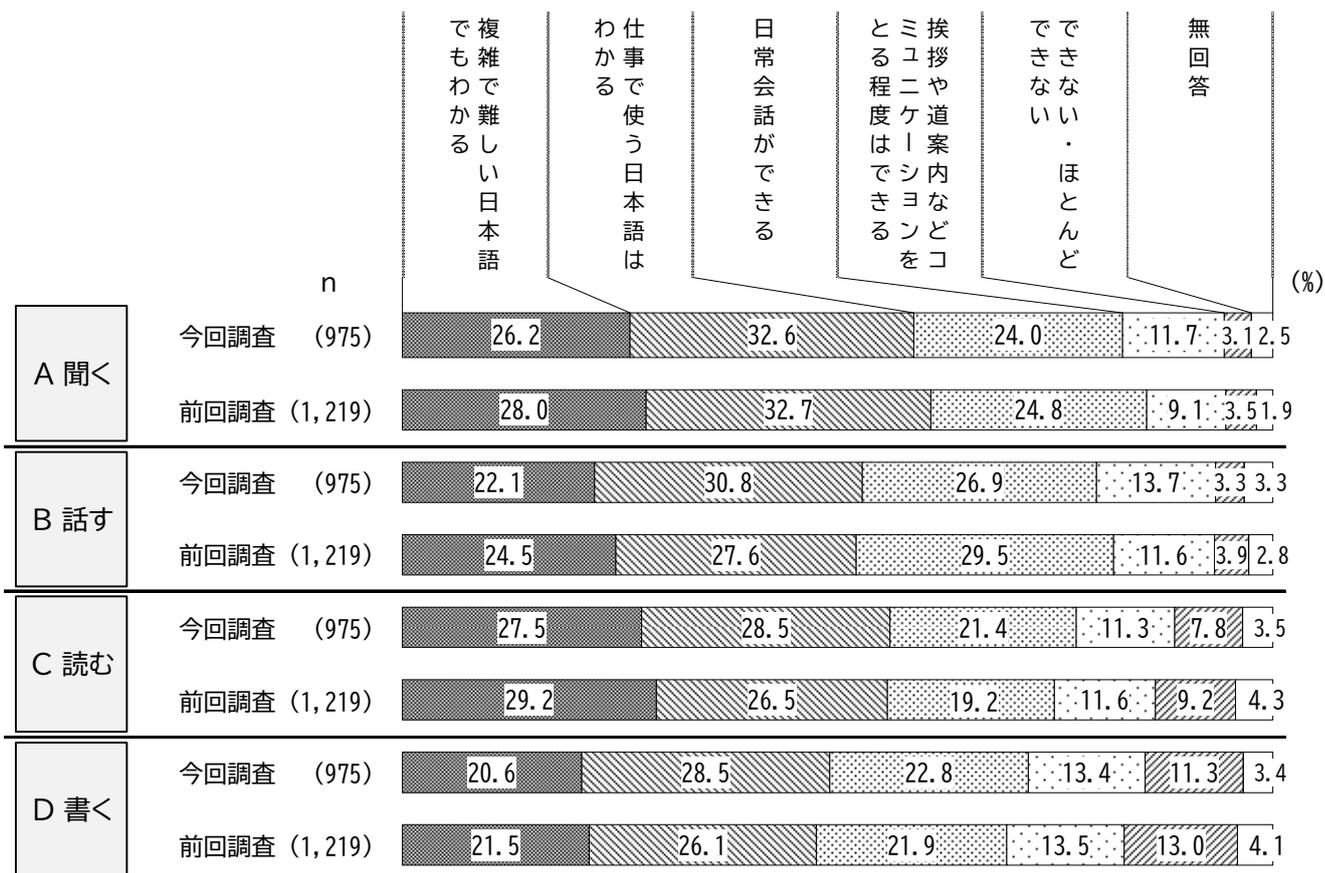
図表 日本語の習得度 (単一回答)



【経年比較】

前回との比較で、「複雑で難しい日本語でもわかる」「仕事で使う日本語はわかる」「日常会話ができる」の合計の割合をみると、「A. 聞く」「B. 話す」は前回からわずかに減少している一方、「C. 読む」「D. 書く」はわずかに増加している。

図表 【経年比較】日本語の習得度（単一回答）

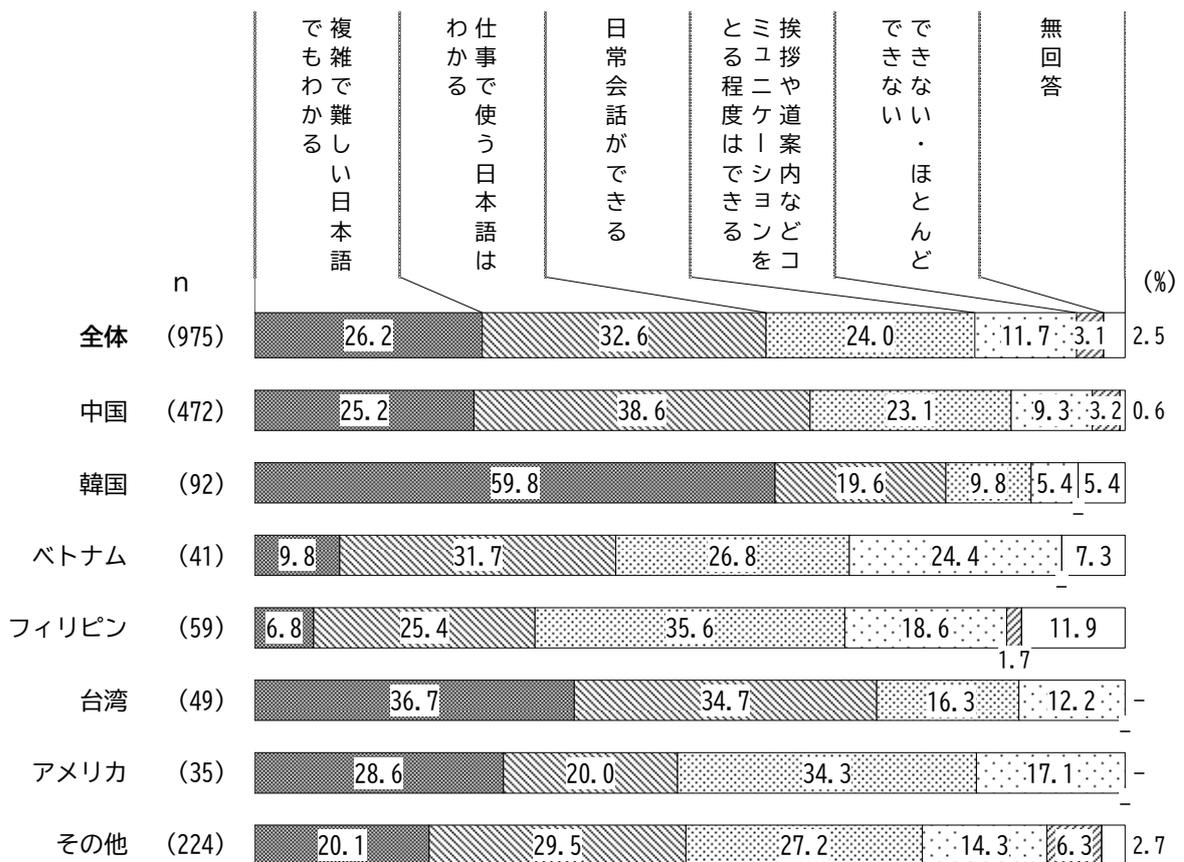


【A. 聞く（国籍別）】

「複雑で難しい日本語でもわかる」は「韓国」「台湾」で全体平均と比較して5ポイント以上高い一方で、「フィリピン」「ベトナム」で低くなっている。

「日常会話ができる」レベル以上でみると、「韓国」「台湾」「中国」「アメリカ」といった国・地域では80%台となっているが、「その他」では76.8%、「ベトナム」「フィリピン」では60%台となっており、国籍によって習得状況に違いがみられる。

図表 日本語の習得度【聞く】（国籍別）

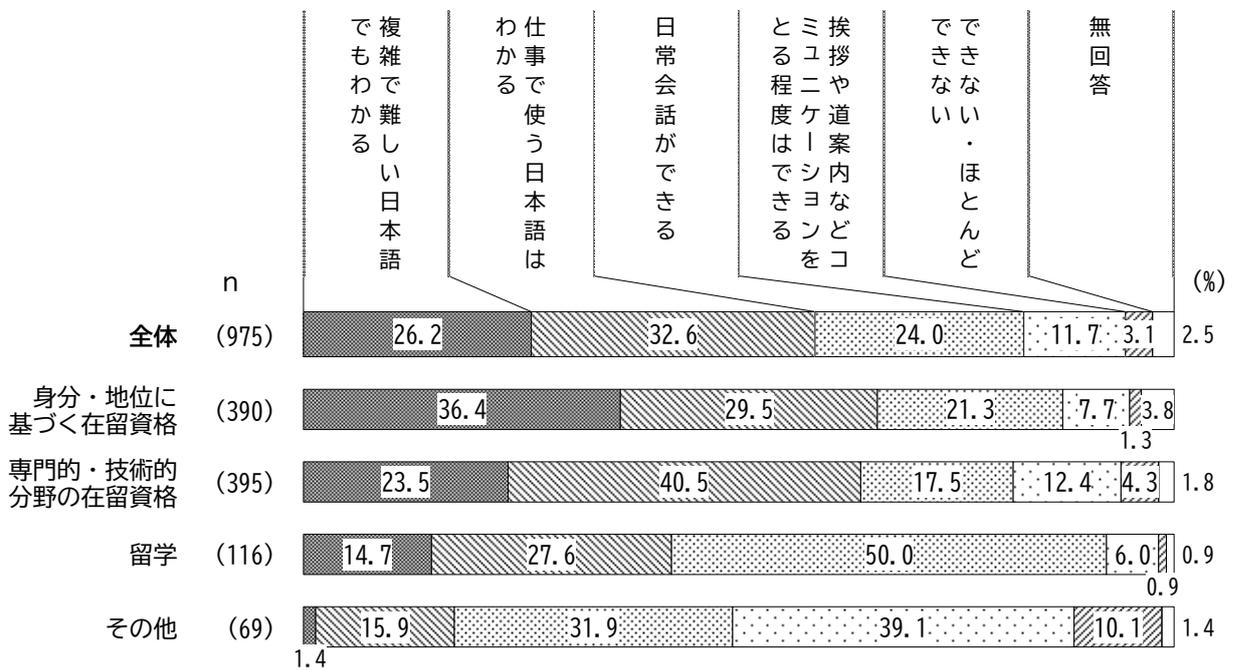


【A. 聞く（在留資格別）】

「留学」及び「身分・地位に基づく在留資格」では、「日常会話ができる」レベル以上が90%前後を占める。しかし、「身分・地位に基づく在留資格」では、「複雑で難しい日本語でもわかる」が高いが、「留学」では低い。

一方、「専門的・技術的分野の在留資格」は、「仕事で使う日本語はわかる」が40.5%で、他の在留資格と比較して最も高いが、「日常会話ができる」レベルに満たない人も16.7%で、日本語をあまり使わない仕事に就いている人がいると考えられる。また、「その他」では、「できない・ほとんどできない」が10.1%となっている。

図表 日本語の習得度【聞く】（在留資格別）



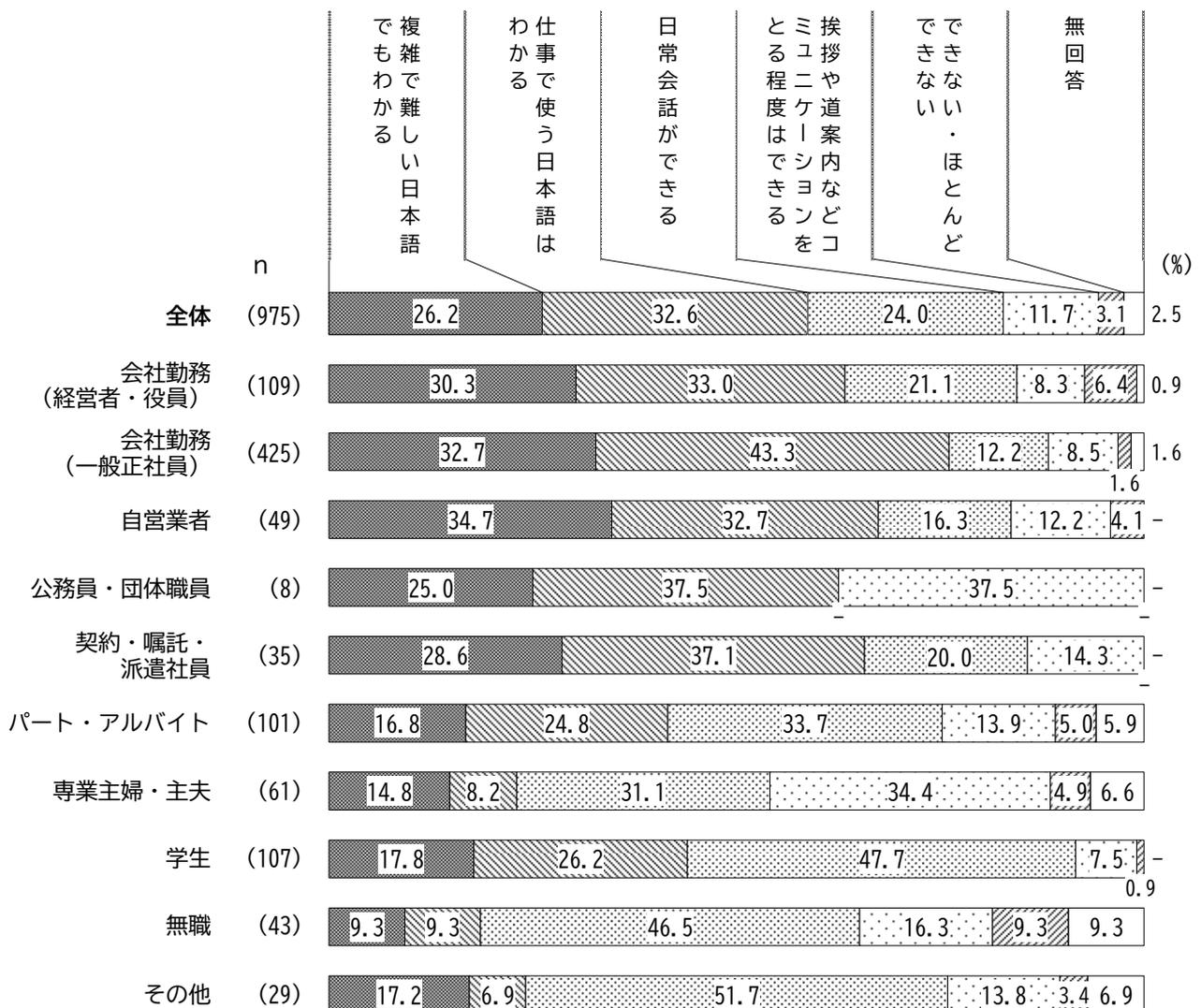
※「在留資格」として調査票問4の選択肢のうち、「永住者・特別永住者」「日本人の配偶者等」「永住者の配偶者等」「定住者」を「身分・地位に基づく在留資格」、「教授」「芸術」「宗教」「報道」「高度専門職」「経営・管理」「法律・会計業務」「医療」「研究」「教育」「技術・人文知識・国際業務」「企業内転勤」「介護」「興行」「技能」「特定活動」「特定技能」を「専門的・技術的分野の在留資格」、「留学」を「留学」、「外交」「公用」「技能実習」「文化活動」「短期滞在」「研修」「家族滞在」を「その他」として集計している（以降同様）。

【A. 聞く（職業別）】

「会社勤務（一般正社員）」で「仕事で使う日本語はわかる」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

「仕事で使う日本語はわかる」レベル以上の割合が、「会社勤務（一般正社員）」では70%台半ばであるのに対し、「パート・アルバイト」で40%超えにとどまっており、日本語の習得状況が雇用形態に関係している可能性も考えられる。また、「専業主婦・主夫」で「日常会話ができる」レベルに満たない割合が約40%で、他の職業と比較して最も高くなっている。

図表 日本語の習得度【聞く】（職業別）

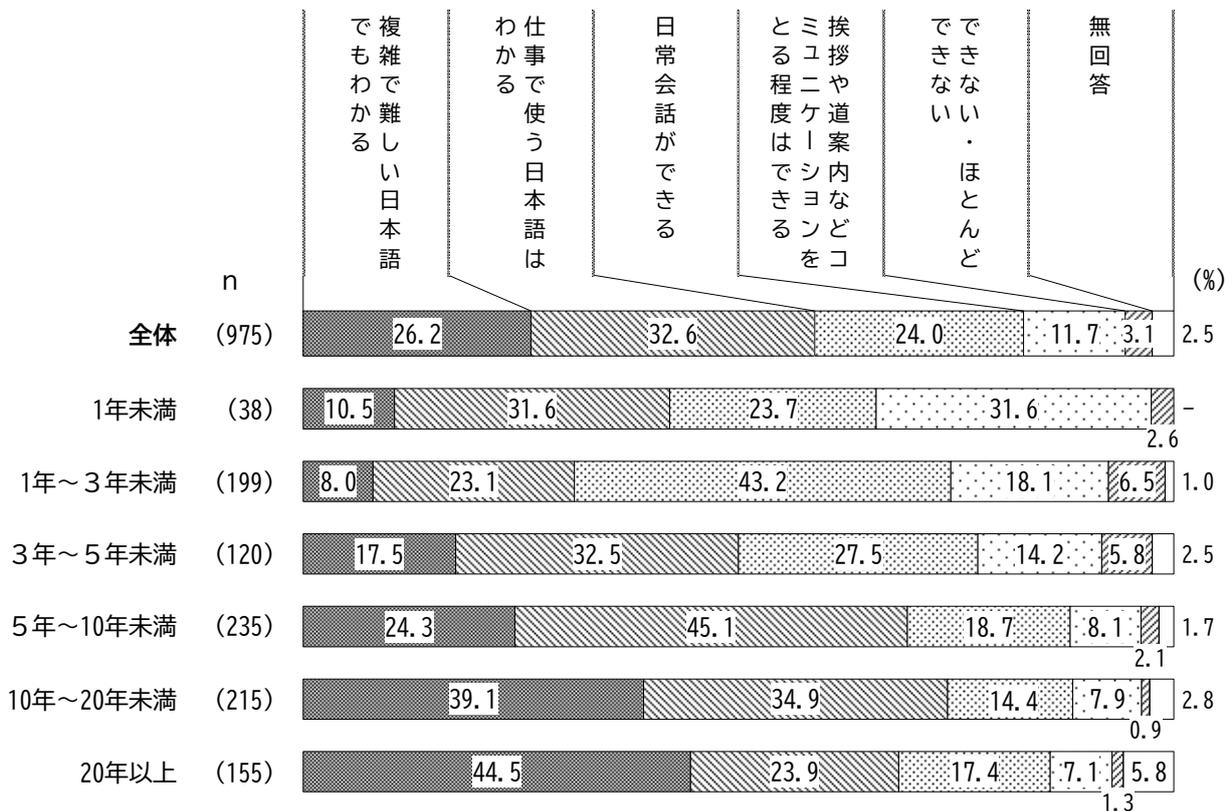


【A. 聞く（日本居住年数別）】

居住年数が経つにつれて、「日常会話ができる」レベル以上の割合が高くなる傾向がみられる。

「1年未満」と「20年以上」を除いて、居住年数が経つにつれて、「仕事で使う日本語はわかる」レベル以上の割合が高くなり、「10年～20年未満」では70%台半ばとなっている。

図表 日本語の習得度【聞く】（日本居住年数別）

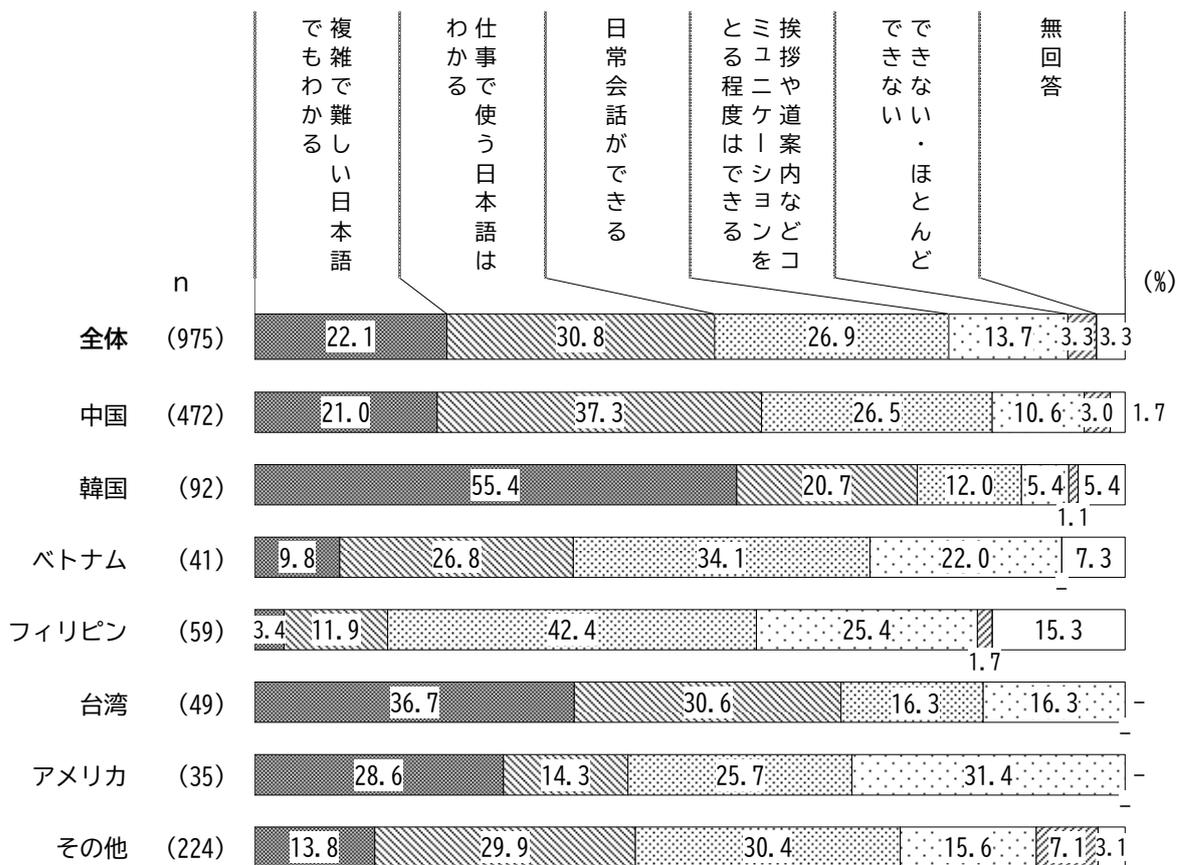


【B. 話す（国籍別）】

「複雑で難しい日本語でもわかる」は「韓国」「台湾」で全体平均と比較して5ポイント以上高い一方で、「ベトナム」「フィリピン」で5ポイント以上低くなっている。

「日常会話ができる」レベル以上でみると、「韓国」「中国」「台湾」など東アジアの国・地域では80%以上になるが、「フィリピン」では50%台半ばとなっており、国籍によって習得状況の違いがみられる。

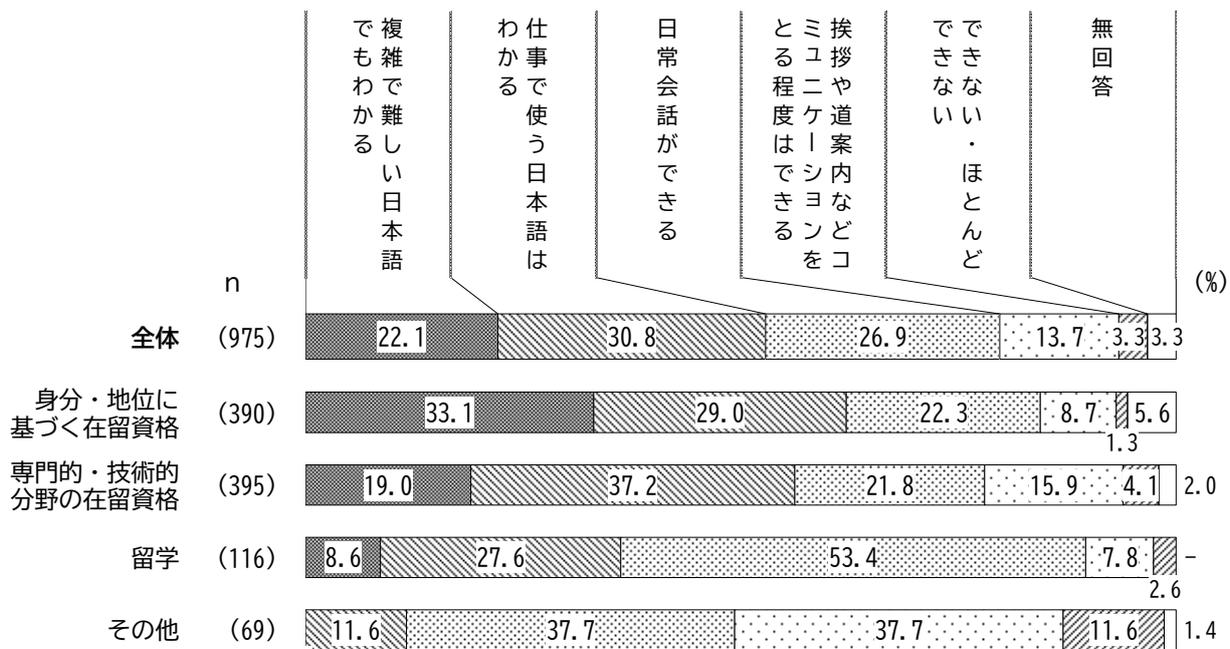
図表 日本語の習得度【話す】（国籍別）



【B. 話す（在留資格別）】

「留学」「身分・地位に基づく在留資格」では、「日常会話ができる」レベル以上が80%台で、他の在留資格と比較して高い。一方、「その他」は、「日常会話ができる」レベルに満たない割合が約50%となっている。

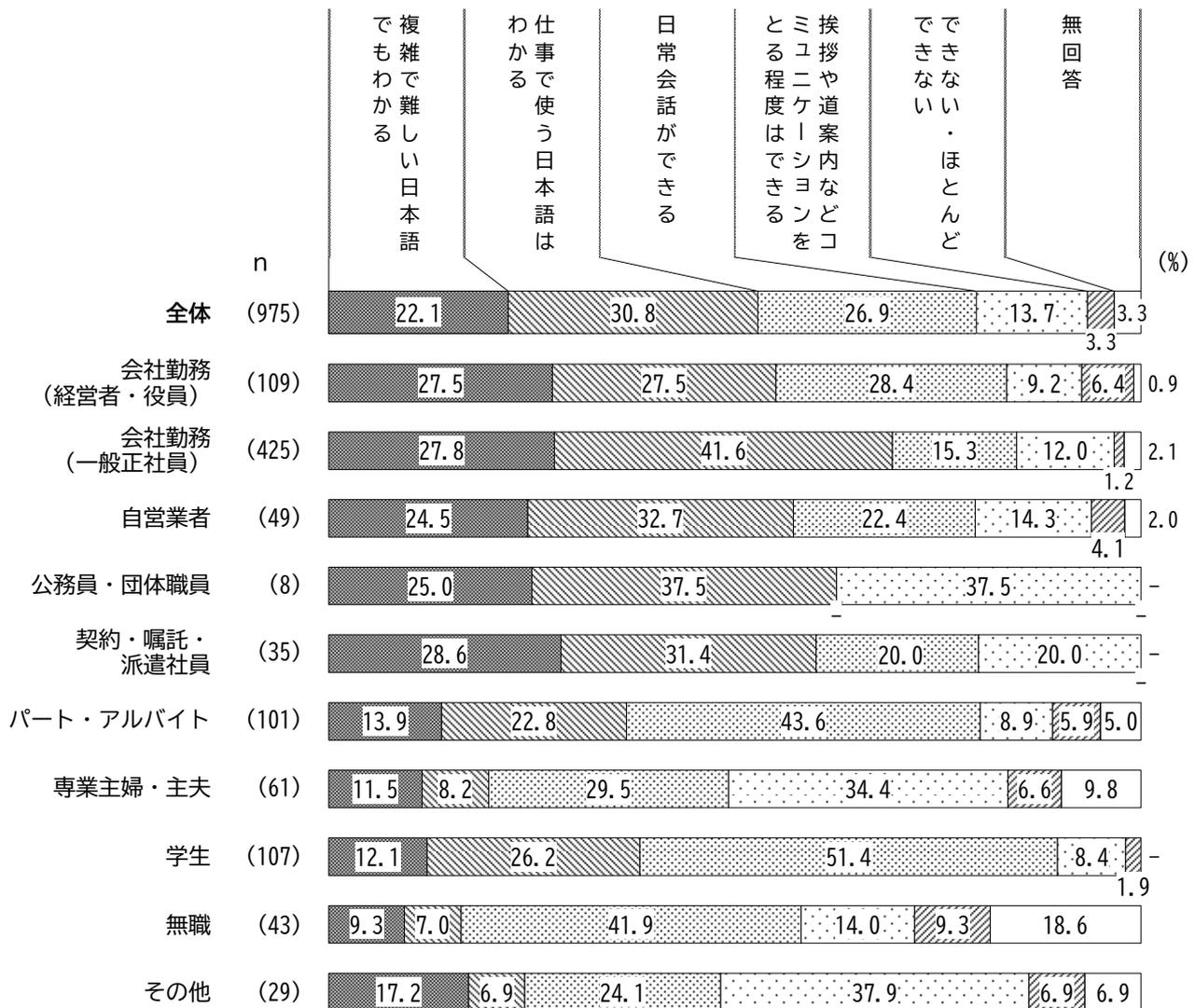
図表 日本語の習得度【話す】（在留資格別）



【B. 話す（職業別）】

「仕事で使う日本語はわかる」レベル以上の割合が、「会社勤務（一般正社員）」では約70%であるのに対し、「パート・アルバイト」で30%台半ばにとどまっており、日本語の習得状況が雇用形態に関係している可能性も考えられる。また、「専業主婦・主夫」で「日常会話ができる」レベルに満たない割合が40%を超え、他の職業と比較して高くなっている。

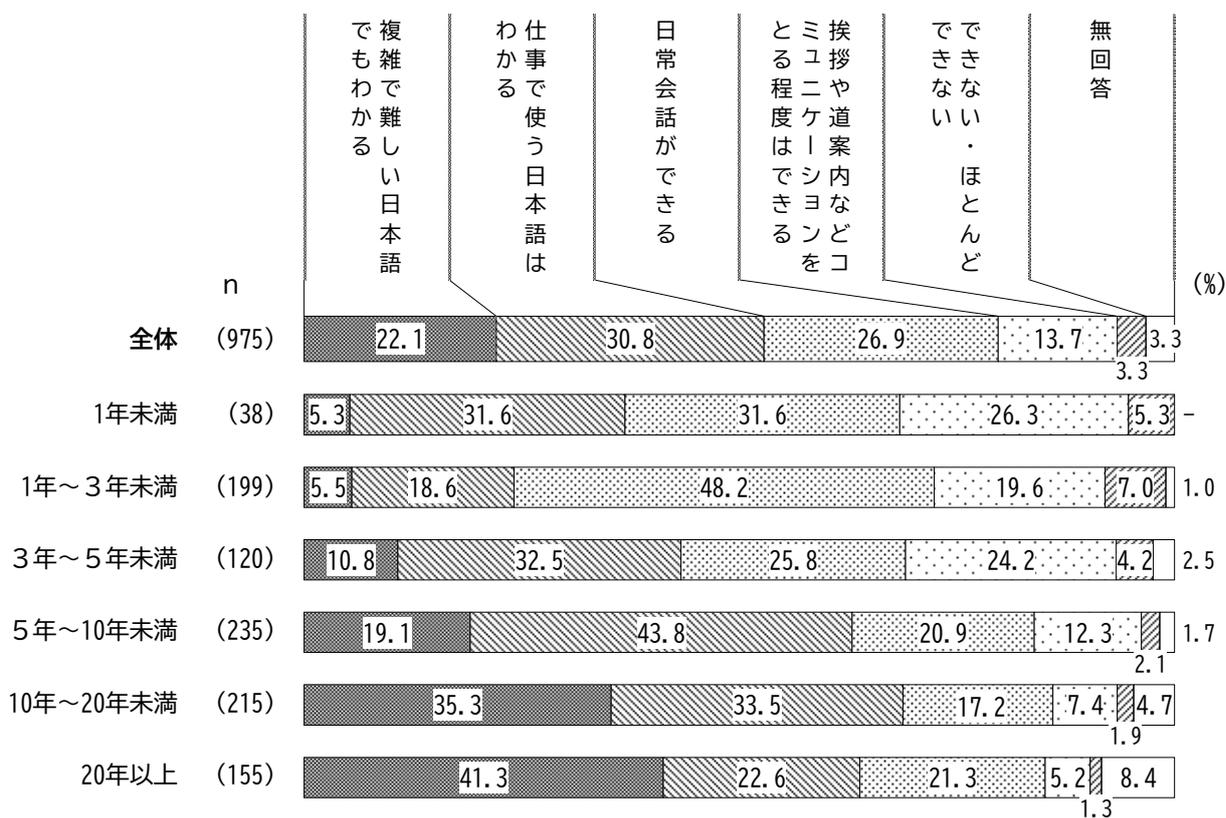
図表 日本語の習得度【話す】（職業別）



【B. 話す（日本居住年数別）】

「10～20年未満」「20年以上」で「日常会話ができる」レベル以上の割合が全体平均と比較して5ポイント以上高い。また、居住年数が3年以上経つにつれて、「仕事で使う日本語はわかる」レベル以上の割合が高くなる傾向が見られ、「10年～20年未満」では60%台半ばとなっている。

図表 日本語の習得度【話す】（日本居住年数別）

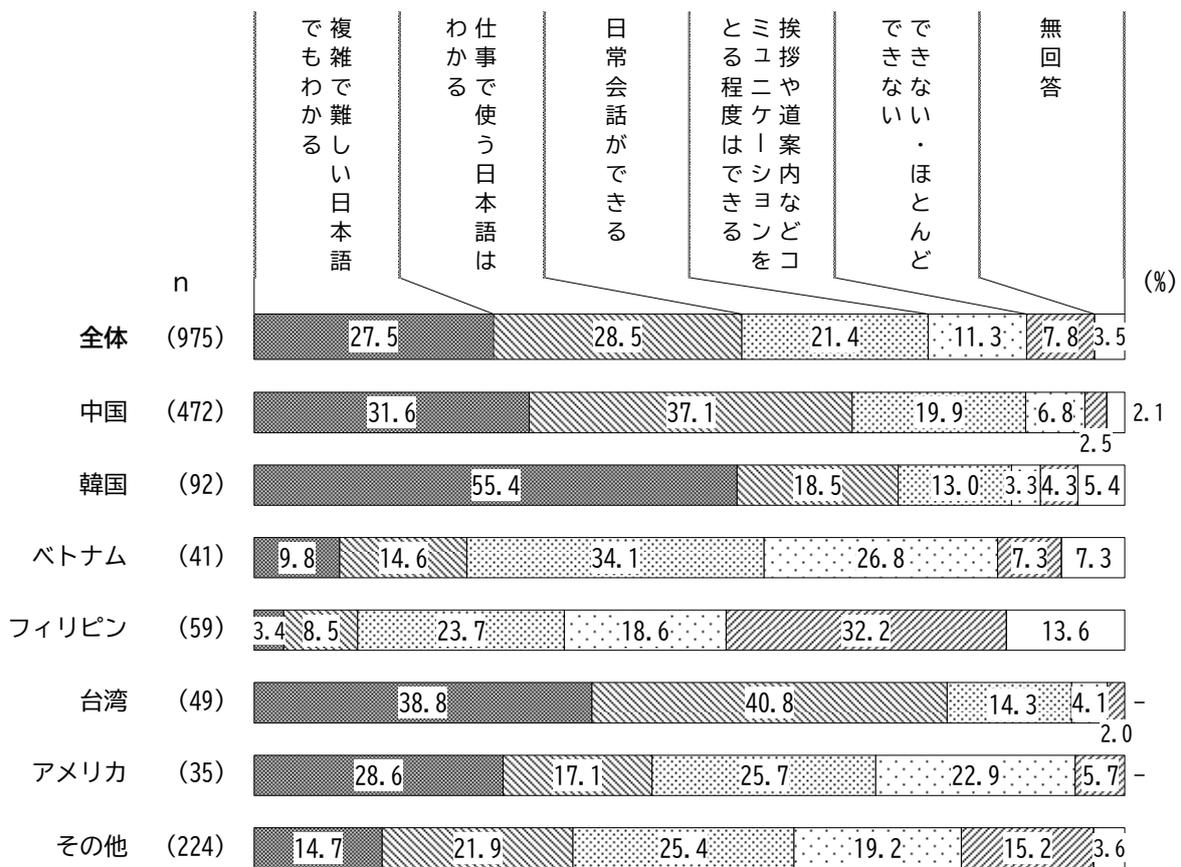


【C. 読む（国籍別）】

「複雑で難しい日本語でもわかる」は「韓国」「台湾」で高い一方で、「ベトナム」「フィリピン」で低くなっている。

「日常会話ができる」レベル以上でみると、「台湾」「中国」「韓国」の東アジアの国・地域では80%以上になるが、「ベトナム」で50%台半ば、「フィリピン」で30%台半ばとなっており、国籍によって習得状況の違いがみられる。

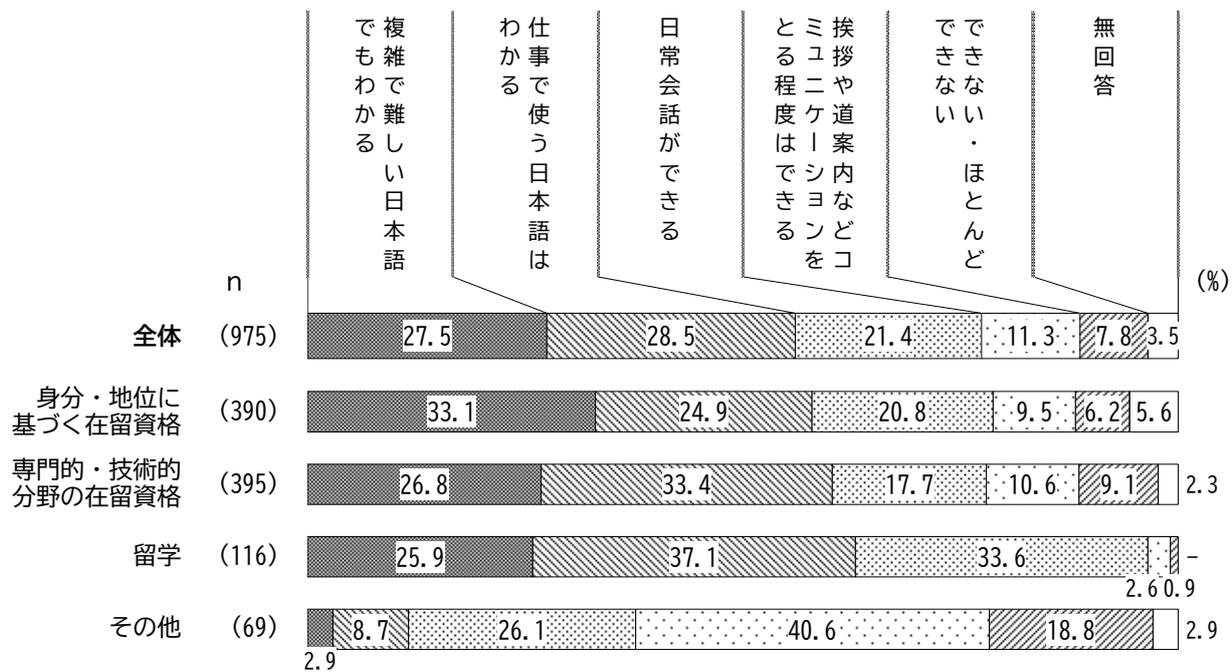
図表 日本語の習得度【読む】（国籍別）



【C. 読む（在留資格別）】

「留学」では、「日常会話ができる」レベル以上が90%台半ばで、他の在留資格と比較して最も高い。一方、「その他」は、「日常会話ができる」レベルに満たない割合が約60%となっており、「A. 話す」「B. 聞く」と比較しても習得が難しいことが考えられる。

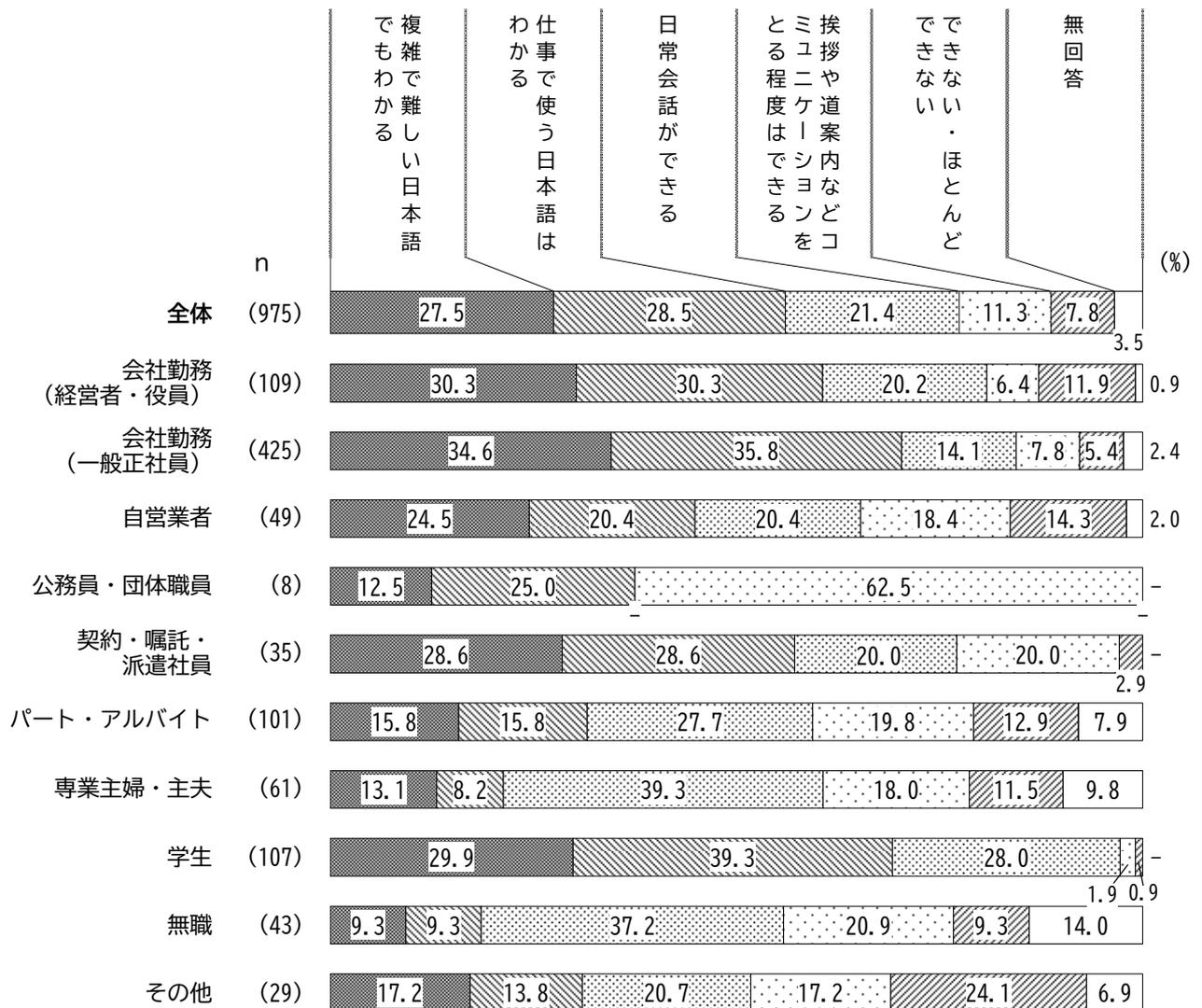
図表 日本語の習得度【読む】（在留資格別）



【C. 読む（職業別）】

「仕事で使う日本語はわかる」レベル以上の割合が、「会社勤務（一般正社員）」で約70%であるのに対し、「パート・アルバイト」で30%超えにとどまっており、日本語の習得状況が雇用形態に関係している可能性も考えられる。また、「その他」で「日常会話ができる」レベルに満たない割合が40%を超えており、他の職業と比較して最も高くなっている。

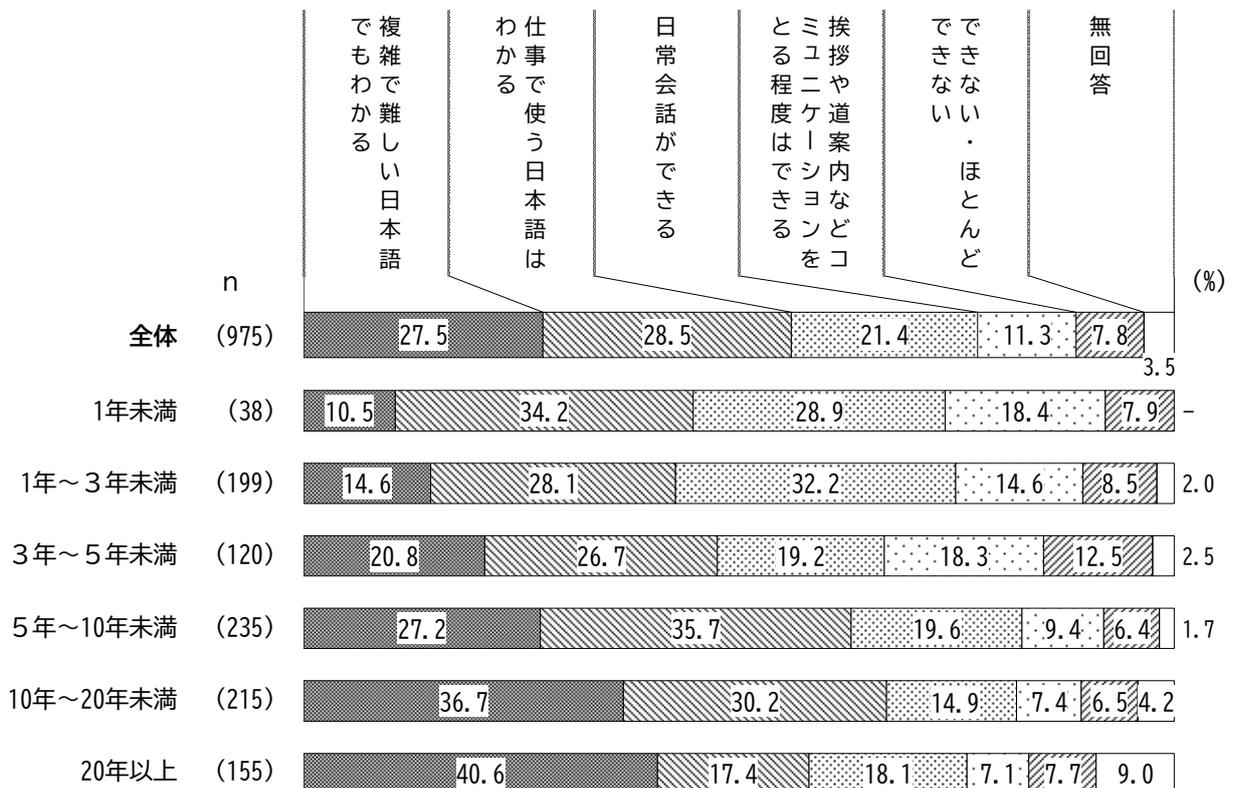
図表 日本語の習得度【読む】（職業別）



【C. 読む（日本居住年数別）】

「5年～10年未満」で「日常会話ができる」レベル以上の割合が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。また、居住年数が経つにつれて、「複雑で難しい日本語でもわかる」の割合が高くなり、「20年以上」では40.6%となっている。

図表 日本語の習得度【読む】（日本居住年数別）

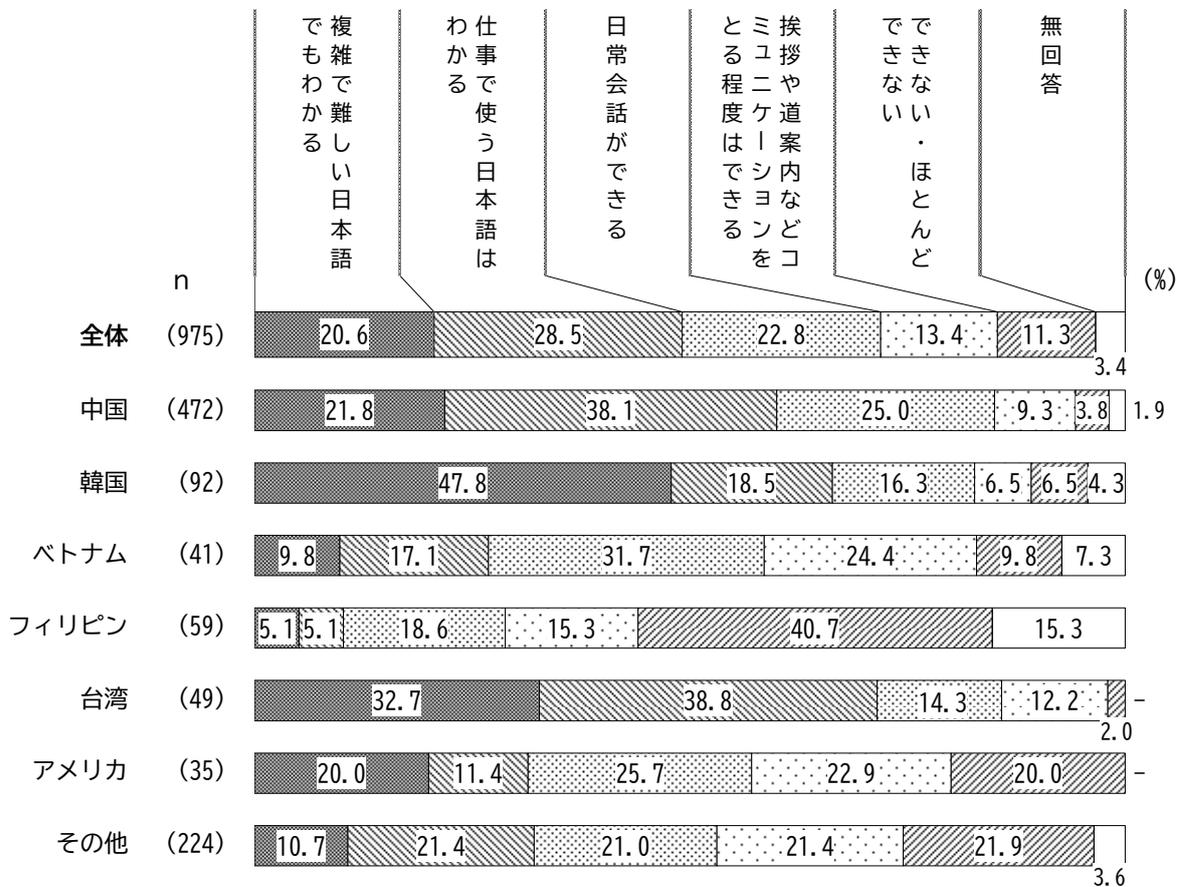


【D. 書く（国籍別）】

「複雑で難しい日本語でもわかる」は「韓国」で高い一方で、「ベトナム」「フィリピン」で低くなっている。「できない・ほとんどできない」は「フィリピン」で全体平均と比較して5ポイント以上高い。

「日常会話ができる」レベル以上でみると、「中国」「韓国」「台湾」の東アジアの国・地域では80%以上になるが、「その他」で50%を超え、「フィリピン」で20%台半ばとなっており、国籍によって習得状況の違いがみられる。

図表 日本語の習得度【書く】（国籍別）

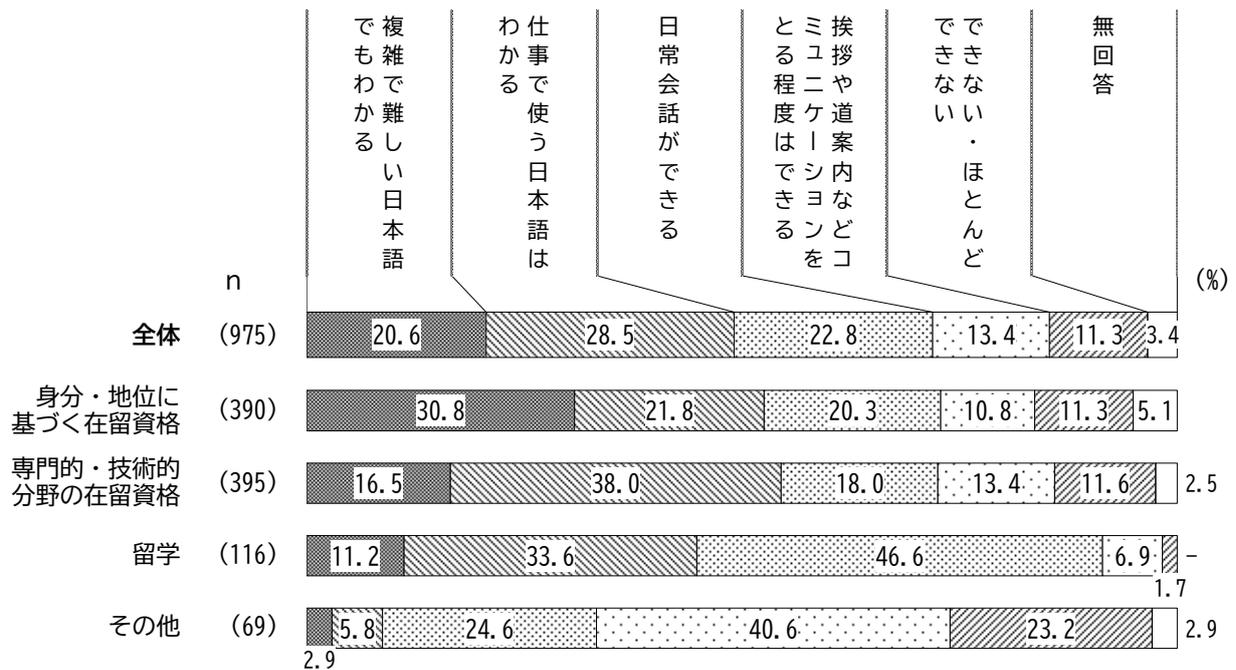


【D. 書く（在留資格別）】

「留学」では、「複雑で難しい日本語でもわかる」が低いが、「日常会話ができる」レベル以上が90%を超えている。

一方、「その他」は、「日常会話ができる」レベルに満たない割合が60%を超えており、「A. 聞く」「B. 話す」と比較しても習得が難しいことが考えられる。

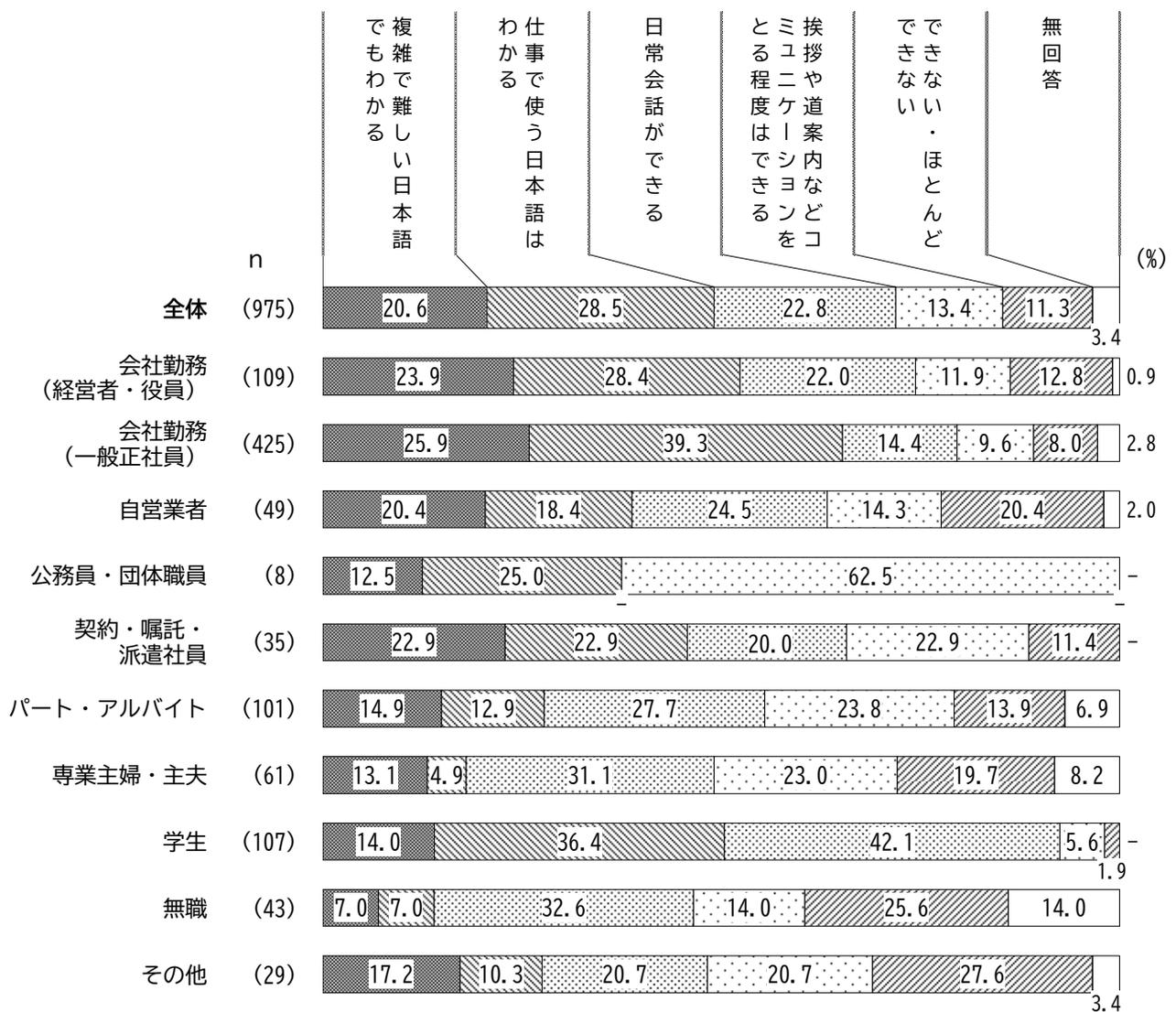
図表 日本語の習得度【書く】（在留資格別）



【D. 書く（職業別）】

「仕事で使う日本語はわかる」レベル以上の割合が、「会社勤務（一般正社員）」では60%台半ばであるのに対し、「自営業者」で30%台半ば、「パート・アルバイト」で20%台半ばにとどまっており、日本語の習得状況が雇用形態に関係している可能性も考えられる。また、「専業主婦・主夫」で「日常会話ができる」レベルに満たない割合が40%を超えており、他の職業と比較して高くなっている。

図表 日本語の習得度【書く】（職業別）

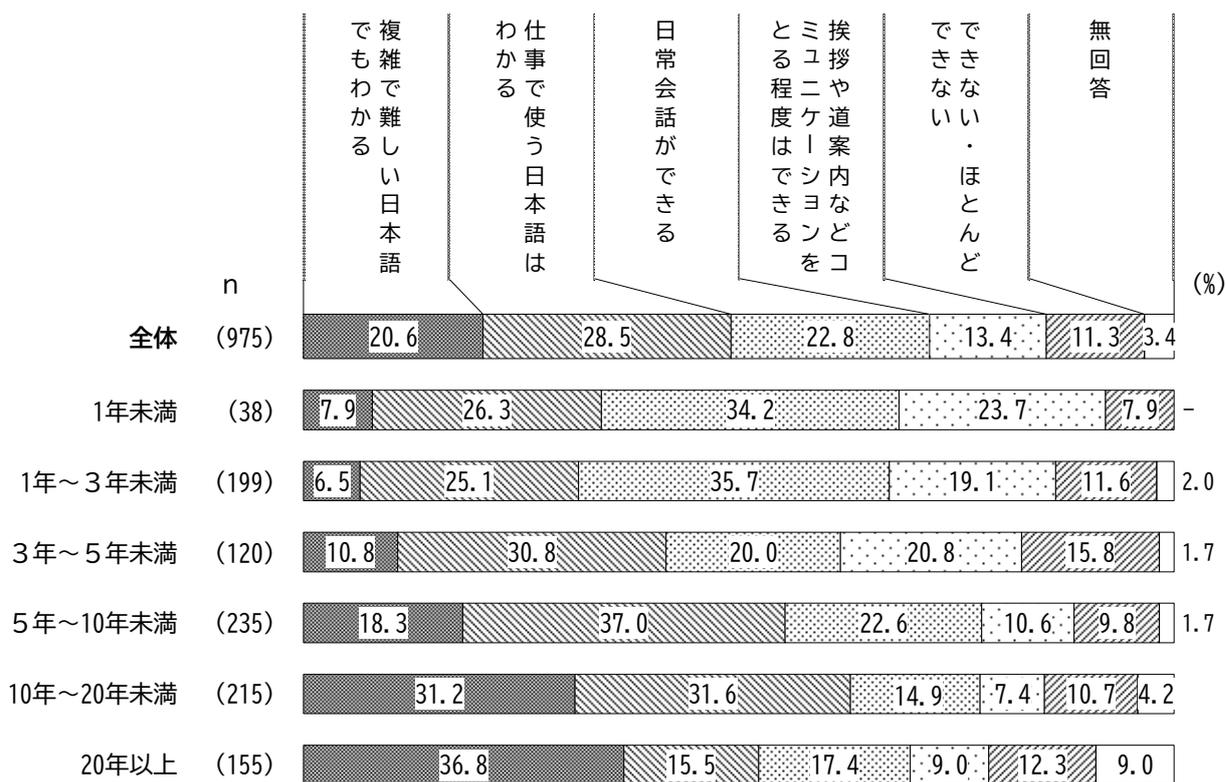


【D. 書く（日本居住年数別）】

「5年～10年未満」「10年～20年未満」で「日常会話ができる」レベル以上が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

居住年数が経つにつれて、「仕事で使う日本語はわかる」レベル以上の割合が高くなる傾向がみられ、「10年～20年未満」で62.8%で最も高くなっている。

図表 日本語の習得度【書く】（日本居住年数別）

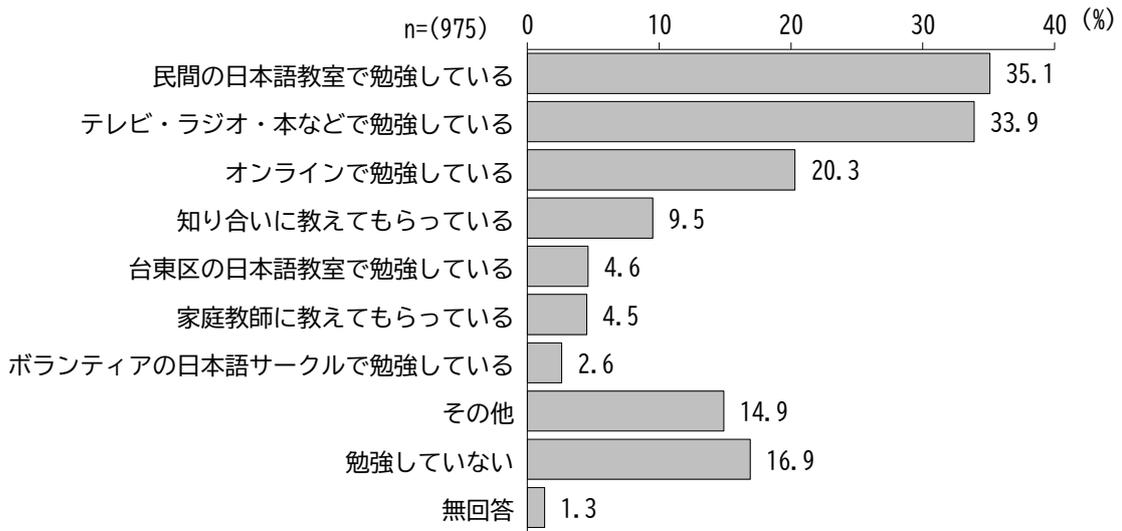


(3) 日本語の学び方

問17 日本語をどうやって学んでいますか。(当てはまるもの全てに○)

「民間の日本語教室で勉強している」(35.1%)が最も高く、次いで、「テレビ・ラジオ・本などで勉強している」(33.9%)となっている。

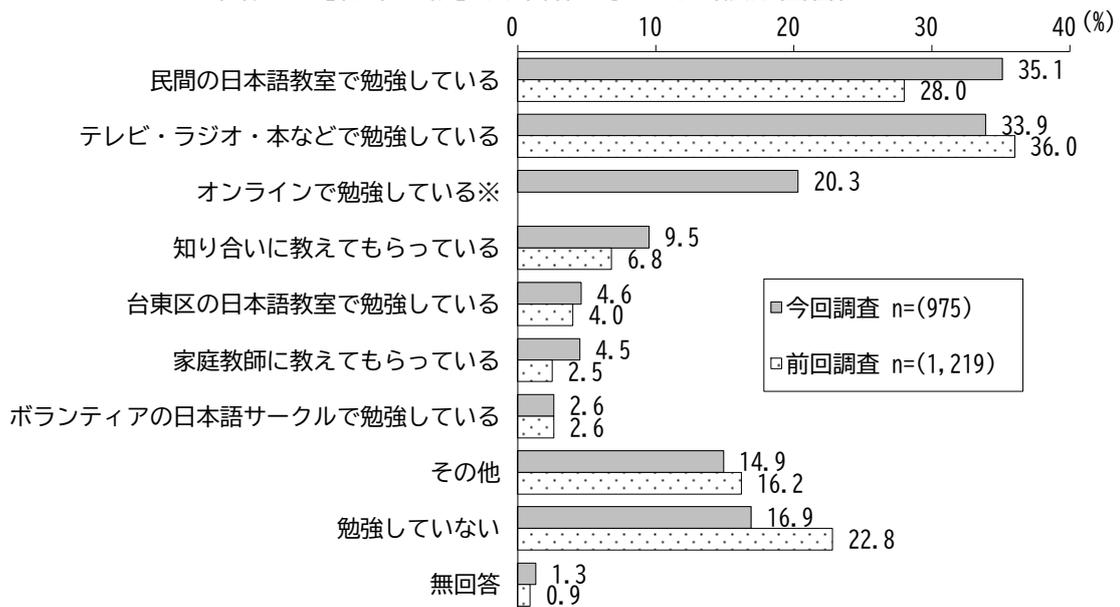
図表 日本語の学び方 (複数回答)



【経年比較】

前回との比較では、「民間の日本語教室で勉強している」が7.1ポイント増加している。一方、「勉強していない」が5.9ポイント減少している。

図表 【経年比較】日本語の学び方 (複数回答)



※今回調査より、選択肢「オンラインで勉強している」が追加された。

【日本居住年数別】

居住年数20年未満で「民間の日本語教室で勉強している」が30%台となっている。また、居住年数が浅い「1年～3年未満」「3年～5年未満」で、「オンラインで勉強している」が高くなっている。

「1年未満」で「テレビ・ラジオ・本などで勉強している」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。居住年数が経つにつれて「勉強していない」が高くなる傾向がみられる。

図表 日本語の学び方（日本居住年数別）

上段:人数 下段:%	調査数	民間の日本語 教室で勉強 している	テレビ・ラジオ・ 本などで勉強 している	オンラインで勉 強している	知り合いに教 えてもらって いる	台東区の日本 語教室で勉強 している	家庭教師に教 えてもらって いる	ボランティアの 日本語サーク ルで勉強して いる	その他	勉強してい ない	無回答
全体	975 100.0%	342 35.1%	331 33.9%	198 20.3%	93 9.5%	45 4.6%	44 4.5%	25 2.6%	145 14.9%	165 16.9%	13 1.3%
1年未満	38 100.0%	14 36.8%	19 50.0%	9 23.7%	3 7.9%	6 15.8%	3 7.9%	2 5.3%	6 15.8%	3 7.9%	- -
1年～3年未満	199 100.0%	78 39.2%	76 38.2%	67 33.7%	15 7.5%	16 8.0%	14 7.0%	5 2.5%	18 9.0%	19 9.5%	1 0.5%
3年～5年未満	120 100.0%	45 37.5%	32 26.7%	39 32.5%	16 13.3%	8 6.7%	12 10.0%	6 5.0%	15 12.5%	20 16.7%	1 0.8%
5年～10年未満	235 100.0%	77 32.8%	91 38.7%	44 18.7%	27 11.5%	6 2.6%	10 4.3%	6 2.6%	34 14.5%	39 16.6%	1 0.4%
10年～20年未満	215 100.0%	82 38.1%	60 27.9%	33 15.3%	22 10.2%	5 2.3%	5 2.3%	5 2.3%	36 16.7%	44 20.5%	3 1.4%
20年以上	155 100.0%	41 26.5%	50 32.3%	6 3.9%	8 5.2%	4 2.6%	- -	1 0.6%	34 21.9%	38 24.5%	5 3.2%

【国籍別】

「中国」「台湾」で「民間の日本語教室で勉強している」、「フィリピン」で「テレビ・ラジオ・本などで勉強している」及び「知り合いに教えてもらっている」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。また、「アメリカ」で「オンラインで勉強している」が30%台半ばと高い。

「勉強していない」と回答した層には、すでに日本語の習得度が高い国籍が多い傾向がみられる。

図表 日本語の学び方（国籍別）

上段:人数 下段:%	調査数	民間の日本語 教室で勉強し ている	テレビ・ラジオ・ 本などで勉強 している	オンラインで勉 強している	知り合いに教 えてもらって いる	台東区の日本 語教室で勉強 している	家庭教師に教 えてもらって いる	ボランティアの 日本語サーク ルで勉強して いる	その他	勉強してい ない	無回答
全体	975 100.0%	342 35.1%	331 33.9%	198 20.3%	93 9.5%	45 4.6%	44 4.5%	25 2.6%	145 14.9%	165 16.9%	13 1.3%
中国	472 100.0%	213 45.1%	166 35.2%	102 21.6%	35 7.4%	25 5.3%	11 2.3%	13 2.8%	63 13.3%	47 10.0%	5 1.1%
韓国	92 100.0%	14 15.2%	27 29.3%	2 2.2%	2 2.2%	1 1.1%	- -	1 1.1%	13 14.1%	41 44.6%	3 3.3%
ベトナム	41 100.0%	12 29.3%	11 26.8%	6 14.6%	7 17.1%	- -	- -	- -	2 4.9%	9 22.0%	- -
フィリピン	59 100.0%	5 8.5%	36 61.0%	14 23.7%	18 30.5%	3 5.1%	5 8.5%	2 3.4%	12 20.3%	7 11.9%	1 1.7%
台湾	49 100.0%	21 42.9%	12 24.5%	8 16.3%	3 6.1%	1 2.0%	- -	2 4.1%	11 22.4%	10 20.4%	- -
アメリカ	35 100.0%	3 8.6%	13 37.1%	12 34.3%	3 8.6%	2 5.7%	- -	1 2.9%	9 25.7%	7 20.0%	2 5.7%
その他	224 100.0%	72 32.1%	64 28.6%	52 23.2%	24 10.7%	13 5.8%	27 12.1%	6 2.7%	35 15.6%	44 19.6%	2 0.9%

【日本語習得度（聞く）別】

「仕事で使う日本語はわかる」「日常会話ができる」と回答した人で「民間の日本語教室で勉強している」が40%台、「日常会話ができる」「挨拶や道案内などコミュニケーションをとる程度はできる」と回答した人で「オンラインで勉強している」の割合が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。このほか、「仕事で使う日本語はわかる」と回答した人で「テレビ・ラジオ・本などで勉強している」、「挨拶や道案内などコミュニケーションをとる程度はできる」と回答した人「台東区の日本語教室で勉強している」「家庭教師に教えてもらっている」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。一方、習得度が高いほど「勉強していない」の割合がおおむね高い傾向がみられ、一定の習得度を持つ層では日本語学習の必要性を感じていない層が一定数いると考えられる。

図表 日本語の学び方（日本語習得度（聞く）別）

【聞く】

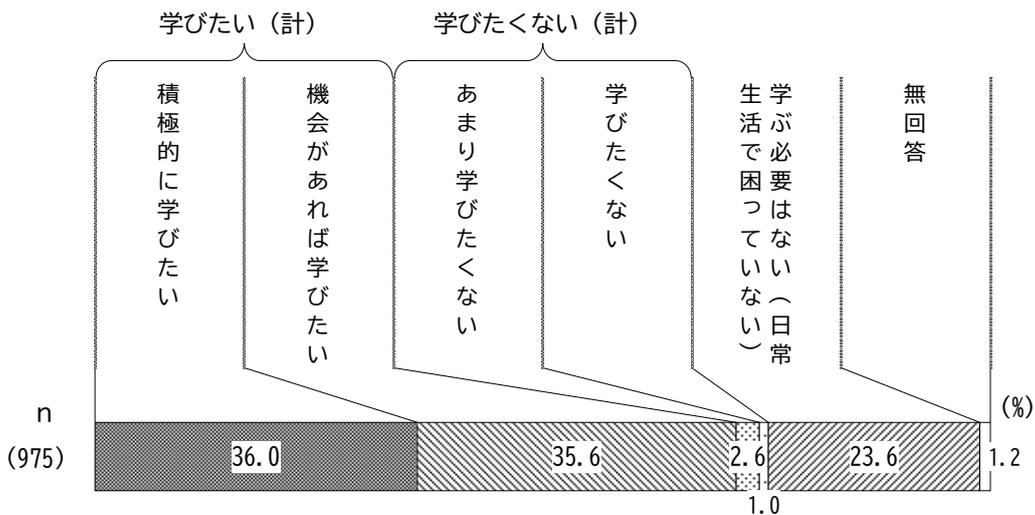
上段:人数 下段:%	調査数	民間の日本語 教室で勉強し ている	テレビ・ラジオ・ 本などで勉強 している	オンラインで勉 強している	知り合いに教 えてもらって いる	台東区の日本 語教室で勉強 している	家庭教師に教 えてもらって いる	ボランティアの 日本語サーク ルで勉強して いる	その他	勉強してい ない	無回答
全体	975 100.0%	342 35.1%	331 33.9%	198 20.3%	93 9.5%	45 4.6%	44 4.5%	25 2.6%	145 14.9%	165 16.9%	13 1.3%
複雑で難しい 日本語でもわかる	255 100.0%	87 34.1%	72 28.2%	23 9.0%	14 5.5%	- -	4 1.6%	2 0.8%	74 29.0%	60 23.5%	5 2.0%
仕事で使う日本語 はわかる	318 100.0%	136 42.8%	126 39.6%	56 17.6%	28 8.8%	9 2.8%	11 3.5%	7 2.2%	37 11.6%	41 12.9%	4 1.3%
日常会話ができる	234 100.0%	96 41.0%	83 35.5%	73 31.2%	30 12.8%	22 9.4%	17 7.3%	10 4.3%	17 7.3%	25 10.7%	- -
挨拶や道案内などコ ミュニケーションをと る程度はできる	114 100.0%	17 14.9%	33 28.9%	38 33.3%	16 14.0%	12 10.5%	11 9.6%	5 4.4%	14 12.3%	18 15.8%	2 1.8%
できない・ ほとんどできない	30 100.0%	2 6.7%	7 23.3%	6 20.0%	2 6.7%	- -	1 3.3%	1 3.3%	- -	16 53.3%	1 3.3%

(4) 日本語の学習意欲

問18 あなたは今後、日本語を学びたいと思いますか。(ひとつだけ○)

「積極的に学びたい」(36.0%)が最も高く、次いで、「機会があれば学びたい」(35.6%)となっている。「学びたい(計)」は71.6%を占めており、「学ぶ必要はない(日常生活で困っていない)」は23.6%となっている。

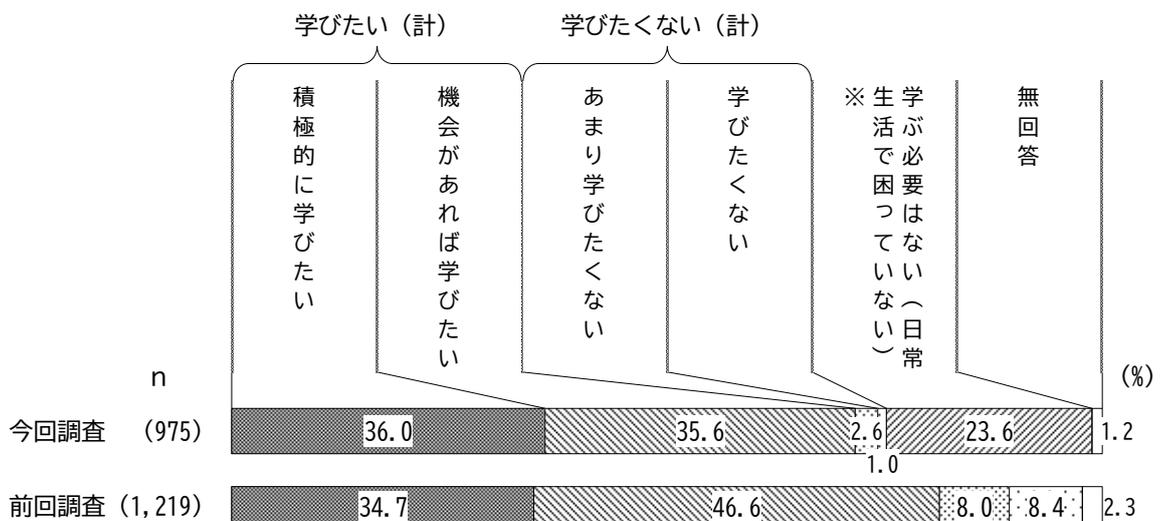
図表 日本語の学習意欲 (単一回答)



【経年比較】

前回との比較は、選択肢が一部異なるため参考程度にとどめる。

図表 【経年比較】日本語の学習意欲 (単一回答)



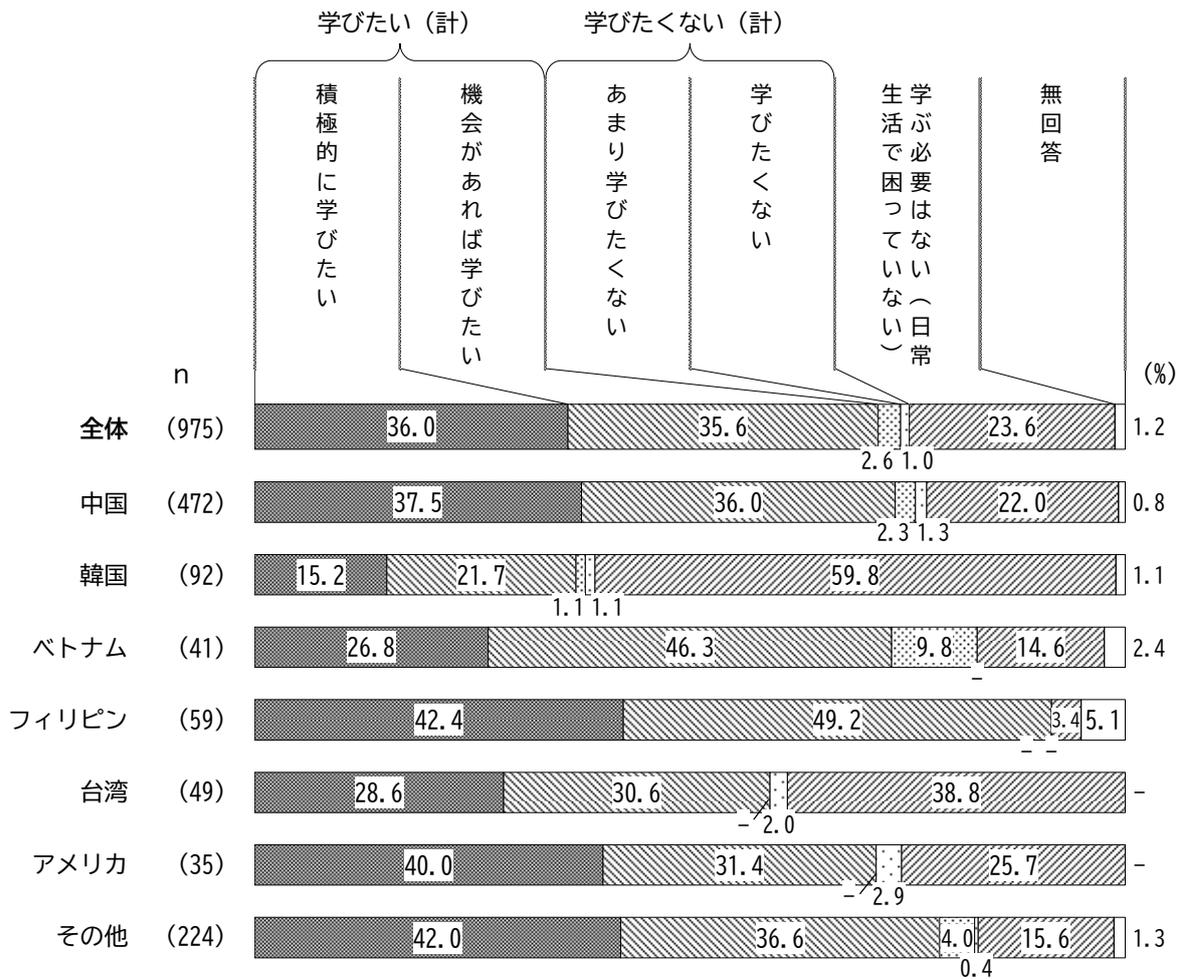
※今回調査より、選択肢「学ぶ必要はない(日常生活で困っていない)」が追加された。

【国籍別】

「ベトナム」「フィリピン」で「機会があれば学びたい」が全体平均と比較して5ポイント以上それぞれ高い。

「学びたい（計）」は「フィリピン」で90%を超えており、高くなっている。

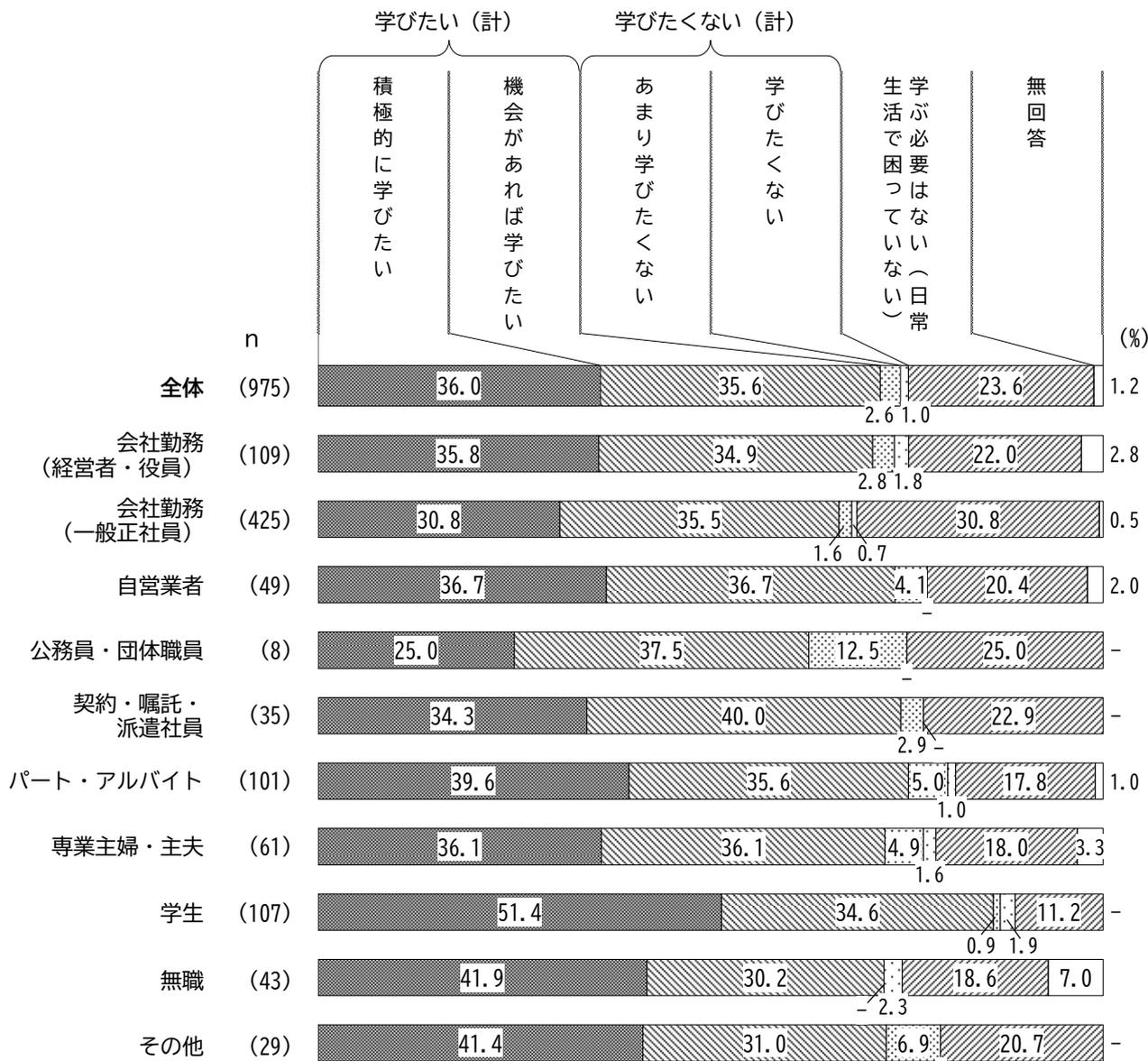
図表 日本語の学習意欲（国籍別）



【職業別】

「学生」で「積極的に学びたい」、「学びたい（計）」との割合が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高い。

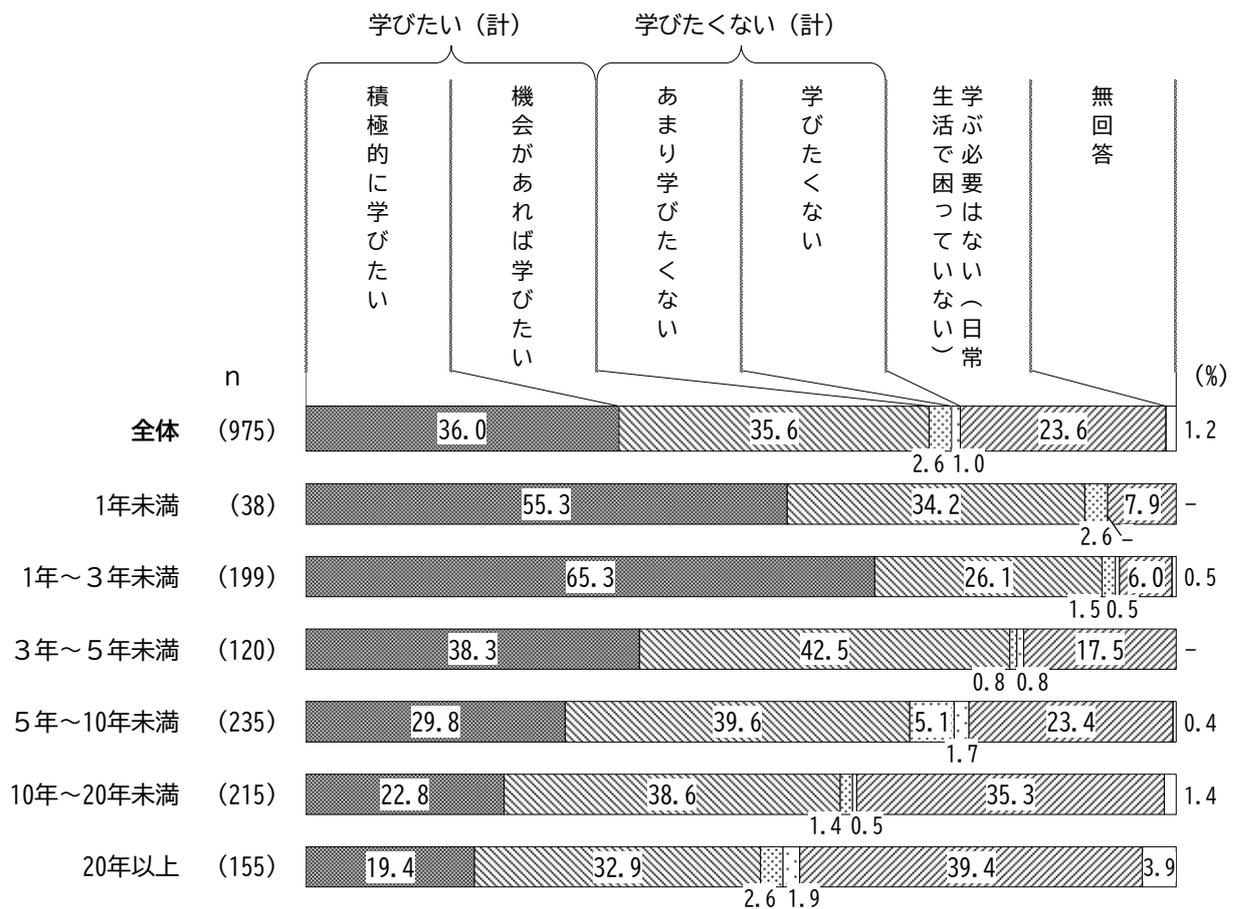
図表 日本語の学習意欲（職業別）



【日本居住年数別】

「1年未満」「1年～3年未満」で「積極的に学びたい」「学びたい（計）」が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高い。一方、「10年～20年未満」「20年以上」で「学ぶ必要はない（日常生活で困っていない）」が高い。

図表 日本語の学習意欲（日本居住年数別）

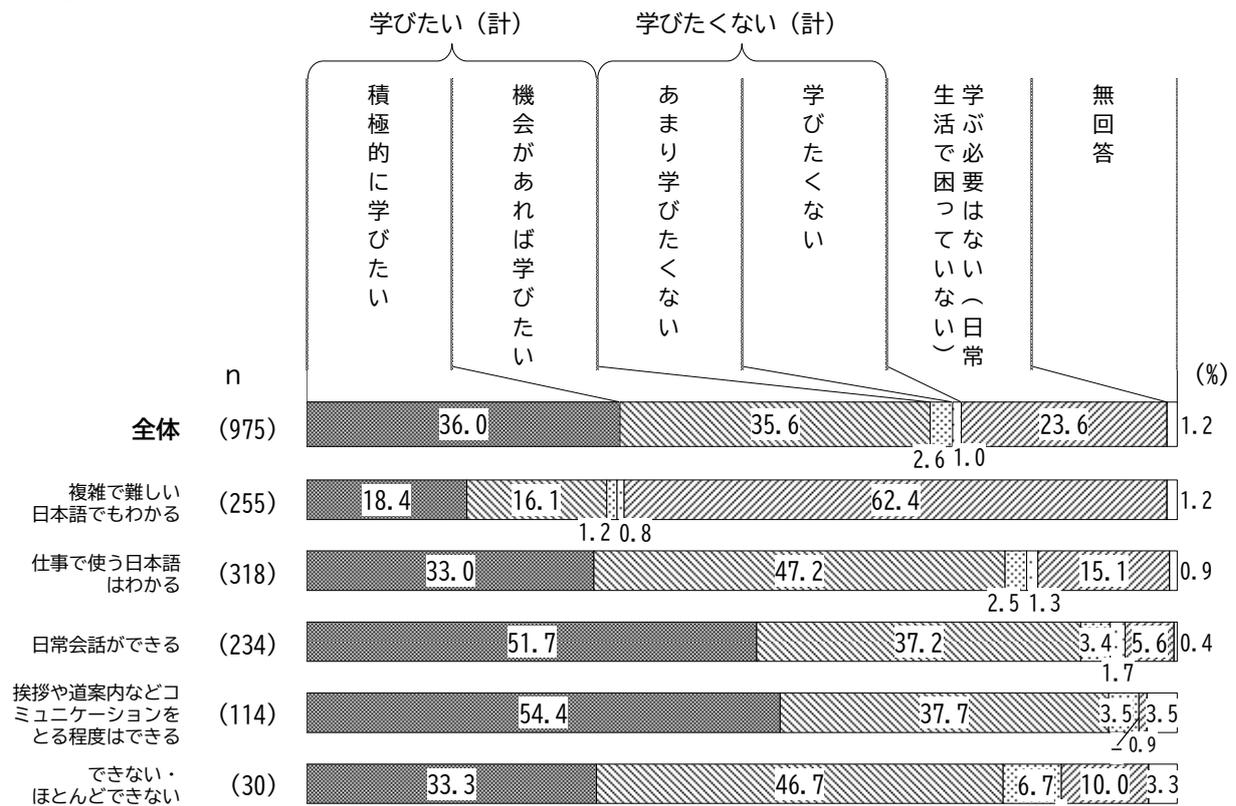


【日本語習得度別】

「積極的に学びたい」「機会があれば学びたい」を合計した割合は、「できない・ほとんどできない」を除いて、「聞く」の習得度が低いほど割合が高く、「学ぶ必要はない（日常生活で困っていない）」は、習得度が高いほど割合が高くなっている。一定の習得度を持つ層で学習ニーズが弱まっていることが考えられる。

図表 日本語の学習意欲（日本語習得度別）

【聞く】

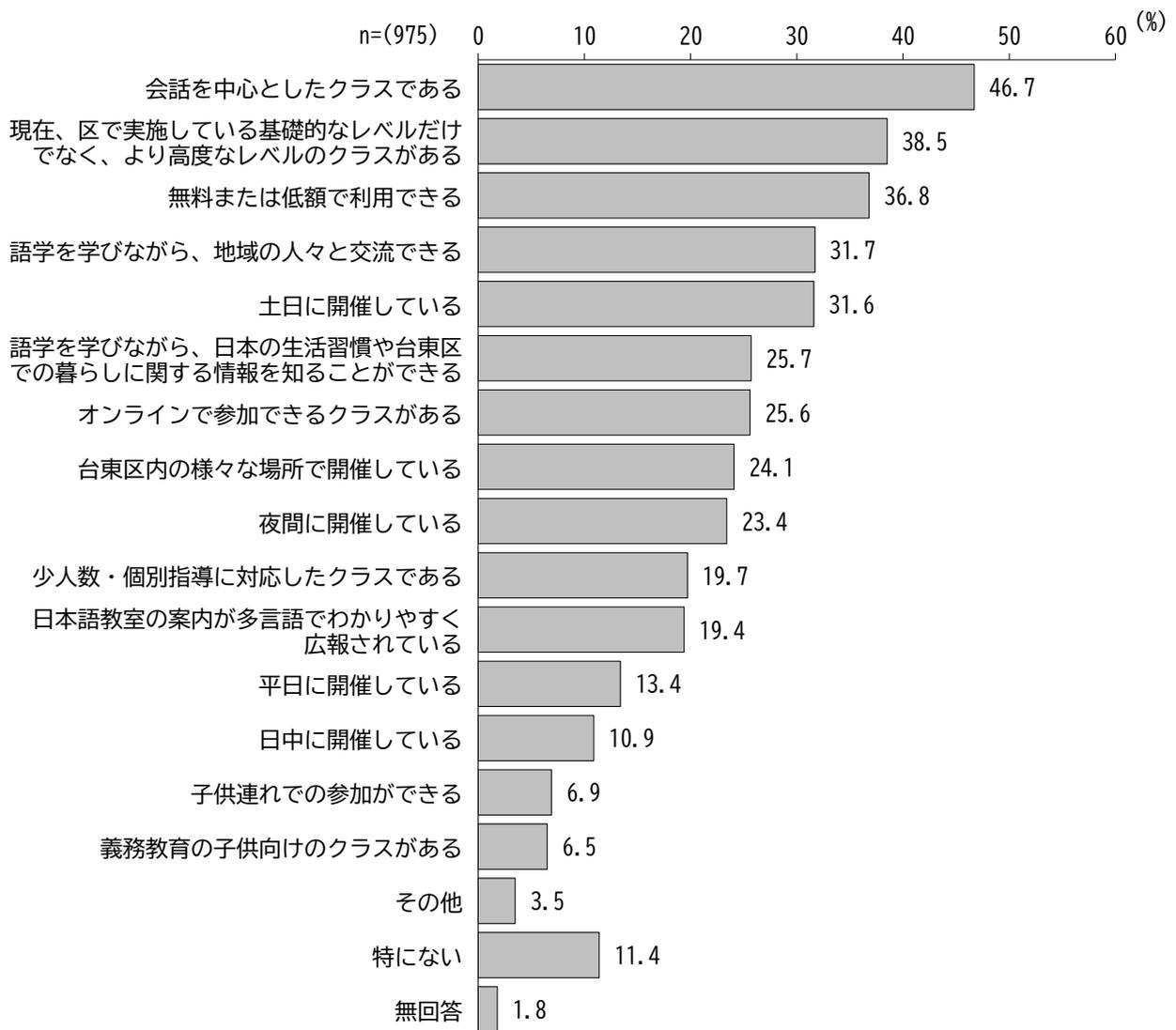


(5) 日本語教室がより利用しやすくなるために重要なこと

問19 台東区では「外国人のための日本語教室」「子供日本語教室」を開催しています。  
日本語教室の開催方法などで、より利用しやすくなるためには何が重要だと思いますか。  
(当てはまるもの全てに○)

「会話を中心としたクラスである」(46.7%)が最も高く、次いで、「現在、区で実施している基礎的なレベルだけでなく、より高度なレベルのクラスがある」(38.5%)、「無料または低額で利用できる」(36.8%)、「語学を学びながら、地域の人々と交流できる」(31.7%)、「土日に開催している」(31.6%)となっている。

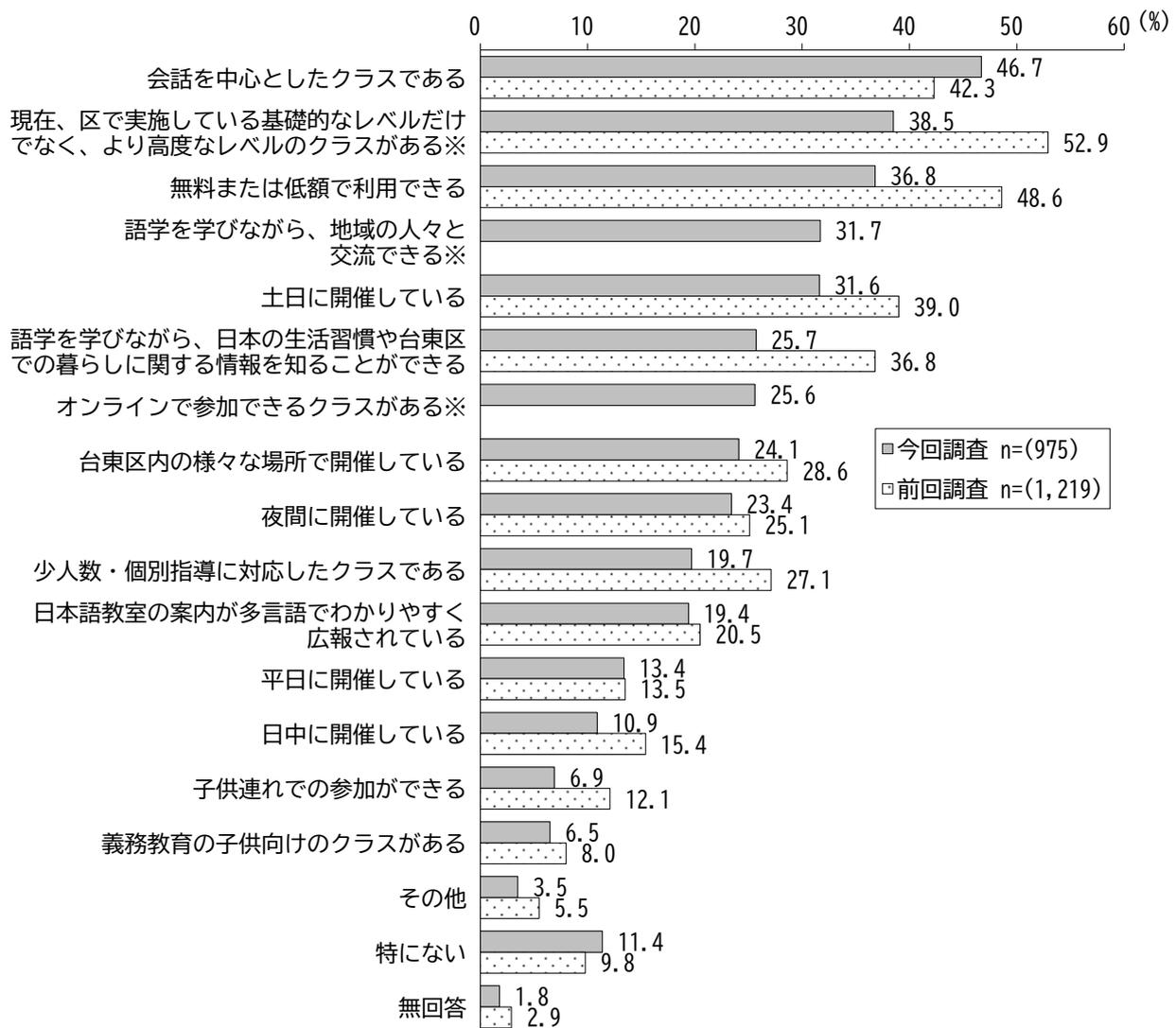
図表 日本語教室がより利用しやすくなるために重要なこと（複数回答）



【経年比較】

前回との比較では、「無料または定額で利用できる」が11.8ポイント、「語学を学びながら、日本の生活習慣や台東区での暮らしに関する情報を知ることができる」が11.1ポイント、「土日に開催している」と「少人数・個別指導に対応したクラスである」がそれぞれ7.4ポイント、「子供連れでの参加ができる」が5.2ポイント減少している。一方、「会話を中心としたクラスである」はやや増加している。

図表 【経年比較】日本語教室がより利用しやすくなるために重要なこと（複数回答）



※前回調査の選択肢「初級から上級までの幅広いレベルのクラスがある」が、今回調査より「現在、区で実施している基礎的なレベルだけでなく、より高度なレベルのクラスがある」に変更。また、今回調査より、選択肢「語学を学びながら、地域の人々と交流ができる」「オンラインで参加できるクラスがある」が追加された。

【在留資格別】

「留学」で「会話を中心としたクラスである」「語学を学びながら、地域の人々と交流できる」、「その他」で「無料または低額で利用できる」「語学を学びながら、日本の生活習慣や台東区での暮らしに関する情報を知ることができる」「少人数・個別指導に対応したクラスである」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 日本語教室がより利用しやすくなるために重要なこと（在留資格別）

上段:人数 下段:%	調査数	会話を中心としたクラスである	現在、区で実施している基礎的なレベルだけでなく、より高度なレベルのクラスがある	無料または低額で利用できる	語学を学びながら、地域の人々と交流できる	土日に開催している	語学を学びながら、日本の生活習慣や台東区での暮らしに関する情報を知ることができる	オンラインで参加できるクラスがある	台東区内の様々な場所で開催している	夜間に開催している
全体	975 100.0%	455 46.7%	375 38.5%	359 36.8%	309 31.7%	308 31.6%	251 25.7%	250 25.6%	235 24.1%	228 23.4%
身分・地位に基づく在留資格	390 100.0%	147 37.7%	133 34.1%	129 33.1%	106 27.2%	111 28.5%	88 22.6%	101 25.9%	82 21.0%	71 18.2%
専門的・技術的分野の在留資格	395 100.0%	191 48.4%	164 41.5%	142 35.9%	129 32.7%	150 38.0%	104 26.3%	101 25.6%	97 24.6%	112 28.4%
留学	116 100.0%	75 64.7%	50 43.1%	49 42.2%	51 44.0%	27 23.3%	30 25.9%	32 27.6%	33 28.4%	31 26.7%
その他	69 100.0%	39 56.5%	27 39.1%	35 50.7%	21 30.4%	19 27.5%	27 39.1%	16 23.2%	23 33.3%	13 18.8%

上段:人数 下段:%	調査数	少人数・個別指導に対応したクラスである	日本語教室の案内が多言語でわかりやすく広報されている	平日に開催している	日中に開催している	子供連れでの参加ができる	義務教育の子供向けのクラスがある	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	192 19.7%	189 19.4%	131 13.4%	106 10.9%	67 6.9%	63 6.5%	34 3.5%	111 11.4%	18 1.8%
身分・地位に基づく在留資格	390 100.0%	62 15.9%	67 17.2%	48 12.3%	43 11.0%	33 8.5%	28 7.2%	13 3.3%	58 14.9%	13 3.3%
専門的・技術的分野の在留資格	395 100.0%	79 20.0%	79 20.0%	46 11.6%	33 8.4%	20 5.1%	16 4.1%	16 4.1%	42 10.6%	3 0.8%
留学	116 100.0%	25 21.6%	23 19.8%	20 17.2%	15 12.9%	3 2.6%	7 6.0%	3 2.6%	8 6.9%	- -
その他	69 100.0%	25 36.2%	19 27.5%	17 24.6%	15 21.7%	10 14.5%	12 17.4%	2 2.9%	3 4.3%	1 1.4%

【職業別】

「会社勤務（一般正社員）」で「土日に開催している」、「契約・嘱託・派遣社員」「学生」で「現在、区で実施している基礎的なレベルだけでなく、より高度なレベルのクラスがある」、「専業主婦・主夫」で「無料または低額で利用できる」「少人数・個別指導に対応したクラスである」「平日に開催している」が、「学生」で「会話を中心としたクラスである」「語学を学びながら、地域の人々と交流できる」が、「無職」で「日中に開催している」が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高い。

図表 日本語教室がより利用しやすくなるために重要なこと（職業別）

上段：人数 下段：%	調査数	会話を中心としたクラスである	現在、区で実施している基礎的なレベルだけでなく、より高度なレベルのクラスがある	無料または低額で利用できる	語学を学びながら、地域の人々と交流できる	土日に開催している	語学を学びながら、日本の生活習慣や台東区での暮らしに関する情報を知ることができる	オンラインで参加できるクラスがある	台東区内の様々な場所で開催している	夜間に開催している
全体	975 100.0%	455 46.7%	375 38.5%	359 36.8%	309 31.7%	308 31.6%	251 25.7%	250 25.6%	235 24.1%	228 23.4%
会社勤務 (経営者・役員)	109 100.0%	50 45.9%	41 37.6%	37 33.9%	35 32.1%	36 33.0%	26 23.9%	22 20.2%	25 22.9%	32 29.4%
会社勤務 (一般正社員)	425 100.0%	189 44.5%	171 40.2%	143 33.6%	135 31.8%	169 39.8%	104 24.5%	124 29.2%	97 22.8%	116 27.3%
自営業者	49 100.0%	17 34.7%	15 30.6%	12 24.5%	15 30.6%	11 22.4%	12 24.5%	13 26.5%	14 28.6%	4 8.2%
公務員・団体職員	8 100.0%	6 75.0%	3 37.5%	3 37.5%	4 50.0%	3 37.5%	2 25.0%	4 50.0%	2 25.0%	3 37.5%
契約・嘱託・ 派遣社員	35 100.0%	15 42.9%	16 45.7%	10 28.6%	12 34.3%	12 34.3%	8 22.9%	6 17.1%	7 20.0%	3 8.6%
パート・アルバイト	101 100.0%	45 44.6%	32 31.7%	41 40.6%	26 25.7%	18 17.8%	25 24.8%	22 21.8%	21 20.8%	13 12.9%
専業主婦・主夫	61 100.0%	30 49.2%	19 31.1%	30 49.2%	12 19.7%	11 18.0%	18 29.5%	10 16.4%	15 24.6%	6 9.8%
学生	107 100.0%	67 62.6%	47 43.9%	50 46.7%	48 44.9%	27 25.2%	31 29.0%	30 28.0%	34 31.8%	29 27.1%
無職	43 100.0%	20 46.5%	13 30.2%	13 30.2%	11 25.6%	9 20.9%	11 25.6%	7 16.3%	12 27.9%	8 18.6%
その他	29 100.0%	13 44.8%	13 44.8%	17 58.6%	9 31.0%	8 27.6%	13 44.8%	9 31.0%	6 20.7%	12 41.4%

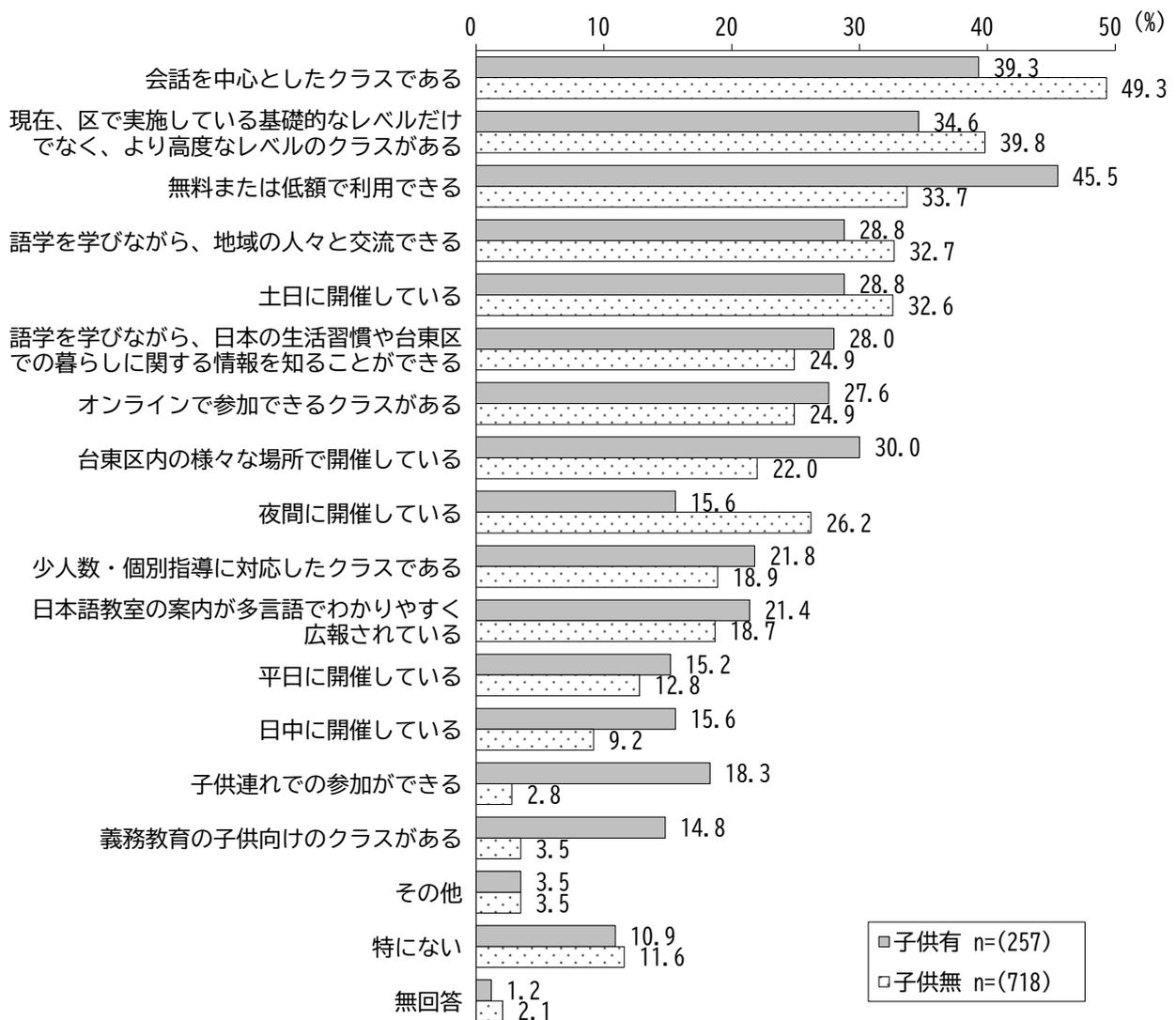
上段：人数 下段：%	調査数	少人数・個別指導に対応したクラスである	日本語教室の案内が多言語でわかりやすく広報されている	平日に開催している	日中に開催している	子供連れでの参加ができる	義務教育の子供向けのクラスがある	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	192 19.7%	189 19.4%	131 13.4%	106 10.9%	67 6.9%	63 6.5%	34 3.5%	111 11.4%	18 1.8%
会社勤務 (経営者・役員)	109 100.0%	22 20.2%	22 20.2%	13 11.9%	9 8.3%	9 8.3%	9 8.3%	4 3.7%	8 7.3%	3 2.8%
会社勤務 (一般正社員)	425 100.0%	79 18.6%	77 18.1%	47 11.1%	36 8.5%	27 6.4%	21 4.9%	15 3.5%	53 12.5%	5 1.2%
自営業者	49 100.0%	9 18.4%	12 24.5%	7 14.3%	8 16.3%	3 6.1%	3 6.1%	6 12.2%	9 18.4%	1 2.0%
公務員・団体職員	8 100.0%	2 25.0%	1 12.5%	2 25.0%	-	1 12.5%	1 12.5%	-	-	-
契約・嘱託・ 派遣社員	35 100.0%	6 17.1%	8 22.9%	3 8.6%	2 5.7%	1 2.9%	-	1 2.9%	8 22.9%	-
パート・アルバイト	101 100.0%	19 18.8%	15 14.9%	16 15.8%	10 9.9%	8 7.9%	9 8.9%	3 3.0%	9 8.9%	3 3.0%
専業主婦・主夫	61 100.0%	18 29.5%	12 19.7%	15 24.6%	12 19.7%	8 13.1%	6 9.8%	-	8 13.1%	1 1.6%
学生	107 100.0%	24 22.4%	23 21.5%	18 16.8%	15 14.0%	3 2.8%	8 7.5%	3 2.8%	6 5.6%	-
無職	43 100.0%	8 18.6%	7 16.3%	7 16.3%	9 20.9%	2 4.7%	2 4.7%	2 4.7%	3 7.0%	5 11.6%
その他	29 100.0%	4 13.8%	11 37.9%	1 3.4%	4 13.8%	3 10.3%	3 10.3%	-	7 24.1%	-

【子供の有無別】

「子供有」で「子供連れでの参加ができる」「義務教育の子供向けのクラスがある」「無料または低額で利用できる」「台東区内の様々な場所で開催している」「日中に開催している」が「子供無」と比較して高い。

一方、「子供無」で「会話を中心としたクラスである」「夜間に開催している」「現在、区で実施している基礎的なレベルだけでなく、より高度なレベルのクラスがある」が「子供有」と比較して高い。

図表 日本語教室がより利用しやすくなるために重要なこと（子供の有無別）



【国籍別】

「会話を中心としたクラスである」は「中国」「ベトナム」「台湾」「アメリカ」などで40%以上となっている一方で、「フィリピン」で30%を超え、「韓国」で20%台半ばとなっている。

「フィリピン」では「現在、区で実施している基礎的なレベルだけでなく、より高度なレベルのクラスがある」「無料または低額で利用できる」「土日に開催している」など、全体平均と比較して5ポイント以上高い項目が多くなっている。

図表 日本語教室がより利用しやすくなるために重要なこと（国籍別）

上段:人数 下段:%	調査数	会話を中心としたクラスである	現在、区で実施している基礎的なレベルだけでなく、より高度なレベルのクラスがある	無料または低額で利用できる	語学を学びながら、地域の人々と交流できる	土日に開催している	語学を学びながら、日本の生活習慣や台東区での暮らしに関する情報を知ることができる	オンラインで参加できるクラスがある	台東区内の様々な場所で開催している	夜間に開催している
全体	975 100.0%	455 46.7%	375 38.5%	359 36.8%	309 31.7%	308 31.6%	251 25.7%	250 25.6%	235 24.1%	228 23.4%
中国	472 100.0%	255 54.0%	198 41.9%	154 32.6%	160 33.9%	139 29.4%	143 30.3%	122 25.8%	108 22.9%	106 22.5%
韓国	92 100.0%	25 27.2%	19 20.7%	21 22.8%	23 25.0%	18 19.6%	15 16.3%	19 20.7%	17 18.5%	15 16.3%
ベトナム	41 100.0%	20 48.8%	9 22.0%	21 51.2%	10 24.4%	11 26.8%	8 19.5%	7 17.1%	9 22.0%	2 4.9%
フィリピン	59 100.0%	19 32.2%	31 52.5%	40 67.8%	23 39.0%	33 55.9%	27 45.8%	20 33.9%	20 33.9%	20 33.9%
台湾	49 100.0%	22 44.9%	18 36.7%	12 24.5%	17 34.7%	18 36.7%	16 32.7%	17 34.7%	7 14.3%	15 30.6%
アメリカ	35 100.0%	14 40.0%	18 51.4%	11 31.4%	12 34.3%	10 28.6%	7 20.0%	11 31.4%	12 34.3%	12 34.3%
その他	224 100.0%	97 43.3%	81 36.2%	98 43.8%	62 27.7%	78 34.8%	34 15.2%	54 24.1%	62 27.7%	57 25.4%

上段:人数 下段:%	調査数	少人数・個別指導に対応したクラスである	日本語教室の案内が多言語でわかりやすく広報されている	平日に開催している	日中に開催している	子供連れでの参加ができる	義務教育の子供向けのクラスがある	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	192 19.7%	189 19.4%	131 13.4%	106 10.9%	67 6.9%	63 6.5%	34 3.5%	111 11.4%	18 1.8%
中国	472 100.0%	100 21.2%	77 16.3%	62 13.1%	50 10.6%	31 6.6%	33 7.0%	12 2.5%	46 9.7%	7 1.5%
韓国	92 100.0%	8 8.7%	19 20.7%	3 3.3%	3 3.3%	11 12.0%	4 4.3%	2 2.2%	20 21.7%	4 4.3%
ベトナム	41 100.0%	3 7.3%	10 24.4%	5 12.2%	4 9.8%	4 9.8%	7 17.1%	3 7.3%	2 4.9%	1 2.4%
フィリピン	59 100.0%	10 16.9%	27 45.8%	11 18.6%	8 13.6%	6 10.2%	10 16.9%	3 5.1%	1 1.7%	4 6.8%
台湾	49 100.0%	11 22.4%	6 12.2%	9 18.4%	6 12.2%	1 2.0%	- -	1 2.0%	6 12.2%	- -
アメリカ	35 100.0%	10 28.6%	8 22.9%	10 28.6%	9 25.7%	3 8.6%	2 5.7%	2 5.7%	7 20.0%	- -
その他	224 100.0%	50 22.3%	41 18.3%	31 13.8%	26 11.6%	11 4.9%	7 3.1%	11 4.9%	29 12.9%	2 0.9%

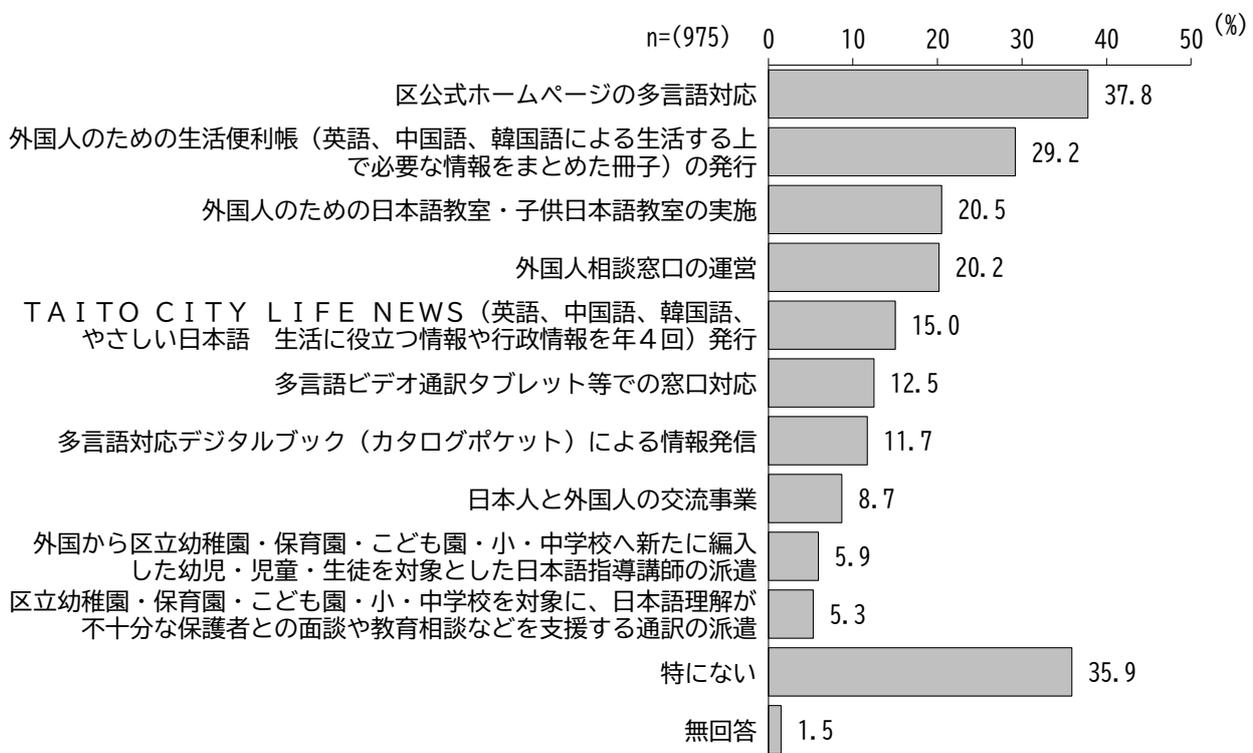
### 3. 台東区の実施について

#### (1) 多文化共生に関するサービスや取組の認知度

問20 台東区で実施している外国人を対象としたサービスや取組を知っていますか。  
(当てはまるもの全てに○)

「区公式ホームページの多言語対応」(37.8%)、次いで、「外国人のための生活便利帳(英語、中国語、韓国語による生活する上で必要な情報をまとめた冊子)の発行」(29.2%)、「外国人のための日本語教室・子供日本語教室の実施」(20.5%)、「外国人相談窓口の運営」(20.2%)となっている。なお、「特にない」は35.9%となっている。

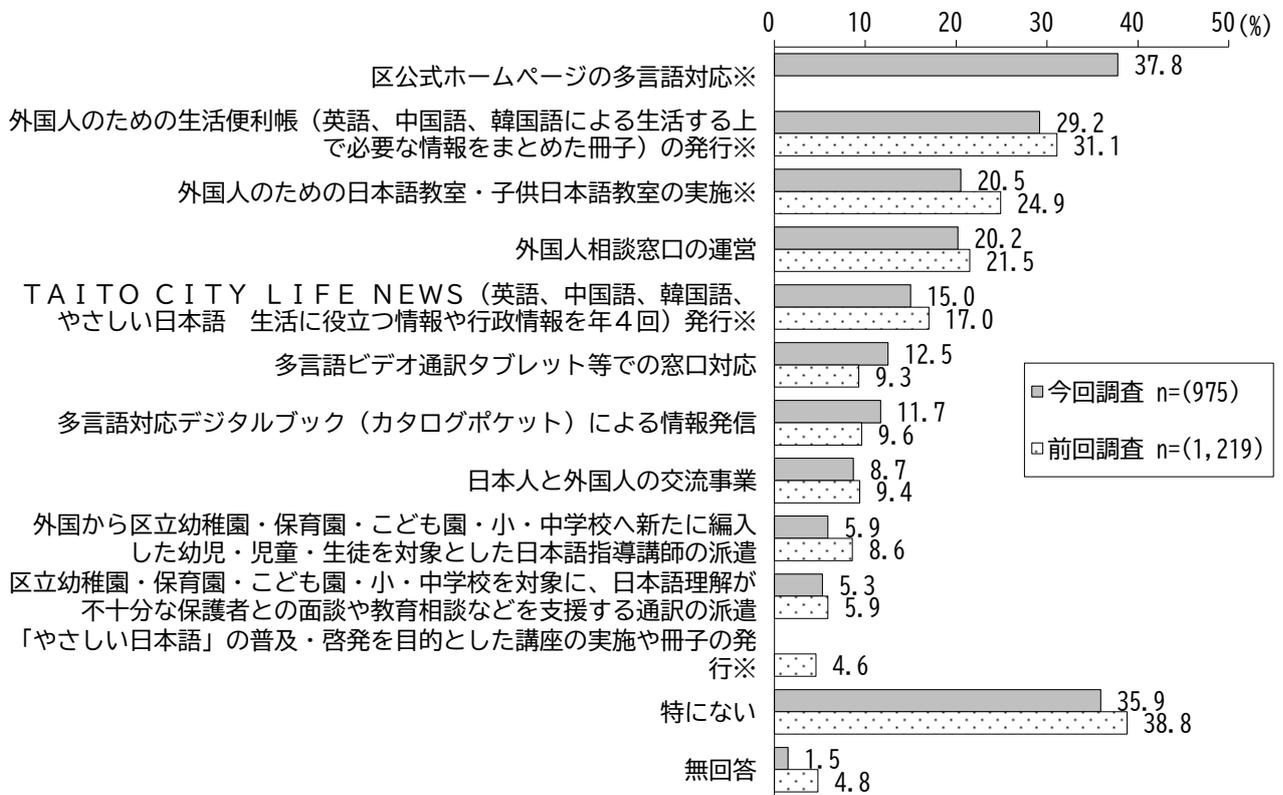
図表 多文化共生に関するサービスや取組の認知度(複数回答)



【経年比較】

前回との比較では、「多言語ビデオ通訳タブレット等での窓口対応」がやや増加している。

図表 【経年比較】多文化共生に関するサービスや取組の認知度（複数回答）



※今回調査より、選択肢「区公式のホームページの多言語対応」が追加された。

※今回調査の選択肢「外国人のための生活便利帳（英語、中国語、韓国語による生活する上で必要な情報をまとめた冊子）の発行」は前回調査では「生活する上で必要な情報を多言語でまとめた「生活便利帳」の発行」、「TAITO CITY LIFE NEWS（英語、中国語、韓国語、やさしい日本語 生活に役立つ情報や行政情報を年4回）発行」は「生活に役立つ情報や行政情報を英語、中国語、韓国語、やさしい日本語で年4回発行する「多言語情報紙」の発行」、「外国人のための日本語教室・子供日本語教室の実施」は「外国人のための日本語教室の実施」であった。

※今回調査より、選択肢「「やさしい日本語」の普及・啓発を目的とした講座の実施や冊子の発行」が削除された。

【日本人との交流機会の頻度別】

日本人との交流機会が多いほど、「外国人のための生活便利帳（英語、中国語、韓国語による生活する上で必要な情報をまとめた冊子）の発行」「多言語対応デジタルブック（カタログポケット）による情報発信」の割合が高くなる傾向がみられる。交流機会が「全くない」で知っているサービスや取組が「特にない」が45.1%となっており、全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 多文化共生に関するサービスや取組の認知度（日本人との交流機会の頻度別）

上段:人数 下段:%	調査数	区公式ホームページの多言語対応	外国人のための生活便利帳(英語、中国語、韓国語による生活する上で必要な情報をまとめた冊子)の発行	外国人のための日本語教室・子供日本語教室の実施	外国人相談窓口の運営	TAITO CITY LIFE NEWS(英語、中国語、韓国語、やさしい日本語 生活に役立つ情報や行政情報を年4回)発行	多言語ビデオ通訳タブレット等での窓口対応
全体	975 100.0%	369 37.8%	285 29.2%	200 20.5%	197 20.2%	146 15.0%	122 12.5%
たくさんある	170 100.0%	65 38.2%	44 25.9%	29 17.1%	31 18.2%	29 17.1%	16 9.4%
少しある	326 100.0%	136 41.7%	112 34.4%	90 27.6%	82 25.2%	62 19.0%	47 14.4%
あまりない	299 100.0%	108 36.1%	90 30.1%	54 18.1%	53 17.7%	36 12.0%	41 13.7%
全くない	102 100.0%	36 35.3%	22 21.6%	16 15.7%	17 16.7%	7 6.9%	7 6.9%
わからない	37 100.0%	14 37.8%	6 16.2%	5 13.5%	5 13.5%	3 8.1%	6 16.2%

上段:人数 下段:%	調査数	多言語対応デジタルブック(カタログポケット)による情報発信	日本人と外国人の交流事業	外国から区立幼稚園・保育園・こども園・小・中学校へ新たに編入した幼児・児童・生徒を対象とした日本語指導講師の派遣	区立幼稚園・保育園・こども園・小・中学校を対象に、日本語理解が不十分な保護者との面談や教育相談などを支援する通訳の派遣	特にない	無回答
全体	975 100.0%	114 11.7%	85 8.7%	58 5.9%	52 5.3%	350 35.9%	15 1.5%
たくさんある	170 100.0%	30 17.6%	14 8.2%	20 11.8%	19 11.2%	64 37.6%	3 1.8%
少しある	326 100.0%	39 12.0%	36 11.0%	22 6.7%	19 5.8%	91 27.9%	5 1.5%
あまりない	299 100.0%	27 9.0%	21 7.0%	13 4.3%	10 3.3%	117 39.1%	2 0.7%
全くない	102 100.0%	8 7.8%	5 4.9%	1 1.0%	-	46 45.1%	1 1.0%
わからない	37 100.0%	4 10.8%	2 5.4%	-	-	13 35.1%	1 2.7%

(2) 台東区の施策に対する満足度と必要度

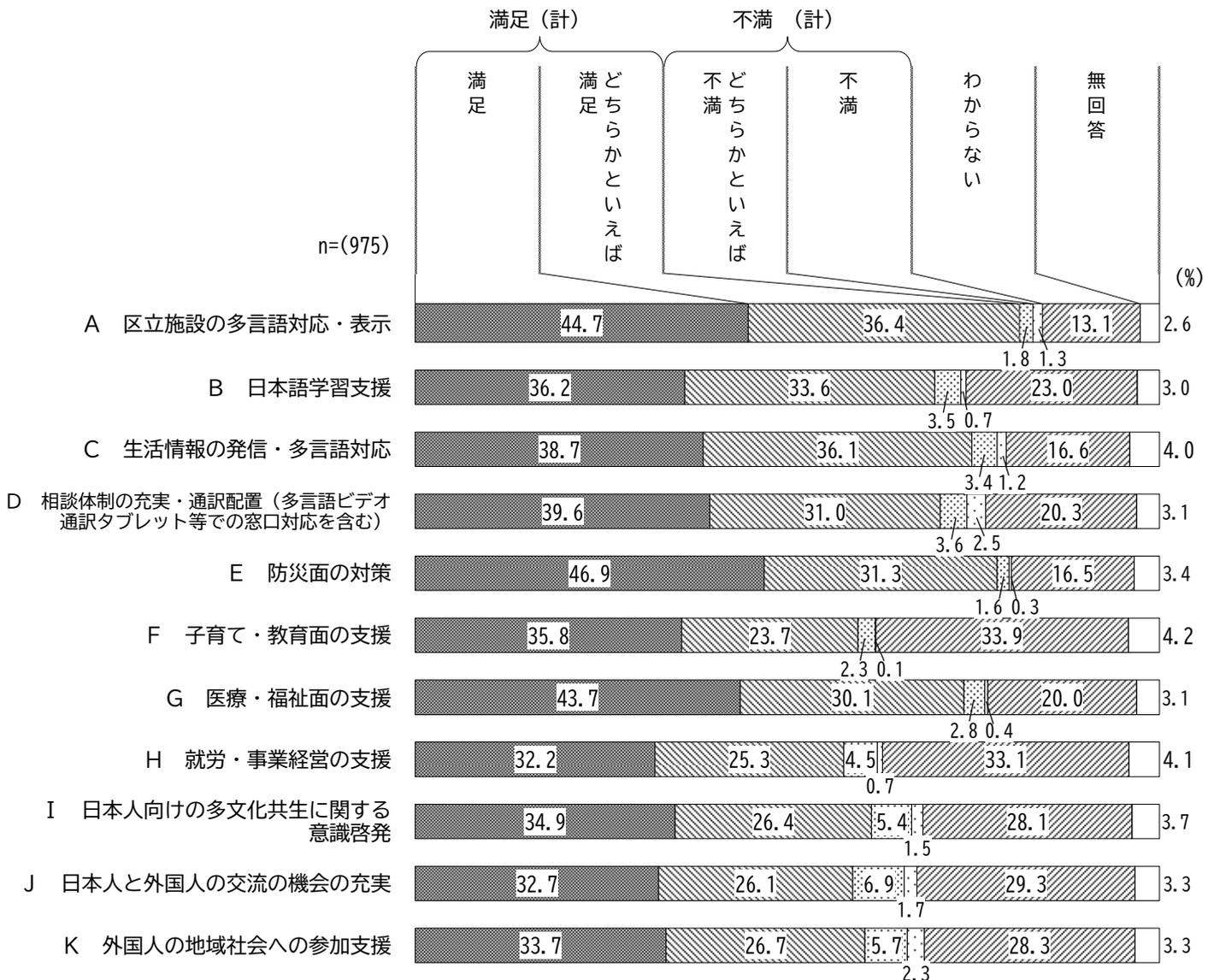
問21 台東区の取組に対して満足していますか。また、その取組はあなたにとってどのくらい必要ですか。(それぞれひとつに○)

【① 台東区の施策に対する満足度】

「満足」「どちらかといえば満足」の合計「満足(計)」の割合が最も高い項目は、「A 区立施設の多言語対応・表示」(81.1%)となっている。次いで、「E 防災面の対策」(78.2%)、「C 生活情報の発信・多言語対応」(74.8%)、「G 医療・福祉面の支援」(73.8%)と続いている。

一方、「不満」「どちらかといえば不満」の合計「不満(計)」が最も高い項目は、「J 日本人と外国人の交流の機会の充実」(8.6%)となっている。次いで、「K 外国人の地域社会への参加支援」(8.0%)、「I 日本人向けの多文化共生に関する意識啓発」(6.9%)、「D 相談体制の充実・通訳配置(多言語ビデオ通訳タブレット等での窓口対応を含む)」(6.1%)と続いている。

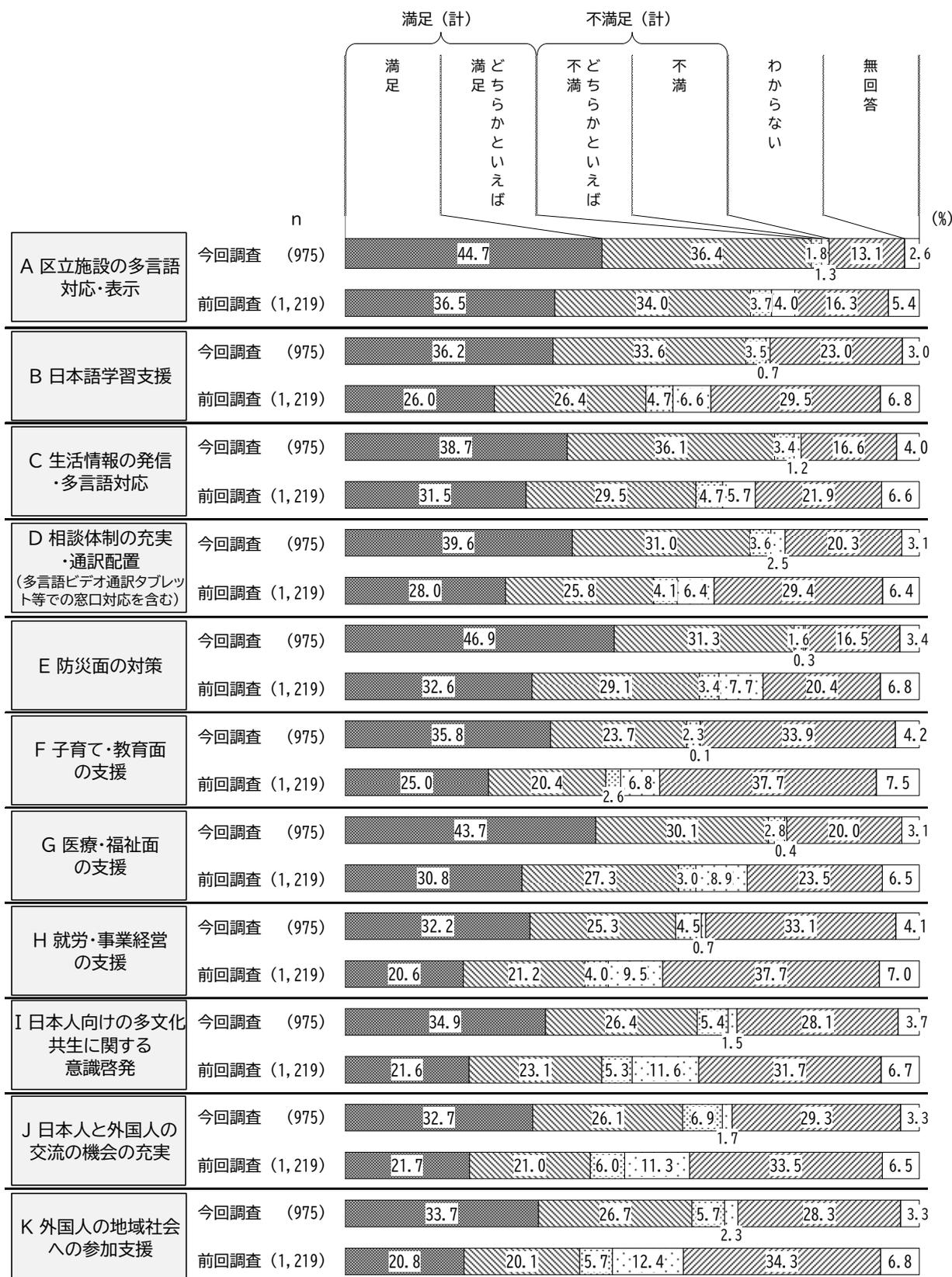
図表 台東区の施策に対する満足度(単一回答)



【経年比較】

前回との比較では、全項目で「満足（計）」が10ポイント以上増加しており、特に「K 外国人の地域社会への参加支援」が19.5ポイント、「B 日本語学習支援」が17.4ポイント増加している。

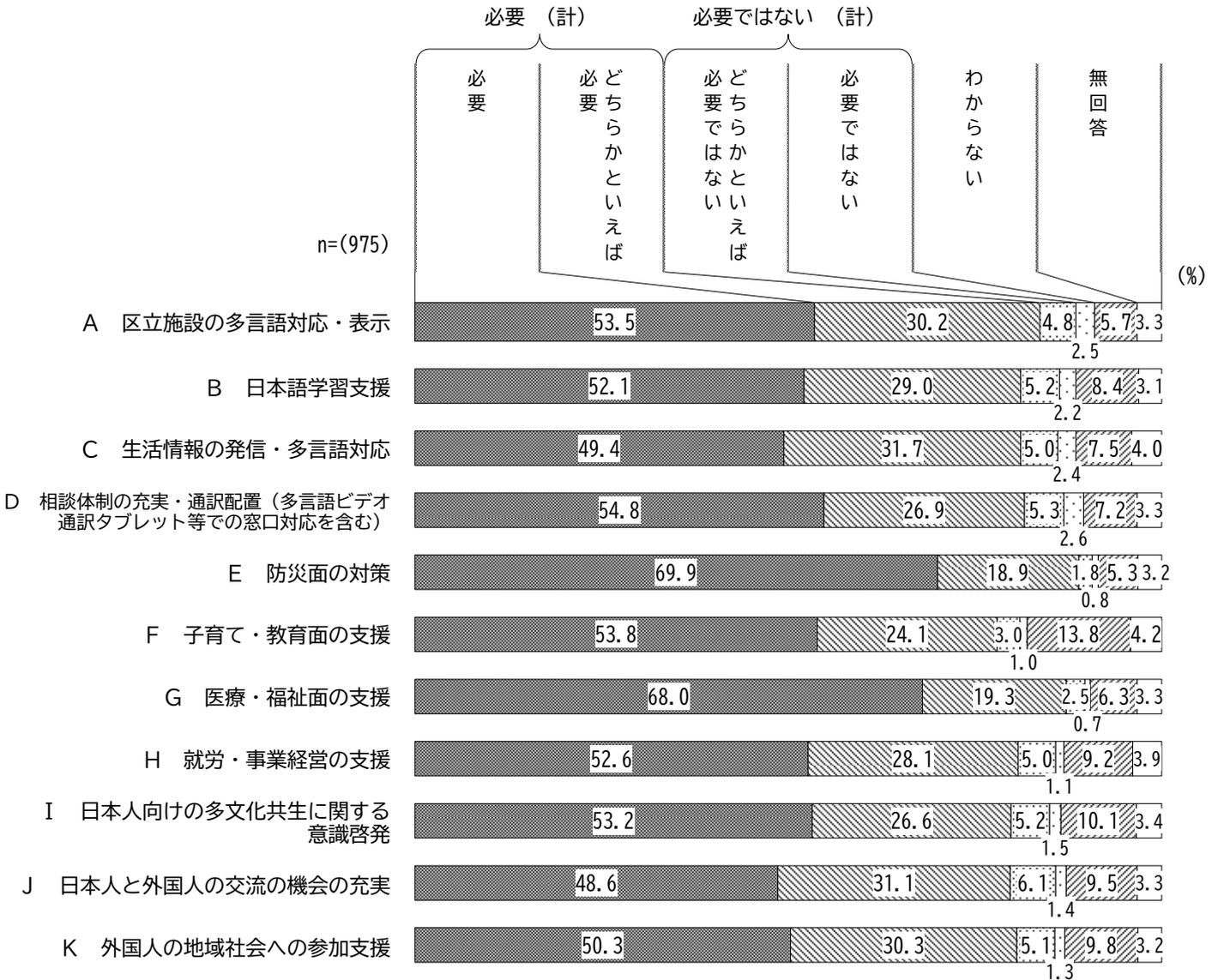
図表 【経年比較】台東区の施策に対する満足度（単一回答）



【②台東区の施策に対する必要度】

「必要」「どちらかといえば必要」の合計「必要（計）」の割合が最も高い項目は、「E 防災面の対策」（88.8%）となっている。次いで、「G 医療・福祉面の支援」（87.3%）、「A 区立施設の多言語対応・表示」（83.7%）、「D 相談体制の充実・通訳配置（多言語ビデオ通訳タブレット等での窓口対応を含む）」（81.7%）と続いており、全項目において、「必要」「どちらかといえば必要」の合計の割合が70%以上となっている。

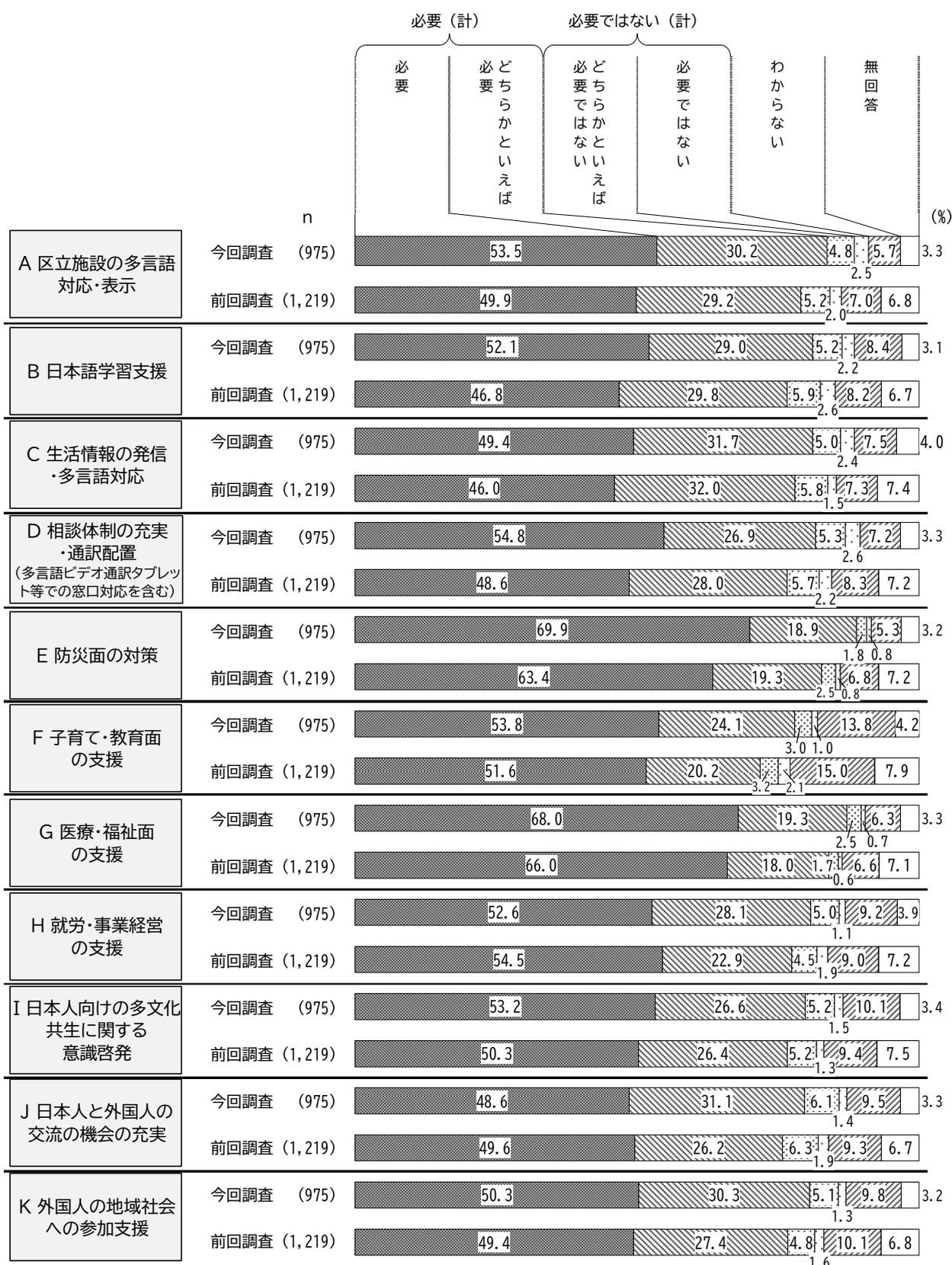
図表 台東区の施策に対する必要度（単一回答）



【経年比較】

前回との比較では、全項目で「必要（計）」が増加しており、特に「E 防災面の対策」及び「F 子育て・教育面の支援」がいずれも6.1ポイント増加している。

図表 【経年比較】台東区の施策に対する必要度（単一回答）

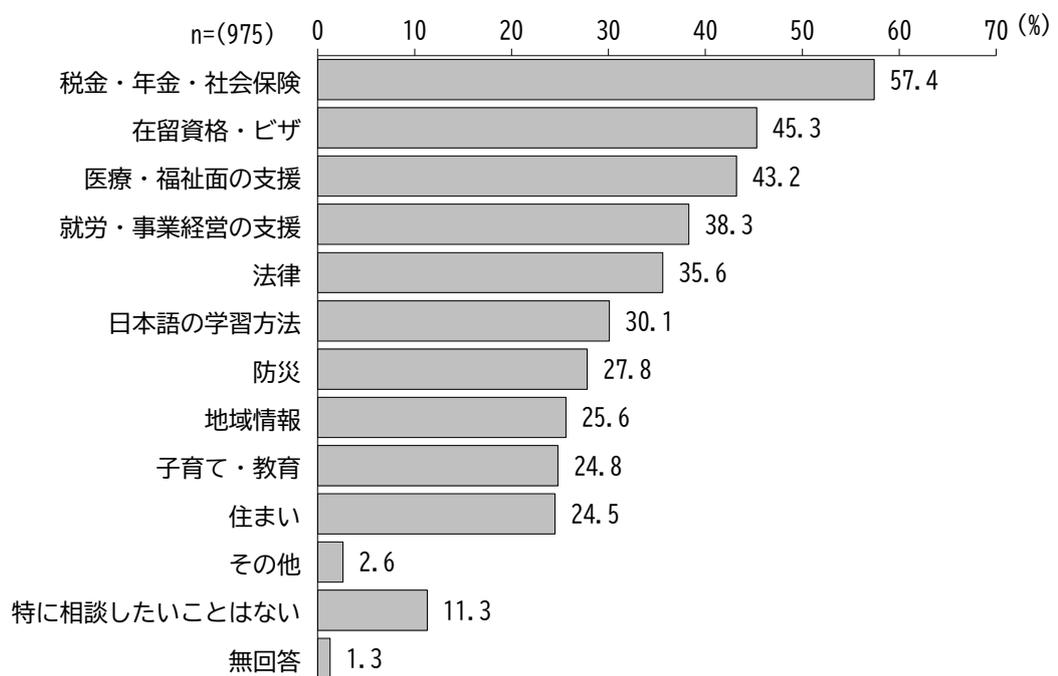


(3) 多言語による一元的な外国人相談窓口開設後に相談したいこと

問22 令和8（2026）年11月の生涯学習センター改修工事後のリニューアルオープンに合わせて、多言語による一元的な外国人相談窓口を開設する予定です。  
開設後、どんなことが相談したいですか。（当てはまるもの全てに○）

「税金・年金・社会保険」（57.4%）、次いで、「在留資格・ビザ」（45.3%）、「医療・福祉面の支援」（43.2%）、「就労・事業経営の支援」（38.3%）、「法律」（35.6%）となっている。なお、「特に相談したいことはない」は11.3%となっている。

図表 多言語による一元的な外国人窓口開設後に相談したいこと（複数回答）



【台東区居住年数別】

「1年未満」で「医療・福祉面の支援」「日本語の学習方法」「住まい」が、「5年～10年未満」「10年～20年未満」で「子育て・教育」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

居住年数が浅い「1年未満」「1年～3年未満」で、「在留資格・ビザ」が高くなっている。居住年数が経つにつれて「特に相談したいことはない」が高くなる傾向がみられる。

居住年数20年未満では「税金・年金・社会保険」が50%～60%台、「就労・事業経営の支援」が30%～40%台となっている。

図表 多言語による一元的な外国人窓口開設後に相談したいこと（台東区居住年数別）

上段:人数 下段:%	調査数	税金・年金・社会保険	在留資格・ビザ	医療・福祉面の支援	就労・事業経営の支援	法律	日本語の学習方法	防災
全体	975 100.0%	560 57.4%	442 45.3%	421 43.2%	373 38.3%	347 35.6%	293 30.1%	271 27.8%
1年未満	89 100.0%	53 59.6%	56 62.9%	45 50.6%	38 42.7%	32 36.0%	35 39.3%	29 32.6%
1年～3年未満	354 100.0%	218 61.6%	203 57.3%	151 42.7%	145 41.0%	127 35.9%	120 33.9%	103 29.1%
3年～5年未満	169 100.0%	101 59.8%	68 40.2%	75 44.4%	69 40.8%	63 37.3%	56 33.1%	55 32.5%
5年～10年未満	189 100.0%	106 56.1%	76 40.2%	74 39.2%	74 39.2%	69 36.5%	50 26.5%	51 27.0%
10年～20年未満	110 100.0%	61 55.5%	27 24.5%	50 45.5%	38 34.5%	38 34.5%	22 20.0%	21 19.1%
20年以上	59 100.0%	21 35.6%	9 15.3%	25 42.4%	9 15.3%	18 30.5%	8 13.6%	12 20.3%

上段:人数 下段:%	調査数	地域情報	子育て・教育	住まい	その他	特に相談したいことはない	無回答
全体	975 100.0%	250 25.6%	242 24.8%	239 24.5%	25 2.6%	110 11.3%	13 1.3%
1年未満	89 100.0%	25 28.1%	24 27.0%	32 36.0%	2 2.2%	5 5.6%	-
1年～3年未満	354 100.0%	99 28.0%	76 21.5%	97 27.4%	9 2.5%	23 6.5%	1 0.3%
3年～5年未満	169 100.0%	47 27.8%	42 24.9%	38 22.5%	3 1.8%	22 13.0%	2 1.2%
5年～10年未満	189 100.0%	45 23.8%	60 31.7%	41 21.7%	8 4.2%	24 12.7%	2 1.1%
10年～20年未満	110 100.0%	23 20.9%	33 30.0%	24 21.8%	3 2.7%	21 19.1%	4 3.6%
20年以上	59 100.0%	11 18.6%	6 10.2%	7 11.9%	-	15 25.4%	4 6.8%

### 第3章 外国人意識調査 調査結果の詳細

#### 【居住地域別】

「税金・年金・社会保険」は「浅草寿地区」で72.1%、「雷門地区」「馬道地区」で60%台である一方で、「上野地区」で48.6%となっている。「在留資格・ビザ」は「雷門地区」で60%、「浅草寿地区」で50%を超える一方で、「馬道地区」「清川地区」で30%台となっている。

このほか、「雷門地区」で「医療・福祉面の支援」「法律」、「浅草橋地区」で「就労・事業経営の支援」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 多言語による一元的な外国人窓口開設後に相談したいこと（居住地域別）

上段:人数 下段:%	調査数	税金・年金・社会保険	在留資格・ビザ	医療・福祉面の支援	就労・事業経営の支援	法律	日本語の学習方法	防災
全体	975 100.0%	560 57.4%	442 45.3%	421 43.2%	373 38.3%	347 35.6%	293 30.1%	271 27.8%
竹町地区	40 100.0%	22 55.0%	17 42.5%	15 37.5%	12 30.0%	14 35.0%	9 22.5%	10 25.0%
東上野地区	133 100.0%	77 57.9%	64 48.1%	62 46.6%	57 42.9%	45 33.8%	42 31.6%	34 25.6%
上野地区	105 100.0%	51 48.6%	48 45.7%	43 41.0%	34 32.4%	35 33.3%	35 33.3%	21 20.0%
入谷地区	211 100.0%	116 55.0%	95 45.0%	85 40.3%	83 39.3%	75 35.5%	55 26.1%	68 32.2%
金杉地区	46 100.0%	23 50.0%	21 45.7%	19 41.3%	19 41.3%	15 32.6%	16 34.8%	12 26.1%
谷中地区	21 100.0%	6 28.6%	4 19.0%	4 19.0%	7 33.3%	9 42.9%	6 28.6%	2 9.5%
浅草橋地区	128 100.0%	75 58.6%	56 43.8%	57 44.5%	57 44.5%	36 28.1%	41 32.0%	35 27.3%
浅草寿地区	104 100.0%	75 72.1%	54 51.9%	47 45.2%	45 43.3%	42 40.4%	35 33.7%	30 28.8%
雷門地区	53 100.0%	36 67.9%	33 62.3%	30 56.6%	16 30.2%	24 45.3%	18 34.0%	13 24.5%
馬道地区	53 100.0%	34 64.2%	17 32.1%	22 41.5%	12 22.6%	19 35.8%	10 18.9%	15 28.3%
清川地区	67 100.0%	39 58.2%	26 38.8%	31 46.3%	25 37.3%	28 41.8%	21 31.3%	25 37.3%

上段:人数 下段:%	調査数	地域情報	子育て・教育	住まい	その他	特に相談したいことはない	無回答
全体	975 100.0%	250 25.6%	242 24.8%	239 24.5%	25 2.6%	110 11.3%	13 1.3%
竹町地区	40 100.0%	17 42.5%	8 20.0%	6 15.0%	-	6 15.0%	2 5.0%
東上野地区	133 100.0%	37 27.8%	31 23.3%	35 26.3%	5 3.8%	21 15.8%	1 0.8%
上野地区	105 100.0%	20 19.0%	24 22.9%	25 23.8%	3 2.9%	6 5.7%	1 1.0%
入谷地区	211 100.0%	56 26.5%	53 25.1%	57 27.0%	5 2.4%	20 9.5%	3 1.4%
金杉地区	46 100.0%	9 19.6%	16 34.8%	5 10.9%	2 4.3%	8 17.4%	3 6.5%
谷中地区	21 100.0%	4 19.0%	6 28.6%	4 19.0%	1 4.8%	7 33.3%	-
浅草橋地区	128 100.0%	21 16.4%	31 24.2%	32 25.0%	2 1.6%	12 9.4%	-
浅草寿地区	104 100.0%	33 31.7%	28 26.9%	27 26.0%	4 3.8%	8 7.7%	1 1.0%
雷門地区	53 100.0%	16 30.2%	12 22.6%	13 24.5%	1 1.9%	5 9.4%	-
馬道地区	53 100.0%	17 32.1%	10 18.9%	12 22.6%	2 3.8%	9 17.0%	1 1.9%
清川地区	67 100.0%	15 22.4%	17 25.4%	17 25.4%	-	7 10.4%	1 1.5%

【国籍別】

「税金・年金・社会保険」は「ベトナム」「その他」で60%台となっている一方で、「韓国」「アメリカ」で40%台となっている。このほか、「ベトナム」では「在留資格・ビザ」、「その他」では「在留資格・ビザ」「法律」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

「フィリピン」では「医療・福祉面の支援」「日本語の学習方法」「防災」、 「ベトナム」では「子育て・教育」「住まい」が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高くなっている。

図表 多言語による一元的な外国人窓口開設後に相談したいこと（国籍別）

上段:人数 下段:%	調査数	税金・年金・社会保険	在留資格・ビザ	医療・福祉面の支援	就労・事業経営の支援	法律	日本語の学習方法	防災
全体	975 100.0%	560 57.4%	442 45.3%	421 43.2%	373 38.3%	347 35.6%	293 30.1%	271 27.8%
中国	472 100.0%	274 58.1%	215 45.6%	234 49.6%	200 42.4%	168 35.6%	148 31.4%	131 27.8%
韓国	92 100.0%	41 44.6%	25 27.2%	26 28.3%	20 21.7%	23 25.0%	11 12.0%	10 10.9%
ベトナム	41 100.0%	25 61.0%	22 53.7%	17 41.5%	16 39.0%	14 34.1%	12 29.3%	8 19.5%
フィリピン	59 100.0%	32 54.2%	25 42.4%	33 55.9%	25 42.4%	19 32.2%	31 52.5%	27 45.8%
台湾	49 100.0%	27 55.1%	19 38.8%	13 26.5%	15 30.6%	9 18.4%	7 14.3%	8 16.3%
アメリカ	35 100.0%	17 48.6%	16 45.7%	9 25.7%	8 22.9%	10 28.6%	14 40.0%	13 37.1%
その他	224 100.0%	143 63.8%	119 53.1%	87 38.8%	86 38.4%	103 46.0%	68 30.4%	73 32.6%

上段:人数 下段:%	調査数	地域情報	子育て・教育	住まい	その他	特に相談したいことはない	無回答
全体	975 100.0%	250 25.6%	242 24.8%	239 24.5%	25 2.6%	110 11.3%	13 1.3%
中国	472 100.0%	126 26.7%	128 27.1%	99 21.0%	9 1.9%	39 8.3%	4 0.8%
韓国	92 100.0%	15 16.3%	17 18.5%	15 16.3%	2 2.2%	28 30.4%	3 3.3%
ベトナム	41 100.0%	7 17.1%	14 34.1%	21 51.2%	1 2.4%	3 7.3%	- -
フィリピン	59 100.0%	18 30.5%	15 25.4%	17 28.8%	- -	3 5.1%	2 3.4%
台湾	49 100.0%	7 14.3%	7 14.3%	9 18.4%	1 2.0%	10 20.4%	- -
アメリカ	35 100.0%	14 40.0%	10 28.6%	6 17.1%	2 5.7%	7 20.0%	1 2.9%
その他	224 100.0%	62 27.7%	51 22.8%	71 31.7%	9 4.0%	20 8.9%	3 1.3%

## 4. 日頃の暮らしについて

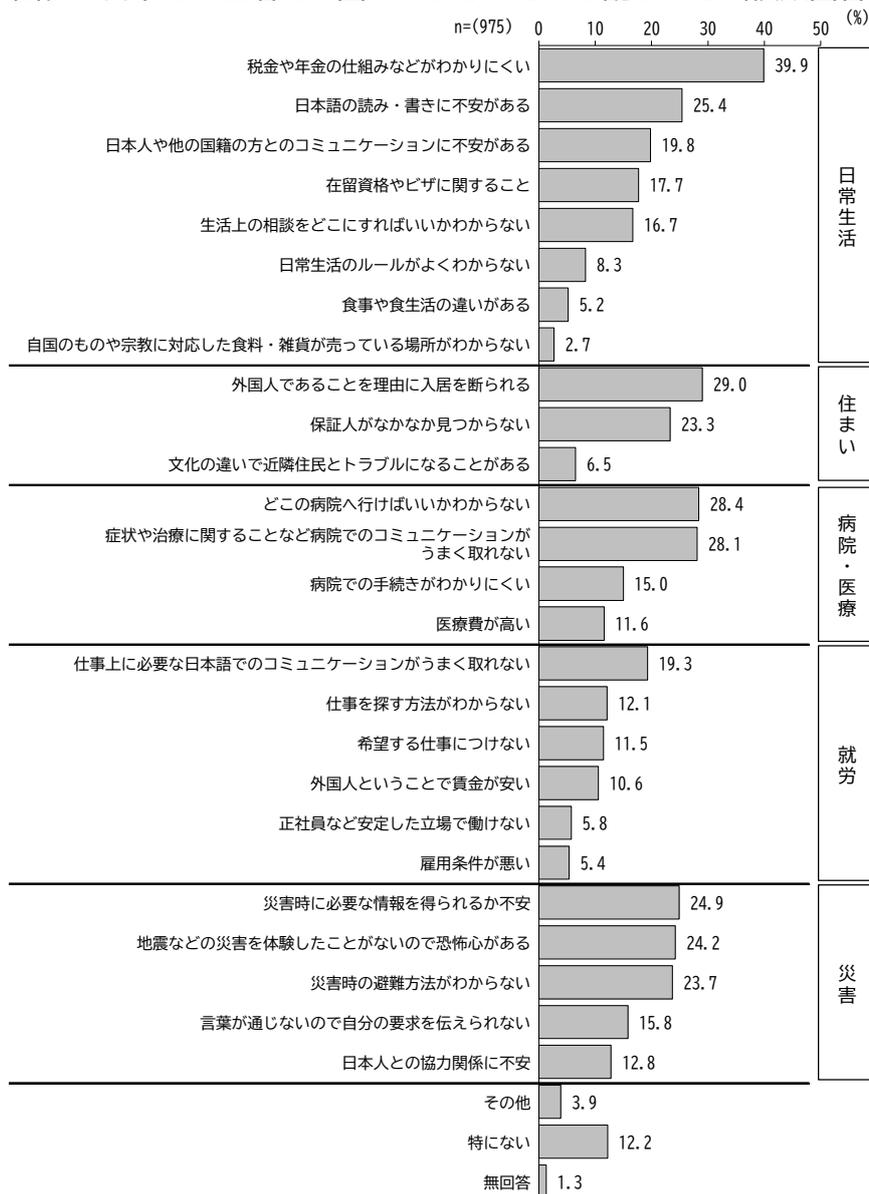
### (1) 日本での生活で、困っていることや心配なこと

問23 あなたは、日本での生活で、困っていることや心配なことはありますか。  
(当てはまるもの全てに○)

全体では、「税金や年金の仕組みなどがわかりにくい」(39.9%)が最も高く、次いで、「外国人であることを理由に入居を断られる」(29.0%)、「どこの病院へ行けばいいかわからない」(28.4%)、「症状や治療に関することなど病院でのコミュニケーションがうまく取れない」(28.1%)などと続いている。

その他に、日常生活で「日本語の読み・書きに不安がある」(25.4%)、住まいで「保証人がなかなか見つからない」(23.3%)、災害で「災害時に必要な情報を得られるか不安」(24.9%)、「地震などの災害を体験したことがないので恐怖心がある」(24.2%)、「災害時の避難方法がわからない」(23.7%)がいずれも20%台となっている。

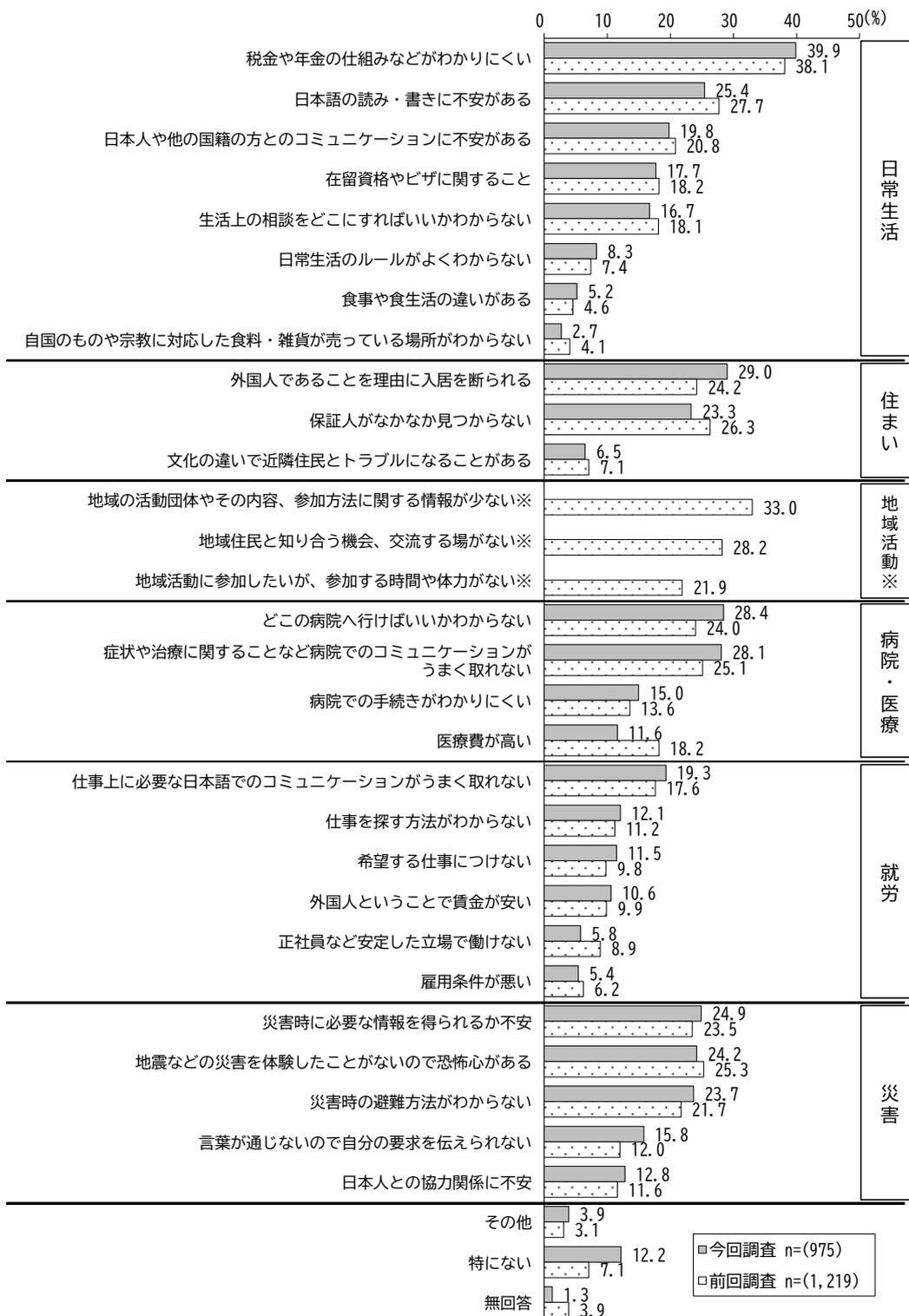
図表 日本での生活で、困っていることや心配なこと（複数回答）



【経年比較】

前回との比較では、「医療費が高い」が6.6ポイント減少している。一方、「特にない」が5.1ポイント増加している。また、【病院・医療】【就労】【災害】の分野では前回から増加傾向にある項目が多くなっている。

図表 【経年比較】日本での生活で、困っていることや心配なこと（複数回答）



※今回調査より、地域活動の3つの選択肢は削除された。

【日常生活（年齢別）】

「18～29歳」では、他の年代と比較して、「日本人や他の国籍の方とのコミュニケーションに不安がある」、「日常生活のルールがよくわからない」などの心配ごとを挙げている人の割合が高い。また、「50～59歳」で「生活上の相談をどこにすればいいかわからない」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。年代が高くなるにつれ、多くの項目の回答割合が低くなる傾向がみられるのに対し、「日本語の読み・書きに不安がある」は、回答数の少ない「70歳以上」を除いて、いずれの年代でも20%以上の回答割合となっていることから、居住年数や年代に関係なく一定の日本語学習のニーズがあるといえる。

図表 日本での生活で、困っていることや心配なこと【日常生活】（年齢別）

	調査数	税金や年金の仕組みなどがわかりにくい	日本語の読み・書きに不安がある	日本人や他の国籍の方とのコミュニケーションに不安がある	在留資格やビザに関すること	生活上の相談をどこにすればいいかわからない	日常生活のルールがよくわからない	食事や食生活の違いがある	自国のものや宗教に対応した食料・雑貨が売っている場所がわからない
上段:人数 下段:%									
全体	975 100.0%	389 39.9%	248 25.4%	193 19.8%	173 17.7%	163 16.7%	81 8.3%	51 5.2%	26 2.7%
18～29歳	233 100.0%	104 44.6%	55 23.6%	71 30.5%	48 20.6%	44 18.9%	30 12.9%	15 6.4%	7 3.0%
30～39歳	385 100.0%	168 43.6%	88 22.9%	77 20.0%	72 18.7%	56 14.5%	27 7.0%	16 4.2%	13 3.4%
40～49歳	185 100.0%	70 37.8%	51 27.6%	25 13.5%	30 16.2%	29 15.7%	11 5.9%	10 5.4%	3 1.6%
50～59歳	103 100.0%	38 36.9%	39 37.9%	14 13.6%	17 16.5%	24 23.3%	10 9.7%	6 5.8%	2 1.9%
60～69歳	47 100.0%	5 10.6%	11 23.4%	2 4.3%	3 6.4%	6 12.8%	2 4.3%	3 6.4%	1 2.1%
70歳以上	19 100.0%	3 15.8%	3 15.8%	2 10.5%	2 10.5%	4 21.1%	1 5.3%	-	-

【日常生活（国籍別）】

「日本語の読み・書きに不安がある」が、「フィリピン」では62.7%と回答割合が高い。「フィリピン」では「日本人や他の国籍の方とのコミュニケーションに不安がある」も高く、日本語の読み・書きができないことが、日本人とのコミュニケーションなどの心配ごとにつながっていることがうかがえる。

また、「ベトナム」で「税金や年金の仕組みなどがわかりにくい」「日本人や他の国籍の方とのコミュニケーションに不安がある」「在留資格やビザに関すること」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 日本での生活で、困っていることや心配なこと【日常生活】（国籍別）

上段:人数 下段:%	調査数	税金や年金の仕組みなどがわかりにくい	日本語の読み・書きに不安がある	日本人や他の国籍の方とのコミュニケーションに不安がある	在留資格やビザに関すること	生活上の相談をどこにすればいいかわからない	日常生活のルールがよくわからない	食事や食生活の違いがある	自国のものや宗教に対応した食料・雑貨が売っている場所がわからない
全体	975 100.0%	389 39.9%	248 25.4%	193 19.8%	173 17.7%	163 16.7%	81 8.3%	51 5.2%	26 2.7%
中国	472 100.0%	181 38.3%	96 20.3%	105 22.2%	94 19.9%	84 17.8%	61 12.9%	24 5.1%	10 2.1%
韓国	92 100.0%	33 35.9%	5 5.4%	4 4.3%	11 12.0%	17 18.5%	4 4.3%	2 2.2%	1 1.1%
ベトナム	41 100.0%	21 51.2%	11 26.8%	12 29.3%	10 24.4%	6 14.6%	2 4.9%	1 2.4%	2 4.9%
フィリピン	59 100.0%	19 32.2%	37 62.7%	19 32.2%	3 5.1%	6 10.2%	2 3.4%	8 13.6%	- -
台湾	49 100.0%	21 42.9%	6 12.2%	7 14.3%	8 16.3%	8 16.3%	2 4.1%	1 2.0%	- -
アメリカ	35 100.0%	14 40.0%	10 28.6%	6 17.1%	6 17.1%	6 17.1%	1 2.9%	1 2.9%	2 5.7%
その他	224 100.0%	99 44.2%	82 36.6%	38 17.0%	40 17.9%	36 16.1%	9 4.0%	13 5.8%	11 4.9%

【日常生活（日本居住年数別）】

居住年数が経つにつれて、「在留資格やビザに関すること」「日本人や他の国籍の方とのコミュニケーションに不安がある」が低くなっている。一方で、「日本語の読み・書きに不安がある」は、5年未満では30～40%台、5年～20年未満では20.0%、「20年以上」も10%台半ばを占めており、居住年数が長くても日本語の読み・書きへの不安はそれほど低減していないことがわかる。また、「税金や年金の仕組みなどがわかりにくい」も、「1年未満」の半数、他の居住年数においてもいずれも30%以上となっており、居住年数が長くても困っている人が一定の割合いることがわかる。

図表 日本での生活で、困っていることや心配なこと【日常生活】（日本居住年数別）

上段:人数 下段:%	調査数	税金や年金の 仕組みなどが わかりにくい	日本語の読み・ 書きに不安が ある	日本人や他の 国籍の方との コミュニケーションに不安が ある	在留資格やビ ザに関するこ と	生活上の相談 をどこにすれば いいかわから ない	日常生活の ルールがよくわ からない	食事や食生活 の違いがある	自国のものや 宗教に対応し た食料・雑貨が 売っている場 所がわからな い
全体	975 100.0%	389 39.9%	248 25.4%	193 19.8%	173 17.7%	163 16.7%	81 8.3%	51 5.2%	26 2.7%
1年未満	38 100.0%	19 50.0%	16 42.1%	17 44.7%	16 42.1%	9 23.7%	8 21.1%	6 15.8%	3 7.9%
1年～3年未満	199 100.0%	62 31.2%	72 36.2%	76 38.2%	51 25.6%	34 17.1%	37 18.6%	18 9.0%	11 5.5%
3年～5年未満	120 100.0%	48 40.0%	40 33.3%	32 26.7%	25 20.8%	24 20.0%	9 7.5%	6 5.0%	3 2.5%
5年～10年未満	235 100.0%	115 48.9%	47 20.0%	40 17.0%	48 20.4%	32 13.6%	18 7.7%	11 4.7%	5 2.1%
10年～20年未満	215 100.0%	93 43.3%	43 20.0%	21 9.8%	20 9.3%	41 19.1%	7 3.3%	4 1.9%	2 0.9%
20年以上	155 100.0%	49 31.6%	28 18.1%	7 4.5%	11 7.1%	21 13.5%	2 1.3%	4 2.6%	2 1.3%

【日常生活（居住地域別）】

「税金や年金の仕組みなどがわかりにくい」は「浅草寿地区」で50%を超えている。

「金杉地区」で「日本語の読み・書きに不安がある」、「浅草橋地区」で「日本人や他の国籍の方とのコミュニケーションに不安がある」、「上野地区」で「在留資格やビザに関すること」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 日本での生活で、困っていることや心配なこと【日常生活】（居住地域別）

上段:人数 下段:%	調査数	税金や年金の仕組みなどがわかりにくい	日本語の読み・書きに不安がある	日本人や他の国籍の方とのコミュニケーションに不安がある	在留資格やビザに関すること	生活上の相談をどこにすればいいかわからない	日常生活のルールがよくわからない	食事や食生活の違いがある	自国のものや宗教に対応した食料・雑貨が売っている場所がわからない
全体	975 100.0%	389 39.9%	248 25.4%	193 19.8%	173 17.7%	163 16.7%	81 8.3%	51 5.2%	26 2.7%
竹町地区	40 100.0%	15 37.5%	8 20.0%	5 12.5%	7 17.5%	5 12.5%	4 10.0%	- -	- -
東上野地区	133 100.0%	47 35.3%	33 24.8%	31 23.3%	23 17.3%	26 19.5%	10 7.5%	9 6.8%	2 1.5%
上野地区	105 100.0%	41 39.0%	27 25.7%	20 19.0%	25 23.8%	20 19.0%	10 9.5%	4 3.8%	5 4.8%
入谷地区	211 100.0%	84 39.8%	52 24.6%	38 18.0%	35 16.6%	35 16.6%	19 9.0%	7 3.3%	7 3.3%
金杉地区	46 100.0%	18 39.1%	14 30.4%	9 19.6%	10 21.7%	9 19.6%	3 6.5%	2 4.3%	2 4.3%
谷中地区	21 100.0%	4 19.0%	6 28.6%	2 9.5%	2 9.5%	4 19.0%	1 4.8%	1 4.8%	- -
浅草橋地区	128 100.0%	53 41.4%	37 28.9%	34 26.6%	23 18.0%	21 16.4%	15 11.7%	15 11.7%	5 3.9%
浅草寿地区	104 100.0%	56 53.8%	26 25.0%	22 21.2%	18 17.3%	16 15.4%	6 5.8%	4 3.8%	- -
雷門地区	53 100.0%	21 39.6%	11 20.8%	10 18.9%	10 18.9%	10 18.9%	3 5.7%	3 5.7%	1 1.9%
馬道地区	53 100.0%	17 32.1%	15 28.3%	7 13.2%	7 13.2%	6 11.3%	4 7.5%	1 1.9%	1 1.9%
清川地区	67 100.0%	29 43.3%	15 22.4%	11 16.4%	10 14.9%	9 13.4%	5 7.5%	4 6.0%	3 4.5%

【住まい（台東区居住年数別）】

「1年未満」で「外国人であることを理由に入居を断られる」「保証人がなかなか見つからない」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。一方、「10年～20年未満」では「外国人であることを理由に入居を断られる」、10年以上では「保証人がなかなか見つからない」は10%台と全体平均と比較して5ポイント以上低くなっている。

図表 日本での生活で、困っていることや心配なこと【住まい】（台東区居住年数別）

上段:人数 下段:%	調査数	外国人であることを理由に入居を断られる	保証人がなかなか見つからない	文化の違いで近隣住民とトラブルになることがある
全体	975 100.0%	283 29.0%	227 23.3%	63 6.5%
1年未満	89 100.0%	32 36.0%	30 33.7%	6 6.7%
1年～3年未満	354 100.0%	125 35.3%	88 24.9%	20 5.6%
3年～5年未満	169 100.0%	46 27.2%	40 23.7%	14 8.3%
5年～10年未満	189 100.0%	49 25.9%	43 22.8%	13 6.9%
10年～20年未満	110 100.0%	17 15.5%	18 16.4%	9 8.2%
20年以上	59 100.0%	13 22.0%	8 13.6%	1 1.7%

【病院・医療（台東区居住年数別）】

「1年未満」「1年～3年未満」の居住年数が浅い層で、「どこの病院へ行けばいいかわからない」が30%台と高くなり、居住年数が経つにつれ、その割合が低下しているが、居住年数が3年以上20年未満では「症状や治療に関することなど病院でのコミュニケーションがうまく取れない」も20%台となっている。台東区での居住年数が3年以上となり、病院に行ったり病院で手続きしたりすることは問題ない場合でも、「症状や治療に関することなど病院でのコミュニケーションがうまく取れない」という人が一定の割合いることがうかがえる。

図表 日本での生活で、困っていることや心配なこと【病院・医療】（台東区居住年数別）

上段:人数 下段:%	調査数	どこの病院へ行けばいいかわからない	症状や治療に関することなど病院でのコミュニケーションがうまく取れない	病院での手続きがわかりにくい	医療費が高い
全体	975 100.0%	277 28.4%	274 28.1%	146 15.0%	113 11.6%
1年未満	89 100.0%	35 39.3%	33 37.1%	20 22.5%	10 11.2%
1年～3年未満	354 100.0%	134 37.9%	117 33.1%	64 18.1%	42 11.9%
3年～5年未満	169 100.0%	42 24.9%	49 29.0%	21 12.4%	21 12.4%
5年～10年未満	189 100.0%	39 20.6%	44 23.3%	24 12.7%	18 9.5%
10年～20年未満	110 100.0%	19 17.3%	24 21.8%	15 13.6%	12 10.9%
20年以上	59 100.0%	7 11.9%	6 10.2%	1 1.7%	10 16.9%

## 【病院・医療（居住地域別）】

「どこの病院へ行けばいいかわからない」は「東上野地区」「浅草橋地区」「浅草寿地区」で30%台である一方で、「竹町地区」で2.5%となっている。

「東上野地区」で「症状や治療に関する事など病院でのコミュニケーションがうまく取れない」が、「雷門地区」で「病院での手続きがわかりにくい」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 日本での生活で、困っていることや心配なこと【病院・医療】（居住地域別）

上段:人数 下段:%	調査数	どこの病院へ行けばいいかわからない	症状や治療に関する事など病院でのコミュニケーションがうまく取れない	病院での手続きがわかりにくい	医療費が高い
全体	975 100.0%	277 28.4%	274 28.1%	146 15.0%	113 11.6%
竹町地区	40 100.0%	1 2.5%	8 20.0%	2 5.0%	4 10.0%
東上野地区	133 100.0%	42 31.6%	52 39.1%	22 16.5%	13 9.8%
上野地区	105 100.0%	28 26.7%	24 22.9%	15 14.3%	15 14.3%
入谷地区	211 100.0%	61 28.9%	58 27.5%	22 10.4%	25 11.8%
金杉地区	46 100.0%	9 19.6%	12 26.1%	8 17.4%	7 15.2%
谷中地区	21 100.0%	4 19.0%	5 23.8%	4 19.0%	3 14.3%
浅草橋地区	128 100.0%	44 34.4%	36 28.1%	26 20.3%	16 12.5%
浅草寿地区	104 100.0%	34 32.7%	27 26.0%	16 15.4%	7 6.7%
雷門地区	53 100.0%	14 26.4%	17 32.1%	12 22.6%	8 15.1%
馬道地区	53 100.0%	14 26.4%	11 20.8%	5 9.4%	5 9.4%
清川地区	67 100.0%	20 29.9%	18 26.9%	8 11.9%	8 11.9%

【就労（在留資格別）】

「留学」で「仕事上に必要な日本語でのコミュニケーションがうまく取れない」「仕事を探す方法がわからない」「希望する仕事につけない」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 日本での生活で、困っていることや心配なこと【就労】（在留資格別）

上段:人数 下段:%	調査数	仕事上に必要な日本語でのコミュニケーションがうまく取れない	仕事を探す方法がわからない	希望する仕事につけない	外国人ということで賃金が安い	正社員など安定した立場で働けない	雇用条件が悪い
全体	975 100.0%	188 19.3%	118 12.1%	112 11.5%	103 10.6%	57 5.8%	53 5.4%
身分・地位に基づく在留資格	390 100.0%	41 10.5%	29 7.4%	34 8.7%	30 7.7%	20 5.1%	16 4.1%
専門的・技術的分野の在留資格	395 100.0%	78 19.7%	35 8.9%	38 9.6%	49 12.4%	13 3.3%	22 5.6%
留学	116 100.0%	41 35.3%	41 35.3%	24 20.7%	16 13.8%	14 12.1%	9 7.8%
その他	69 100.0%	26 37.7%	13 18.8%	13 18.8%	7 10.1%	10 14.5%	5 7.2%

【就労（職業別）】

「学生」で「仕事上に必要な日本語でのコミュニケーションがうまく取れない」「仕事を探す方法がわからない」「希望する仕事につけない」が、「契約・嘱託・派遣社員」で「仕事上に必要な日本語でのコミュニケーションがうまく取れない」「希望する仕事につけない」「外国人ということで賃金が安い」が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高い。

図表 日本での生活で、困っていることや心配なこと【就労】（職業別）

上段:人数 下段:%	調査数	仕事上に必要な日本語でのコミュニケーションがうまく取れない	仕事を探す方法がわからない	希望する仕事につけない	外国人ということで賃金が安い	正社員など安定した立場で働けない	雇用条件が悪い
全体	975 100.0%	188 19.3%	118 12.1%	112 11.5%	103 10.6%	57 5.8%	53 5.4%
会社勤務（経営者・役員）	109 100.0%	22 20.2%	9 8.3%	7 6.4%	11 10.1%	5 4.6%	9 8.3%
会社勤務（一般正社員）	425 100.0%	52 12.2%	28 6.6%	33 7.8%	38 8.9%	10 2.4%	15 3.5%
自営業者	49 100.0%	8 16.3%	3 6.1%	6 12.2%	3 6.1%	5 10.2%	3 6.1%
公務員・団体職員	8 100.0%	- -	1 12.5%	1 12.5%	- -	- -	1 12.5%
契約・嘱託・派遣社員	35 100.0%	10 28.6%	4 11.4%	10 28.6%	8 22.9%	4 11.4%	3 8.6%
パート・アルバイト	101 100.0%	16 15.8%	16 15.8%	12 11.9%	9 8.9%	8 7.9%	4 4.0%
専業主婦・主夫	61 100.0%	15 24.6%	10 16.4%	8 13.1%	8 13.1%	6 9.8%	3 4.9%
学生	107 100.0%	41 38.3%	36 33.6%	23 21.5%	14 13.1%	15 14.0%	8 7.5%
無職	43 100.0%	11 25.6%	9 20.9%	5 11.6%	2 4.7%	4 9.3%	- -
その他	29 100.0%	11 37.9%	1 3.4%	6 20.7%	8 27.6%	- -	7 24.1%

【災害（国籍別）】

「ベトナム」で「地震などの災害を体験したことがないので恐怖心がある」「災害時の避難方法がわからない」、「フィリピン」で「言葉が通じないので自分の要求を伝えられない」が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高い。

図表 日本での生活で、困っていることや心配なこと【災害】（国籍別）

上段:人数 下段:%	調査数	災害時に必要な情報を得られるか不安	地震などの災害を体験したことがないので恐怖心がある	災害時の避難方法がわからない	言葉が通じないので自分の要求を伝えられない	日本人との協力関係に不安
全体	975 100.0%	243 24.9%	236 24.2%	231 23.7%	154 15.8%	125 12.8%
中国	472 100.0%	123 26.1%	129 27.3%	109 23.1%	81 17.2%	70 14.8%
韓国	92 100.0%	14 15.2%	14 15.2%	19 20.7%	3 3.3%	10 10.9%
ベトナム	41 100.0%	12 29.3%	19 46.3%	15 36.6%	9 22.0%	2 4.9%
フィリピン	59 100.0%	16 27.1%	11 18.6%	10 16.9%	16 27.1%	9 15.3%
台湾	49 100.0%	9 18.4%	6 12.2%	13 26.5%	9 18.4%	8 16.3%
アメリカ	35 100.0%	6 17.1%	4 11.4%	7 20.0%	5 14.3%	- -
その他	224 100.0%	61 27.2%	52 23.2%	58 25.9%	30 13.4%	24 10.7%

【災害（台東区居住年数別）】

台東区での居住年数が「1年未満」ではほとんどの項目が全体平均と比較して5ポイント以上高くなり、10年以上では低い傾向になっている。

図表 日本での生活で、困っていることや心配なこと【災害】（台東区居住年数別）

上段:人数 下段:%	調査数	災害時に必要な情報を得られるか不安	地震などの災害を体験したことがないので恐怖心がある	災害時の避難方法がわからない	言葉が通じないので自分の要求を伝えられない	日本人との協力関係に不安
全体	975 100.0%	243 24.9%	236 24.2%	231 23.7%	154 15.8%	125 12.8%
1年未満	89 100.0%	28 31.5%	29 32.6%	29 32.6%	20 22.5%	11 12.4%
1年～3年未満	354 100.0%	96 27.1%	105 29.7%	105 29.7%	67 18.9%	52 14.7%
3年～5年未満	169 100.0%	42 24.9%	42 24.9%	36 21.3%	29 17.2%	27 16.0%
5年～10年未満	189 100.0%	47 24.9%	35 18.5%	36 19.0%	23 12.2%	22 11.6%
10年～20年未満	110 100.0%	19 17.3%	15 13.6%	16 14.5%	11 10.0%	12 10.9%
20年以上	59 100.0%	10 16.9%	9 15.3%	8 13.6%	3 5.1%	1 1.7%

【災害（居住地域別）】

「災害時に必要な情報を得られるか不安」は「雷門地区」で30%を超えている。

「馬道地区」で「地震などの災害を体験したことがないので恐怖心がある」、「入谷地区」で「災害時の避難方法がわからない」、「浅草寿地区」で「言葉が通じないので自分の要求を伝えられない」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 日本での生活で、困っていることや心配なこと【災害】（居住地域別）

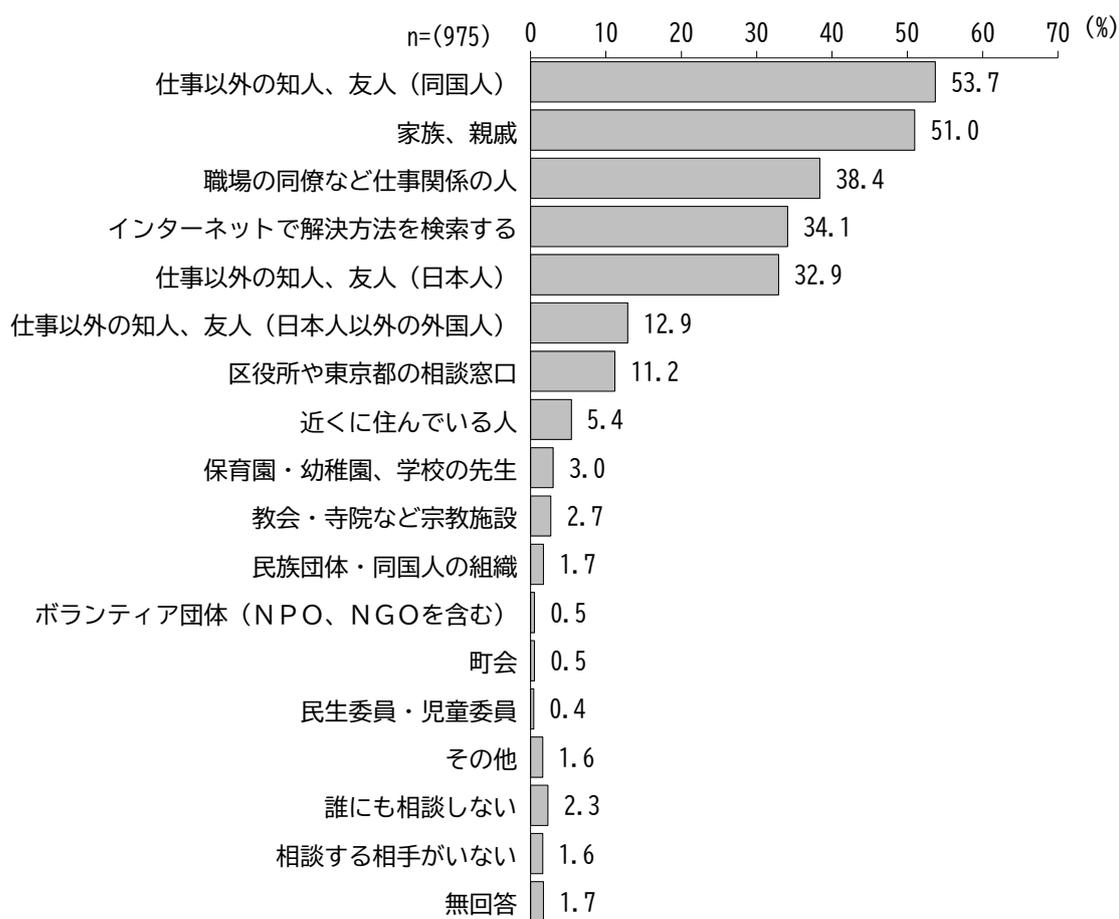
上段:人数 下段:%	調査数	災害時に必要な情報を得られるか不安	地震などの災害を体験したことがないので恐怖心がある	災害時の避難方法がわからない	言葉が通じないので自分の要求を伝えられない	日本人との協力関係に不安
全体	975 100.0%	243 24.9%	236 24.2%	231 23.7%	154 15.8%	125 12.8%
竹町地区	40 100.0%	10 25.0%	7 17.5%	5 12.5%	3 7.5%	3 7.5%
東上野地区	133 100.0%	31 23.3%	37 27.8%	30 22.6%	26 19.5%	19 14.3%
上野地区	105 100.0%	21 20.0%	27 25.7%	23 21.9%	13 12.4%	10 9.5%
入谷地区	211 100.0%	52 24.6%	53 25.1%	61 28.9%	32 15.2%	26 12.3%
金杉地区	46 100.0%	12 26.1%	9 19.6%	7 15.2%	5 10.9%	3 6.5%
谷中地区	21 100.0%	2 9.5%	2 9.5%	7 33.3%	2 9.5%	2 9.5%
浅草橋地区	128 100.0%	34 26.6%	23 18.0%	32 25.0%	26 20.3%	22 17.2%
浅草寿地区	104 100.0%	29 27.9%	26 25.0%	22 21.2%	22 21.2%	16 15.4%
雷門地区	53 100.0%	17 32.1%	14 26.4%	10 18.9%	5 9.4%	9 17.0%
馬道地区	53 100.0%	10 18.9%	16 30.2%	13 24.5%	3 5.7%	6 11.3%
清川地区	67 100.0%	19 28.4%	16 23.9%	17 25.4%	12 17.9%	7 10.4%

## (2) 生活で困ったときの相談先

問24 生活で困ったときの相談先はどこですか。(当てはまるもの全てに○)

「仕事以外の知人、友人（同国人）」（53.7%）が最も高く、「家族、親戚」（51.0%）も半数以上が挙げている。次いで、「職場の同僚など仕事関係の人」（38.4%）、「インターネットで解決方法を検索する」（34.1%）、「仕事以外の知人、友人（日本人）」（32.9%）となっている。

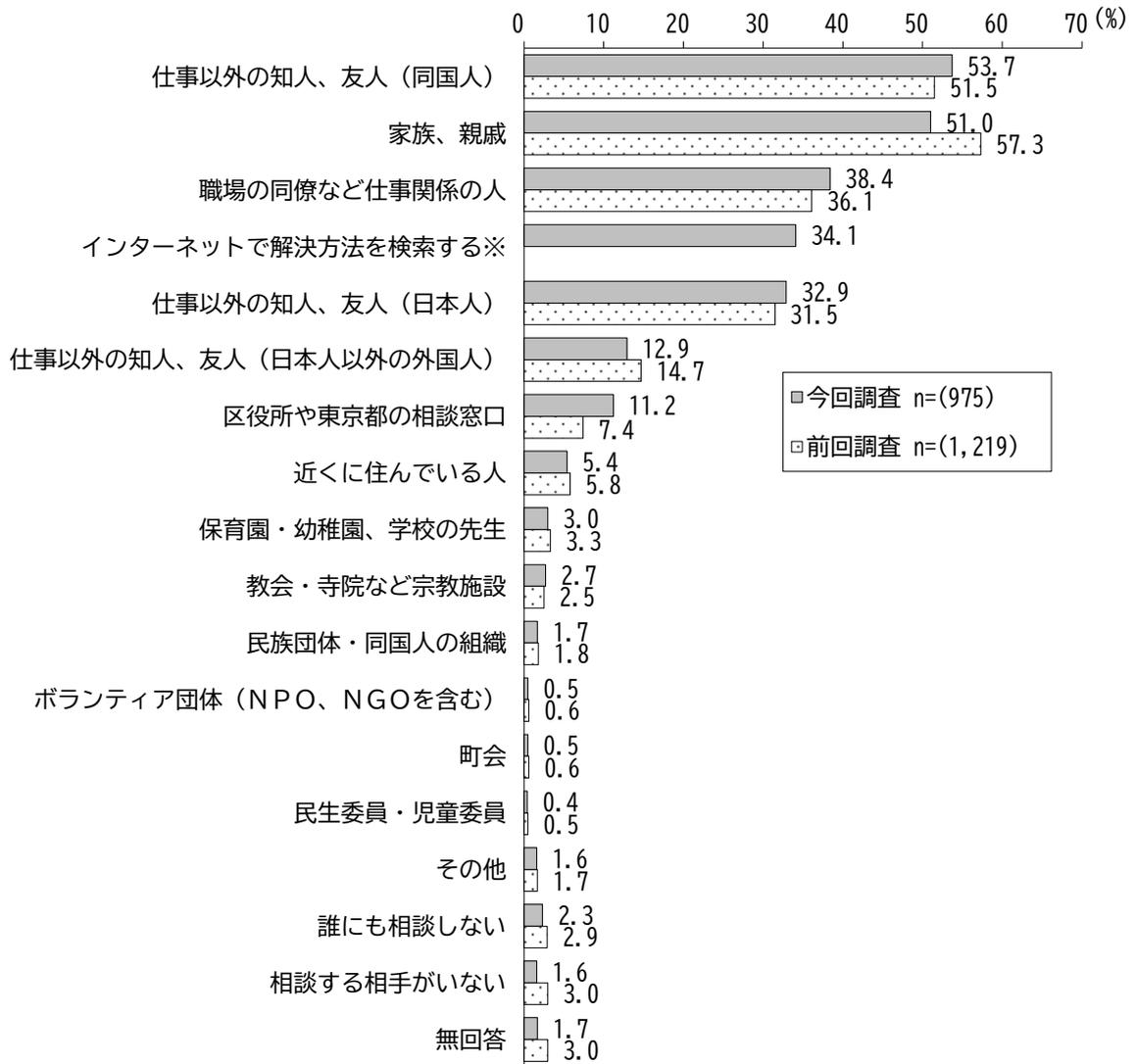
図表 生活で困ったときの相談先（複数回答）



【経年比較】

前回との比較では、「家族、親戚」が6.3ポイント減少し、「区役所や東京都の相談窓口」がやや増加している。また、前回1位の「家族、親戚」と前回2位の「仕事以外の知人、友人（同国人）」の順位が入れ替わっている。

図表 【経年比較】生活で困ったときの相談先（複数回答）



※今回調査より、選択肢「インターネットで解決方法を検索する」が追加された。

【台東区居住年数別】

5年未満で「仕事以外の知人、友人（同国人）」が、「5年～10年未満」「10年～20年未満」で「家族、親戚」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。また、「3年～5年未満」では「職場の同僚など仕事関係の人」が、「1年未満」では「インターネットで解決方法を検索する」が、「20年以上」では「仕事以外の知人、友人（日本人）」も全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 生活で困ったときの相談先（台東区居住年数別）

上段:人数 下段:%	調査数	仕事以外の知人、友人(同国人)	家族、親戚	職場の同僚など仕事関係の人	インターネットで解決方法を検索する	仕事以外の知人、友人(日本人)	仕事以外の知人、友人(日本人以外の外国人)	区役所や東京都の相談窓口	近くに住んでいる人	保育園・幼稚園、学校の先生
全体	975 100.0%	524 53.7%	497 51.0%	374 38.4%	332 34.1%	321 32.9%	126 12.9%	109 11.2%	53 5.4%	29 3.0%
1年未満	89 100.0%	55 61.8%	44 49.4%	38 42.7%	35 39.3%	29 32.6%	12 13.5%	5 5.6%	3 3.4%	4 4.5%
1年～3年未満	354 100.0%	210 59.3%	159 44.9%	140 39.5%	125 35.3%	102 28.8%	51 14.4%	38 10.7%	22 6.2%	13 3.7%
3年～5年未満	169 100.0%	106 62.7%	90 53.3%	75 44.4%	58 34.3%	57 33.7%	24 14.2%	16 9.5%	11 6.5%	3 1.8%
5年～10年未満	189 100.0%	89 47.1%	107 56.6%	72 38.1%	71 37.6%	67 35.4%	24 12.7%	23 12.2%	6 3.2%	4 2.1%
10年～20年未満	110 100.0%	42 38.2%	66 60.0%	35 31.8%	35 31.8%	41 37.3%	12 10.9%	19 17.3%	6 5.5%	3 2.7%
20年以上	59 100.0%	22 37.3%	29 49.2%	12 20.3%	8 13.6%	24 40.7%	3 5.1%	8 13.6%	4 6.8%	2 3.4%

上段:人数 下段:%	調査数	教会・寺院など宗教施設	民族団体・同国人の組織	ボランティア団体(NPO、NGOを含む)	町会	民生委員・児童委員	その他	誰にも相談しない	相談する相手がいない	無回答
全体	975 100.0%	26 2.7%	17 1.7%	5 0.5%	5 0.5%	4 0.4%	16 1.6%	22 2.3%	16 1.6%	17 1.7%
1年未満	89 100.0%	- -	3 3.4%	3 3.4%	- -	1 1.1%	- -	- -	2 2.2%	2 2.2%
1年～3年未満	354 100.0%	7 2.0%	8 2.3%	1 0.3%	2 0.6%	- -	7 2.0%	3 0.8%	6 1.7%	4 1.1%
3年～5年未満	169 100.0%	9 5.3%	1 0.6%	1 0.6%	- -	- -	3 1.8%	4 2.4%	4 2.4%	- -
5年～10年未満	189 100.0%	6 3.2%	2 1.1%	- -	1 0.5%	- -	3 1.6%	7 3.7%	1 0.5%	2 1.1%
10年～20年未満	110 100.0%	4 3.6%	1 0.9%	- -	1 0.9%	2 1.8%	2 1.8%	5 4.5%	2 1.8%	5 4.5%
20年以上	59 100.0%	- -	2 3.4%	- -	1 1.7%	1 1.7%	1 1.7%	3 5.1%	1 1.7%	4 6.8%

【居住地域別】

「竹町地区」で「家族、親戚」、「竹町地区」「東上野地区」「金杉地区」「浅草寿地区」で「インターネットで解決方法を検索する」の割合が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高い。

図表 生活で困ったときの相談先（居住地域別）

上段:人数 下段:%	調査数	仕事以外の知人、友人(同国人)	家族、親戚	職場の同僚など仕事関係の人	インターネットで解決方法を検索する	仕事以外の知人、友人(日本人)	仕事以外の知人、友人(日本人以外の外国人)	区役所や東京都の相談窓口	近くに住んでいる人	保育園・幼稚園、学校の先生
全体	975 100.0%	524 53.7%	497 51.0%	374 38.4%	332 34.1%	321 32.9%	126 12.9%	109 11.2%	53 5.4%	29 3.0%
竹町地区	40 100.0%	22 55.0%	23 57.5%	13 32.5%	17 42.5%	11 27.5%	5 12.5%	6 15.0%	3 7.5%	- -
東上野地区	133 100.0%	77 57.9%	66 49.6%	54 40.6%	55 41.4%	34 25.6%	19 14.3%	11 8.3%	5 3.8%	4 3.0%
上野地区	105 100.0%	51 48.6%	53 50.5%	28 26.7%	30 28.6%	31 29.5%	6 5.7%	14 13.3%	9 8.6%	3 2.9%
入谷地区	211 100.0%	122 57.8%	107 50.7%	87 41.2%	64 30.3%	62 29.4%	29 13.7%	24 11.4%	11 5.2%	7 3.3%
金杉地区	46 100.0%	26 56.5%	25 54.3%	13 28.3%	24 52.2%	16 34.8%	8 17.4%	8 17.4%	2 4.3%	2 4.3%
谷中地区	21 100.0%	10 47.6%	13 61.9%	11 52.4%	2 9.5%	8 38.1%	4 19.0%	5 23.8%	4 19.0%	- -
浅草橋地区	128 100.0%	71 55.5%	62 48.4%	53 41.4%	35 27.3%	51 39.8%	14 10.9%	10 7.8%	5 3.9%	6 4.7%
浅草寿地区	104 100.0%	58 55.8%	54 51.9%	45 43.3%	42 40.4%	42 40.4%	18 17.3%	10 9.6%	10 9.6%	2 1.9%
雷門地区	53 100.0%	22 41.5%	25 47.2%	20 37.7%	17 32.1%	15 28.3%	6 11.3%	3 5.7%	1 1.9%	- -
馬道地区	53 100.0%	30 56.6%	27 50.9%	21 39.6%	16 30.2%	22 41.5%	4 7.5%	5 9.4%	2 3.8%	2 3.8%
清川地区	67 100.0%	31 46.3%	34 50.7%	24 35.8%	23 34.3%	25 37.3%	11 16.4%	10 14.9%	1 1.5%	3 4.5%

上段:人数 下段:%	調査数	教会・寺院など宗教施設	民族団体・同国人の組織	ボランティア団体(NPO、NGOを含む)	町会	民生委員・児童委員	その他	誰にも相談しない	相談する相手がいない	無回答
全体	975 100.0%	26 2.7%	17 1.7%	5 0.5%	5 0.5%	4 0.4%	16 1.6%	22 2.3%	16 1.6%	17 1.7%
竹町地区	40 100.0%	- -	1 2.5%	- -	- -	- -	1 2.5%	- -	- -	1 2.5%
東上野地区	133 100.0%	2 1.5%	1 0.8%	- -	- -	- -	2 1.5%	5 3.8%	- -	3 2.3%
上野地区	105 100.0%	2 1.9%	4 3.8%	- -	- -	- -	3 2.9%	2 1.9%	3 2.9%	3 2.9%
入谷地区	211 100.0%	7 3.3%	2 0.9%	1 0.5%	2 0.9%	1 0.5%	2 0.9%	7 3.3%	4 1.9%	3 1.4%
金杉地区	46 100.0%	2 4.3%	1 2.2%	- -	1 2.2%	1 2.2%	- -	1 2.2%	- -	1 2.2%
谷中地区	21 100.0%	- -	- -	- -	- -	- -	1 4.8%	- -	- -	- -
浅草橋地区	128 100.0%	11 8.6%	3 2.3%	2 1.6%	- -	1 0.8%	2 1.6%	1 0.8%	2 1.6%	3 2.3%
浅草寿地区	104 100.0%	1 1.0%	3 2.9%	1 1.0%	1 1.0%	- -	1 1.0%	1 1.0%	1 1.0%	1 1.0%
雷門地区	53 100.0%	- -	- -	- -	- -	- -	2 3.8%	- -	3 5.7%	2 3.8%
馬道地区	53 100.0%	- -	- -	- -	- -	1 1.9%	- -	3 5.7%	1 1.9%	- -
清川地区	67 100.0%	- -	1 1.5%	1 1.5%	1 1.5%	- -	2 3.0%	2 3.0%	1 1.5%	- -

【年齢別】

年齢が若いほど、「仕事以外の知人、友人（同国人）」の割合が高く、39歳以下で60%台となっている。40歳以上では「家族、親戚」の割合が最も高い。このほか、「30～39歳」では「職場の同僚など仕事関係の人」「インターネットで解決方法を検索する」「仕事以外の知人、友人（日本人）」も高くなっている。

図表 生活で困ったときの相談先（年齢別）

上段:人数 下段:%	調査数	仕事以外の知人、友人(同国人)	家族、親戚	職場の同僚など仕事関係の人	インターネットで解決方法を検索する	仕事以外の知人、友人(日本人)	仕事以外の知人、友人(日本人以外の外国人)	区役所や東京都の相談窓口	近くに住んでいる人	保育園・幼稚園、学校の先生
全体	975 100.0%	524 53.7%	497 51.0%	374 38.4%	332 34.1%	321 32.9%	126 12.9%	109 11.2%	53 5.4%	29 3.0%
18～29歳	233 100.0%	148 63.5%	111 47.6%	80 34.3%	87 37.3%	64 27.5%	36 15.5%	17 7.3%	11 4.7%	10 4.3%
30～39歳	385 100.0%	234 60.8%	209 54.3%	180 46.8%	152 39.5%	146 37.9%	62 16.1%	39 10.1%	18 4.7%	12 3.1%
40～49歳	185 100.0%	85 45.9%	90 48.6%	72 38.9%	62 33.5%	53 28.6%	15 8.1%	30 16.2%	16 8.6%	6 3.2%
50～59歳	103 100.0%	36 35.0%	52 50.5%	31 30.1%	22 21.4%	39 37.9%	13 12.6%	14 13.6%	7 6.8%	1 1.0%
60～69歳	47 100.0%	16 34.0%	26 55.3%	6 12.8%	7 14.9%	12 25.5%	-	5 10.6%	1 2.1%	-
70歳以上	19 100.0%	4 21.1%	7 36.8%	3 15.8%	1 5.3%	5 26.3%	-	3 15.8%	-	-

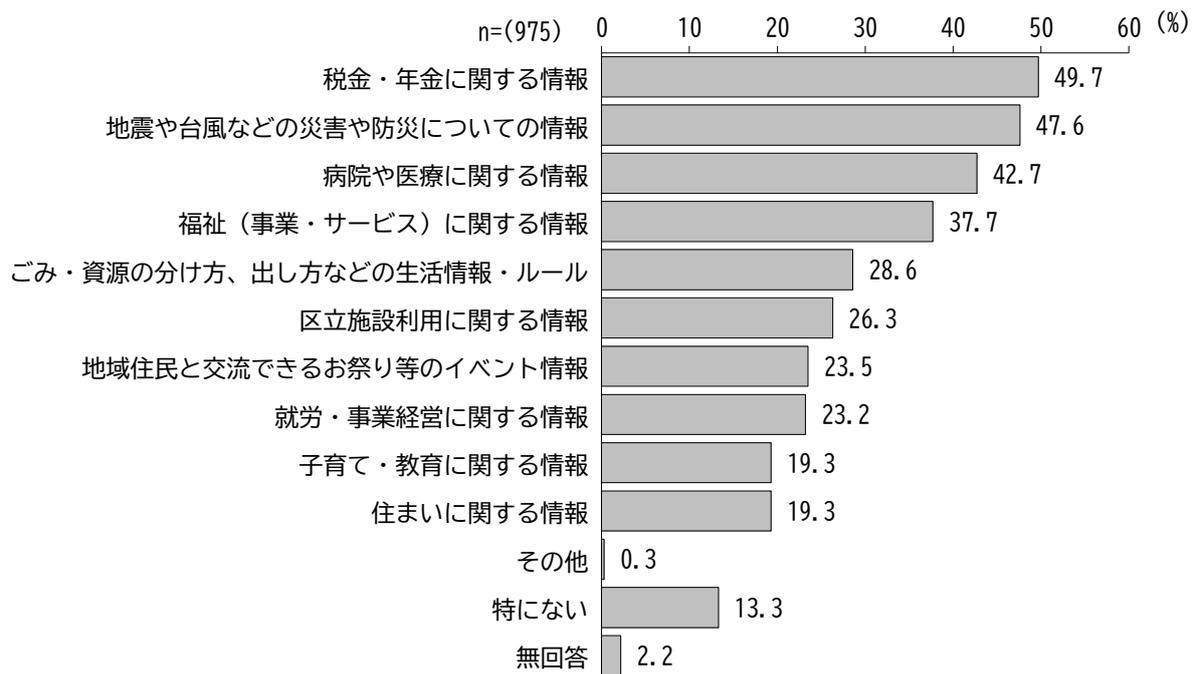
上段:人数 下段:%	調査数	教会・寺院など宗教施設	民族団体・同国人の組織	ボランティア団体(NPO、NGOを含む)	町会	民生委員・児童委員	その他	誰にも相談しない	相談する相手がいない	無回答
全体	975 100.0%	26 2.7%	17 1.7%	5 0.5%	5 0.5%	4 0.4%	16 1.6%	22 2.3%	16 1.6%	17 1.7%
18～29歳	233 100.0%	6 2.6%	5 2.1%	2 0.9%	1 0.4%	1 0.4%	4 1.7%	1 0.4%	6 2.6%	4 1.7%
30～39歳	385 100.0%	12 3.1%	5 1.3%	1 0.3%	2 0.5%	-	7 1.8%	8 2.1%	4 1.0%	1 0.3%
40～49歳	185 100.0%	4 2.2%	3 1.6%	1 0.5%	1 0.5%	1 0.5%	1 0.5%	6 3.2%	2 1.1%	2 1.1%
50～59歳	103 100.0%	2 1.9%	3 2.9%	1 1.0%	-	1 1.0%	2 1.9%	4 3.9%	3 2.9%	3 2.9%
60～69歳	47 100.0%	1 2.1%	1 2.1%	-	-	1 2.1%	1 2.1%	2 4.3%	-	3 6.4%
70歳以上	19 100.0%	-	-	-	1 5.3%	-	1 5.3%	1 5.3%	-	4 21.1%

(3) 生活していく上で必要な情報

問25 生活していく上で必要な情報は何か。(当てはまるもの全てに○)

「税金・年金に関する情報」(49.7%)が最も高く、次いで、「地震や台風などの災害や防災についての情報」(47.6%)、「病院や医療に関する情報」(42.7%)、「福祉(事業・サービス)に関する情報」(37.7%)となっている。

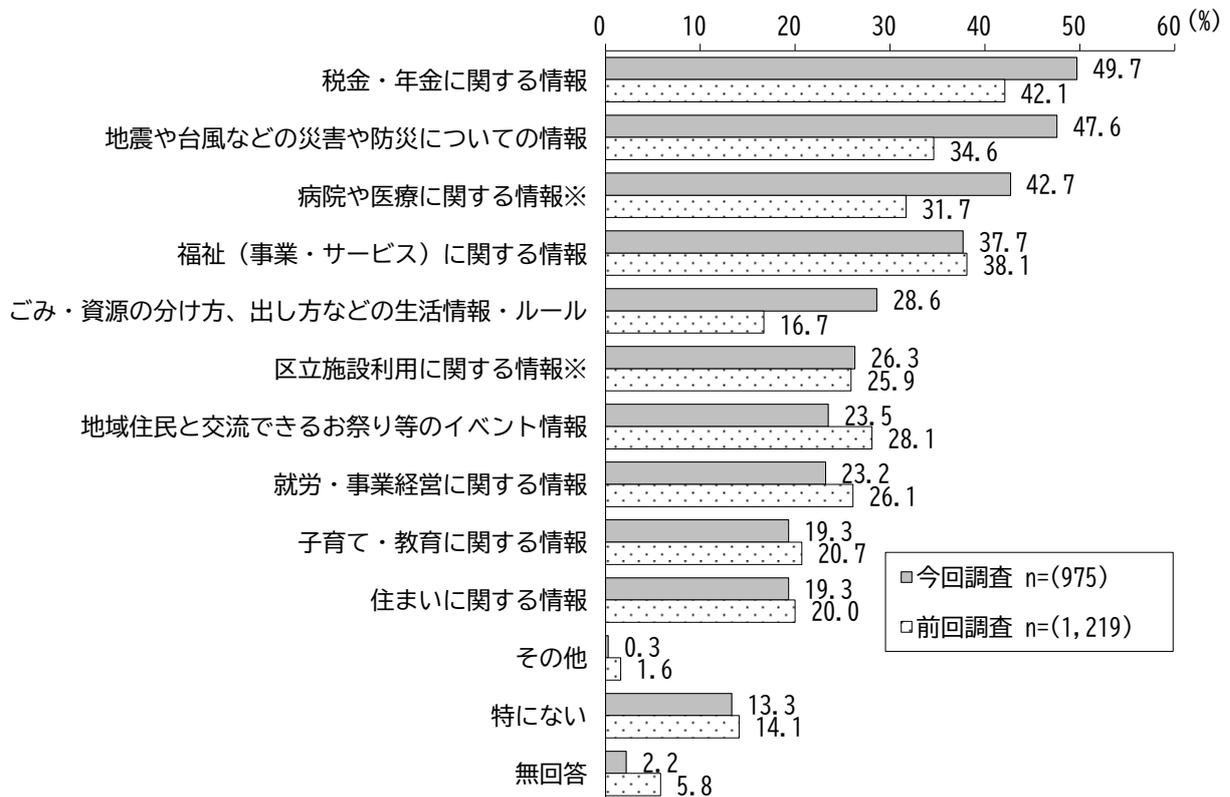
図表 生活していく上で必要な情報(複数回答)



【経年比較】

前回との比較では、「ごみ・資源の分け方、出し方などの生活情報・ルール」「地震や台風などの災害や防災についての情報」「病院や医療に関する情報」がいずれも10ポイント以上、「税金・年金に関する情報」が7.6ポイント増加している。

図表 【経年比較】生活していく上で必要な情報（複数回答）



※今回調査の選択肢「病院や医療に関する情報」は前回調査では「病院や医療、感染症に関する情報」、「区立施設利用に関する情報」は「区立施設利用に関する案内」であった。

【年齢別】

「50～59歳」では「税金・年金に関する情報」「病院や医療に関する情報」「福祉（事業・サービス）に関する情報」「ごみ・資源の分け方、出し方などの生活情報・ルール」が全体平均と比較して5ポイント以上高く、また、「18～29歳」で「地震や台風などの災害や防災についての情報」、「30～39歳」で「子育て・教育に関する情報」が高い。一方、60歳以上では各種情報のニーズが低くなっている。

図表 生活していく上で必要な情報（年齢別）

上段:人数 下段:%	調査数	税金・年金に関する情報	地震や台風などの災害や防災についての情報	病院や医療に関する情報	福祉(事業・サービス)に関する情報	ごみ・資源の分け方、出し方などの生活情報・ルール	区立施設利用に関する情報	地域住民と交流できるお祭り等のイベント情報
全体	975 100.0%	485 49.7%	464 47.6%	416 42.7%	368 37.7%	279 28.6%	256 26.3%	229 23.5%
18～29歳	233 100.0%	118 50.6%	131 56.2%	107 45.9%	88 37.8%	75 32.2%	61 26.2%	61 26.2%
30～39歳	385 100.0%	209 54.3%	190 49.4%	168 43.6%	142 36.9%	114 29.6%	113 29.4%	109 28.3%
40～49歳	185 100.0%	85 45.9%	79 42.7%	72 38.9%	66 35.7%	46 24.9%	50 27.0%	36 19.5%
50～59歳	103 100.0%	58 56.3%	51 49.5%	54 52.4%	57 55.3%	36 35.0%	21 20.4%	17 16.5%
60～69歳	47 100.0%	12 25.5%	10 21.3%	9 19.1%	12 25.5%	6 12.8%	7 14.9%	4 8.5%
70歳以上	19 100.0%	1 5.3%	2 10.5%	6 31.6%	3 15.8%	2 10.5%	3 15.8%	1 5.3%

上段:人数 下段:%	調査数	就労・事業経営に関する情報	子育て・教育に関する情報	住まいに関する情報	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	226 23.2%	188 19.3%	188 19.3%	3 0.3%	130 13.3%	21 2.2%
18～29歳	233 100.0%	60 25.8%	30 12.9%	49 21.0%	1 0.4%	27 11.6%	1 0.4%
30～39歳	385 100.0%	96 24.9%	103 26.8%	87 22.6%	2 0.5%	44 11.4%	4 1.0%
40～49歳	185 100.0%	43 23.2%	38 20.5%	31 16.8%	-	26 14.1%	4 2.2%
50～59歳	103 100.0%	24 23.3%	17 16.5%	17 16.5%	-	13 12.6%	5 4.9%
60～69歳	47 100.0%	1 2.1%	-	1 2.1%	-	15 31.9%	3 6.4%
70歳以上	19 100.0%	-	-	2 10.5%	-	5 26.3%	4 21.1%

【台東区居住年数別】

「1年未満」では、多くの項目が全体平均と比較して5ポイント以上高く、特に「ごみ・資源の分け方、出し方などの生活情報・ルール」「就労・事業経営に関する情報」が高い。「ごみ・資源の分け方、出し方などの生活情報・ルール」「地域住民と交流できるお祭り等のイベント情報」は居住年数が経つにつれて、割合が低下する傾向にある。

図表 生活していく上で必要な情報（台東区居住年数別）

上段:人数 下段:%	調査数	税金・年金に関する情報	地震や台風などの災害や防災についての情報	病院や医療に関する情報	福祉(事業・サービス)に関する情報	ごみ・資源の分け方、出し方などの生活情報・ルール	区立施設利用に関する情報	地域住民と交流できるお祭り等のイベント情報
全体	975 100.0%	485 49.7%	464 47.6%	416 42.7%	368 37.7%	279 28.6%	256 26.3%	229 23.5%
1年未満	89 100.0%	50 56.2%	48 53.9%	45 50.6%	37 41.6%	37 41.6%	28 31.5%	27 30.3%
1年～3年未満	354 100.0%	179 50.6%	194 54.8%	167 47.2%	146 41.2%	131 37.0%	102 28.8%	100 28.2%
3年～5年未満	169 100.0%	85 50.3%	77 45.6%	71 42.0%	60 35.5%	40 23.7%	51 30.2%	46 27.2%
5年～10年未満	189 100.0%	98 51.9%	92 48.7%	70 37.0%	62 32.8%	46 24.3%	47 24.9%	37 19.6%
10年～20年未満	110 100.0%	50 45.5%	36 32.7%	44 40.0%	47 42.7%	20 18.2%	21 19.1%	13 11.8%
20年以上	59 100.0%	23 39.0%	15 25.4%	17 28.8%	16 27.1%	4 6.8%	7 11.9%	6 10.2%

上段:人数 下段:%	調査数	就労・事業経営に関する情報	子育て・教育に関する情報	住まいに関する情報	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	226 23.2%	188 19.3%	188 19.3%	3 0.3%	130 13.3%	21 2.2%
1年未満	89 100.0%	32 36.0%	21 23.6%	20 22.5%	- -	9 10.1%	2 2.2%
1年～3年未満	354 100.0%	95 26.8%	54 15.3%	79 22.3%	1 0.3%	40 11.3%	1 0.3%
3年～5年未満	169 100.0%	27 16.0%	34 20.1%	28 16.6%	1 0.6%	20 11.8%	1 0.6%
5年～10年未満	189 100.0%	39 20.6%	47 24.9%	32 16.9%	1 0.5%	18 9.5%	4 2.1%
10年～20年未満	110 100.0%	28 25.5%	27 24.5%	22 20.0%	- -	28 25.5%	7 6.4%
20年以上	59 100.0%	4 6.8%	5 8.5%	7 11.9%	- -	15 25.4%	6 10.2%

### 第3章 外国人意識調査 調査結果の詳細

#### 【居住地域別】

「竹町地区」「馬道地区」で「区立施設利用に関する情報」、「金杉地区」で「地震や台風などの災害や防災についての情報」「病院や医療に関する情報」「福祉（事業・サービス）に関する情報」「ごみ・資源の分け方、出し方などの生活情報・ルール」、「浅草寿地区」で「税金・年金に関する情報」の割合が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高い。

図表 生活していく上で必要な情報（居住地域別）

上段:人数 下段:%	調査数	税金・年金に関する情報	地震や台風などの災害や防災についての情報	病院や医療に関する情報	福祉(事業・サービス)に関する情報	ごみ・資源の分け方、出し方などの生活情報・ルール	区立施設利用に関する情報	地域住民と交流できるお祭り等のイベント情報
全体	975 100.0%	485 49.7%	464 47.6%	416 42.7%	368 37.7%	279 28.6%	256 26.3%	229 23.5%
竹町地区	40 100.0%	18 45.0%	14 35.0%	14 35.0%	11 27.5%	10 25.0%	14 35.0%	9 22.5%
東上野地区	133 100.0%	65 48.9%	60 45.1%	60 45.1%	49 36.8%	36 27.1%	39 29.3%	30 22.6%
上野地区	105 100.0%	50 47.6%	46 43.8%	45 42.9%	39 37.1%	29 27.6%	19 18.1%	17 16.2%
入谷地区	211 100.0%	92 43.6%	111 52.6%	87 41.2%	86 40.8%	52 24.6%	49 23.2%	48 22.7%
金杉地区	46 100.0%	23 50.0%	26 56.5%	24 52.2%	21 45.7%	18 39.1%	13 28.3%	12 26.1%
谷中地区	21 100.0%	8 38.1%	7 33.3%	8 38.1%	5 23.8%	6 28.6%	6 28.6%	4 19.0%
浅草橋地区	128 100.0%	61 47.7%	58 45.3%	53 41.4%	48 37.5%	34 26.6%	31 24.2%	39 30.5%
浅草寿地区	104 100.0%	70 67.3%	50 48.1%	45 43.3%	39 37.5%	36 34.6%	31 29.8%	27 26.0%
雷門地区	53 100.0%	30 56.6%	28 52.8%	23 43.4%	19 35.8%	18 34.0%	12 22.6%	11 20.8%
馬道地区	53 100.0%	29 54.7%	24 45.3%	19 35.8%	16 30.2%	15 28.3%	18 34.0%	12 22.6%
清川地区	67 100.0%	34 50.7%	33 49.3%	32 47.8%	30 44.8%	21 31.3%	22 32.8%	15 22.4%

上段:人数 下段:%	調査数	就労・事業経営に関する情報	子育て・教育に関する情報	住まいに関する情報	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	226 23.2%	188 19.3%	188 19.3%	3 0.3%	130 13.3%	21 2.2%
竹町地区	40 100.0%	7 17.5%	8 20.0%	7 17.5%	-	5 12.5%	2 5.0%
東上野地区	133 100.0%	34 25.6%	22 16.5%	29 21.8%	-	20 15.0%	2 1.5%
上野地区	105 100.0%	19 18.1%	21 20.0%	15 14.3%	1 1.0%	12 11.4%	1 1.0%
入谷地区	211 100.0%	53 25.1%	39 18.5%	34 16.1%	2 0.9%	36 17.1%	4 1.9%
金杉地区	46 100.0%	10 21.7%	13 28.3%	10 21.7%	-	7 15.2%	4 8.7%
谷中地区	21 100.0%	4 19.0%	6 28.6%	6 28.6%	-	2 9.5%	-
浅草橋地区	128 100.0%	27 21.1%	23 18.0%	19 14.8%	-	13 10.2%	3 2.3%
浅草寿地区	104 100.0%	30 28.8%	22 21.2%	30 28.8%	-	11 10.6%	1 1.0%
雷門地区	53 100.0%	15 28.3%	6 11.3%	10 18.9%	-	7 13.2%	2 3.8%
馬道地区	53 100.0%	7 13.2%	10 18.9%	12 22.6%	-	7 13.2%	1 1.9%
清川地区	67 100.0%	15 22.4%	15 22.4%	11 16.4%	-	8 11.9%	1 1.5%

(4) 行政サービスや区からのお知らせ等の入手手段及び今後希望する手段

問26 あなたは、行政サービスや区からのお知らせ・ごみの出し方などの生活のルールをどのような手段で知りますか（A）。また、どのような手段を希望しますか（B）。  
（当てはまるもの全てに○）

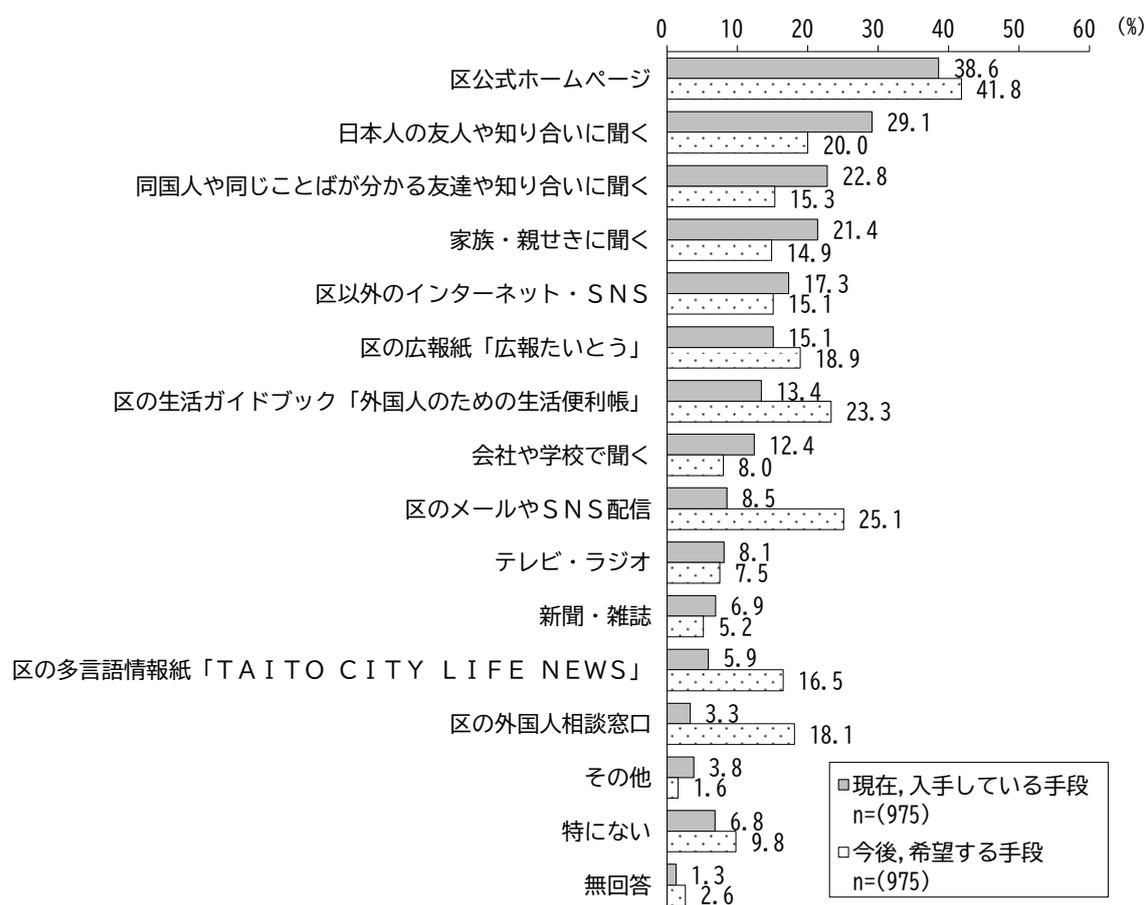
【A 現在、入手している手段／B 今後、希望する手段】

現在、入手している手段は、「区公式ホームページ」（38.6%）が最も高く、次いで、「日本人の友人や知り合いに聞く」（29.1%）、「同国人や同じことばが分かる友達や知り合いに聞く」（22.8%）、「家族・親せきに聞く」（21.4%）、「区以外のインターネット・SNS」（17.3%）となっている。

今後、希望する手段は、「区公式ホームページ」（41.8%）が最も高く、次いで、「区のメールやSNS配信」（25.1%）、「区の生活ガイドブック『外国人のための生活便利帳』」（23.3%）、「日本人の友人や知り合いに聞く」（20.0%）、「区の広報紙『広報たいとう』」（18.9%）、「区の外国人相談窓口」（18.1%）となっている。

今後、希望する手段が現在、入手している手段を5ポイント以上上回っている項目は、「区のメールやSNS配信」「区の外国人相談窓口」「区が多言語情報紙『TAITO CITY LIFE NEWS』」「区の生活ガイドブック『外国人のための生活便利帳』」となっており、これらにニーズがあることがうかがえる。

図表 行政サービスや区からのお知らせ等の入手手段及び今後希望する手段  
【現在、入手している手段／今後、希望する手段】（複数回答）



【A 現在、入手している手段】

【国籍別】

「区公式ホームページ」は「台湾」「アメリカ」で半数以上となっている一方で、「ベトナム」「フィリピン」で10%台となっている。

「フィリピン」では「日本人の友人や知り合いに聞く」「同国人や同じことばが分かる友達や知り合いに聞く」「家族・親せきに聞く」「テレビ・ラジオ」、「ベトナム」では「日本人の友人や知り合いに聞く」「区以外のインターネット・SNS」「会社や学校で聞く」が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高くなっている。

図表 行政サービスや区からのお知らせ等の入手手段及び今後希望する手段  
【現在、入手している手段】（国籍別）

上段:人数 下段:%	調査数	区公式ホームページ	日本人の友人や知り合いに聞く	同国人や同じことばが分かる友達や知り合いに聞く	家族・親せきに聞く	区以外のインターネット・SNS	区の広報紙「広報たいどう」	区の生活ガイドブック「外国人のための生活便利帳」	会社や学校で聞く
全体	975 100.0%	376 38.6%	284 29.1%	222 22.8%	209 21.4%	169 17.3%	147 15.1%	131 13.4%	121 12.4%
中国	472 100.0%	206 43.6%	115 24.4%	112 23.7%	86 18.2%	76 16.1%	80 16.9%	74 15.7%	53 11.2%
韓国	92 100.0%	32 34.8%	20 21.7%	8 8.7%	17 18.5%	14 15.2%	26 28.3%	8 8.7%	7 7.6%
ベトナム	41 100.0%	6 14.6%	17 41.5%	10 24.4%	9 22.0%	12 29.3%	2 4.9%	5 12.2%	8 19.5%
フィリピン	59 100.0%	9 15.3%	31 52.5%	24 40.7%	22 37.3%	13 22.0%	8 13.6%	7 11.9%	10 16.9%
台湾	49 100.0%	26 53.1%	12 24.5%	11 22.4%	6 12.2%	11 22.4%	7 14.3%	3 6.1%	4 8.2%
アメリカ	35 100.0%	21 60.0%	11 31.4%	8 22.9%	11 31.4%	11 31.4%	4 11.4%	4 11.4%	3 8.6%
その他	224 100.0%	75 33.5%	77 34.4%	49 21.9%	57 25.4%	31 13.8%	20 8.9%	30 13.4%	36 16.1%

上段:人数 下段:%	調査数	区のメールやSNS配信	テレビ・ラジオ	新聞・雑誌	区の多言語情報紙「TAITO CITY LIFE NEWS」	区の外国人相談窓口	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	83 8.5%	79 8.1%	67 6.9%	58 5.9%	32 3.3%	37 3.8%	66 6.8%	13 1.3%
中国	472 100.0%	55 11.7%	39 8.3%	40 8.5%	20 4.2%	18 3.8%	17 3.6%	21 4.4%	1 0.2%
韓国	92 100.0%	6 6.5%	7 7.6%	2 2.2%	5 5.4%	1 1.1%	2 2.2%	12 13.0%	2 2.2%
ベトナム	41 100.0%	- -	1 2.4%	4 9.8%	4 9.8%	- -	1 2.4%	2 4.9%	1 2.4%
フィリピン	59 100.0%	8 13.6%	17 28.8%	3 5.1%	7 11.9%	6 10.2%	1 1.7%	3 5.1%	3 5.1%
台湾	49 100.0%	3 6.1%	3 6.1%	3 6.1%	- -	- -	3 6.1%	4 8.2%	- -
アメリカ	35 100.0%	2 5.7%	2 5.7%	3 8.6%	1 2.9%	- -	3 8.6%	2 5.7%	- -
その他	224 100.0%	9 4.0%	9 4.0%	11 4.9%	20 8.9%	7 3.1%	10 4.5%	21 9.4%	6 2.7%

【年齢別】

「30～39歳」で「区公式ホームページ」、「50～59歳」で「日本人の友人や知り合いに聞く」、「18～29歳」で「同国人や同じことばが分かる友達や知り合いに聞く」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。また、「家族・親せきに聞く」は年代が高いほど割合が高く、「区以外のインターネット・SNS」「会社や学校で聞く」は年代が若いほど割合が高い。

図表 行政サービスや区からのお知らせ等の入手手段及び今後希望する手段  
【現在、入手している手段】（年齢別）

上段:人数 下段:%	調査数	区公式ホームページ	日本人の友人や知り合いに聞く	同国人や同じことばが分かる友達や知り合いに聞く	家族・親せきに聞く	区以外のインターネット・SNS	区の広報紙「広報たいとう」	区の生活ガイドブック「外国人のための生活便利帳」	会社や学校で聞く
全体	975 100.0%	376 38.6%	284 29.1%	222 22.8%	209 21.4%	169 17.3%	147 15.1%	131 13.4%	121 12.4%
18～29歳	233 100.0%	89 38.2%	69 29.6%	72 30.9%	40 17.2%	52 22.3%	20 8.6%	27 11.6%	45 19.3%
30～39歳	385 100.0%	173 44.9%	107 27.8%	85 22.1%	74 19.2%	83 21.6%	49 12.7%	46 11.9%	49 12.7%
40～49歳	185 100.0%	74 40.0%	59 31.9%	35 18.9%	45 24.3%	20 10.8%	40 21.6%	33 17.8%	19 10.3%
50～59歳	103 100.0%	29 28.2%	38 36.9%	21 20.4%	29 28.2%	11 10.7%	21 20.4%	19 18.4%	7 6.8%
60～69歳	47 100.0%	9 19.1%	6 12.8%	7 14.9%	17 36.2%	1 2.1%	10 21.3%	4 8.5%	1 2.1%
70歳以上	19 100.0%	1 5.3%	4 21.1%	2 10.5%	3 15.8%	1 5.3%	7 36.8%	2 10.5%	- -

上段:人数 下段:%	調査数	区のメールやSNS配信	テレビ・ラジオ	新聞・雑誌	区の多言語情報紙「TAITO CITY LIFE NEWS」	区の外国人相談窓口	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	83 8.5%	79 8.1%	67 6.9%	58 5.9%	32 3.3%	37 3.8%	66 6.8%	13 1.3%
18～29歳	233 100.0%	24 10.3%	11 4.7%	19 8.2%	12 5.2%	4 1.7%	9 3.9%	15 6.4%	- -
30～39歳	385 100.0%	38 9.9%	27 7.0%	21 5.5%	17 4.4%	11 2.9%	20 5.2%	24 6.2%	3 0.8%
40～49歳	185 100.0%	11 5.9%	16 8.6%	15 8.1%	19 10.3%	12 6.5%	5 2.7%	13 7.0%	1 0.5%
50～59歳	103 100.0%	7 6.8%	12 11.7%	4 3.9%	7 6.8%	4 3.9%	3 2.9%	6 5.8%	4 3.9%
60～69歳	47 100.0%	1 2.1%	7 14.9%	1 2.1%	1 2.1%	- -	- -	5 10.6%	2 4.3%
70歳以上	19 100.0%	2 10.5%	5 26.3%	6 31.6%	1 5.3%	1 5.3%	- -	2 10.5%	3 15.8%

【居住地域別】

「浅草橋地区」で「日本人の友人や知り合いに聞く」、「竹町地区」「浅草寿地区」「清川地区」で「区公式ホームページ」、「東上野地区」「清川地区」で「同国人や同じことばが分かる友達や知り合いに聞く」の割合が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高い。

図表 行政サービスや区からのお知らせ等の入手手段及び今後希望する手段  
【現在、入手している手段】（居住地域別）

上段:人数 下段:%	調査数	区公式ホームページ	日本人の友人や知り合いに聞く	同国人や同じことばが分かる友達や知り合いに聞く	家族・親せきに聞く	区以外のインターネット・SNS	区の広報紙「広報たいとう」	区の生活ガイドブック「外国人のための生活便利帳」	会社や学校で聞く
全体	975 100.0%	376 38.6%	284 29.1%	222 22.8%	209 21.4%	169 17.3%	147 15.1%	131 13.4%	121 12.4%
竹町地区	40 100.0%	18 45.0%	8 20.0%	6 15.0%	10 25.0%	7 17.5%	3 7.5%	7 17.5%	2 5.0%
東上野地区	133 100.0%	51 38.3%	41 30.8%	38 28.6%	26 19.5%	32 24.1%	17 12.8%	17 12.8%	25 18.8%
上野地区	105 100.0%	29 27.6%	31 29.5%	20 19.0%	28 26.7%	13 12.4%	12 11.4%	13 12.4%	10 9.5%
入谷地区	211 100.0%	82 38.9%	59 28.0%	52 24.6%	36 17.1%	30 14.2%	28 13.3%	27 12.8%	29 13.7%
金杉地区	46 100.0%	18 39.1%	10 21.7%	8 17.4%	13 28.3%	9 19.6%	11 23.9%	10 21.7%	3 6.5%
谷中地区	21 100.0%	9 42.9%	7 33.3%	4 19.0%	7 33.3%	2 9.5%	3 14.3%	2 9.5%	4 19.0%
浅草橋地区	128 100.0%	45 35.2%	49 38.3%	32 25.0%	27 21.1%	23 18.0%	13 10.2%	15 11.7%	12 9.4%
浅草寿地区	104 100.0%	52 50.0%	29 27.9%	23 22.1%	21 20.2%	22 21.2%	21 20.2%	17 16.3%	14 13.5%
雷門地区	53 100.0%	18 34.0%	13 24.5%	8 15.1%	12 22.6%	10 18.9%	8 15.1%	7 13.2%	3 5.7%
馬道地区	53 100.0%	21 39.6%	13 24.5%	7 13.2%	9 17.0%	9 17.0%	13 24.5%	7 13.2%	7 13.2%
清川地区	67 100.0%	30 44.8%	18 26.9%	19 28.4%	15 22.4%	8 11.9%	15 22.4%	6 9.0%	8 11.9%

上段:人数 下段:%	調査数	区のメールやSNS配信	テレビ・ラジオ	新聞・雑誌	区の多言語情報紙「TAITO CITY LIFE NEWS」	区の外国人相談窓口	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	83 8.5%	79 8.1%	67 6.9%	58 5.9%	32 3.3%	37 3.8%	66 6.8%	13 1.3%
竹町地区	40 100.0%	1 2.5%	4 10.0%	3 7.5%	1 2.5%	1 2.5%	2 5.0%	1 2.5%	1 2.5%
東上野地区	133 100.0%	16 12.0%	10 7.5%	8 6.0%	10 7.5%	6 4.5%	3 2.3%	8 6.0%	1 0.8%
上野地区	105 100.0%	9 8.6%	10 9.5%	10 9.5%	7 6.7%	4 3.8%	3 2.9%	9 8.6%	1 1.0%
入谷地区	211 100.0%	15 7.1%	7 3.3%	10 4.7%	10 4.7%	6 2.8%	8 3.8%	19 9.0%	-
金杉地区	46 100.0%	6 13.0%	2 4.3%	3 6.5%	3 6.5%	2 4.3%	-	2 4.3%	1 2.2%
谷中地区	21 100.0%	1 4.8%	-	2 9.5%	1 4.8%	-	1 4.8%	1 4.8%	-
浅草橋地区	128 100.0%	8 6.3%	17 13.3%	8 6.3%	5 3.9%	4 3.1%	8 6.3%	8 6.3%	2 1.6%
浅草寿地区	104 100.0%	8 7.7%	10 9.6%	5 4.8%	6 5.8%	3 2.9%	9 8.7%	7 6.7%	1 1.0%
雷門地区	53 100.0%	5 9.4%	1 1.9%	4 7.5%	3 5.7%	2 3.8%	-	3 5.7%	2 3.8%
馬道地区	53 100.0%	5 9.4%	9 17.0%	6 11.3%	4 7.5%	1 1.9%	2 3.8%	4 7.5%	2 3.8%
清川地区	67 100.0%	7 10.4%	8 11.9%	7 10.4%	5 7.5%	2 3.0%	1 1.5%	3 4.5%	2 3.0%

【B 今後、希望する手段】

【国籍別】

「区公式ホームページ」は「アメリカ」で70%を超えている一方で、「ベトナム」「フィリピン」で20%台となっている。

「フィリピン」では「区の生活ガイドブック『外国人のための生活便利帳』」「日本人の友人や知り合いに聞く」「区の多言語情報紙『TAITO CITY LIFE NEWS』」「同国人や同じことばが分かる友達や知り合いに聞く」「家族・親せきに聞く」「テレビ・ラジオ」が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高くなっている。

図表 行政サービスや区からのお知らせ等の入手手段及び今後希望する手段  
【今後、希望する手段】（国籍別）

上段:人数 下段:%	調査数	区公式ホームページ	区のメールやSNS配信	区の生活ガイドブック「外国人のための生活便利帳」	日本人の友人や知り合いに聞く	区の広報紙「広報たいとう」	区の外国人相談窓口	区の多言語情報紙「TAITO CITY LIFE NEWS」	同国人や同じことばが分かる友達や知り合いに聞く
全体	975 100.0%	408 41.8%	245 25.1%	227 23.3%	195 20.0%	184 18.9%	176 18.1%	161 16.5%	149 15.3%
中国	472 100.0%	204 43.2%	138 29.2%	111 23.5%	77 16.3%	92 19.5%	101 21.4%	69 14.6%	58 12.3%
韓国	92 100.0%	29 31.5%	14 15.2%	12 13.0%	17 18.5%	20 21.7%	8 8.7%	6 6.5%	11 12.0%
ベトナム	41 100.0%	10 24.4%	6 14.6%	8 19.5%	7 17.1%	3 7.3%	7 17.1%	6 14.6%	5 12.2%
フィリピン	59 100.0%	17 28.8%	15 25.4%	21 35.6%	28 47.5%	11 18.6%	13 22.0%	15 25.4%	24 40.7%
台湾	49 100.0%	23 46.9%	7 14.3%	10 20.4%	9 18.4%	5 10.2%	8 16.3%	7 14.3%	5 10.2%
アメリカ	35 100.0%	25 71.4%	9 25.7%	7 20.0%	9 25.7%	4 11.4%	6 17.1%	8 22.9%	4 11.4%
その他	224 100.0%	99 44.2%	55 24.6%	57 25.4%	48 21.4%	48 21.4%	32 14.3%	49 21.9%	42 18.8%

上段:人数 下段:%	調査数	区以外のインターネット・SNS	家族・親せきに聞く	会社や学校で聞く	テレビ・ラジオ	新聞・雑誌	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	147 15.1%	145 14.9%	78 8.0%	73 7.5%	51 5.2%	16 1.6%	96 9.8%	25 2.6%
中国	472 100.0%	79 16.7%	46 9.7%	34 7.2%	32 6.8%	28 5.9%	6 1.3%	45 9.5%	9 1.9%
韓国	92 100.0%	10 10.9%	17 18.5%	4 4.3%	7 7.6%	4 4.3%	1 1.1%	12 13.0%	5 5.4%
ベトナム	41 100.0%	4 9.8%	4 9.8%	3 7.3%	2 4.9%	1 2.4%	-	5 12.2%	1 2.4%
フィリピン	59 100.0%	12 20.3%	20 33.9%	6 10.2%	17 28.8%	6 10.2%	-	2 3.4%	3 5.1%
台湾	49 100.0%	7 14.3%	4 8.2%	1 2.0%	1 2.0%	1 2.0%	-	8 16.3%	2 4.1%
アメリカ	35 100.0%	7 20.0%	10 28.6%	3 8.6%	1 2.9%	1 2.9%	3 8.6%	2 5.7%	-
その他	224 100.0%	27 12.1%	43 19.2%	27 12.1%	11 4.9%	9 4.0%	6 2.7%	22 9.8%	5 2.2%

【年齢別】

49歳以下で「区公式ホームページ」が40%台となっている。また、「18～29歳」で「区のメールやSNS配信」、「40～49歳」で「区的生活ガイドブック『外国人のための生活便利帳』」「区が多言語情報紙『TAITO CITY LIFE NEWS』」「区の広報紙『広報たいとう』」、「50～59歳」で「同国人や同じことばが分かる友達や知り合いに聞く」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 行政サービスや区からのお知らせ等の入手手段及び今後希望する手段  
【今後、希望する手段】（年齢別）

上段:人数 下段:%	調査数	区公式ホームページ	区のメールやSNS配信	区的生活ガイドブック「外国人のための生活便利帳」	日本人の友人や知り合いに聞く	区の広報紙「広報たいとう」	区の外国人相談窓口	区が多言語情報紙「TAITO CITY LIFE NEWS」	同国人や同じことばが分かる友達や知り合いに聞く
全体	975 100.0%	408 41.8%	245 25.1%	227 23.3%	195 20.0%	184 18.9%	176 18.1%	161 16.5%	149 15.3%
18～29歳	233 100.0%	96 41.2%	70 30.0%	45 19.3%	42 18.0%	29 12.4%	38 16.3%	28 12.0%	38 16.3%
30～39歳	385 100.0%	179 46.5%	108 28.1%	91 23.6%	75 19.5%	73 19.0%	71 18.4%	68 17.7%	56 14.5%
40～49歳	185 100.0%	86 46.5%	38 20.5%	59 31.9%	39 21.1%	45 24.3%	37 20.0%	43 23.2%	22 11.9%
50～59歳	103 100.0%	34 33.0%	23 22.3%	24 23.3%	25 24.3%	23 22.3%	20 19.4%	15 14.6%	23 22.3%
60～69歳	47 100.0%	10 21.3%	1 2.1%	4 8.5%	9 19.1%	5 10.6%	5 10.6%	2 4.3%	5 10.6%
70歳以上	19 100.0%	2 10.5%	4 21.1%	3 15.8%	5 26.3%	8 42.1%	4 21.1%	4 21.1%	5 26.3%

上段:人数 下段:%	調査数	区以外のインターネット・SNS	家族・親せきに聞く	会社や学校で聞く	テレビ・ラジオ	新聞・雑誌	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	147 15.1%	145 14.9%	78 8.0%	73 7.5%	51 5.2%	16 1.6%	96 9.8%	25 2.6%
18～29歳	233 100.0%	39 16.7%	18 7.7%	19 8.2%	10 4.3%	10 4.3%	3 1.3%	34 14.6%	5 2.1%
30～39歳	385 100.0%	68 17.7%	47 12.2%	34 8.8%	28 7.3%	17 4.4%	8 2.1%	36 9.4%	6 1.6%
40～49歳	185 100.0%	26 14.1%	23 12.4%	18 9.7%	14 7.6%	10 5.4%	1 0.5%	12 6.5%	5 2.7%
50～59歳	103 100.0%	11 10.7%	30 29.1%	7 6.8%	12 11.7%	6 5.8%	4 3.9%	7 6.8%	4 3.9%
60～69歳	47 100.0%	- -	19 40.4%	- -	4 8.5%	2 4.3%	- -	5 10.6%	4 8.5%
70歳以上	19 100.0%	2 10.5%	7 36.8%	- -	3 15.8%	5 26.3%	- -	2 10.5%	1 5.3%

【居住地域別】

「浅草寿地区」で「区公式ホームページ」「日本人の友人や知り合いに聞く」「区の広報紙『広報たいとう』」、「東上野地区」で「区の外国人相談窓口」「区が多言語情報紙『TAITO CITY LIFE NEWS』」の割合が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高い。

図表 行政サービスや区からのお知らせ等の入手手段及び今後希望する手段  
【今後、希望する手段】（居住地域別）

上段:人数 下段:%	調査数	区公式ホームページ	区のメールやSNS配信	区の生活ガイドブック「外国人のための生活便利帳」	日本人の友人や知り合いに聞く	区の広報紙「広報たいとう」	区の外国人相談窓口	区が多言語情報紙「TAITO CITY LIFE NEWS」	同国人や同じことが分かる友達や知り合いに聞く
全体	975 100.0%	408 41.8%	245 25.1%	227 23.3%	195 20.0%	184 18.9%	176 18.1%	161 16.5%	149 15.3%
竹町地区	40 100.0%	19 47.5%	7 17.5%	6 15.0%	5 12.5%	9 22.5%	4 10.0%	4 10.0%	3 7.5%
東上野地区	133 100.0%	56 42.1%	38 28.6%	35 26.3%	22 16.5%	31 23.3%	34 25.6%	31 23.3%	19 14.3%
上野地区	105 100.0%	30 28.6%	19 18.1%	25 23.8%	22 21.0%	16 15.2%	22 21.0%	16 15.2%	16 15.2%
入谷地区	211 100.0%	99 46.9%	49 23.2%	45 21.3%	31 14.7%	32 15.2%	29 13.7%	30 14.2%	30 14.2%
金杉地区	46 100.0%	17 37.0%	11 23.9%	12 26.1%	11 23.9%	9 19.6%	8 17.4%	5 10.9%	9 19.6%
谷中地区	21 100.0%	9 42.9%	7 33.3%	6 28.6%	2 9.5%	4 19.0%	3 14.3%	6 28.6%	4 19.0%
浅草橋地区	128 100.0%	51 39.8%	32 25.0%	26 20.3%	33 25.8%	20 15.6%	18 14.1%	19 14.8%	24 18.8%
浅草寿地区	104 100.0%	55 52.9%	31 29.8%	30 28.8%	28 26.9%	27 26.0%	23 22.1%	19 18.3%	16 15.4%
雷門地区	53 100.0%	20 37.7%	15 28.3%	11 20.8%	9 17.0%	9 17.0%	11 20.8%	9 17.0%	4 7.5%
馬道地区	53 100.0%	19 35.8%	14 26.4%	8 15.1%	11 20.8%	8 15.1%	6 11.3%	7 13.2%	4 7.5%
清川地区	67 100.0%	27 40.3%	17 25.4%	18 26.9%	15 22.4%	15 22.4%	15 22.4%	11 16.4%	15 22.4%

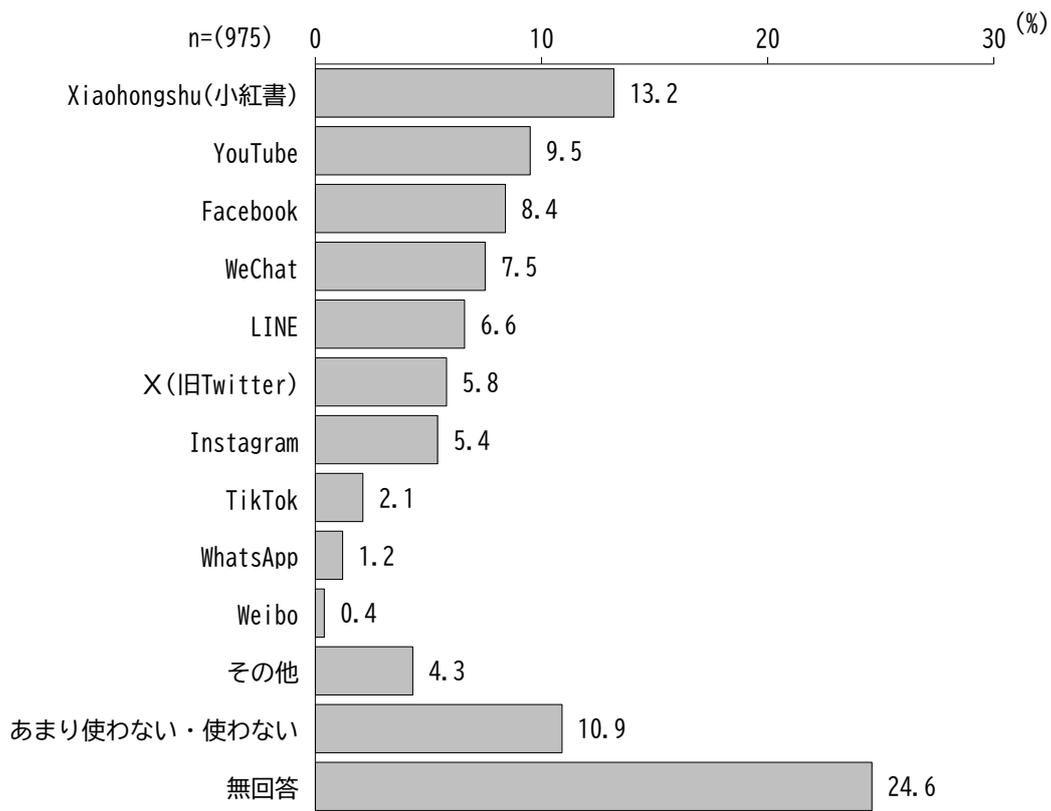
上段:人数 下段:%	調査数	区以外のインターネット・SNS	家族・親せき聞く	会社や学校で聞く	テレビ・ラジオ	新聞・雑誌	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	147 15.1%	145 14.9%	78 8.0%	73 7.5%	51 5.2%	16 1.6%	96 9.8%	25 2.6%
竹町地区	40 100.0%	6 15.0%	7 17.5%	- -	2 5.0%	2 5.0%	1 2.5%	4 10.0%	1 2.5%
東上野地区	133 100.0%	18 13.5%	19 14.3%	12 9.0%	8 6.0%	8 6.0%	- -	16 12.0%	3 2.3%
上野地区	105 100.0%	13 12.4%	19 18.1%	9 8.6%	8 7.6%	5 4.8%	1 1.0%	11 10.5%	1 1.0%
入谷地区	211 100.0%	32 15.2%	21 10.0%	22 10.4%	10 4.7%	10 4.7%	4 1.9%	23 10.9%	3 1.4%
金杉地区	46 100.0%	8 17.4%	8 17.4%	3 6.5%	5 10.9%	2 4.3%	- -	4 8.7%	2 4.3%
谷中地区	21 100.0%	3 14.3%	6 28.6%	2 9.5%	1 4.8%	1 4.8%	1 4.8%	1 4.8%	- -
浅草橋地区	128 100.0%	24 18.8%	21 16.4%	5 3.9%	18 14.1%	9 7.0%	3 2.3%	9 7.0%	6 4.7%
浅草寿地区	104 100.0%	15 14.4%	15 14.4%	7 6.7%	9 8.7%	4 3.8%	2 1.9%	7 6.7%	3 2.9%
雷門地区	53 100.0%	10 18.9%	5 9.4%	5 9.4%	1 1.9%	3 5.7%	2 3.8%	8 15.1%	2 3.8%
馬道地区	53 100.0%	5 9.4%	8 15.1%	4 7.5%	5 9.4%	2 3.8%	1 1.9%	4 7.5%	3 5.7%
清川地区	67 100.0%	9 13.4%	13 19.4%	7 10.4%	4 6.0%	4 6.0%	1 1.5%	9 13.4%	1 1.5%

(5) 生活していく上で必要な情報を得るときに最も利用するSNS

問27 あなたが生活していく上で必要な情報を得るときに、最も利用するSNSはどれですか。(ひとつだけ○)

「Xiaohongshu (小紅書)」(13.2%)、次いで、「YouTube」(9.5%)、「Facebook」(8.4%)、「WeChat」(7.5%)となっている。なお、「あまり使わない・使わない」は10.9%となっている。

図表 生活していく上で必要な情報を得るときに最も利用するSNS (単一回答)



【年齢別】

年代が若いほど「Xiaohongshu（小紅書）」の割合が高く、特に「18～29歳」で全体平均と比較して5ポイント以上高い。

回答数の少ない「70歳以上」を除いて、年代が高くなるにつれて「YouTube」が高くなり、「60～69歳」では20%を超えている。また、「60～69歳」では「あまり使わない・使わない」も19.1%となっている。

図表 生活していく上で必要な情報を得るときに最も利用するSNS（年齢別）

上段:人数 下段:%	調査数	Xiaohongshu (小紅書)	YouTube	Facebook	WeChat	LINE	X(旧Twitter)	Instagram
全体	975 100.0%	129 13.2%	93 9.5%	82 8.4%	73 7.5%	64 6.6%	57 5.8%	53 5.4%
18～29歳	233 100.0%	53 22.7%	16 6.9%	19 8.2%	23 9.9%	15 6.4%	23 9.9%	14 6.0%
30～39歳	385 100.0%	52 13.5%	32 8.3%	27 7.0%	16 4.2%	24 6.2%	25 6.5%	28 7.3%
40～49歳	185 100.0%	19 10.3%	21 11.4%	20 10.8%	17 9.2%	12 6.5%	7 3.8%	8 4.3%
50～59歳	103 100.0%	4 3.9%	13 12.6%	11 10.7%	11 10.7%	6 5.8%	2 1.9%	3 2.9%
60～69歳	47 100.0%	1 2.1%	10 21.3%	4 8.5%	5 10.6%	6 12.8%	- -	- -
70歳以上	19 100.0%	- -	1 5.3%	1 5.3%	1 5.3%	1 5.3%	- -	- -

上段:人数 下段:%	調査数	TikTok	WhatsApp	Weibo	その他	あまり使わない・ 使わない	無回答
全体	975 100.0%	20 2.1%	12 1.2%	4 0.4%	42 4.3%	106 10.9%	240 24.6%
18～29歳	233 100.0%	10 4.3%	3 1.3%	1 0.4%	5 2.1%	12 5.2%	39 16.7%
30～39歳	385 100.0%	6 1.6%	4 1.0%	2 0.5%	24 6.2%	43 11.2%	102 26.5%
40～49歳	185 100.0%	3 1.6%	4 2.2%	1 0.5%	6 3.2%	21 11.4%	46 24.9%
50～59歳	103 100.0%	1 1.0%	1 1.0%	- -	6 5.8%	12 11.7%	33 32.0%
60～69歳	47 100.0%	- -	- -	- -	- -	9 19.1%	12 25.5%
70歳以上	19 100.0%	- -	- -	- -	- -	9 47.4%	6 31.6%

【国籍別】

「中国」では「Xiaohongshu (小紅書)」、「韓国」「アメリカ」では「YouTube」、「ベトナム」「フィリピン」では「Facebook」、「台湾」では「LINE」「Instagram」が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高くなっている。「アメリカ」では「あまり使わない・使わない」が他の国籍と比較して高い。

また、「Xiaohongshu (小紅書)」は、「中国」「台湾」のみで回答されている。

図表 生活していく上で必要な情報を得るときに最も利用するSNS (国籍別)

上段:人数 下段:%	調査数	Xiaohongshu (小紅書)	YouTube	Facebook	WeChat	LINE	X(旧Twitter)	Instagram
全体	975 100.0%	129 13.2%	93 9.5%	82 8.4%	73 7.5%	64 6.6%	57 5.8%	53 5.4%
中国	472 100.0%	126 26.7%	25 5.3%	3 0.6%	72 15.3%	13 2.8%	30 6.4%	15 3.2%
韓国	92 100.0%	- -	27 29.3%	1 1.1%	- -	13 14.1%	8 8.7%	8 8.7%
ベトナム	41 100.0%	- -	4 9.8%	13 31.7%	- -	4 9.8%	1 2.4%	1 2.4%
フィリピン	59 100.0%	- -	8 13.6%	22 37.3%	- -	1 1.7%	- -	2 3.4%
台湾	49 100.0%	3 6.1%	2 4.1%	2 4.1%	- -	9 18.4%	5 10.2%	11 22.4%
アメリカ	35 100.0%	- -	9 25.7%	2 5.7%	- -	3 8.6%	- -	3 8.6%
その他	224 100.0%	- -	18 8.0%	39 17.4%	1 0.4%	21 9.4%	13 5.8%	13 5.8%

上段:人数 下段:%	調査数	TikTok	WhatsApp	Weibo	その他	あまり使わない・ 使わない	無回答
全体	975 100.0%	20 2.1%	12 1.2%	4 0.4%	42 4.3%	106 10.9%	240 24.6%
中国	472 100.0%	8 1.7%	1 0.2%	4 0.8%	17 3.6%	38 8.1%	120 25.4%
韓国	92 100.0%	- -	- -	- -	6 6.5%	17 18.5%	12 13.0%
ベトナム	41 100.0%	4 9.8%	- -	- -	- -	1 2.4%	13 31.7%
フィリピン	59 100.0%	3 5.1%	- -	- -	1 1.7%	2 3.4%	20 33.9%
台湾	49 100.0%	- -	- -	- -	2 4.1%	5 10.2%	10 20.4%
アメリカ	35 100.0%	1 2.9%	- -	- -	1 2.9%	13 37.1%	3 8.6%
その他	224 100.0%	4 1.8%	11 4.9%	- -	14 6.3%	30 13.4%	60 26.8%

【最も得意な言語別】

「中国語」では「Xiaohongshu (小紅書)」、「韓国語・朝鮮語」「英語」では「YouTube」、「ベトナム語」「タガログ語」では「Facebook」が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高くなっている。また、「日本語」「英語」では「あまり使わない・使わない」が他の言語と比較して高い。

図表 生活していく上で必要な情報を得るときに最も利用するSNS（最も得意な言語別）

上段:人数 下段:%	調査数	Xiaohongshu (小紅書)	YouTube	Facebook	WeChat	LINE	X(旧Twitter)	Instagram
全体	975 100.0%	129 13.2%	93 9.5%	82 8.4%	73 7.5%	64 6.6%	57 5.8%	53 5.4%
日本語	89 100.0%	5 5.6%	8 9.0%	5 5.6%	3 3.4%	11 12.4%	10 11.2%	10 11.2%
中国語	467 100.0%	121 25.9%	23 4.9%	6 1.3%	67 14.3%	19 4.1%	25 5.4%	25 5.4%
韓国語・朝鮮語	62 100.0%	- -	22 35.5%	1 1.6%	- -	8 12.9%	5 8.1%	3 4.8%
英語	89 100.0%	- -	19 21.3%	5 5.6%	- -	10 11.2%	6 6.7%	7 7.9%
ベトナム語	35 100.0%	- -	4 11.4%	11 31.4%	- -	4 11.4%	1 2.9%	1 2.9%
タガログ語	34 100.0%	- -	5 14.7%	13 38.2%	- -	- -	- -	- -
その他	139 100.0%	1 0.7%	10 7.2%	30 21.6%	1 0.7%	11 7.9%	10 7.2%	7 5.0%

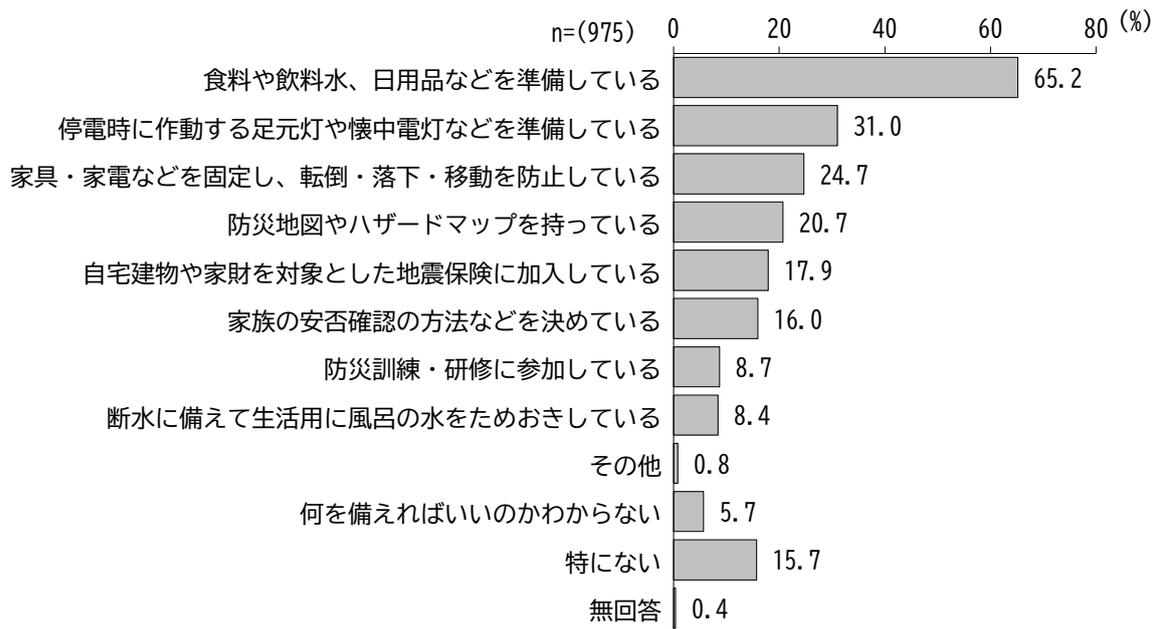
上段:人数 下段:%	調査数	TikTok	WhatsApp	Weibo	その他	あまり使わない・ 使わない	無回答
全体	975 100.0%	20 2.1%	12 1.2%	4 0.4%	42 4.3%	106 10.9%	240 24.6%
日本語	89 100.0%	4 4.5%	- -	- -	1 1.1%	17 19.1%	15 16.9%
中国語	467 100.0%	7 1.5%	1 0.2%	4 0.9%	19 4.1%	35 7.5%	115 24.6%
韓国語・朝鮮語	62 100.0%	- -	- -	- -	6 9.7%	7 11.3%	10 16.1%
英語	89 100.0%	1 1.1%	3 3.4%	- -	3 3.4%	20 22.5%	15 16.9%
ベトナム語	35 100.0%	3 8.6%	- -	- -	- -	1 2.9%	10 28.6%
タガログ語	34 100.0%	3 8.8%	- -	- -	- -	1 2.9%	12 35.3%
その他	139 100.0%	2 1.4%	8 5.8%	- -	11 7.9%	15 10.8%	33 23.7%

(6) 地震などの災害時の備え

問28 地震などの災害の時に備えていることはありますか。(当てはまるもの全てに○)

「食料や飲料水、日用品などを準備している」(65.2%)が最も高く、次いで、「停電時に作動する足元灯や懐中電灯などを準備している」(31.0%)、「家具・家電などを固定し、転倒・落下・移動を防止している」(24.7%)、「防災地図やハザードマップを持っている」(20.7%)となっている。一方、「何を備えればいいのかわからない」は5.7%、「特にない」は15.7%となっている。

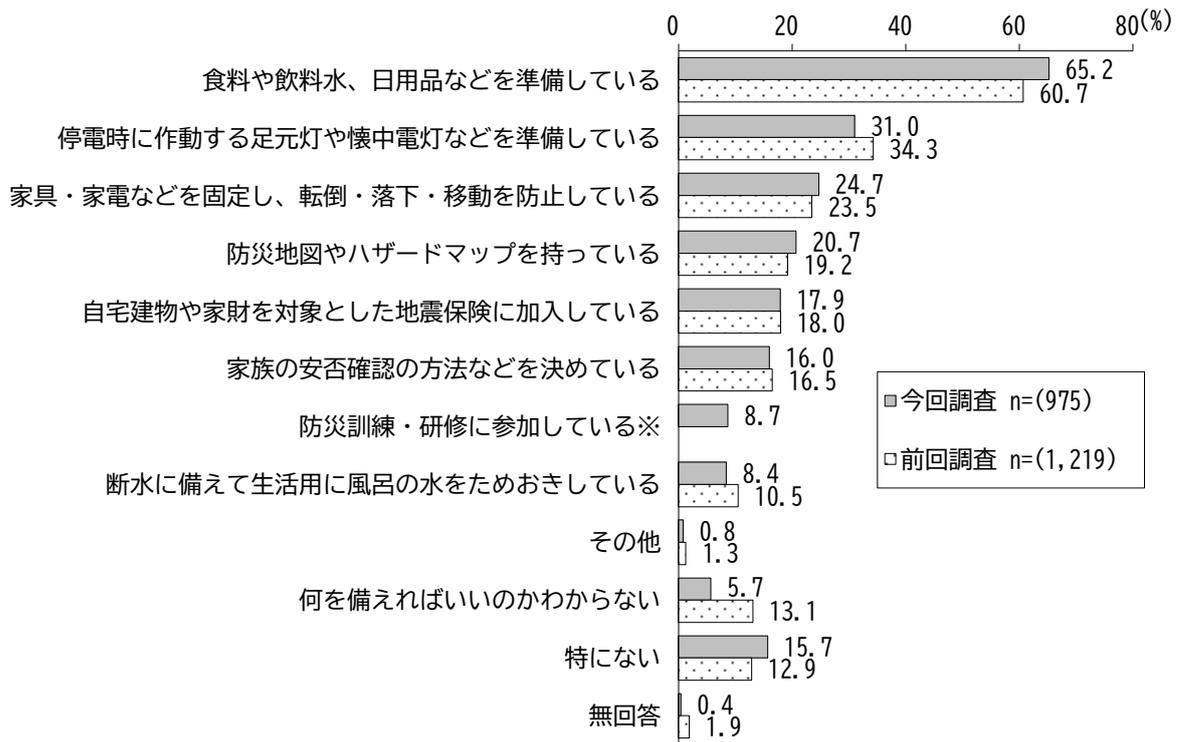
図表 地震などの災害時の備え (複数回答)



【経年比較】

前回との比較では、「何を備えればいいのかわからない」が7.4ポイント減少している。このほかで特に大きな違いはみられないが、「食料や飲料水、日用品などを準備している」「家具・家電などを固定し、転倒・落下・移動を防止している」「防災地図やハザードマップを持っている」は増加傾向にあり、また問21（台東区の施策に対する必要度）では「防災面の対策」が前回から増加していることから、外国人区民の防災への意識は高まっていることがうかがえる。

図表 【経年比較】地震などの災害時の備え（複数回答）



※今回調査より、選択肢「防災訓練・研修に参加している」が追加された。

【居住地域別】

「金杉地区」で「家具・家電などを固定し、転倒・落下・移動を防止している」「自宅建物や家財を対象とした地震保険に加入している」、「清川地区」で「停電時に作動する足元灯や懐中電灯などを準備している」、「浅草寿地区」で「防災地図やハザードマップを持っている」の割合が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高い。

図表 地震などの災害時の備え（居住地域別）

	調査数	食料や飲料水、日用品などを準備している	停電時に作動する足元灯や懐中電灯などを準備している	家具・家電などを固定し、転倒・落下・移動を防止している	防災地図やハザードマップを持っている	自宅建物や家財を対象とした地震保険に加入している	家族の安否確認の方法などを決めている	上段:人数	下段:%
全体	975	636	302	241	202	175	156	100.0%	16.0%
竹町地区	40	26	14	10	8	11	6	100.0%	15.0%
東上野地区	133	79	34	25	25	14	16	100.0%	12.0%
上野地区	105	72	38	30	15	14	20	100.0%	19.0%
入谷地区	211	135	53	49	47	37	35	100.0%	16.6%
金杉地区	46	32	17	17	7	14	8	100.0%	17.4%
谷中地区	21	14	8	7	7	3	6	100.0%	28.6%
浅草橋地区	128	81	45	24	32	19	20	100.0%	15.6%
浅草寿地区	104	72	28	26	28	19	18	100.0%	17.3%
雷門地区	53	35	15	18	9	10	2	100.0%	3.8%
馬道地区	53	34	17	9	11	13	8	100.0%	15.1%
清川地区	67	47	28	21	11	19	14	100.0%	20.9%

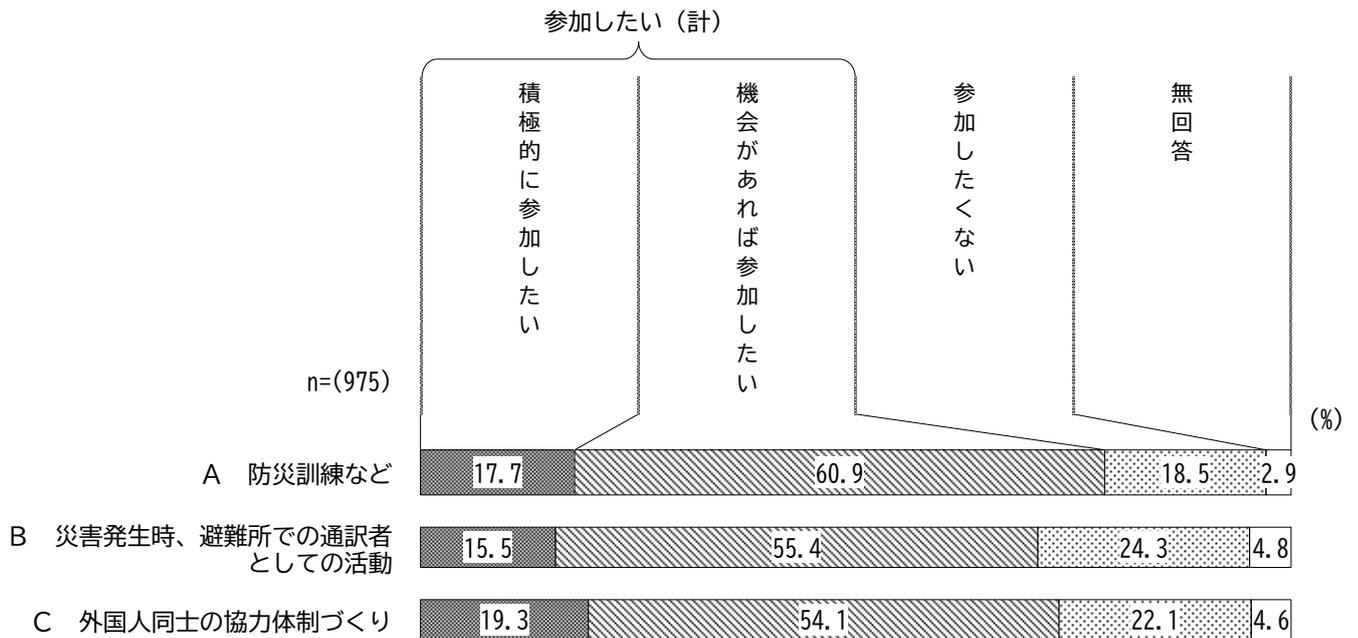
	調査数	防災訓練・研修に参加している	断水に備えて生活用に風呂の水をためおきしている	その他	何を備えればいいのかわからない	特になし	無回答	上段:人数	下段:%
全体	975	85	82	8	56	153	4	100.0%	0.4%
竹町地区	40	3	5	-	3	9	1	100.0%	2.5%
東上野地区	133	7	7	1	11	26	-	100.0%	-
上野地区	105	11	9	-	5	13	1	100.0%	1.0%
入谷地区	211	16	12	-	13	31	-	100.0%	-
金杉地区	46	4	4	1	3	3	1	100.0%	2.2%
谷中地区	21	1	1	-	1	3	-	100.0%	-
浅草橋地区	128	17	16	1	11	23	-	100.0%	-
浅草寿地区	104	10	11	3	6	15	1	100.0%	1.0%
雷門地区	53	9	4	-	2	10	-	100.0%	-
馬道地区	53	2	2	-	-	10	-	100.0%	-
清川地区	67	4	9	2	-	8	-	100.0%	-

(7) 災害に関する活動への参加意向

問29 災害に関する活動へ参加したいと思いますか。(それぞれひとつに○)

全ての項目で「積極的に参加したい」「機会があれば参加したい」の合計「参加したい(計)」は70%台となっており、高い参加意向を示している。

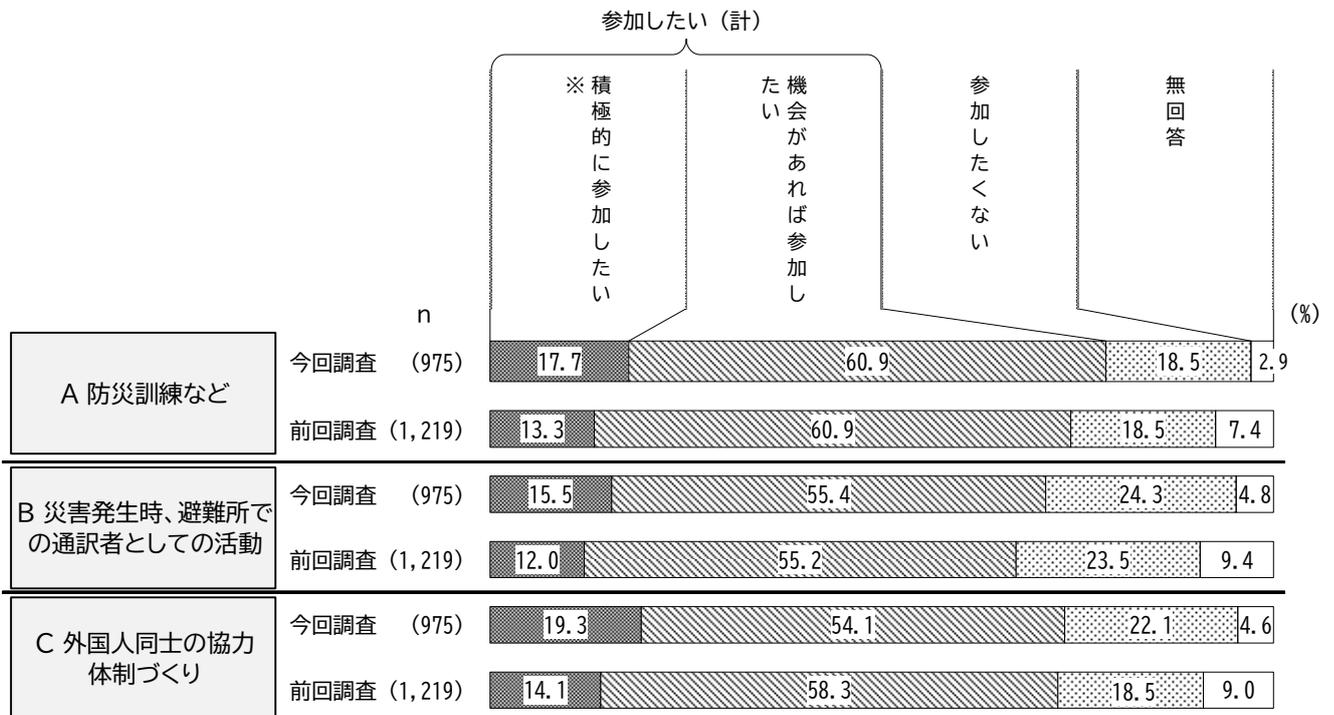
図表 災害に関する活動への参加意向(単一回答)



【経年比較】

前回との比較は、選択肢が一部異なるため参考程度にとどめるが、「A 防災訓練など」「B 災害発生時、避難所での通訳者としての活動」で「積極的に参加したい」「機会があれば参加したい」の合計「参加したい（計）」はやや増加している。

図表 【経年比較】災害に関する活動への参加意向（単一回答）



※今回調査の選択肢「積極的に参加したい」は、前回調査では「おおいに参加したい」であった。

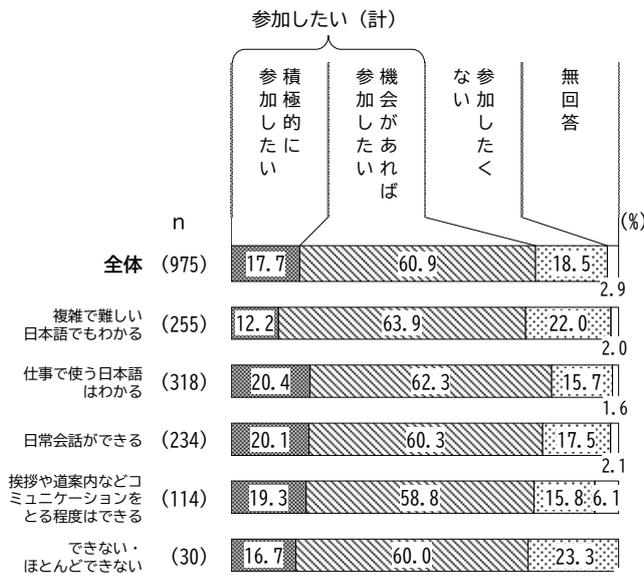
【A. 防災訓練など（日本語習得度別）】

「積極的に参加したい」「機会があれば参加したい」を合計した割合は、「聞く」「話す」「読む」が「仕事で使う日本語はわかる」と回答した人で、「書く」が「日常会話ができる」と回答した人で最も高くなっている。

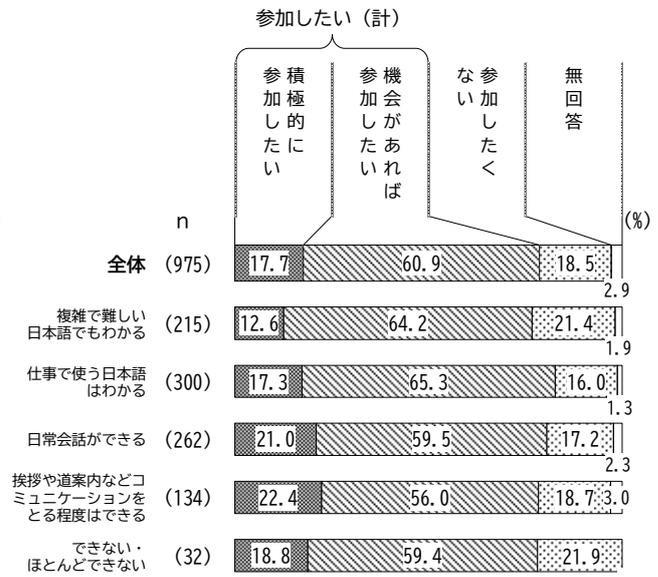
一方、「聞く」「話す」「読む」「書く」が「複雑で難しい日本語でもわかる」「できない・ほとんどできない」と回答した人では、「参加したくない」が20%台とやや高くなっている。

図表 災害に関する活動への参加意向【A. 防災訓練など】（日本語習得度別）

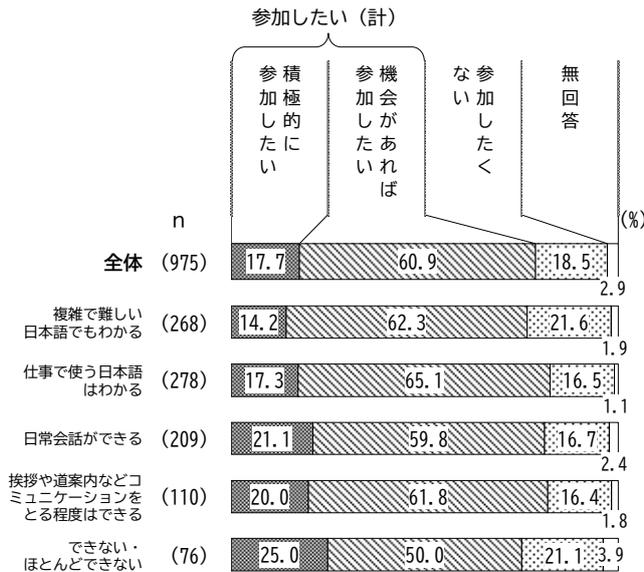
【聞く】



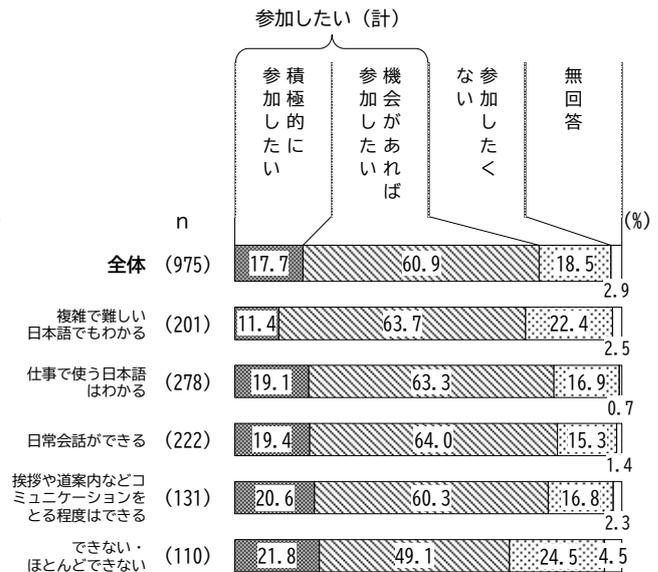
【話す】



【読む】



【書く】

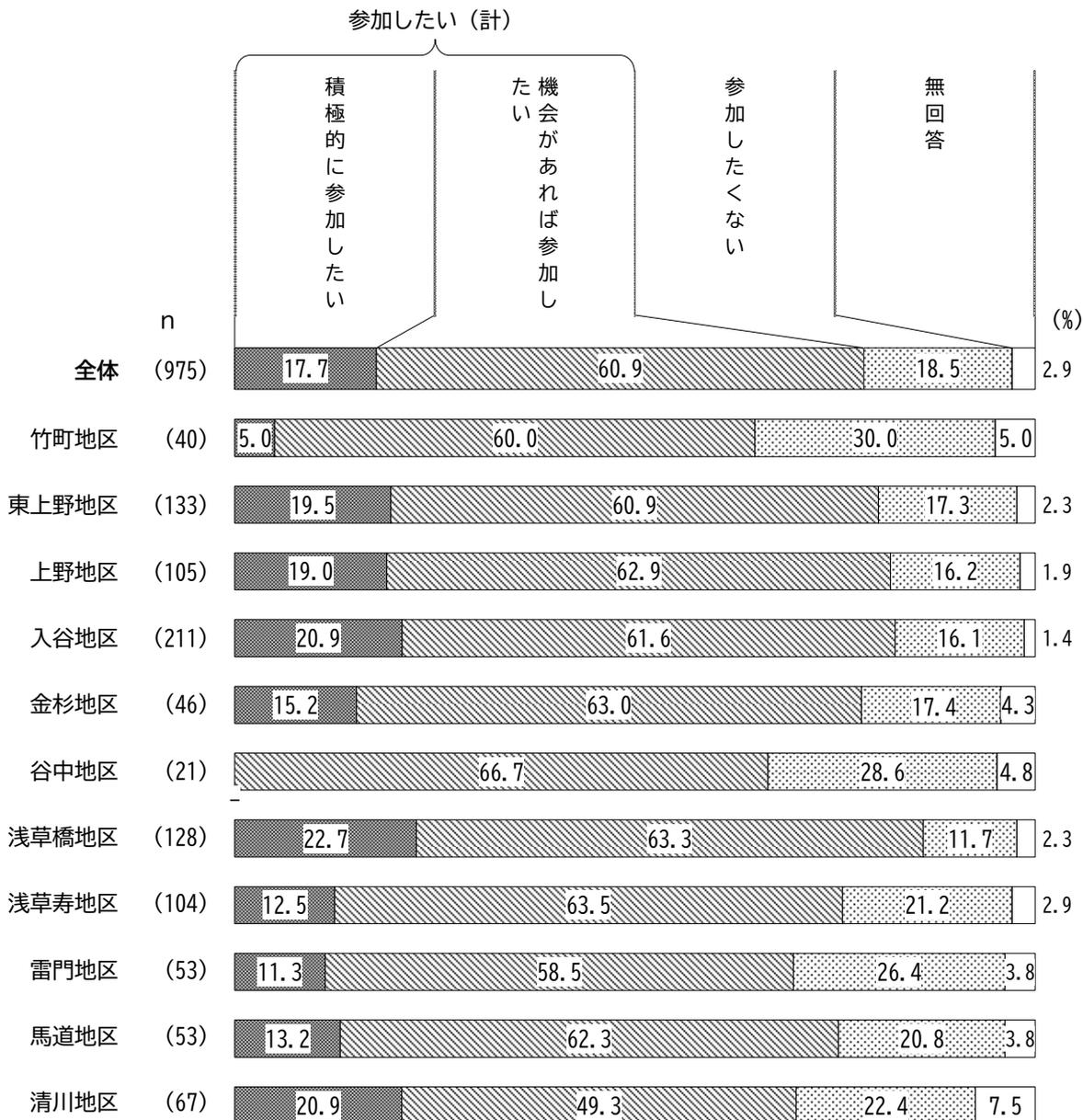


【A. 防災訓練など（居住地域別）】

「積極的に参加したい」「機会があれば参加したい」を合計した割合は、「浅草橋地区」「入谷地区」「上野地区」「東上野地区」で80%台となっている。

一方、「参加したくない」は「竹町地区」で30%と全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 災害に関する活動への参加意向【A. 防災訓練など】（居住地域別）



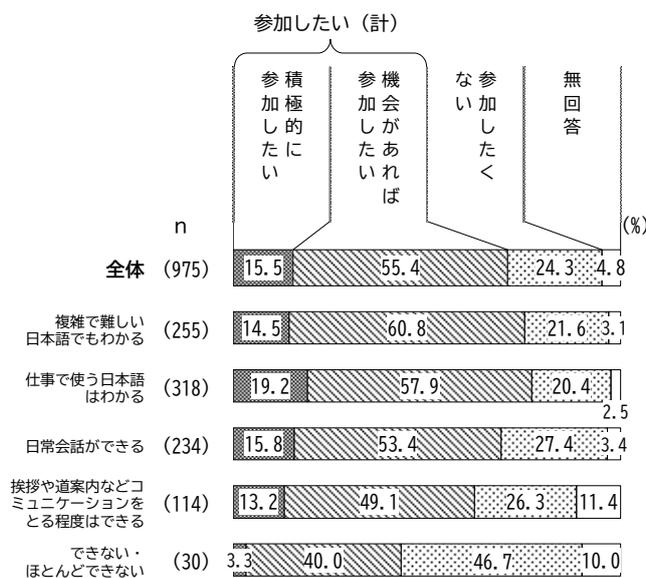
【B. 災害発生時、避難所での通訳者としての活動（日本語習得度別）】

「聞く」「話す」「読む」「書く」いずれも「仕事で使う日本語はわかる」と回答した人で、「積極的に参加したい」「機会があれば参加したい」を合計した割合が最も高くなっている。

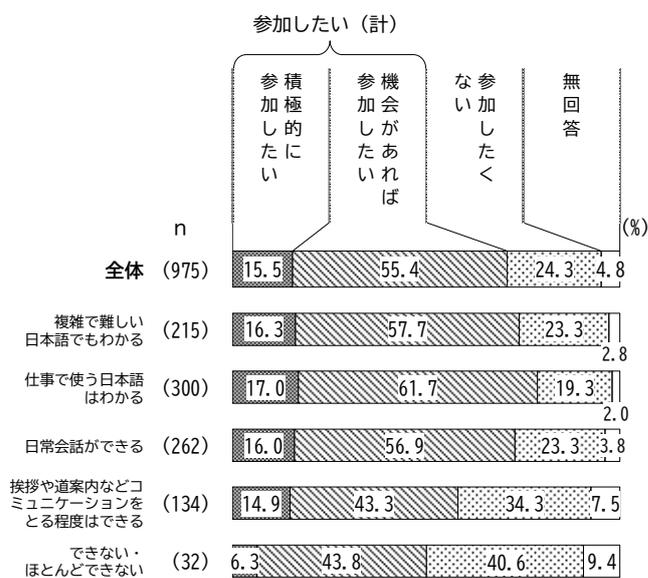
一方、「聞く」「話す」の「できない・ほとんどできない」と回答した人で、「参加したくない」が40%台とそれぞれ高い。

図表 災害に関する活動への参加意向【B. 災害発生時、避難所での通訳者としての活動】  
(日本語習得度別)

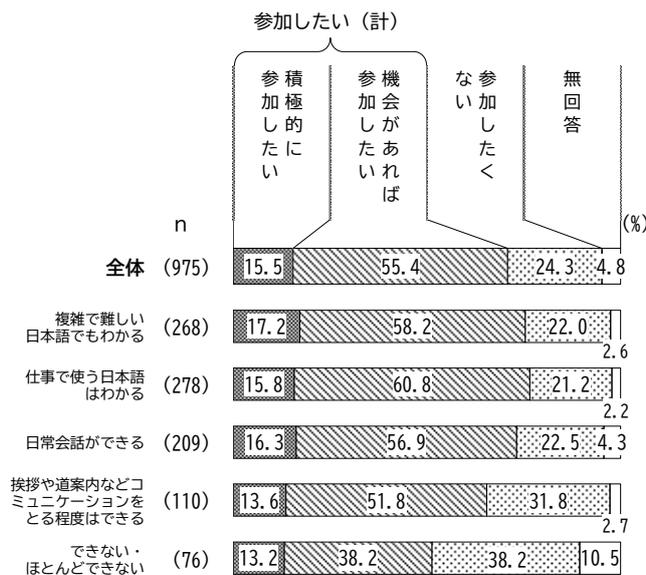
【聞く】



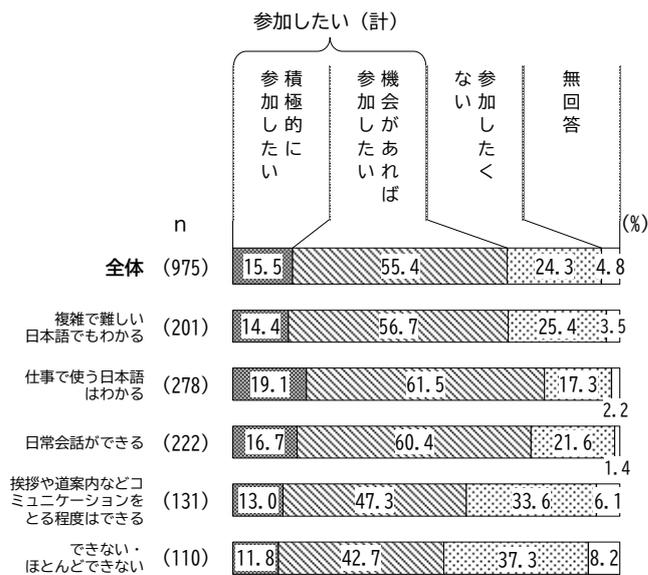
【話す】



【読む】



【書く】

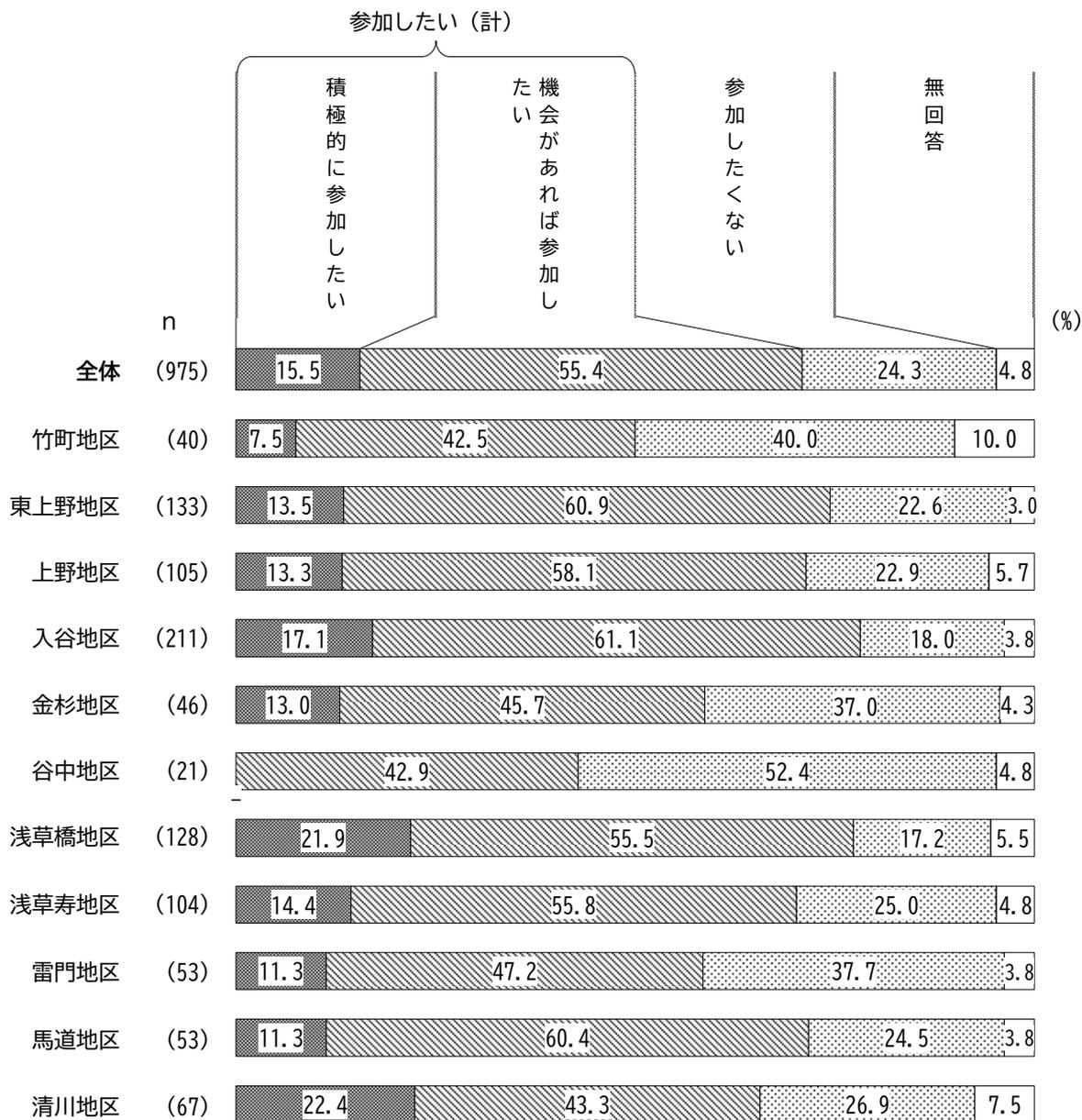


【B. 災害発生時、避難所での通訳者としての活動（居住地域別）】

「積極的に参加したい」「機会があれば参加したい」を合計した割合は、「入谷地区」「浅草橋地区」で70%台となっている。

一方、「参加したくない」は「竹町地区」で40.0%と全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 災害に関する活動への参加意向【B. 災害発生時、避難所での通訳者としての活動】  
（居住地域別）



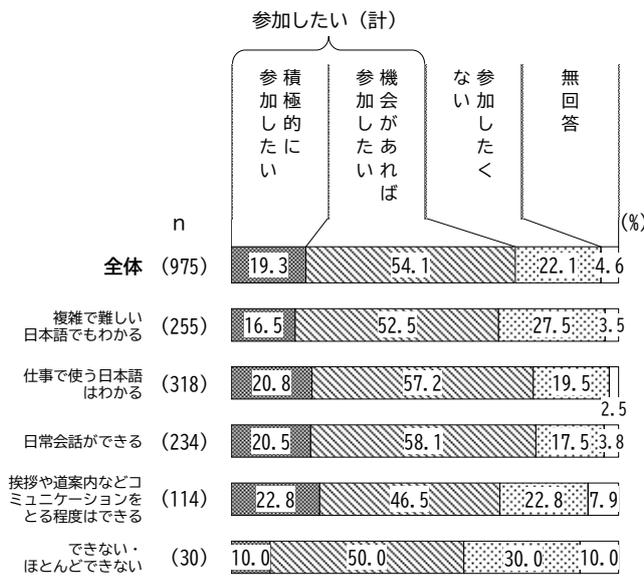
【C. 外国人同士の協力体制づくり（日本語習得度別）】

「積極的に参加したい」「機会があれば参加したい」を合計した割合は、「聞く」「話す」「書く」が「日常会話ができる」と回答した人で、「読む」が「仕事で使う日本語はわかる」と回答した人で最も高くなっている。

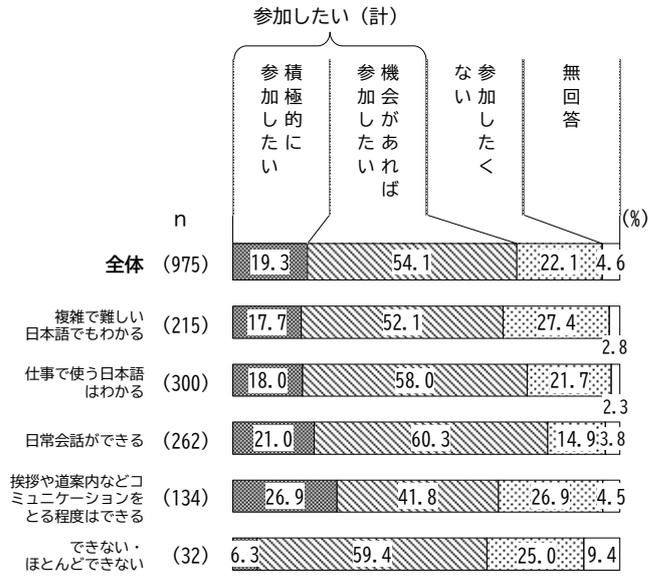
一方、「聞く」が「できない・ほとんどできない」と回答した人では、「参加したくない」が30.0%と高くなっている。

図表 災害に関する活動への参加意向【C. 外国人同士の協力体制づくり】（日本語習得度別）

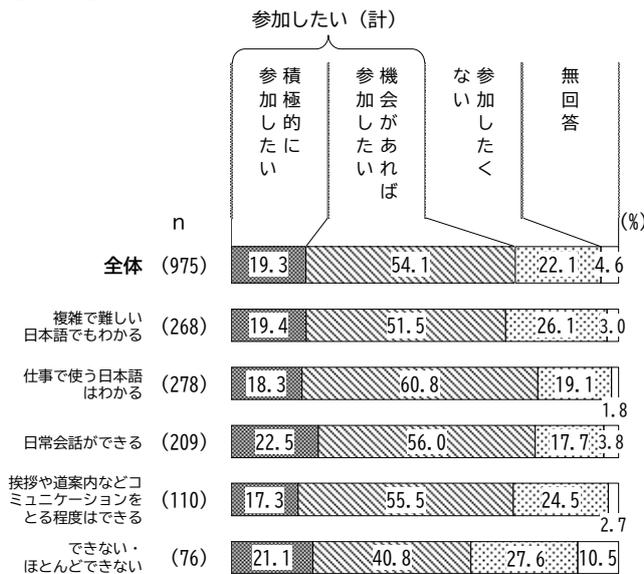
【聞く】



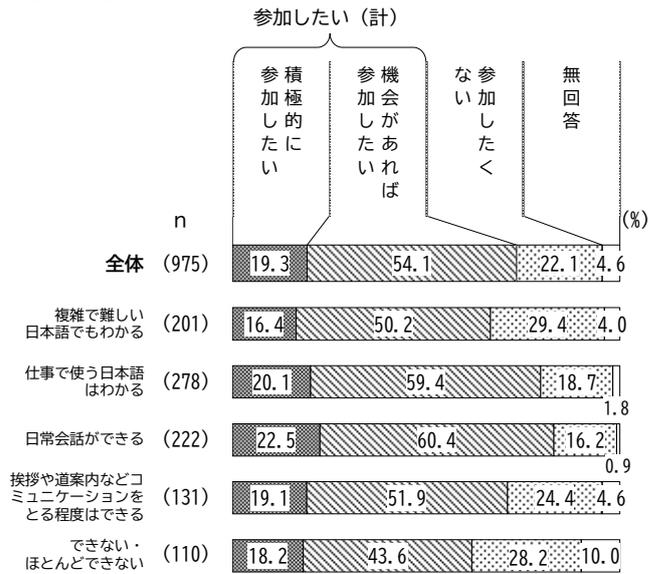
【話す】



【読む】



【書く】

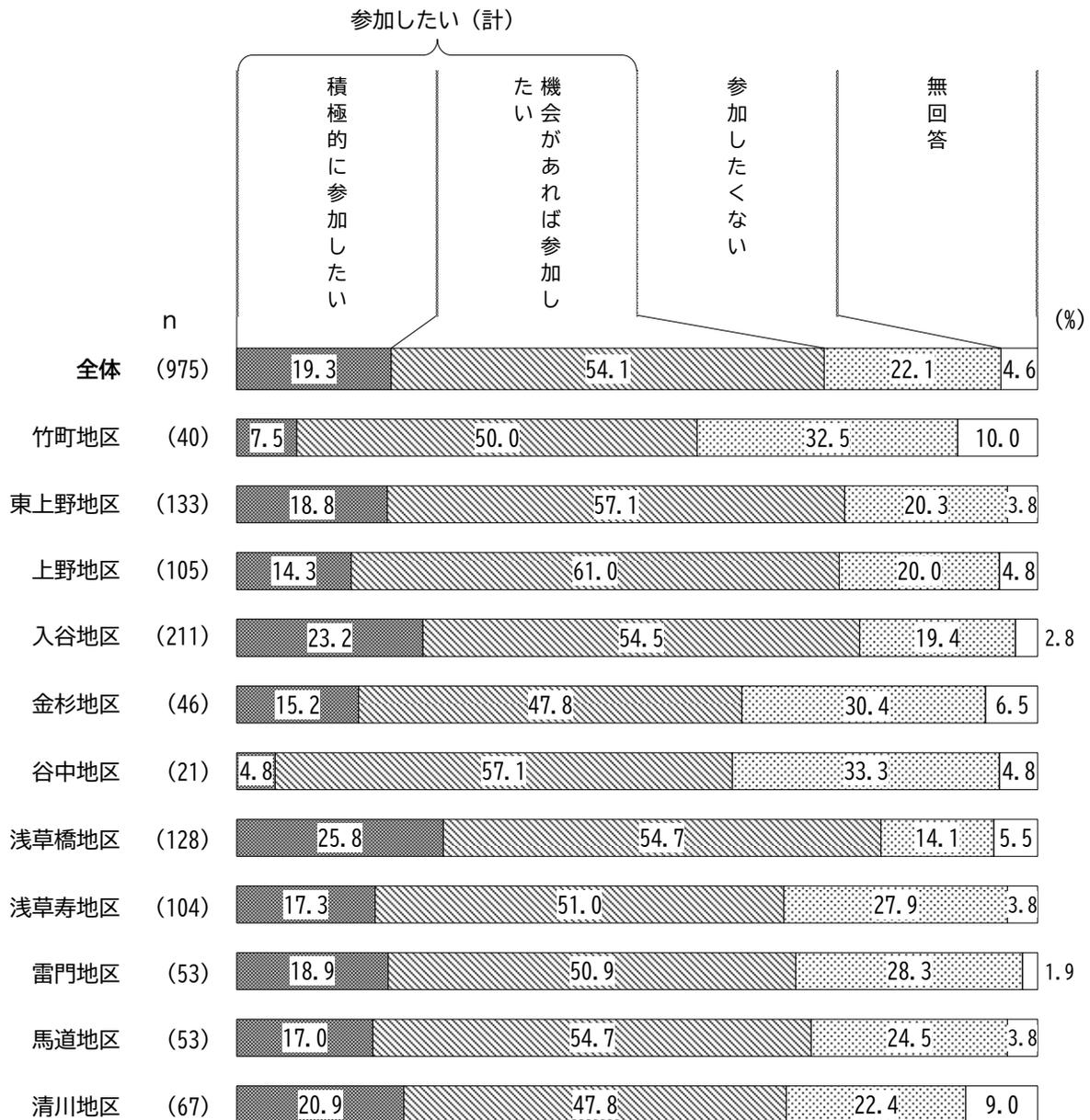


【C. 外国人同士の協力体制づくり（居住地域別）】

「積極的に参加したい」「機会があれば参加したい」を合計した割合は、「浅草橋地区」「入谷地区」で80%前後となっている。

一方、「参加したくない」は「竹町地区」「金杉地区」で30%台と全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 災害に関する活動への参加意向【C. 外国人同士の協力体制づくり】（居住地域別）

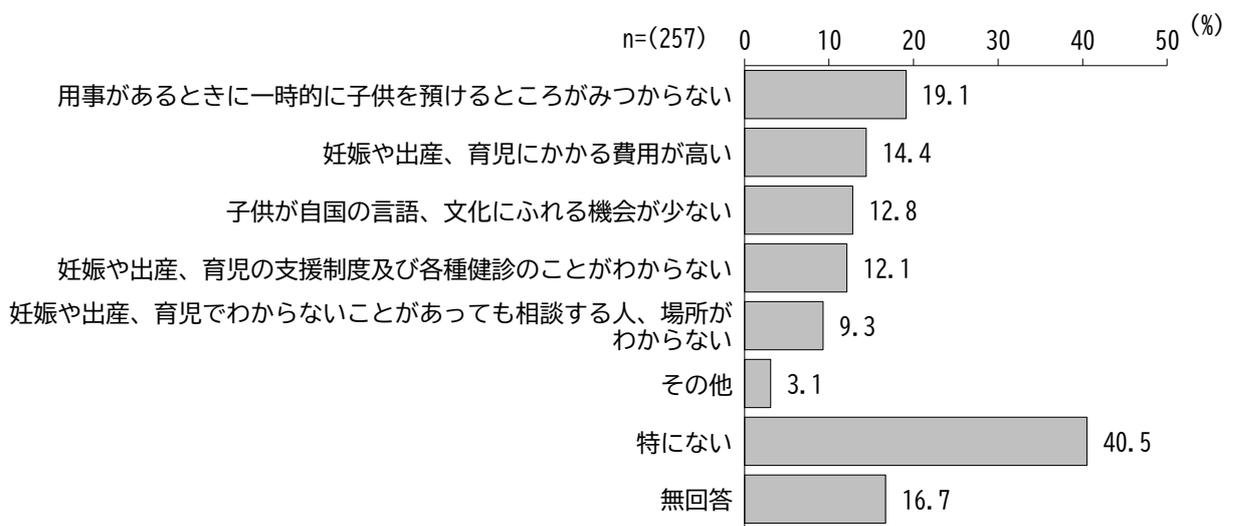


(8) 日本での妊娠や出産、育児で困ったこと

問30 【お子さんがいる方のみご回答ください。】  
 日本での妊娠や出産、育児のことで困ったことはありますか。  
 (当てはまるもの全てに○)

「特にない」が40.5%で最も高いが、具体的な選択肢の中では「用事があるときに一時的に子供を預けるところがみつからない」(19.1%)が最も高く、次いで、「妊娠や出産、育児にかかる費用が高い」(14.4%)、「子供が自国の言語、文化にふれる機会が少ない」(12.8%)となっている。

図表 日本での妊娠や出産、育児で困ったこと (複数回答)



※調査票問8の選択肢のうち、「子供」の回答者を母数として集計している。

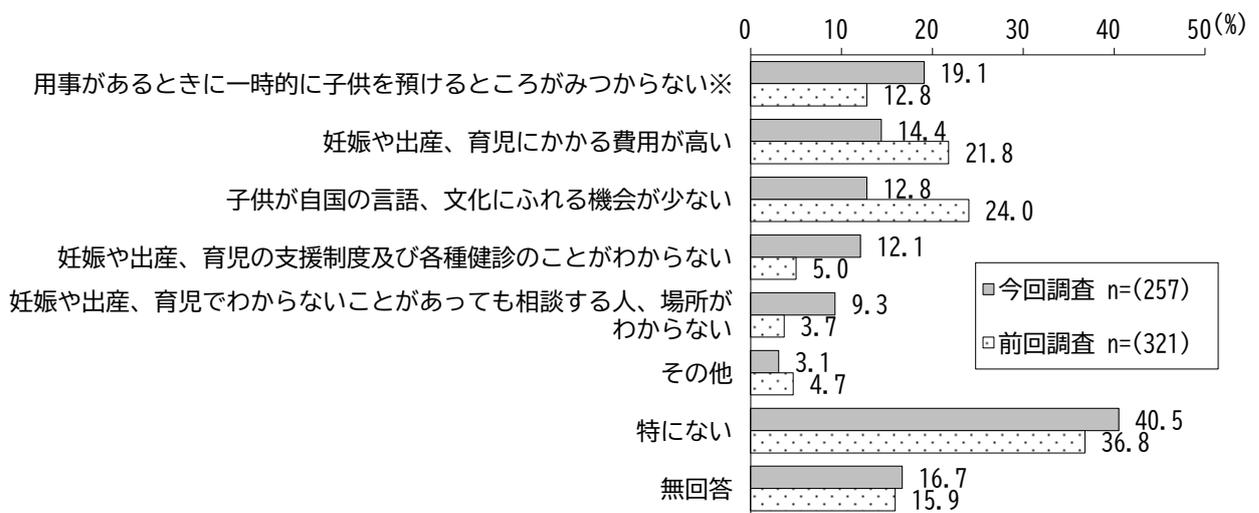
【経年比較】

前回との比較では、「妊娠や出産、育児の支援制度及び各種健診のことがわからない」「妊娠や出産、育児でわからないことがあっても相談する人、場所がわからない」「用事があるときに一時的に子供を預けるところがみつからない」がいずれも5ポイント以上増加している。

一方、「子供が自国の言語、文化にふれる機会が少ない」が11.2ポイント、「妊娠や出産、育児にかかる費用が高い」が7.4ポイント減少している。

「特にない」を除いて、前回1位の「子供が自国の言語、文化にふれる機会が少ない」は今回3位となっている。

図表 【経年比較】日本での妊娠や出産、育児で困ったこと（複数回答）



※今回調査の選択肢「用事があるときに一時的に子供を預けるところがみつからない」は、前回調査では「子供を預けるところがみつからない」であった。

## 【居住地域別】

「上野地区」で「妊娠や出産、育児にかかる費用が高い」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。また、回答者数が少ないため参考程度にとどめるが、「浅草橋地区」「清川地区」で「用事があるときに一時的に子供を預けるところが見つからない」、「浅草橋地区」「浅草寿地区」で「妊娠や出産、育児の支援制度及び各種健診のことがわからない」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 日本での妊娠や出産、育児で困ったこと（居住地域別）

	調査数	用事があるときに一時的に子供を預けるところが見つからない	妊娠や出産、育児にかかる費用が高い	子供が自国の言語、文化にふれる機会が少ない	妊娠や出産、育児の支援制度及び各種健診のことがわからない	妊娠や出産、育児でわからないことがあっても相談する人、場所がわからない	その他	特になし	無回答
上段:人数 下段:%									
全体	257 100.0%	49 19.1%	37 14.4%	33 12.8%	31 12.1%	24 9.3%	8 3.1%	104 40.5%	43 16.7%
竹町地区	15 100.0%	1 6.7%	- -	2 13.3%	- -	- -	- -	10 66.7%	2 13.3%
東上野地区	28 100.0%	3 10.7%	3 10.7%	3 10.7%	4 14.3%	4 14.3%	- -	13 46.4%	6 21.4%
上野地区	35 100.0%	6 17.1%	10 28.6%	7 20.0%	3 8.6%	4 11.4%	1 2.9%	10 28.6%	5 14.3%
入谷地区	58 100.0%	13 22.4%	7 12.1%	7 12.1%	6 10.3%	4 6.9%	1 1.7%	25 43.1%	10 17.2%
金杉地区	9 100.0%	2 22.2%	1 11.1%	3 33.3%	- -	- -	1 11.1%	4 44.4%	1 11.1%
谷中地区	8 100.0%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	5 62.5%	1 12.5%
浅草橋地区	29 100.0%	9 31.0%	3 10.3%	3 10.3%	8 27.6%	4 13.8%	1 3.4%	7 24.1%	5 17.2%
浅草寿地区	28 100.0%	4 14.3%	3 10.7%	3 10.7%	7 25.0%	3 10.7%	2 7.1%	10 35.7%	5 17.9%
雷門地区	8 100.0%	1 12.5%	- -	- -	1 12.5%	- -	- -	4 50.0%	2 25.0%
馬道地区	12 100.0%	2 16.7%	4 33.3%	3 25.0%	- -	- -	- -	3 25.0%	2 16.7%
清川地区	23 100.0%	7 30.4%	5 21.7%	1 4.3%	1 4.3%	4 17.4%	- -	10 43.5%	4 17.4%

(9) 幼稚園・保育園、学校で困ったこと

問31 【お子さんがいる方のみご回答ください。】

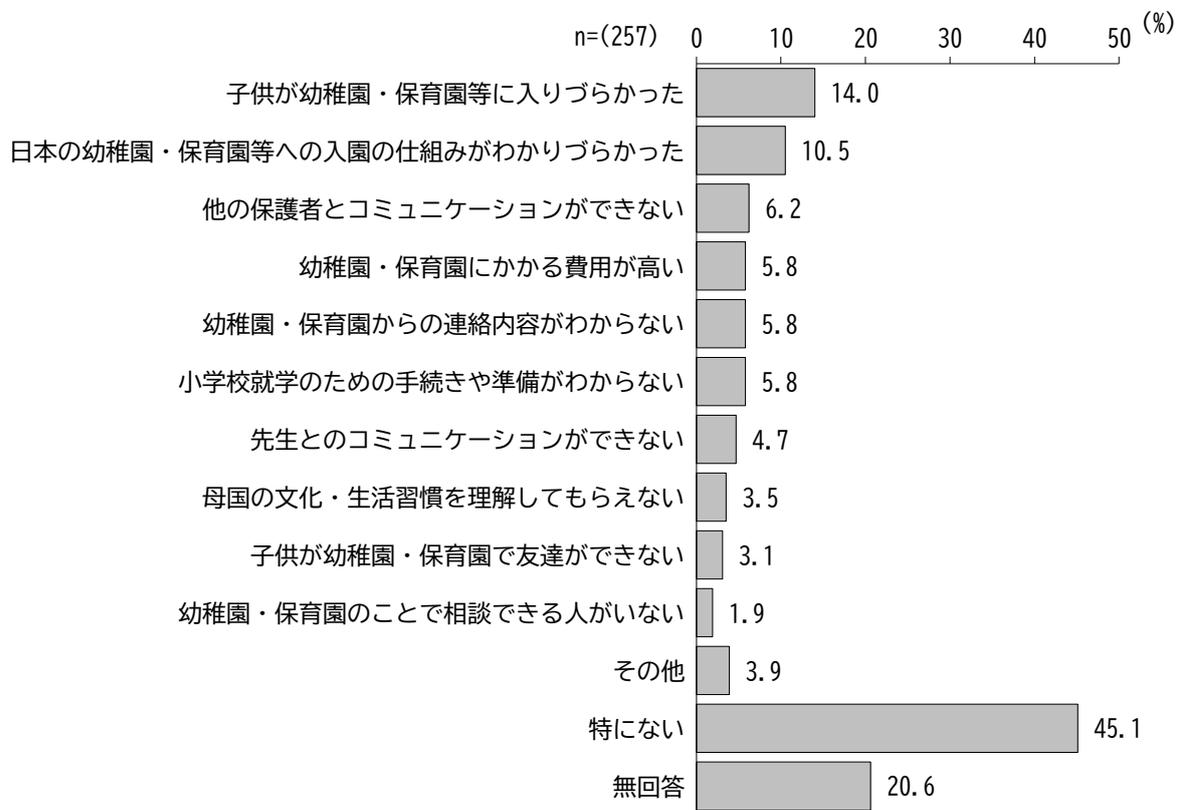
子供または回答者が幼稚園・保育園、学校で困ったことはありますか。

(それぞれ当てはまるもの全てに○)

【① お子さんが幼稚園・保育園等に通っている方、または通われていた方】

「特になし」が45.1%で最も高いが、具体的な選択肢の中では「子供が幼稚園・保育園等に入りづらかった」(14.0%)が最も高く、次いで、「日本の幼稚園・保育園等への入園の仕組みがわかりづらかった」(10.5%)となっている。

図表 幼稚園・保育園で困ったこと（複数回答）

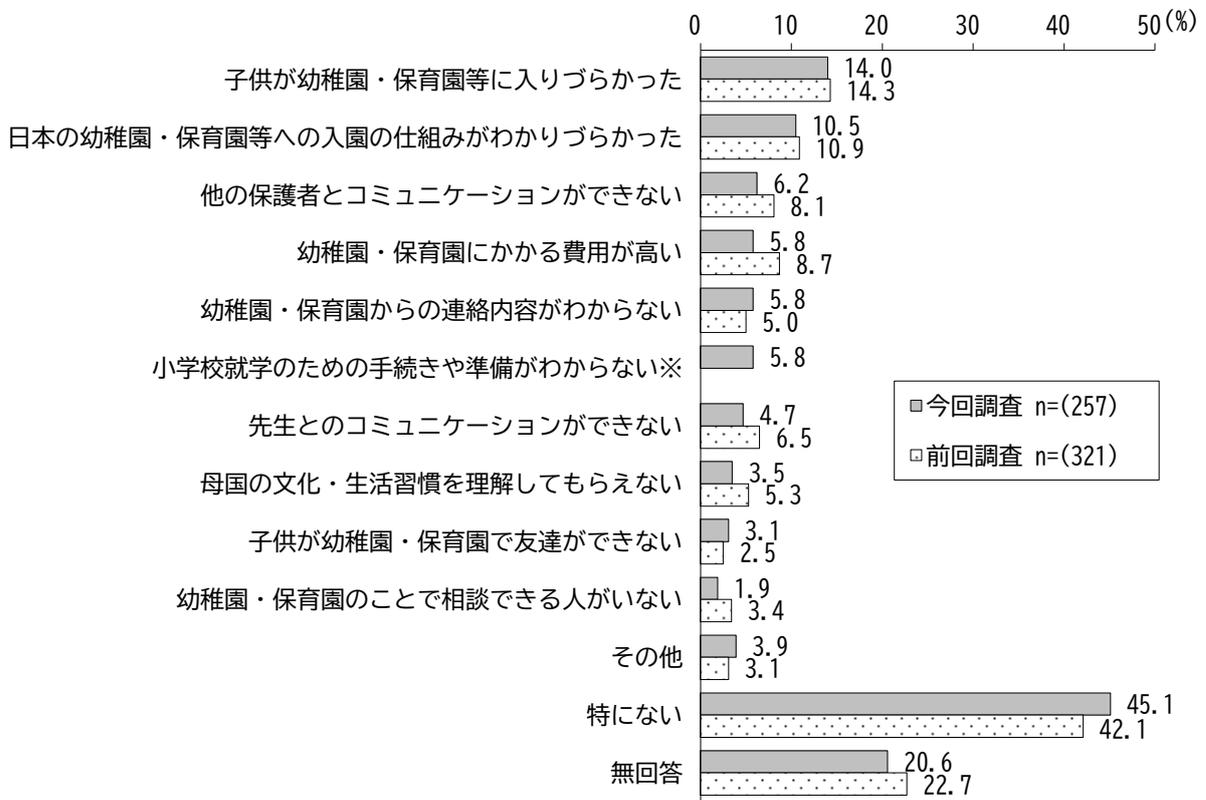


※調査票問8の選択肢のうち、「子供」の回答者を母数として集計している。

【経年比較】

前回との比較では、大きな違いはみられないが、前回調査から減少傾向にある項目が多くなっている。

図表 【経年比較】幼稚園・保育園で困ったこと（複数回答）

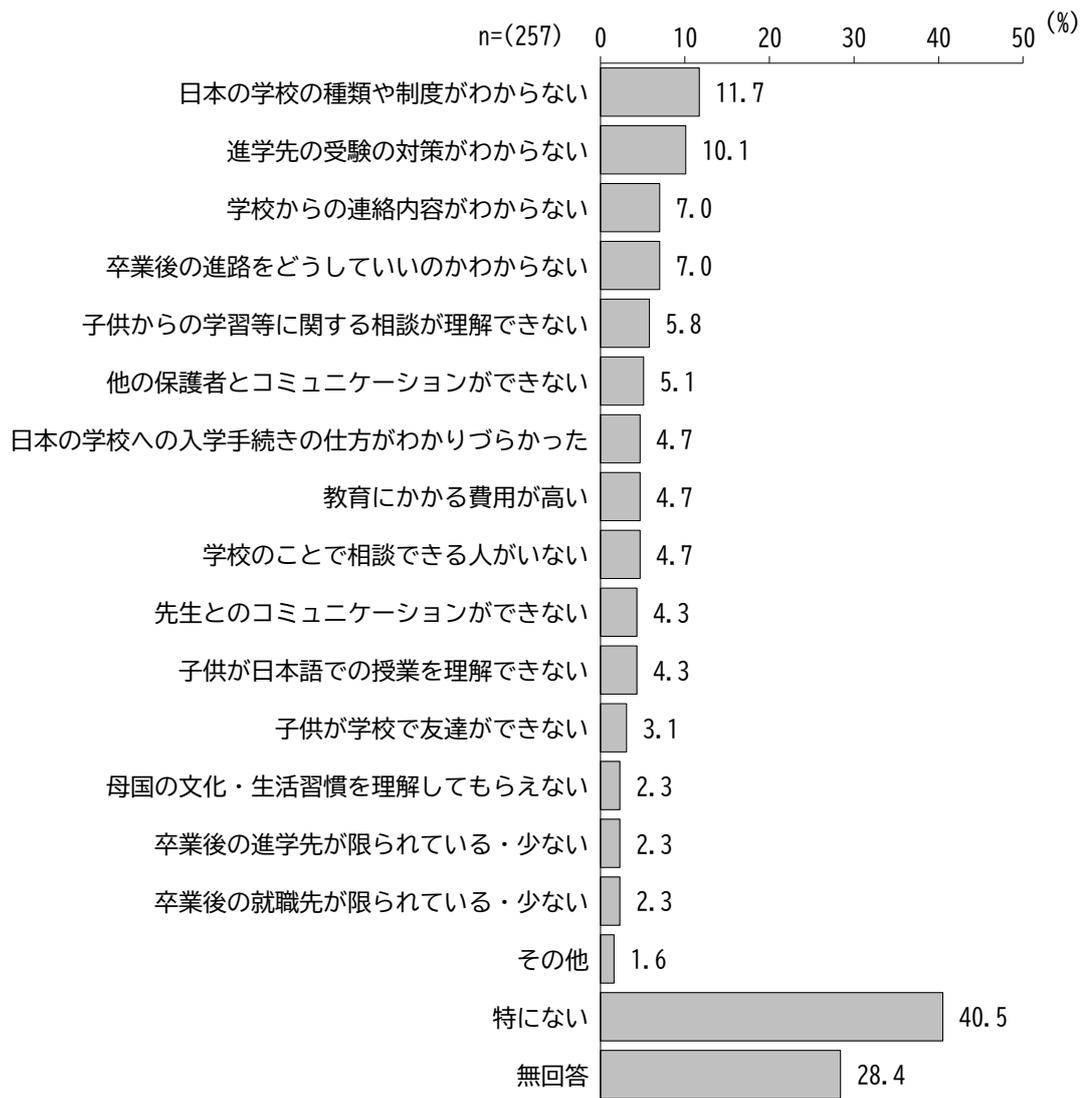


※今回調査より、選択肢「小学校就学のための手続きや準備がわからない」が追加された。

【② お子さんが学校に通っている方、または通われていた方】

「特にない」が40.5%で最も高いが、具体的な選択肢の中では「日本の学校の種類や制度がわからない」(11.7%)が最も高く、次いで、「進学先の受験の対策がわからない」(10.1%)、「学校からの連絡内容がわからない」「卒業後の進路をどうしていいのかわからない」(ともに7.0%)となっている。

図表 学校で困ったこと(複数回答)

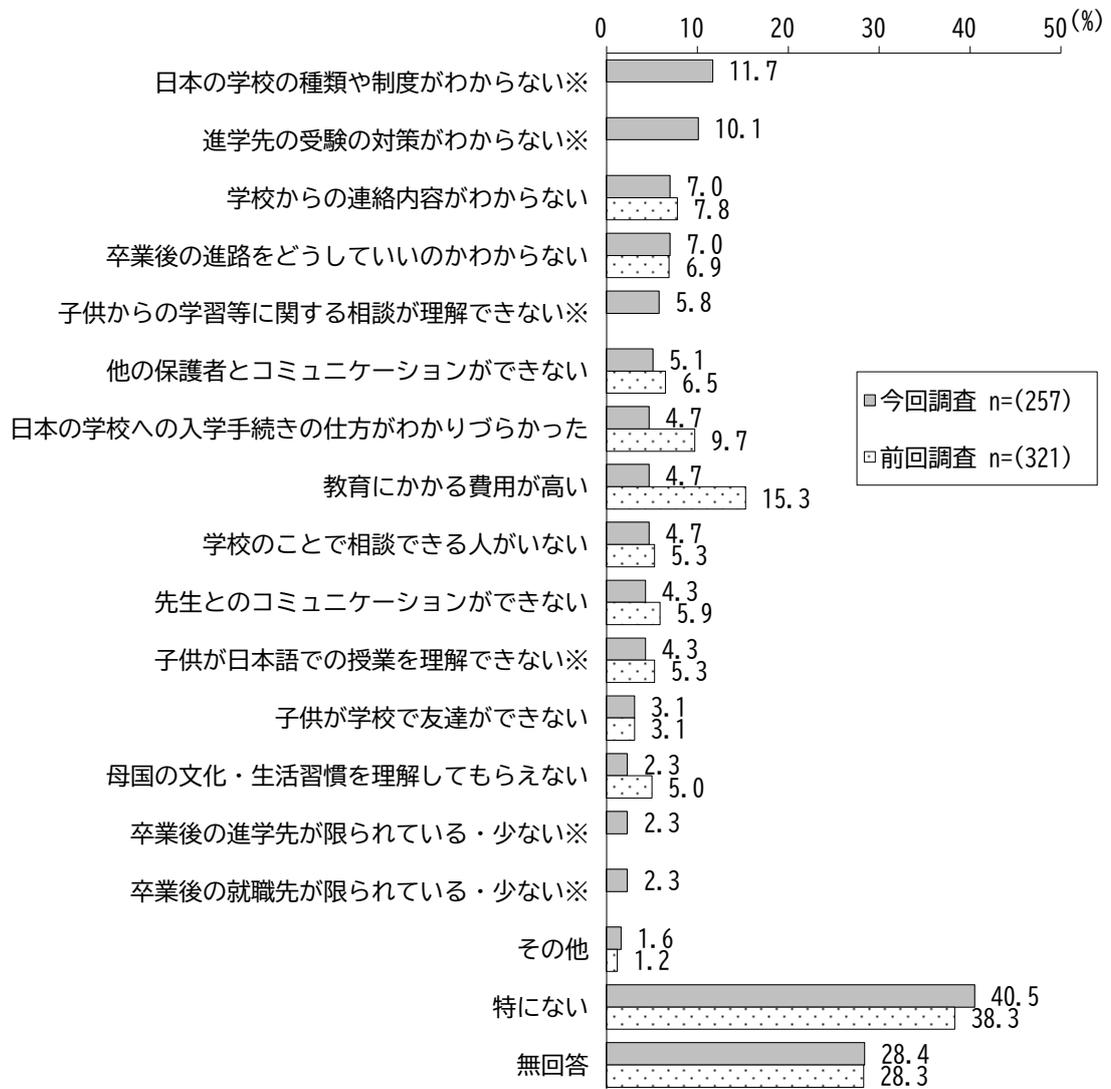


※調査票問8の選択肢のうち、「子供」の回答者を母数として集計している。

【経年比較】

前回との比較では、前回調査から割合が減少している項目が多く、特に「教育にかかる費用が高い」が10.6ポイント、「日本の学校への入学手続きの仕方がわかりづらかった」が5.0ポイント減少している。

図表 【経年比較】学校で困ったこと（複数回答）



※今回調査より、選択肢「日本の学校の種類や制度がわからない」「子供からの学習等に関する相談が理解できない」「卒業後の進学先が限られている・少ない」「卒業後の就職先が限られている・少ない」「進学先の受験の対策がわからない」が追加された。

※今回調査の選択肢「子供が日本語での授業を理解できない」は、前回調査では「日本語での授業を理解できない」であった。

(10) 現在、特に困っていること（自由記述）

問32 現在、特に困っていることがあればお書きください。

特に困っていることに対する自由記述に212名（回答者に占める割合で21.7%）の回答があった。問23「あなたは、日本での生活で、困っていることや心配なこと」の選択肢等に合わせて記述内容を整理し、主な内容について掲載する（意見がないまたはわからないと記述された意見87名を除く）。

①日常生活・言葉について（64件）

<日本語の読み書き、コミュニケーション>

- ・日本語の習得が困難で、日本人とコミュニケーションをとる機会や場所が不足している。（中国・20～29歳）
- ・日本人の友達を作りたいけど日本語能力まだ下手で、ずっと自信が持てない。特に聞くこと、いつも聞きとれない。（中国・20～29歳）
- ・台東区で日本語、中国語、英語を無料で学べるクラスがあれば、ぜひ教えて欲しい。（ベトナム・20～29歳）
- ・参加しやすい日本語を勉強するリソースがもっと欲しい。（台湾・30～39歳）
- ・友人と起業したところなので、自治体との連絡や仕事上のやり取りが満足にできるくらいに日本語がうまくなりたい。（アメリカ・30～39歳）
- ・台東区が提供する無料日本語講座にぜひ参加したいが、開始時間が午前9時ではどうしてもその時間には間に合わない。午後の開講を希望。日常生活で十分な日本語レベルと、仕事に必要な日本語レベルには大きな隔たりがある。英語が使える仕事を探したいが、企業は最低でも日本語能力試験N2レベルを求めている。現在専業主婦のため、高額なN2対策講座を受講する余裕がない。特に収入のない人々のために、このギャップを埋める上級者向け日本語講座を台東区に増設してほしい。（この文章には翻訳ソフトを使用。私の日本語レベルはもっともっと下）（その他・40～49歳）
- ・漢字を上手に書く事。日本語をもっと勉強したい。（フィリピン・50～59歳）

<税金や保険料、各種手続き等>

- ・税金と年金についていろいろなことを知りたい。年金納付免除ができるかどうかちょっと心配。（中国・20～29歳）
- ・学費と生活費がギリギリで、学生でも健康保険が高すぎて払うのに困っている。（ミャンマー・20～29歳）
- ・年金や税金のことを自分の国の言葉で読みたい。（中国・30～39歳）
- ・扶養家族やふるさと納税などの手続きをどうするのか分からない。説明会などがあればよい。（中国・30～39歳）
- ・税金・年金の支払いが困難。（フィリピン・30～39歳）
- ・銀行の口座を開設する際の要件が非常に厳格。（韓国・40～49歳）

- ・年金制度がよく分からない。(インド・60～69歳)

#### <日本人とのかかわりに関すること>

- ・周囲の日本人から、ヒジャブを付けていると好奇の目で見られて不安を感じる。自分を見た日本人が逃げていく気がする。(その他・30～39歳)
- ・普通に仕事して暮しているが、SNSで外国人、特に外国人の政治活動についての発言が多くて困っている。固定観念や偏見などの話が多くなってきて、知らない人に悪意を感じられたことがある。もちろん、マナーがよくない人が日本にいることが事実としても、「国籍」だけで判断されて差別された体験があるので困る。(中国・30～39歳)
- ・文化の違いに疲れてしまうことがある。常に「日本人らしくあれ」というプレッシャーを感じる。(アメリカ・30～39歳)

#### <物価>

- ・食料品や日用品も値上がりし、毎月お金が残らないので、働くのが楽しくなくなってしまった。(ミャンマー・30～39歳)
- ・収入よりも出費が多いので貯蓄が難しい。(ネパール・30～39歳)
- ・困っていることは物価があがること。いつまでもあがるのは不安。(台湾・50～59歳)

#### <その他>

- ・区からの大切なお知らせや生活に必要な情報は届いているかどうか不安。(中国・30～39歳)

### ②住まい・住環境について (12件)

#### <家賃、住宅購入>

- ・家賃が高すぎる。(中国・30～39歳)
- ・外国人が家を買うために、住宅ローンを組むこと。(台湾・30～39歳)
- ・観光客向けの貸し物件として不動産が購入されており、個人が中古・新築に関わらず戸建てを買うのはほとんど不可能。(その他・30～39歳)

#### <清掃、街の緑化>

- ・御徒町駅から湯島に行く間の道が、ごみで汚れていてカラスが多く通勤の時は怖い。お店にルール通りにごみ出しするように指導いただきたい。(中国・30～39歳)
- ・街に緑が少ない、特に道沿いに緑がほとんど見られない。(中国・30～39歳)
- ・ごみ処理。(中国・40～49歳)
- ・大きな家具や電化製品を捨てるために予約しても回収日がかかなり先になる。簡単に気軽に申し込めて早く取りに来て欲しい。また、受付しない電化製品でも他の処理方法を選択肢として案内して欲しい。(タイ・40～49歳)

#### <近隣の迷惑行為、マナー>

- ・外国人に対して、日本語と同時に日本の風習や生活に関わる法律(社会保険法、税法、一般

的な刑法)、社会の仕組み(健康保険制度等)を教えて、日本人はどう言うことを嫌うか等、日本人の性質を教えてほしい。私は長く日本にいるが、新しく来日した外国人が非常識なことをなるべくしてほしくない。我々が培った信用を覆すようなことになる。(韓国・50～59歳)

- ・マナーが悪い中国人が多くていやです。他の国の人のマナーが悪いので困っています。(その他・50～59歳)

#### <利便性>

- ・台東区はまだ現金しか使えない店が多くて、電子マネーやクレジットカードが全く使えないのでとても不便。(中国・30～39歳)
- ・バスの本数が少なくなっている。めぐりんバスと都営バスの運行間隔をバランスよくしてもらいたい。めぐりんバスと都営バスのダイヤが4～5分差ではあまり意味がないと思います。(タイ・40～49歳)

### ③病院・医療について (12件)

#### <医療機関での言語の障壁>

- ・医師の診察を受ける時に言語の壁を感じる。ほとんどの場合、オンラインの外国人向けのページで英語が話せる医師を探すようにしているが、遠方だったり混んでいたりして予約が取れない。(その他・30～39歳)
- ・言葉が通じないため、病院に行くのが難しい。(中国・40～49歳)

#### <緊急時の医療支援や、病院の情報等>

- ・夜に急病になったら、台東区でどの病院に行けばいいかわからなくて心配。夜は病院が閉まっていることが多い。また、救急車を呼ぶとお金を払わないといけないのかも心配。(その他・20～29歳)
- ・病院へ行くときどこへ行けば良いかわからない。また、どのくらい治療費としてお金が必要かわからない。(その他・30～39歳)

#### <その他>

- ・高齢になってきた自分のことが心配。(フィリピン・40～49歳)

### ④就労について (10件)

#### <就労環境>

- ・私は日本の企業で派遣エンジニアとして働いているが、派遣会社が利益を増やすために、給料が低く抑えられていて、自分の仕事が過小評価されていると感じている。(ネパール・20～29歳)

#### <就職・転職活動>

- ・大学卒業後の就職について心配している。学校でも就職に関して支援してくれるが、行政

のレベルでサポートしてくれるとなお良い。(中国・20～29歳)

- ・日本語はある程度できるが、自分に合った仕事が見つからない。外国人はどうやって仕事を探せばよいのか。英語と中国語を必要とされている仕事があるのか、よく分からない。(中国・30～39歳)
- ・転職したいが、なかなか決まらない。(中国・40～49歳)

#### ⑤災害について（1件）

- ・災害時に日本語で流れる行政の放送が理解できないのではないかと心配。そして、その指示に従う方法や、いつ家を出るべきかなどについても不安。(その他・30～39歳)

#### ⑥保育・教育、子供のことについて（17件）

##### <学校や受験・進路先について>

- ・息子が日本で暮らして3年になり、現在中学2年生。学校の授業が全て日本語で行われているため、まだ全てを理解するのは難しいようである。息子が勉強についていけるよう、塾か家庭教師を探そうと考えている。高校進学についても心配。息子に選択肢があることを願っている。何かお勧めがあれば、ぜひ教えて欲しい。(フィリピン・30～39歳)
- ・子供は日本語ができない。すごく不安。(中国・50～59歳)

##### <子育て費用、学費>

- ・子供を育てるお金が足りない。(ベトナム・30～39歳)
- ・子供の学費の問題に困っている。(韓国・50～59歳)

##### <幼稚園・保育園の確保、預け先>

- ・幼稚園の申し込み時期や、自宅近くの幼稚園に入園するための条件について、具体的に知りたい。(中国・30～39歳)
- ・たまに仕事の都合で子どもの保育園への送迎ができない。また、子どもの体調が急に悪くなり、仕事に行かなければならない時に子どもを預ける先が分からない。(中国・40～49歳)
- ・日本の職場環境（米国や韓国も同様）では、親は長時間労働と通勤に追われ、子育てに十分な時間を割くことが困難。子供を良き人間・市民に育てるための時間を確保できず、愛情を注ぎながら適切に世話をするスケジュールを組むのは至難の業。これは台東区に限らず、世界中の都市に共通する課題。台東区は、保育園・保育所・幼稚園に勤労家庭を支援する技術やツールを提供することで、勤労家庭を支える模範となれると思う。一方で、なぜ最寄りの保育園や幼稚園に子供を通わせられないのか、理解できない。現在通っている保育園まで25分かかかるが、自宅から徒歩3分のところに「ことぶきこども園」がある。こちらを利用すれば大幅な時間短縮が可能。現行のポイント制には賛同できない。保育所・幼稚園への距離（近接性）こそが、入園枠を割り当てる際の主要な要素であるべきだと考える。(アメリカ・50～59歳)

<妊娠・出産について>

- ・ どの病院で出産すればいいか困っている。(ベトナム・20～29歳)
- ・ 妊活していて、なかなかできなくて心配。子供ができたら自分が働けなくなり、生活費が足りるかどうか。(中国・40～49歳)

⑦その他（9件）

※掲載した意見は、母国語で書かれた場合は翻訳を介している。また、文意が通じやすくするためや特定の国籍や集団等に対する意見については偏見や差別、誤解を招かないようにするため一部を他の言葉に置き換えているが、基本的に記載された意見をそのまま掲載したもので、区の見解を示したものではない。

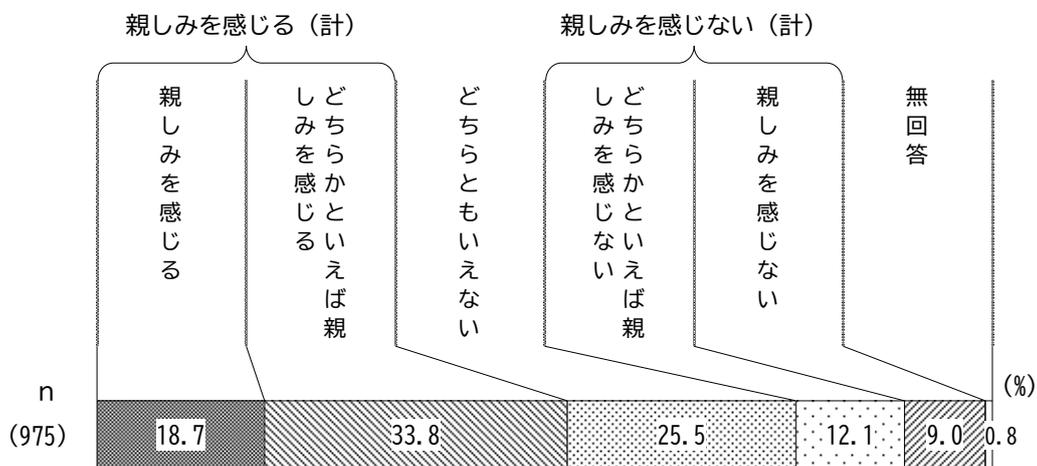
## 5. 地域の日本人とのかかわりについて

### (1) 地域の日本人に対する親しみ度合い

問33 あなたは、地域に暮らす日本人にどれくらい親しみを感ずますか。(ひとつだけ○)

「どちらかといえば親しみを感ずる」(33.8%)が最も高く、次いで、「どちらともいえない」(25.5%)となっている。「親しみを感ずる」と「どちらかといえば親しみを感ずる」の合計「親しみを感ずる(計)」の割合は52.5%、「どちらかといえば親しみを感ずらない」「親しみを感ずらない」の合計「親しみを感ずらない(計)」の割合は21.1%である。

図表 地域の日本人に対する親しみ度合い(単一回答)

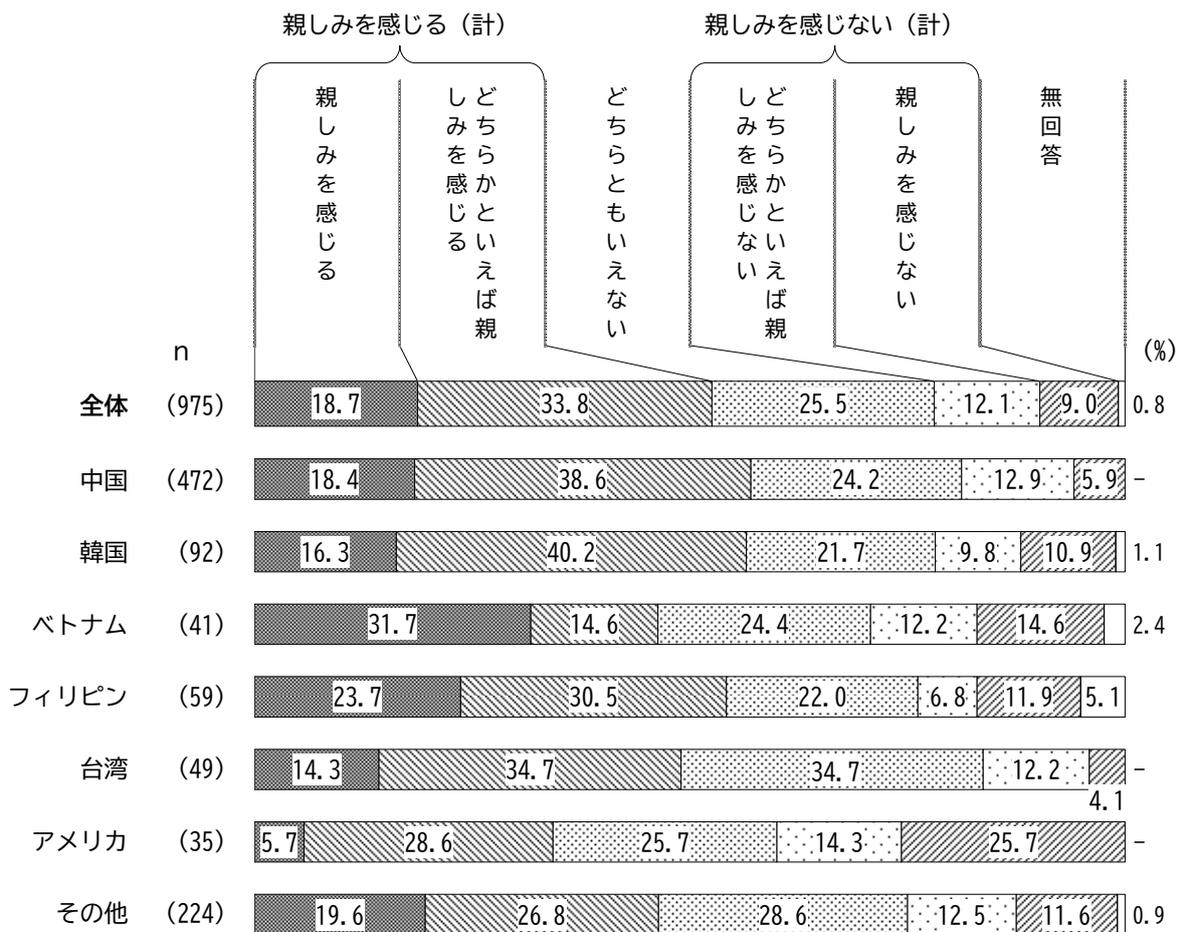


【国籍別】

「親しみを感じる」「どちらかといえば親しみを感じる」の合計の割合をみると、「中国」「韓国」「フィリピン」で半数以上となっている。

一方で、「アメリカ」は「どちらかといえば親しみを感じない」「親しみを感じない」の合計の割合が40.0%で、「親しみを感じる（計）」を上回っている。

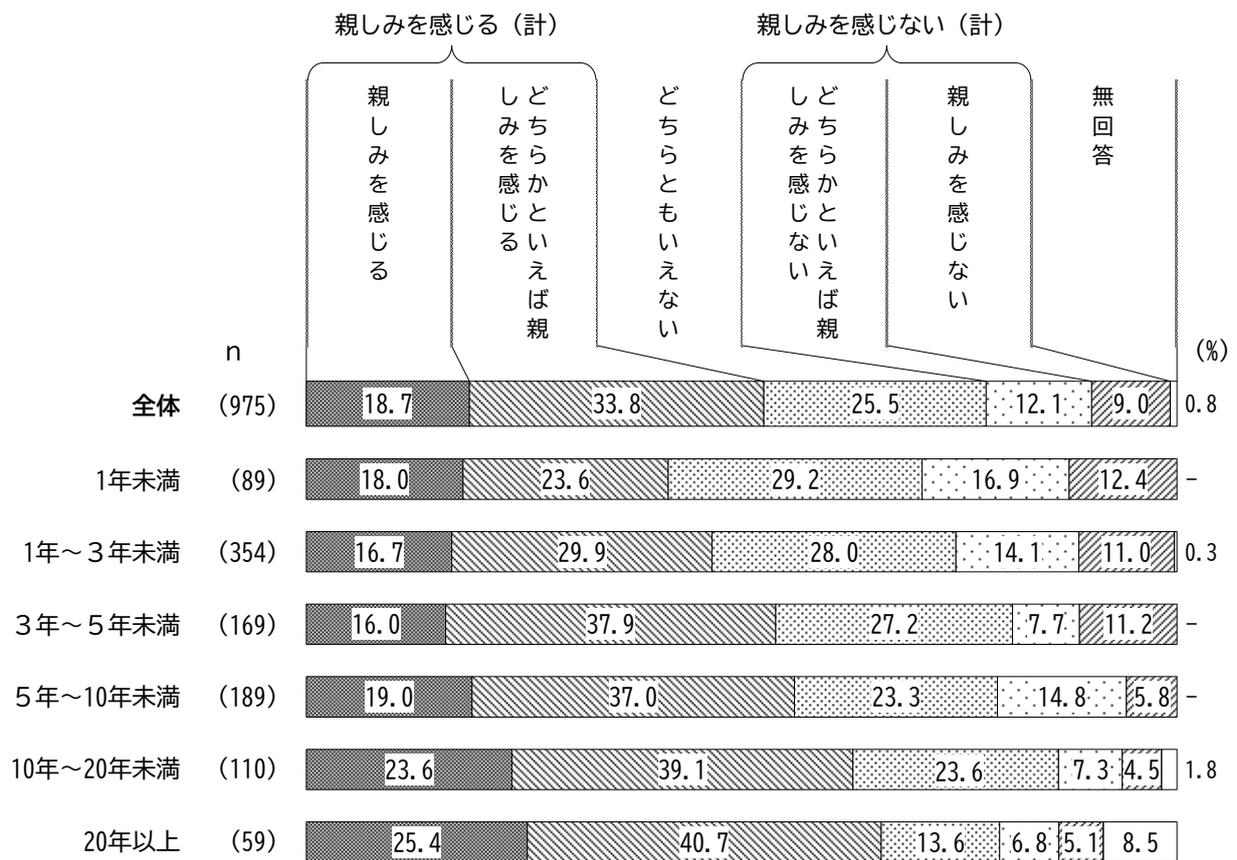
図表 地域の日本人に対する親しみ度合い（国籍別）



【台東区居住年数別】

「親しみを感じる」「どちらかといえば親しみを感じる」の合計の割合は台東区居住年数が長いほど割合が高く、3年以上の居住者においていずれも半数以上となっており、特に20年以上で66.1%となっている。

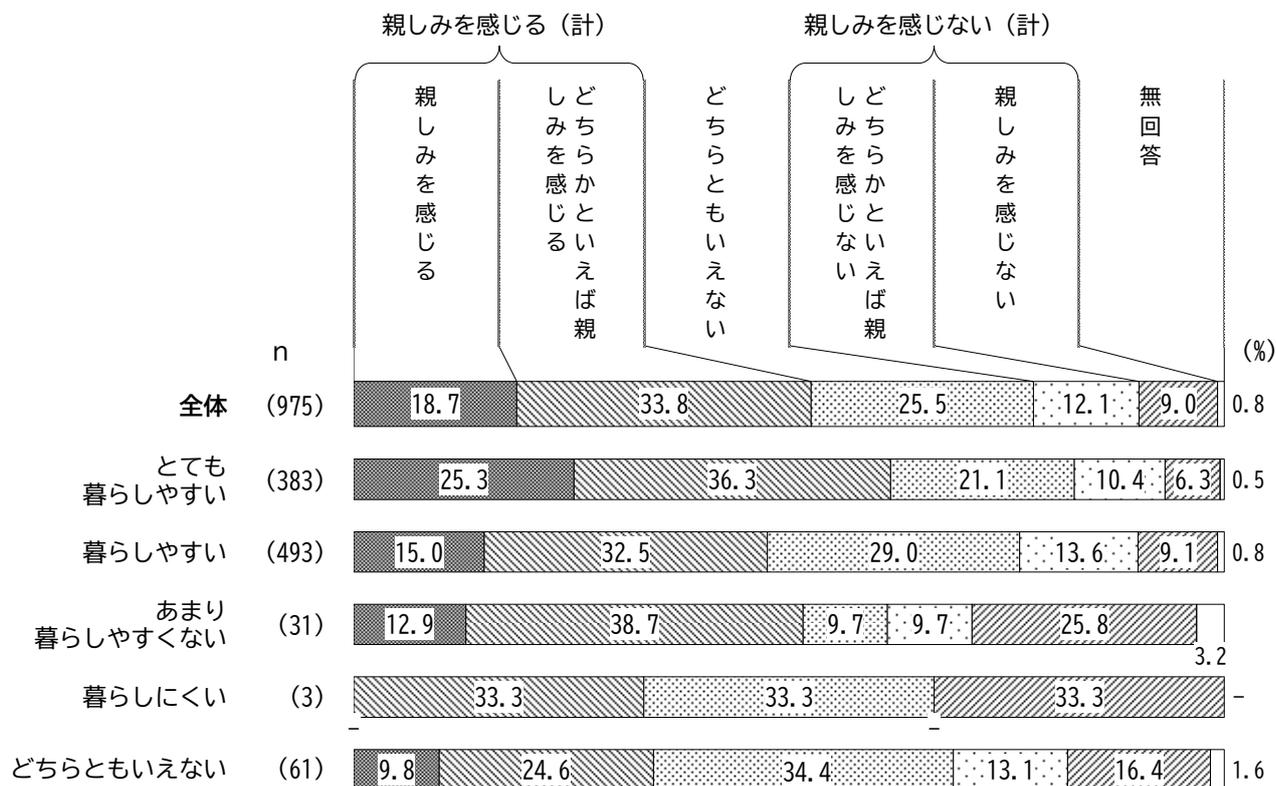
図表 地域の日本人に対する親しみ度合い（台東区居住年数別）



【台東区の暮らしやすさ別】

「親しみを感じる」「どちらかといえば親しみを感じる」の合計の割合をみると、台東区が「とても暮らしやすい」で60%を超え、「あまり暮らしやすくない」で50%を超えている。

図表 地域の日本人に対する親しみ度合い（台東区の暮らしやすさ別）

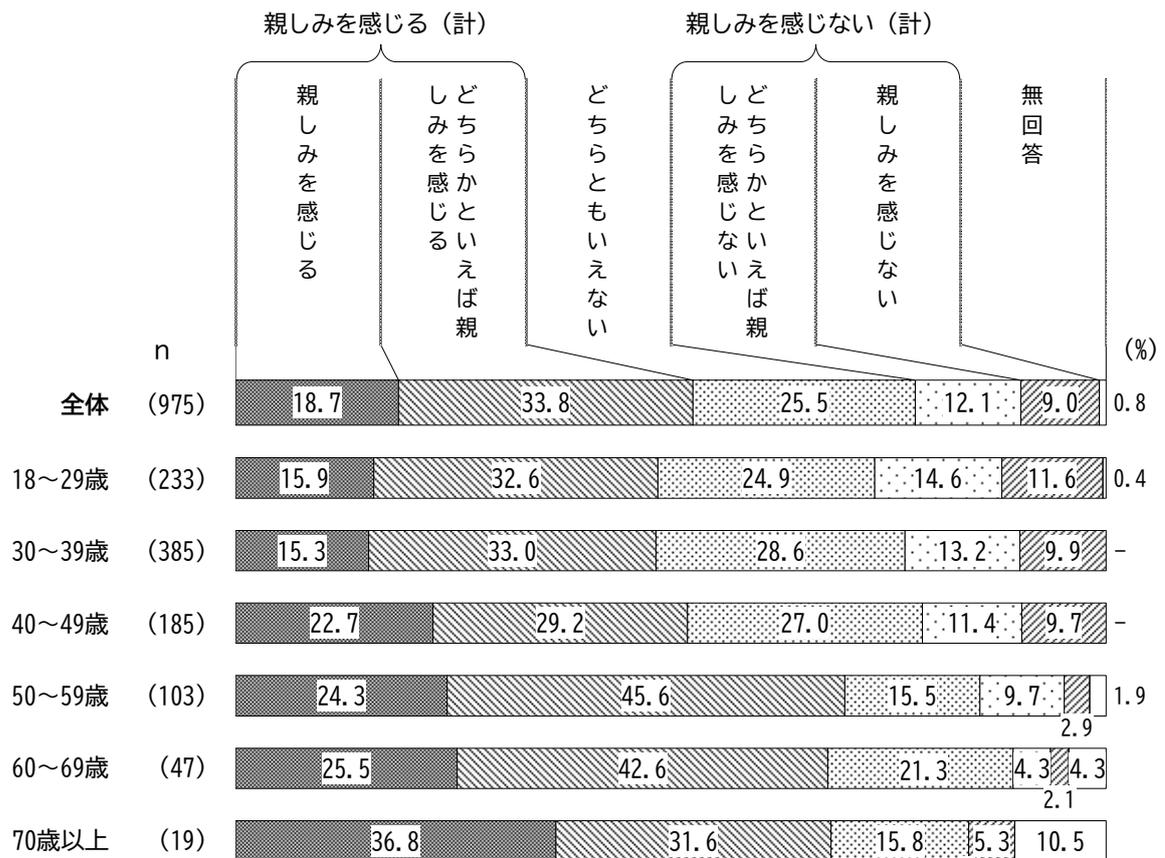


【年齢別】

「親しみを感じる」「どちらかといえば親しみを感じる」の合計の割合をみると、40歳以上の年代においていずれも半数以上となっており、特に50～59歳で約70%となっている。

一方、年代が若いほど「どちらかといえば親しみを感じない」「親しみを感じない」の合計の割合が高い。

図表 地域の日本人に対する親しみ度合い（年齢別）

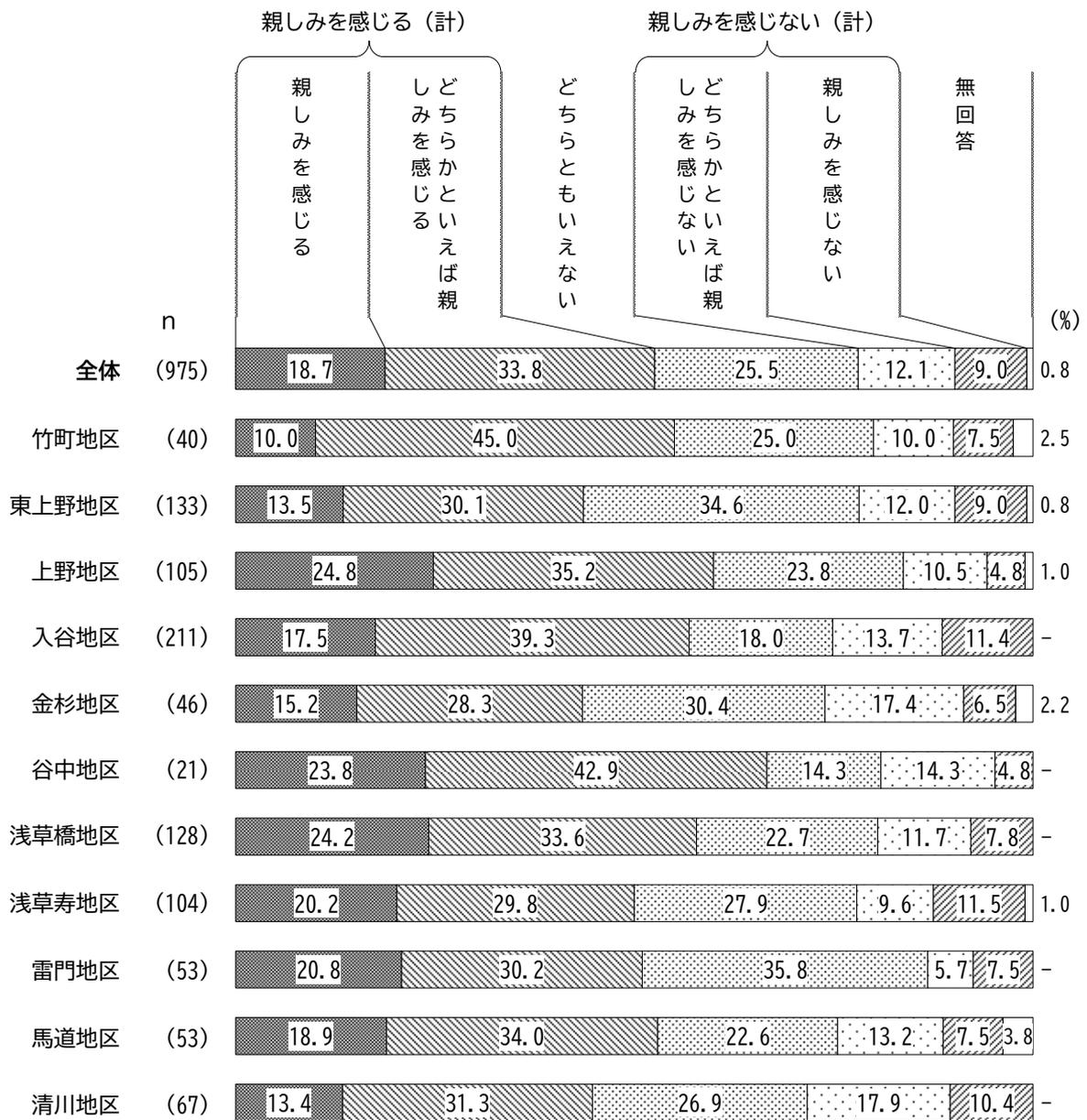


【居住地域別】

「親しみを感じる」「どちらかといえば親しみを感じる」の合計の割合をみると、「上野地区」で60.0%となっている。

一方で、「東上野地区」「金杉地区」「清川地区」は40%台でやや低い傾向がみられる。

図表 地域の日本人に対する親しみ度合い（居住地域別）

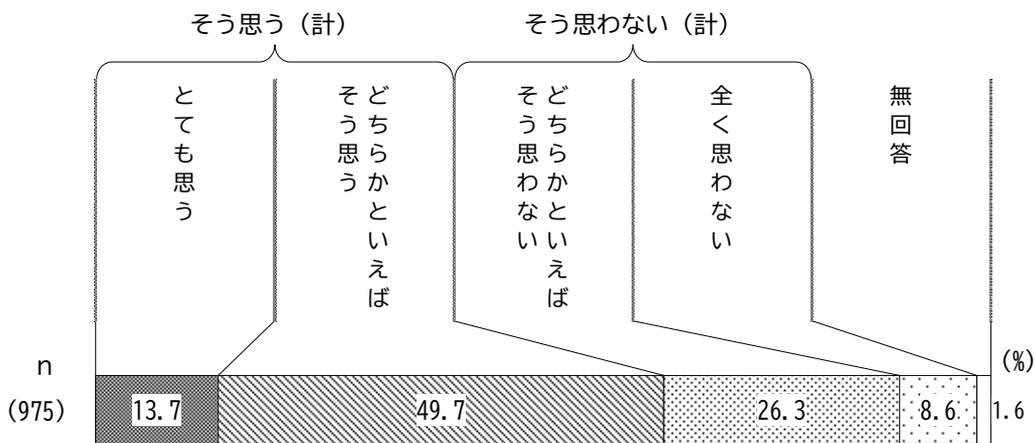


(2) 地域の中での外国人と日本人のかかわり

問34 台東区では地域の中で外国人と日本人が互いにコミュニケーションがとれていると思いますか。(ひとつだけ○)

「とても思う」(13.7%)と「どちらかといえばそう思う」(49.7%)を合わせると60%超が「地域の中で外国人と日本人のコミュニケーションがとれている」と回答している。一方で、「どちらかといえばそう思わない」(26.3%)と「全く思わない」(8.6%)を合わせると30%台半ばとなっている。

図表 地域の中で外国人と日本人のコミュニケーションがとれているか(単一回答)

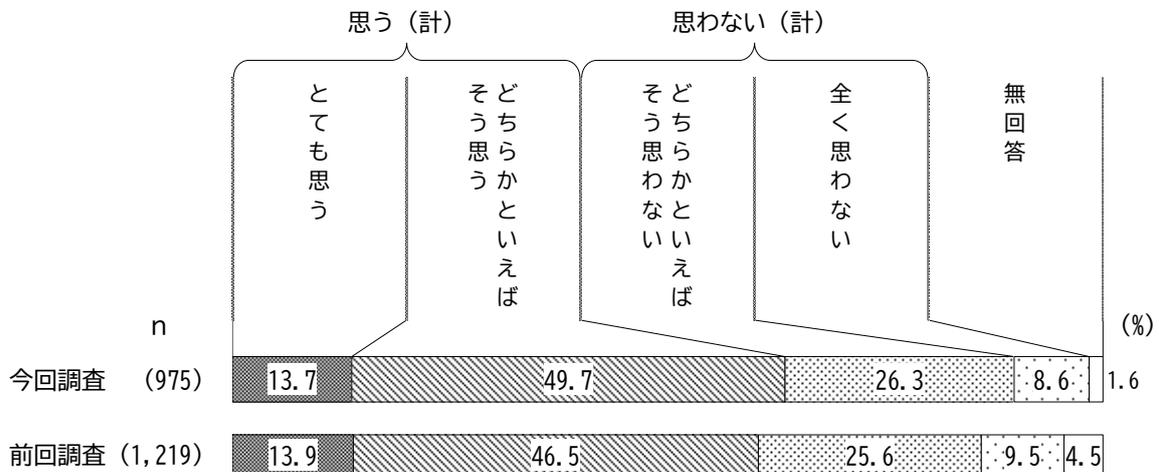


【経年比較】

前回との比較では、大きな違いはみられない。

図表 【経年比較】 地域の中で外国人と日本人のコミュニケーションがとれているか

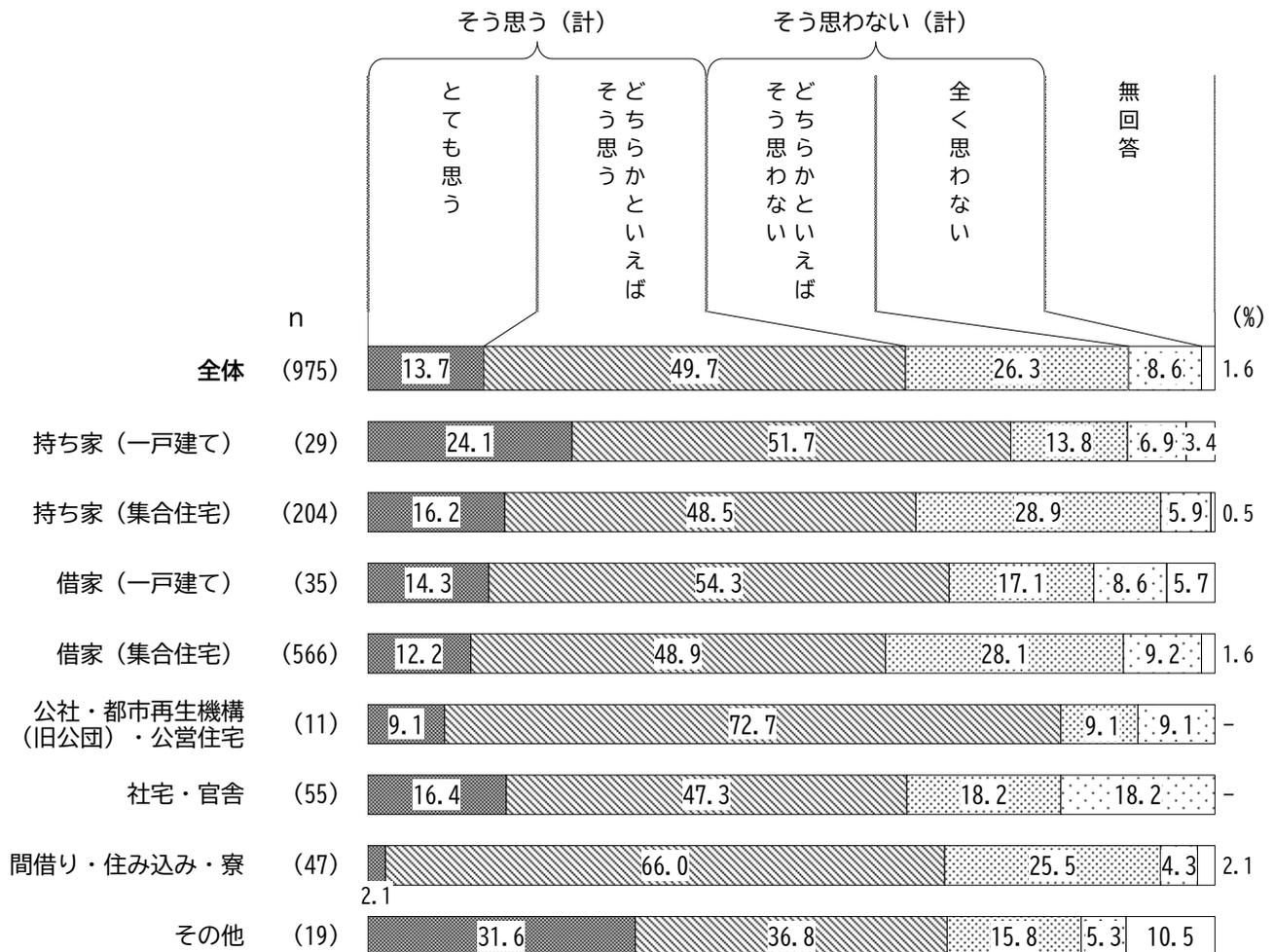
(単一回答)



【居住形態別】

回答数の少ない「公社・都市再生機構（旧公団）・公営住宅」「その他」を除いて、「持ち家（一戸建て）」で「とても思う」が最も高く、「とても思う」「どちらかと言えば思う」を合計した割合も「持ち家（一戸建て）」が最も高くなっている。それ以外の居住形態では、全体平均と比較して大きな差異はみられない。

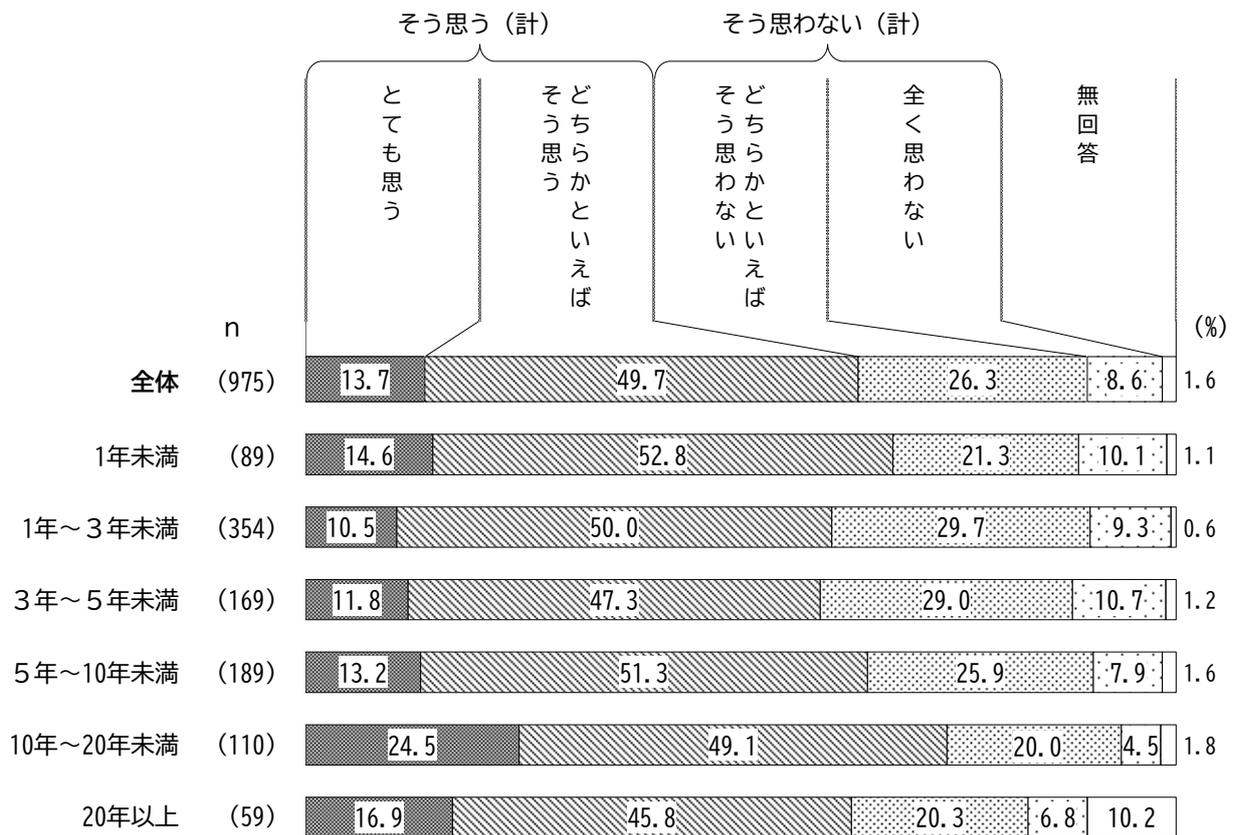
図表 地域の中で外国人と日本人のコミュニケーションがとれているか（居住形態別）



【台東区居住年数別】

「10年～20年未満」で「とても思う」が最も高く、「とても思う」「どちらかといえばそう思う」を合計した割合も「10年～20年未満」が最も高くなっている。それ以外の居住年数では、全体平均と比較して大きな差異はみられない。

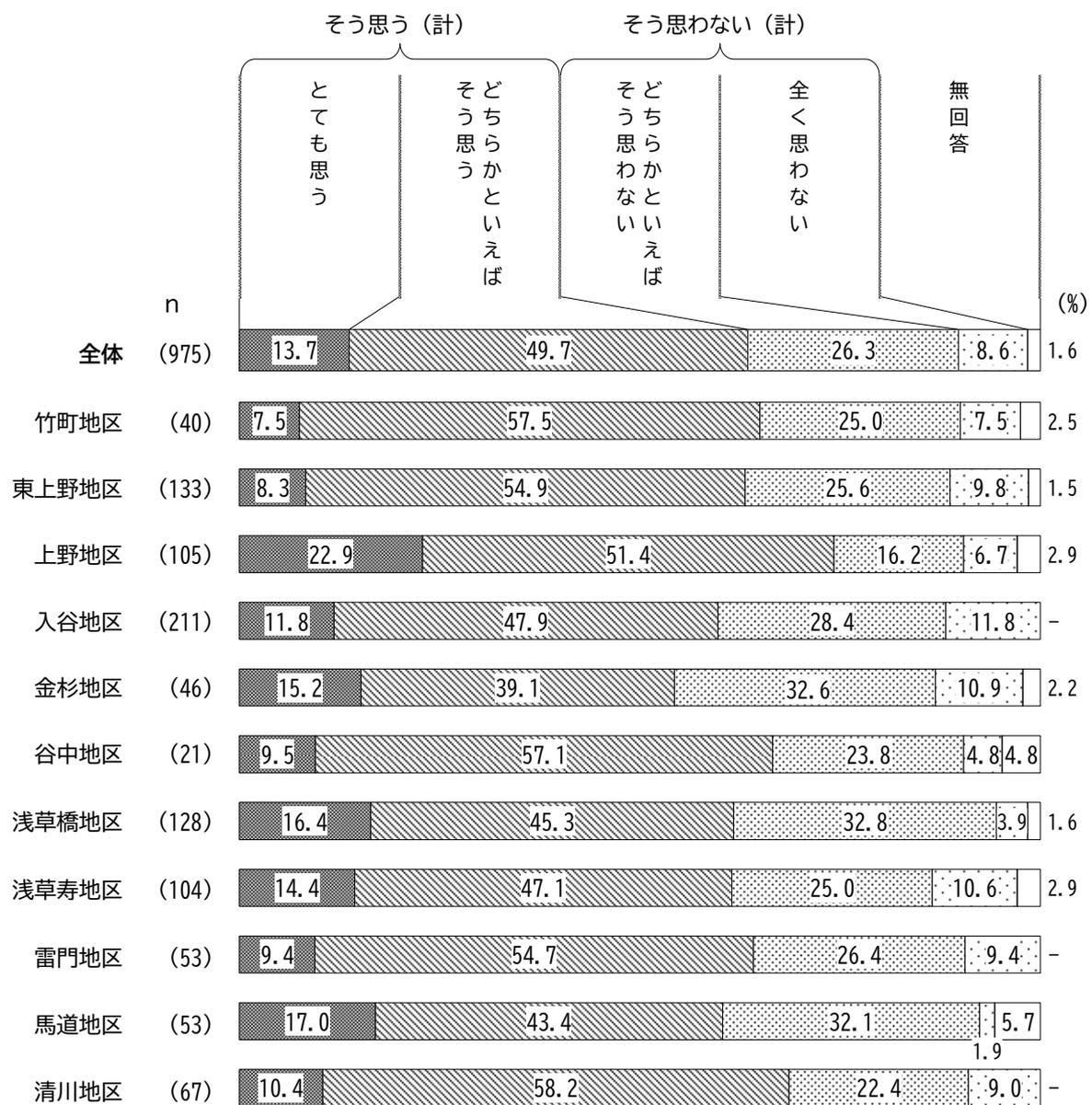
図表 地域の中で外国人と日本人のコミュニケーションがとれているか（台東区居住年数別）



【居住地域別】

「上野地区」で「とても思う」が最も高く、「とても思う」「どちらかと言えば思う」を合計した割合も「上野地区」が最も高くなっている。「入谷地区」「金杉地区」では50%台と、他の地域と比較してやや低くなっている。

図表 地域の中で外国人と日本人のコミュニケーションがとれているか（居住地域別）

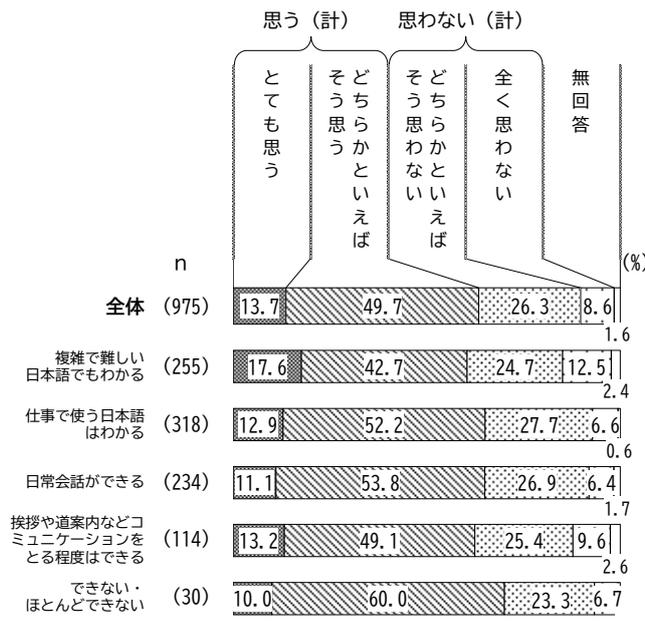


【日本語習得度別】

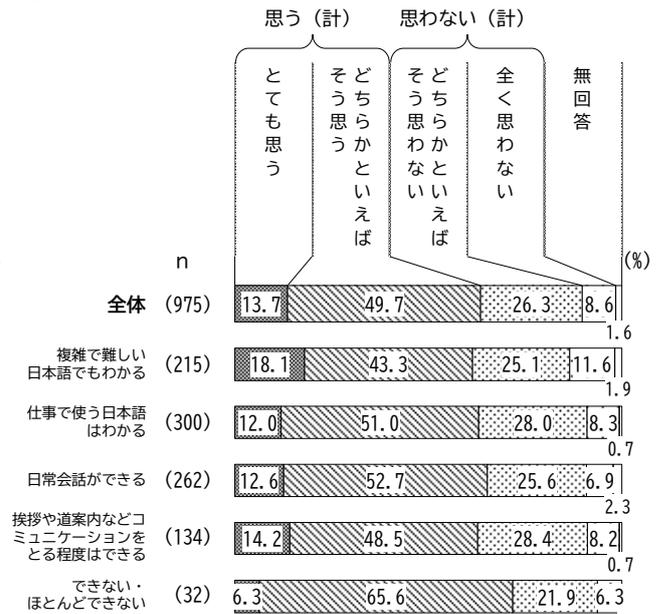
「聞く」「話す」「読む」「書く」のいずれについても、「複雑で難しい日本語でもわかる」で「とても思う」の割合がやや高くなっている。「とても思う」「どちらかといえば思う」を合計した割合は、「聞く」「話す」「読む」を「できない・ほとんどできない」と回答した人で最も高くなっている。

図表 地域の中で外国人と日本人のコミュニケーションがとれているか（日本語習得度別）

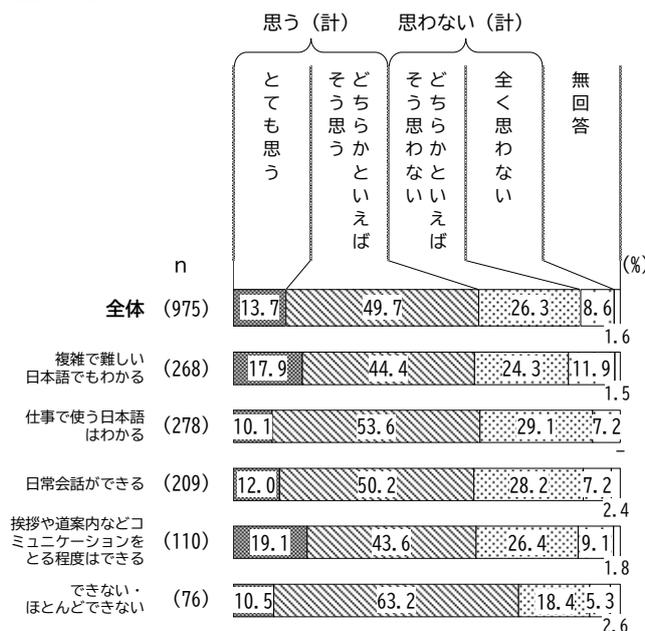
【聞く】



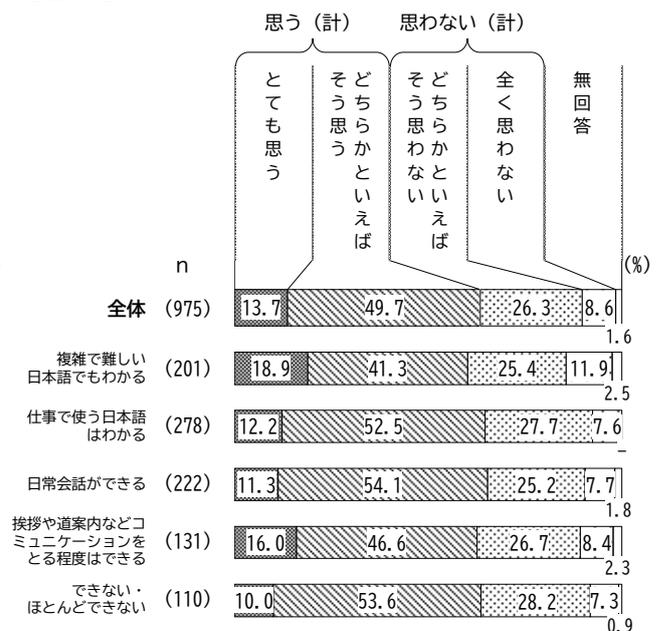
【話す】



【読む】



【書く】

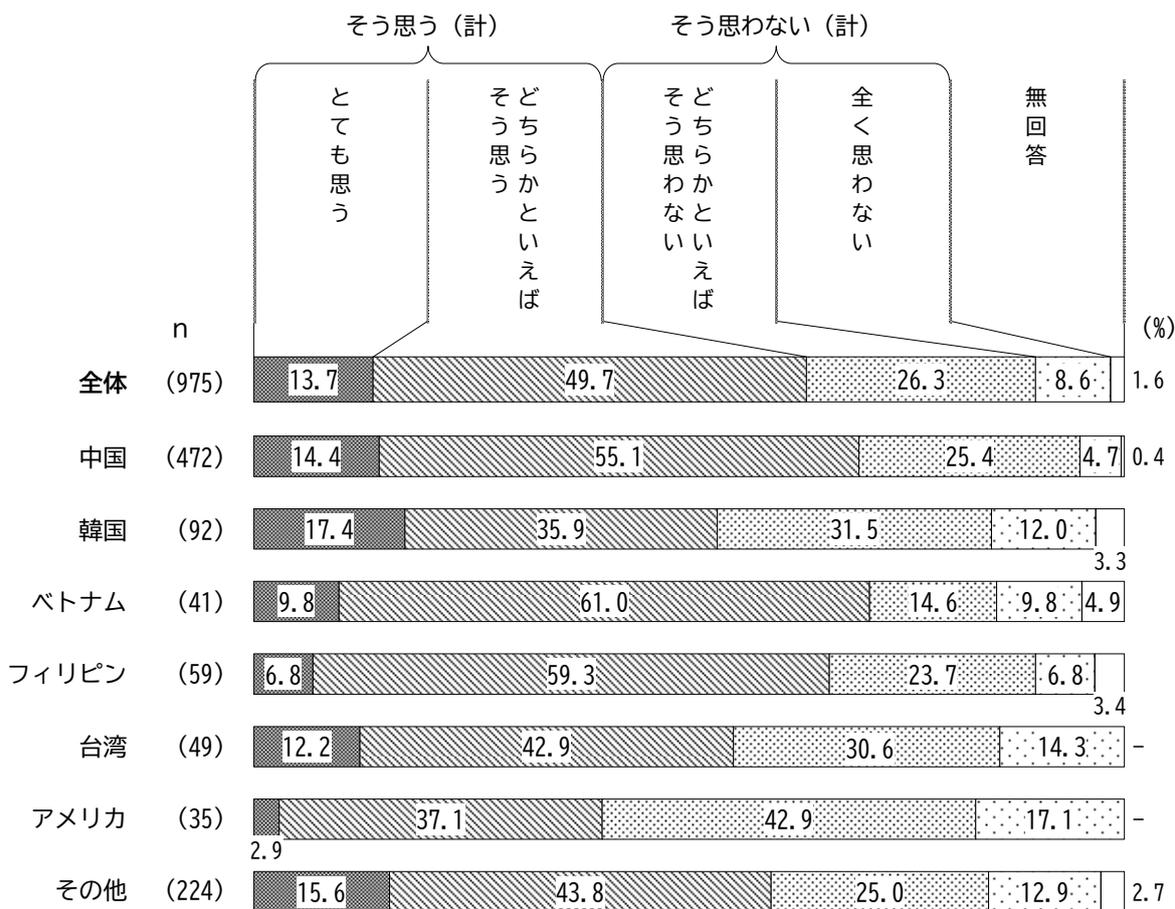


【国籍別】

「とても思う」「どちらかと言えば思う」の合計の割合をみると、「ベトナム」で約70%となっている。

一方で、「アメリカ」は40.0%、「韓国」「台湾」で50%台とやや低い傾向がみられる。

図表 地域の中で外国人と日本人のコミュニケーションがとれているか（国籍別）

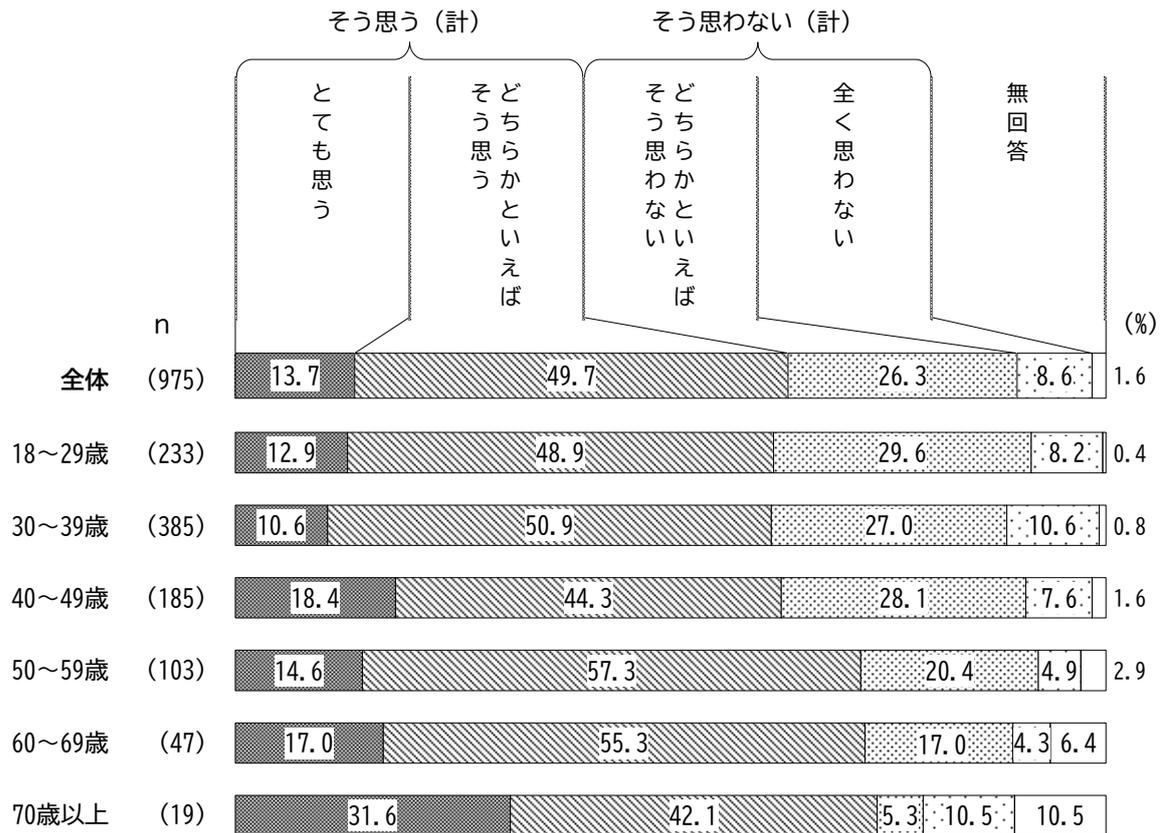


【年齢別】

「とても思う」「どちらかと言えばそう思う」の合計の割合をみると、50歳以上の年代においていずれも70%台となっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の合計の割合は、年代が若いほど割合が高い。

図表 地域の中で外国人と日本人のコミュニケーションがとれているか（年齢別）

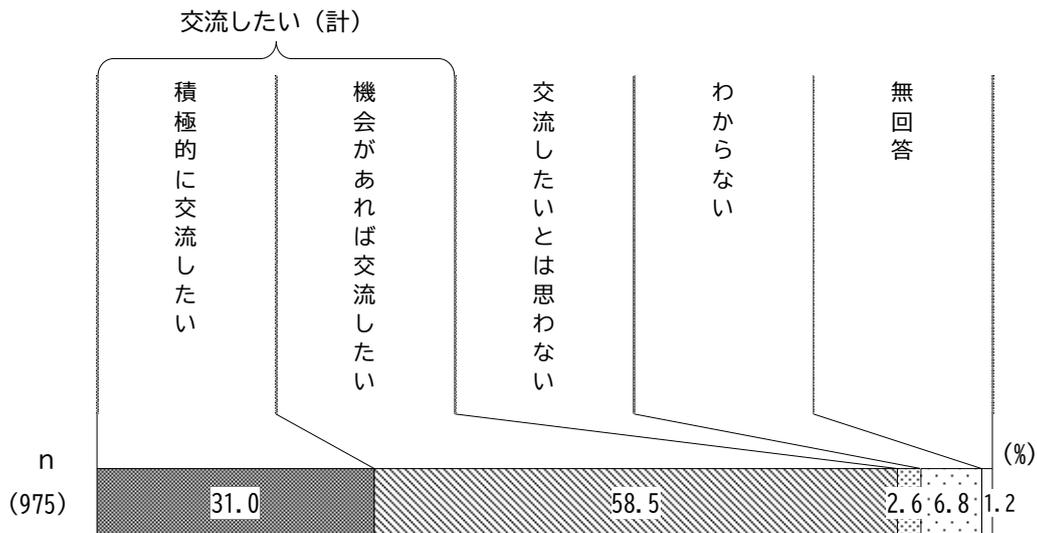


(3) 日本人との交流意向

問35 あなたはこれから、日本人ともっと交流したいですか。(ひとつだけ○)

「機会があれば交流したい」(58.5%)が最も高く、次いで、「積極的に交流したい」(31.0%)となっている。「積極的に交流したい」と「機会があれば交流したい」を合わせた「交流したい(計)」の割合は89.5%である。

図表 日本人との交流意向(単一回答)

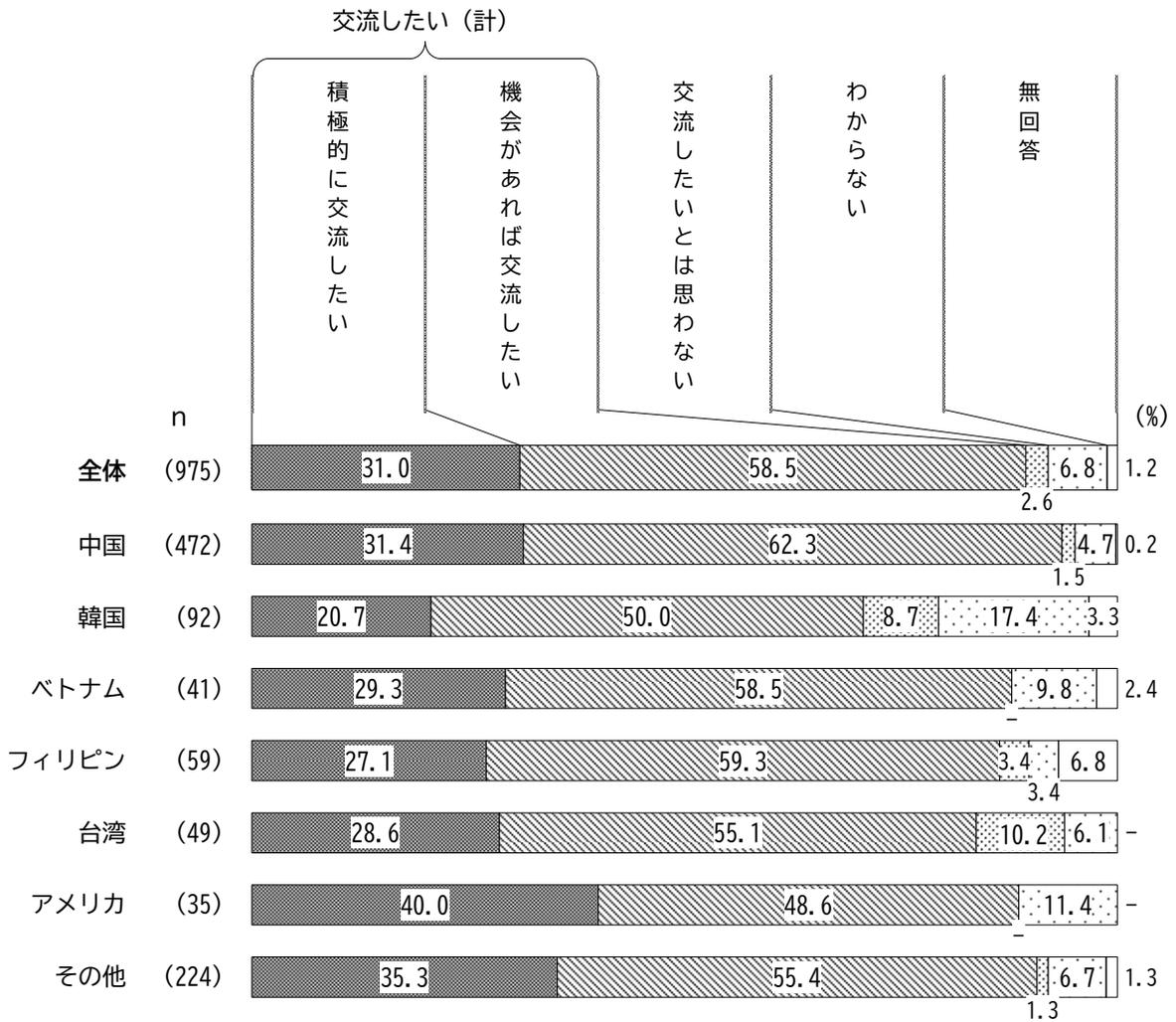


【国籍別】

「積極的に交流したい」「機会があれば交流したい」の合計の割合をみると、「中国」「その他」で90%台となっている。

一方で、「韓国」で約70%とやや低い傾向がみられる。

図表 日本人との交流意向（国籍別）

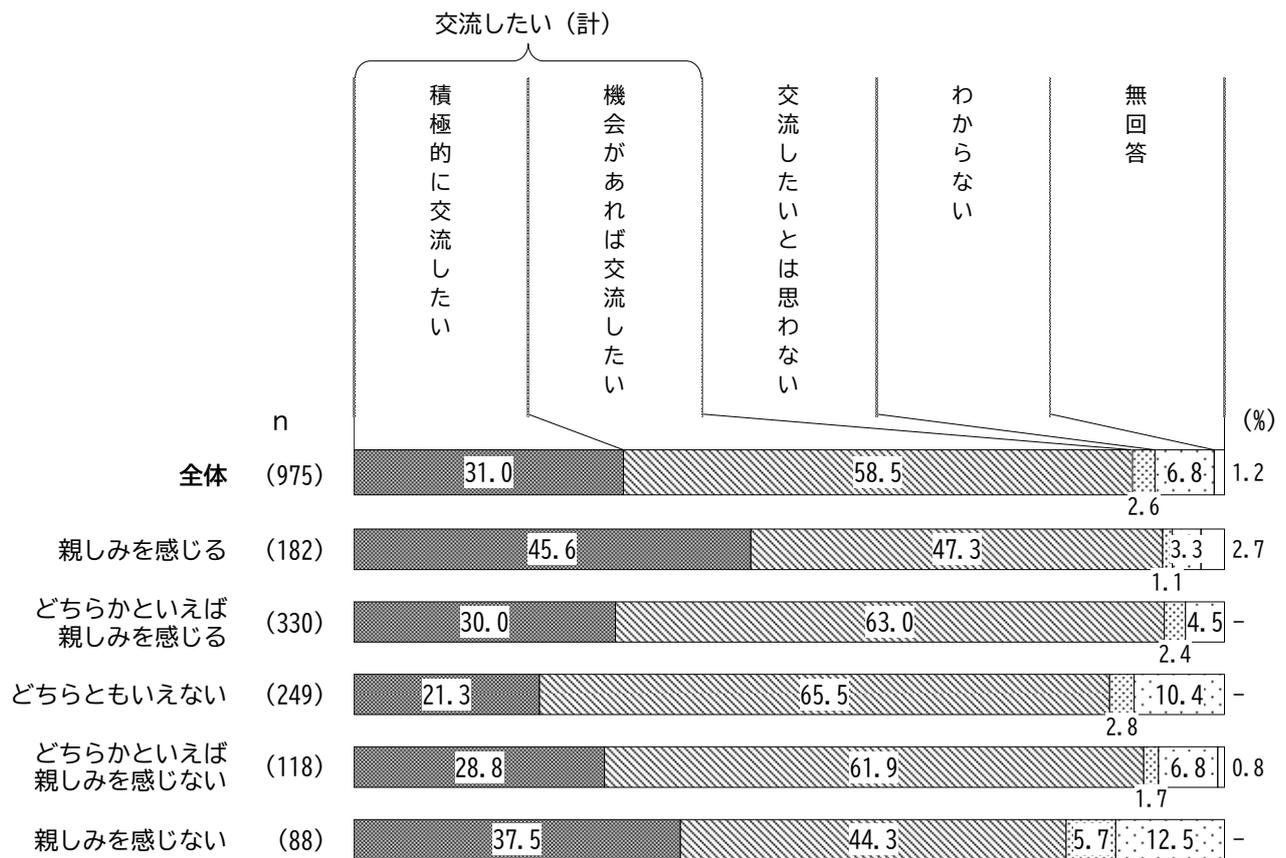


【日本人への親しみ度合い別】

「積極的に交流したい」「機会があれば交流したい」の合計の割合をみると、日本人に「親しみを感じる」「どちらかといえば親しみを感じる」「どちらかといえば親しみを感じない」で90%台となっている。

一方で、「親しみを感じない」で81.8%とやや低い傾向がみられる。

図表 日本人との交流意向（日本人への親しみ度合い別）

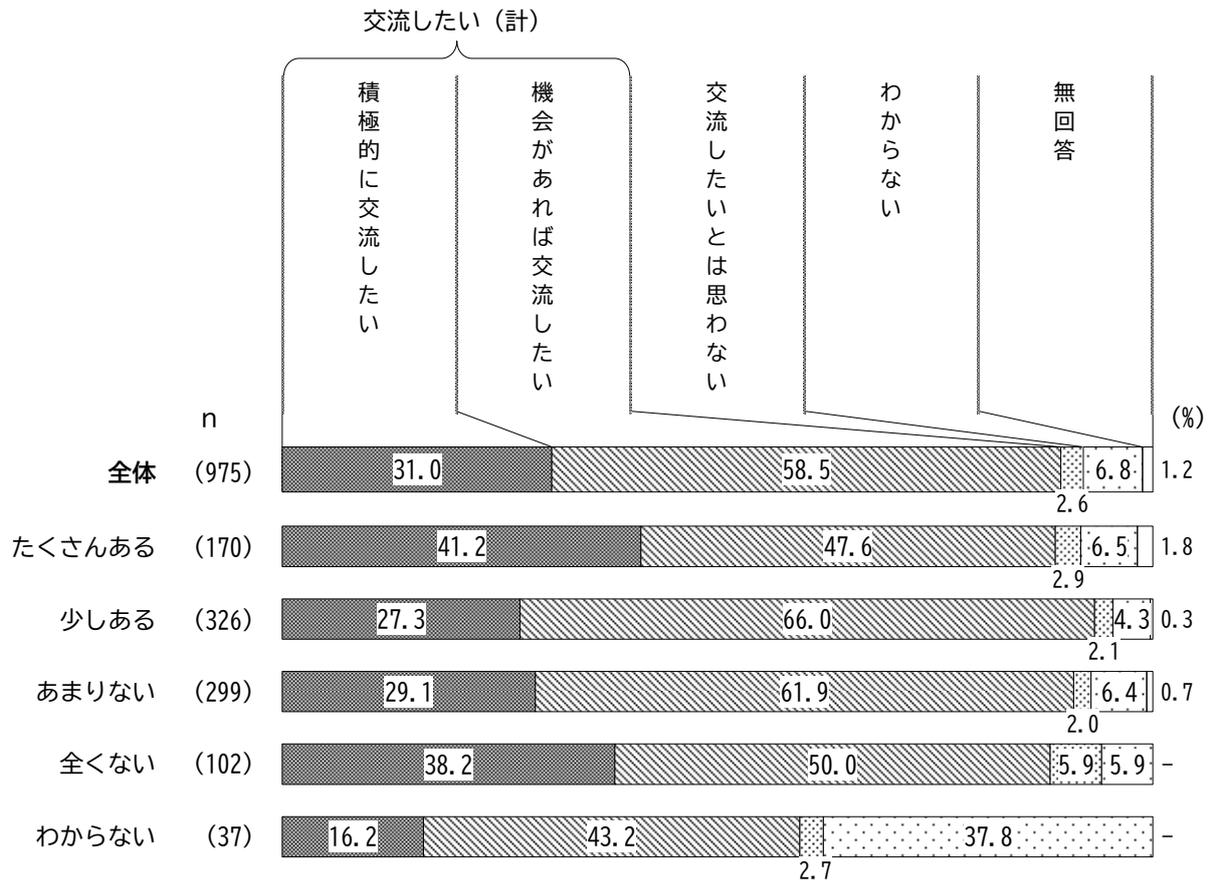


【日本人との交流機会の頻度別】

「積極的に交流したい」「機会があれば交流したい」の合計の割合をみると、日本人と交流が「少しある」「あまりない」で90%台となっている。

一方で、「わからない」で約60%と低い傾向がみられる。

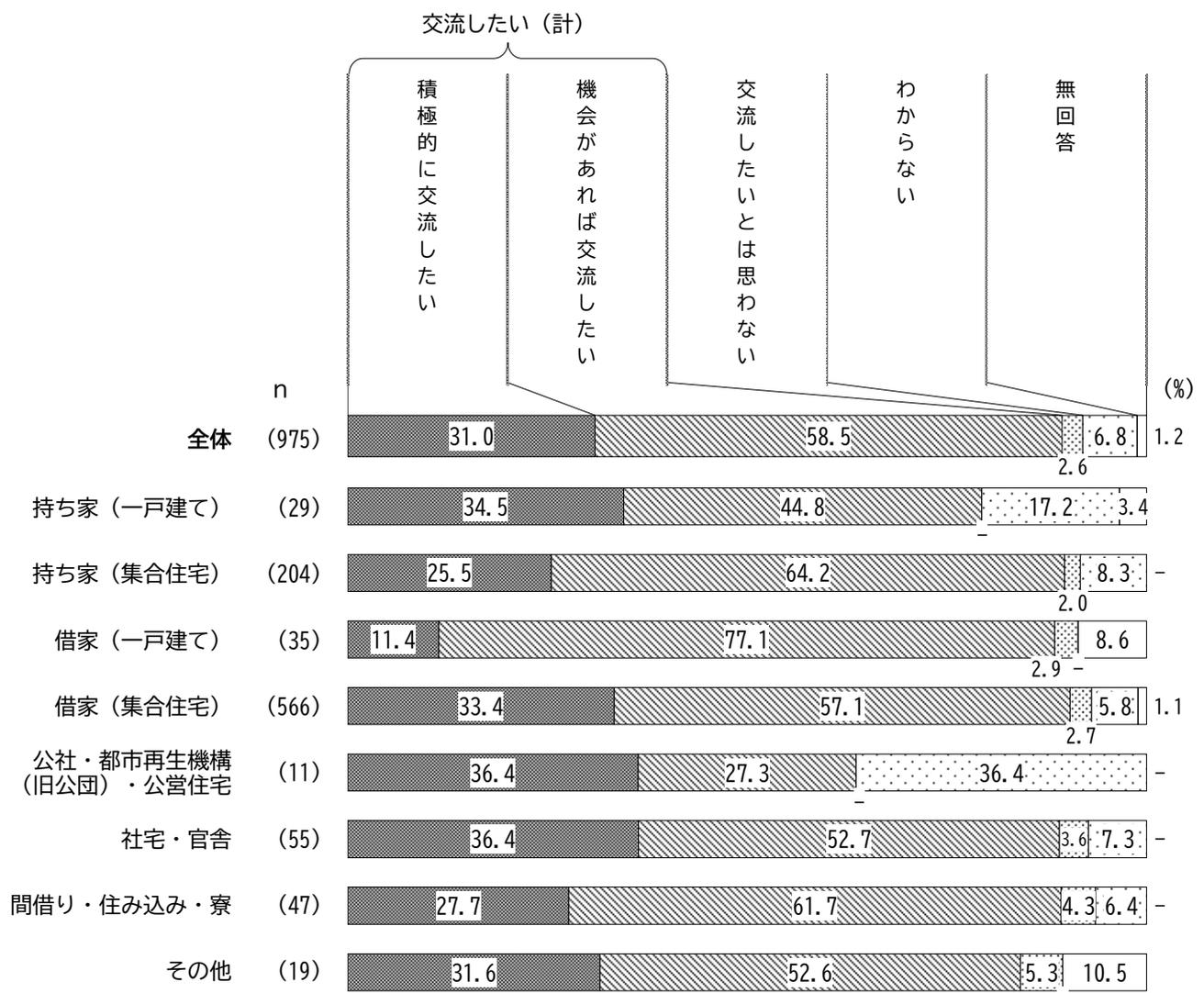
図表 日本人との交流意向（日本人との交流機会の頻度別）



【居住形態別】

「積極的に交流したい」「機会があれば交流したい」の合計の割合をみると、回答数の少ない「公社・都市再生機構（旧公団）・公営住宅」「その他」を除いて、「持ち家（一戸建て）」でやや低くなっている。それ以外の居住形態では、全体平均と比較して大きな差異はみられない。

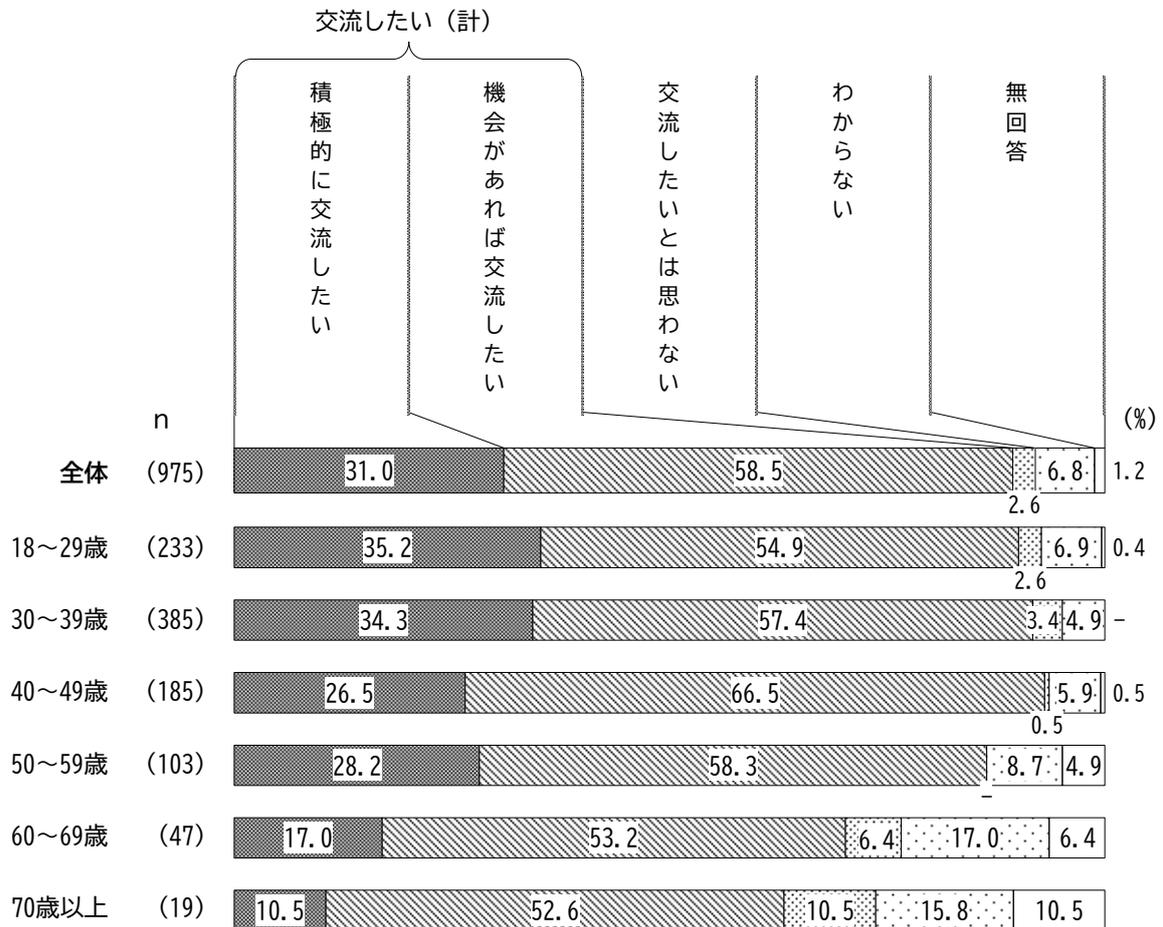
図表 日本人との交流意向（居住形態別）



【年齢別】

「積極的に交流したい」「機会があれば交流したい」の合計の割合をみると、49歳以下で90%台となっている。一方で、「60～69歳」は約70%で低い傾向がみられる。

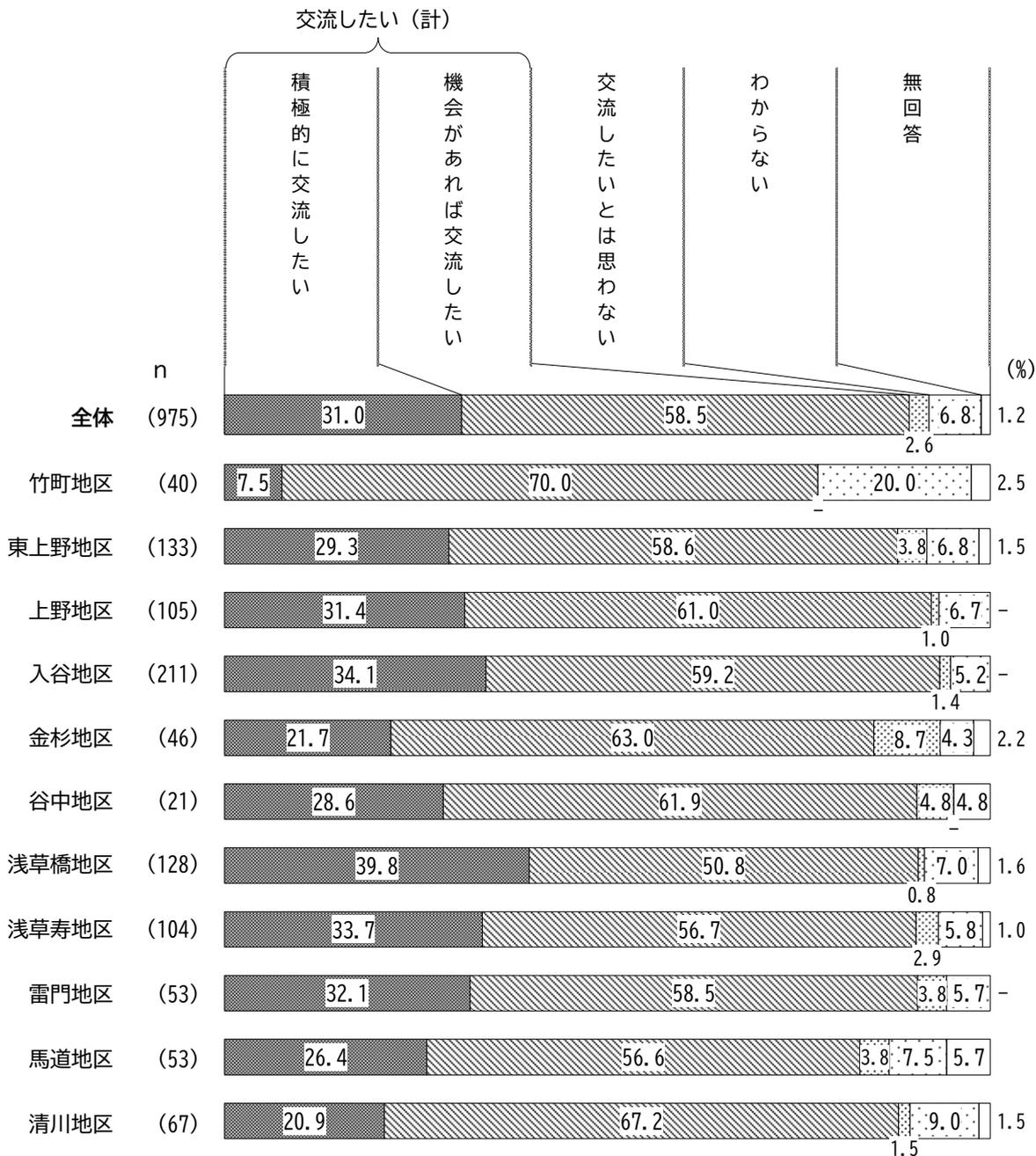
図表 日本人との交流意向（年齢別）



【居住地域別】

「積極的に交流したい」「機会があれば交流したい」の合計の割合をみると、「竹町地区」で70%台半ばと低い傾向がみられる。それ以外の居住地域では、全体平均と比較して大きな差異はみられない。

図表 日本人との交流意向（居住地域別）

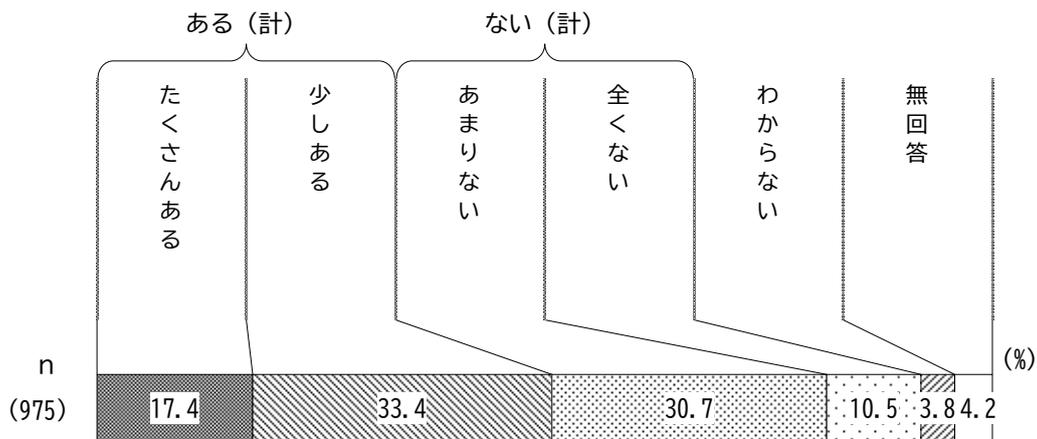


(4) 地域に暮らす日本人と交流する機会

問36 地域に暮らす日本人と交流する機会がありますか。(ひとつだけ○)

「少しある」(33.4%)が最も高く、次いで、「あまりない」(30.7%)となっている。「たくさんある」(17.4%)と「少しある」を合わせた「ある(計)」の割合が50.8%である。一方で、「全くない」(10.5%)と「あまりない」を合わせた「ない(計)」の割合は41.2%である。

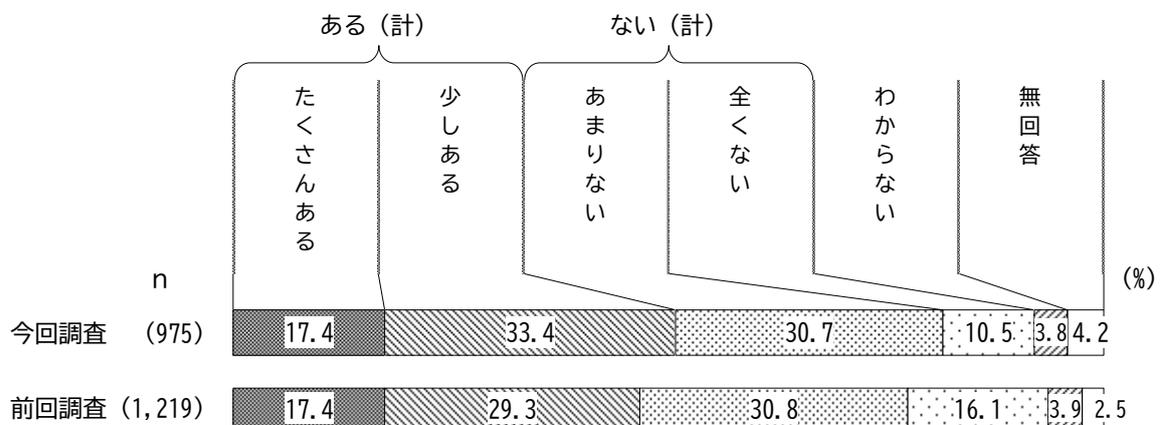
図表 地域に暮らす日本人と交流する機会 (単一回答)



【経年比較】

前回との比較では、「ない(計)」が5.7ポイント減少している。一方、「ある(計)」はやや増加している。

図表 【経年比較】 地域に暮らす日本人と交流する機会 (単一回答)

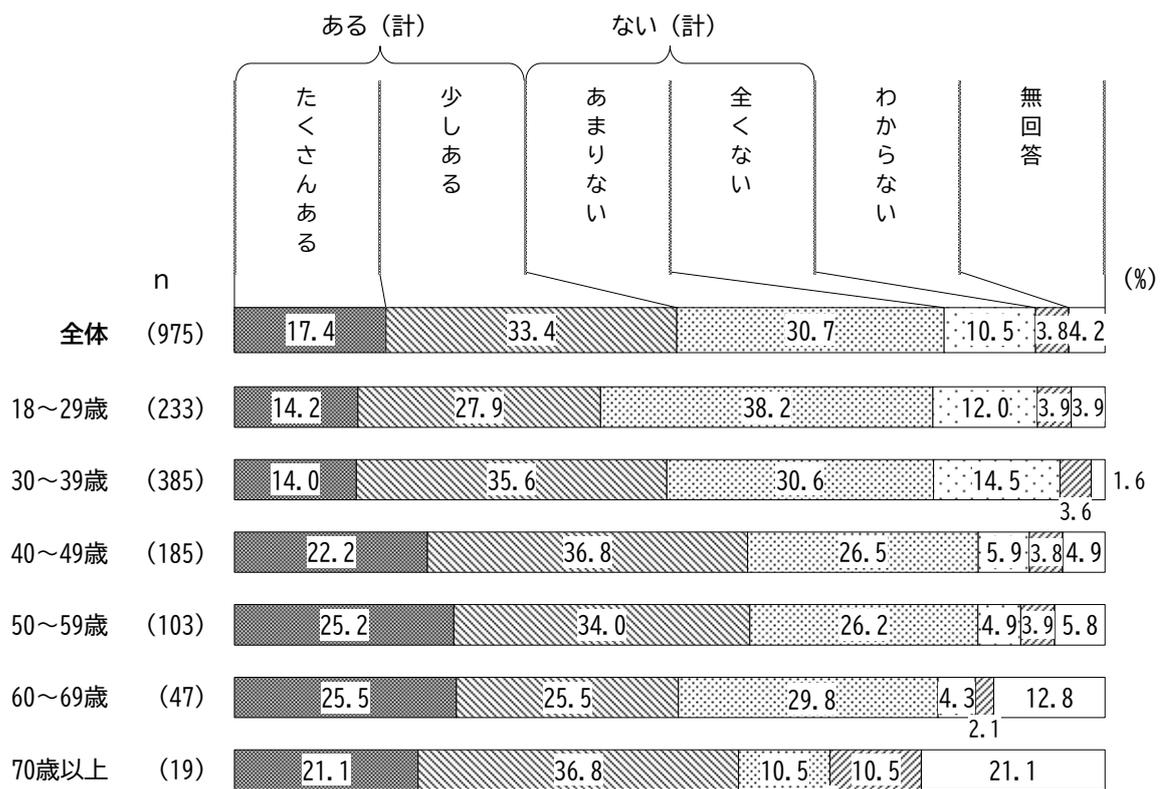


【年齢別】

「40～49歳」「50～59歳」で「たくさんある」「少しある」の合計が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

「18～29歳」では「全くない」「あまりない」の合計が50.2%と、「ある（計）」を上回っている。

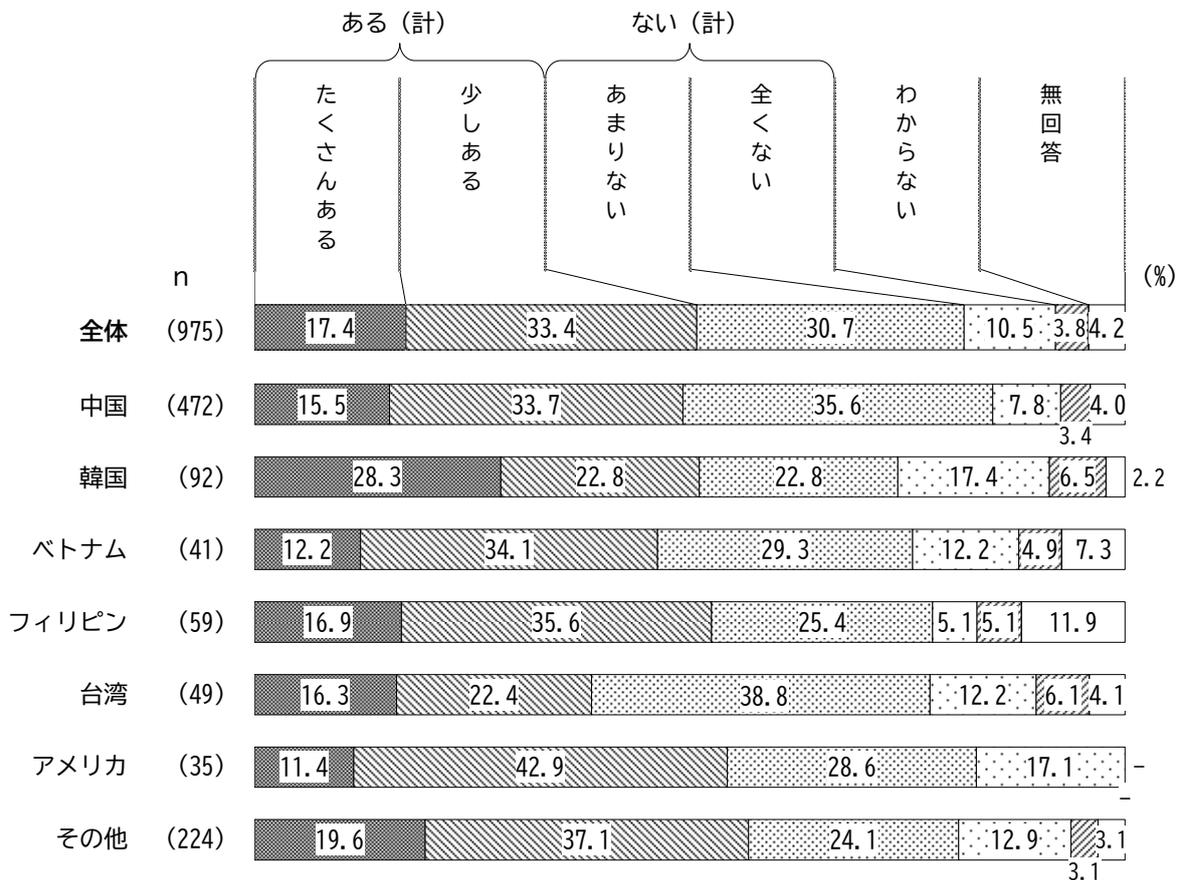
図表 地域に暮らす日本人と交流する機会（年齢別）



【国籍別】

「たくさんある」「少しある」の合計した割合は「その他」で、「あまりない」「全くない」の合計した割合は「台湾」で全体平均と比較して5ポイント以上高い。

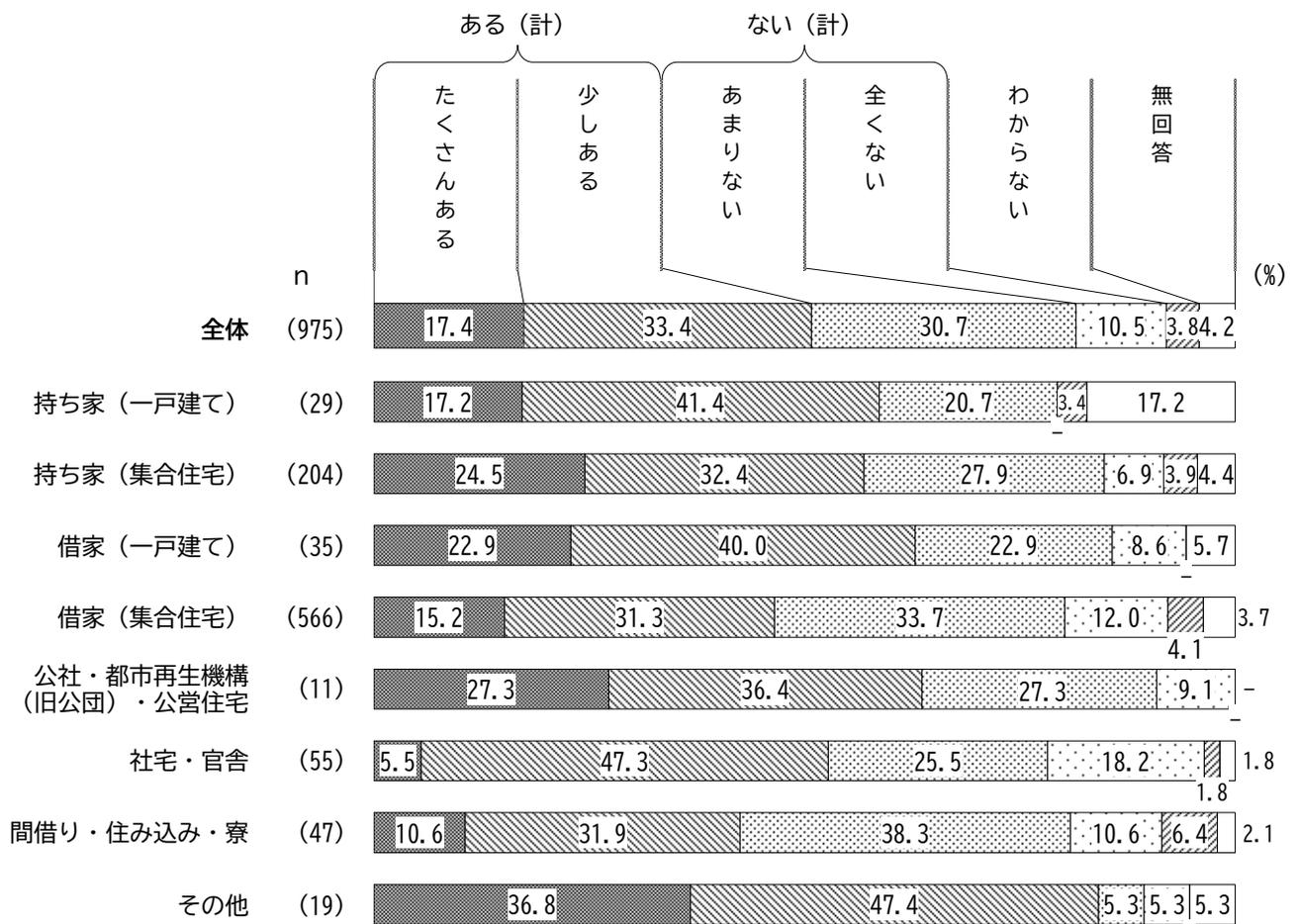
図表 地域に暮らす日本人と交流する機会（国籍別）



【居住形態別】

回収数の少ない「公社・都市再生機構（旧公団）・公営住宅」「その他」を除いて、「たくさんある」「少しある」の合計の割合は、「借家（一戸建て）」で62.9%と高くなっている。

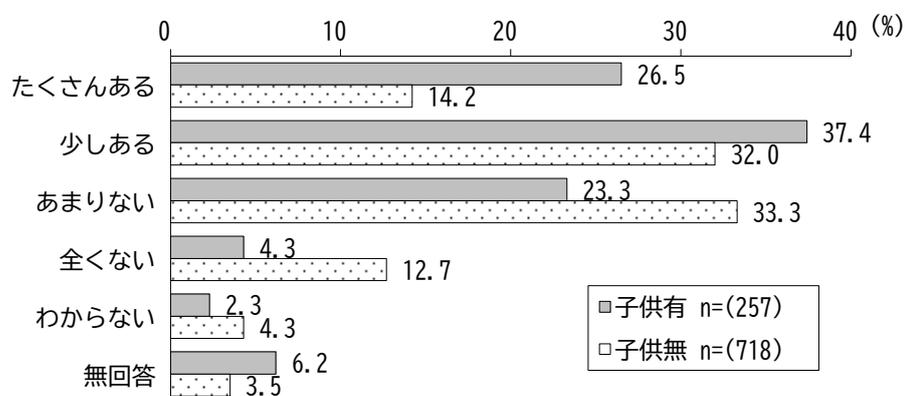
図表 地域に暮らす日本人と交流する機会（居住形態別）



【子供の有無別】

「たくさんある」「少しある」の合計の割合が、「子供有」では60%を超えており、「子供無」と比べて10ポイント以上高くなっている。

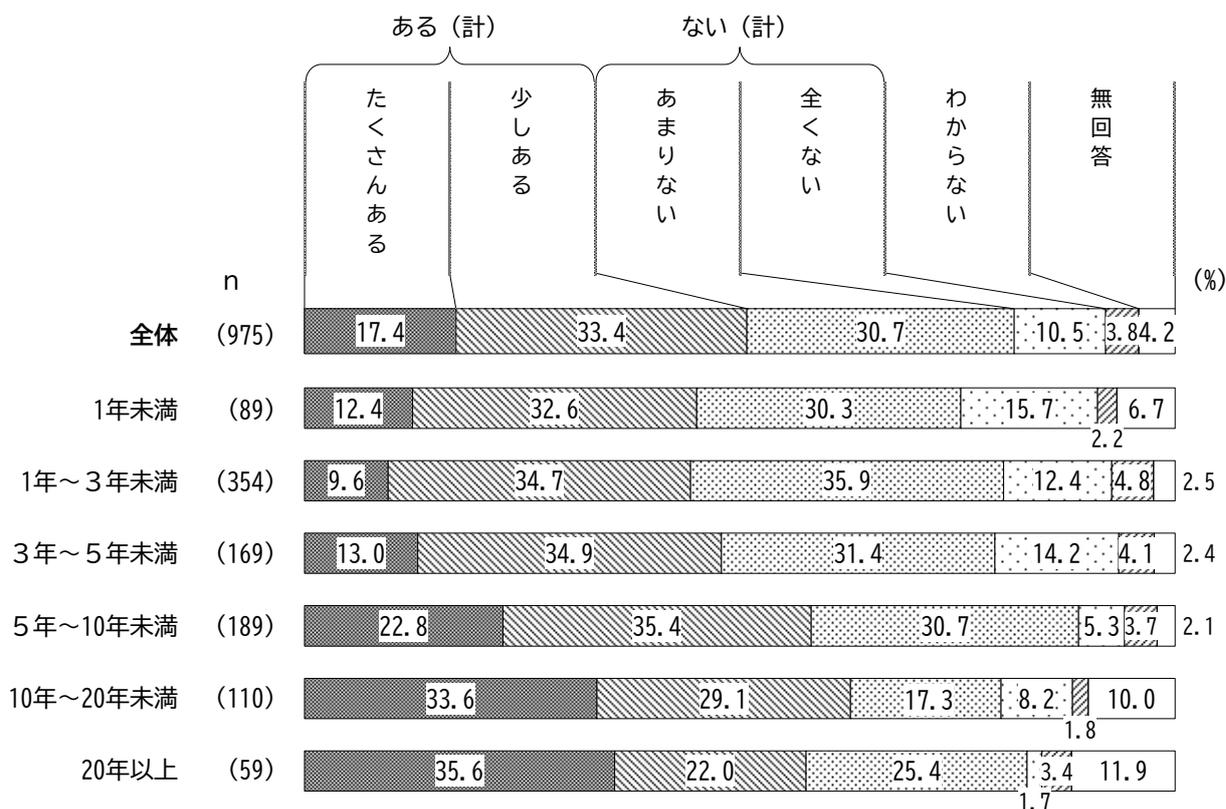
図表 地域に暮らす日本人と交流する機会（子供の有無別）



【台東区居住年数別】

「5年～10年未満」「10年～20年未満」「20年以上」で「たくさんある」「少しある」の合計の割合が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高い。「たくさんある」は居住年数が経つにつれて、割合が高くなる傾向にある。

図表 地域に暮らす日本人と交流する機会（台東区居住年数別）

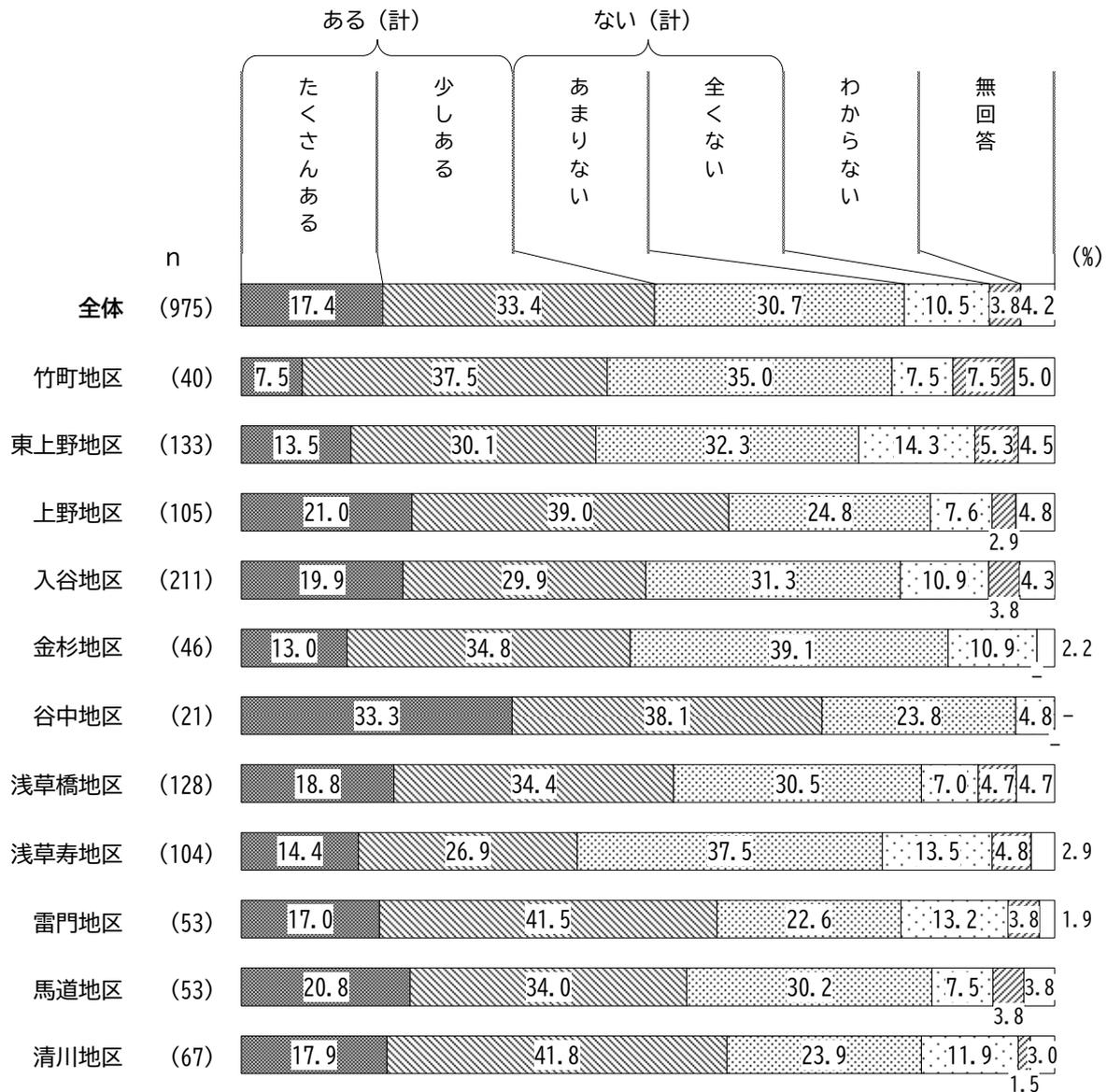


【居住地域別】

「たくさんある」「少しある」の合計の割合が、「上野地区」で60.0%と最も高く、次いで、「清川地区」で59.7%と全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

一方、「東上野地区」「金杉地区」「浅草寿地区」では「あまりない」「全くない」の合計の割合が、「ある（計）」を上回っている。

図表 地域に暮らす日本人と交流する機会（居住地域別）



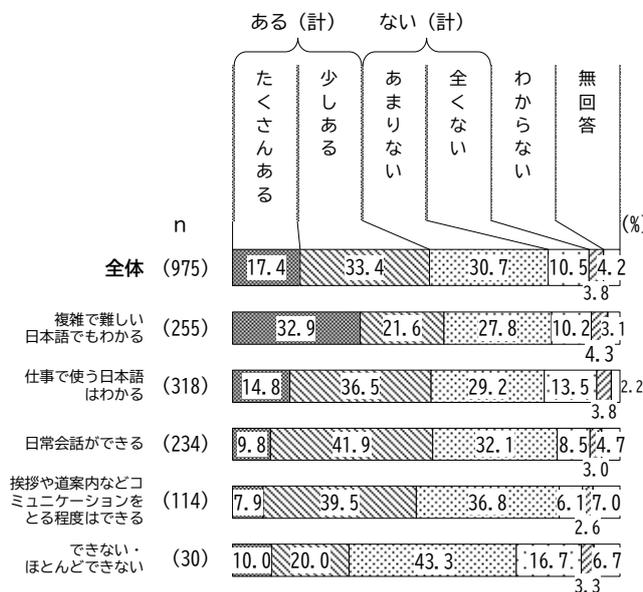
【日本語習得度別】

「聞く」「話す」で「複雑で難しい日本語でもわかる」と回答した人は、「たくさんある」が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高い。また、「聞く」「話す」で「できない・ほとんどできない」と回答した人は、「全くない」「あまりない」の合計が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高くなっており、「聞く」「話す」の習得度が高いほど交流する機会が増える傾向にある。

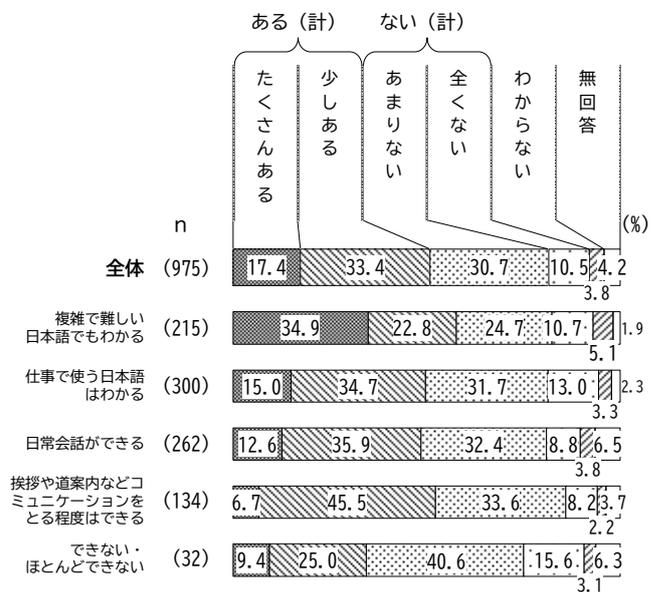
一方、「読む」「書く」が「できない・ほとんどできない」では、「たくさんある」「少しある」を合計した割合はやや低い傾向にあるものの、日本語習得度別で大きな差異はみられない。

図表 地域に暮らす日本人と交流する機会（日本語習得度別）

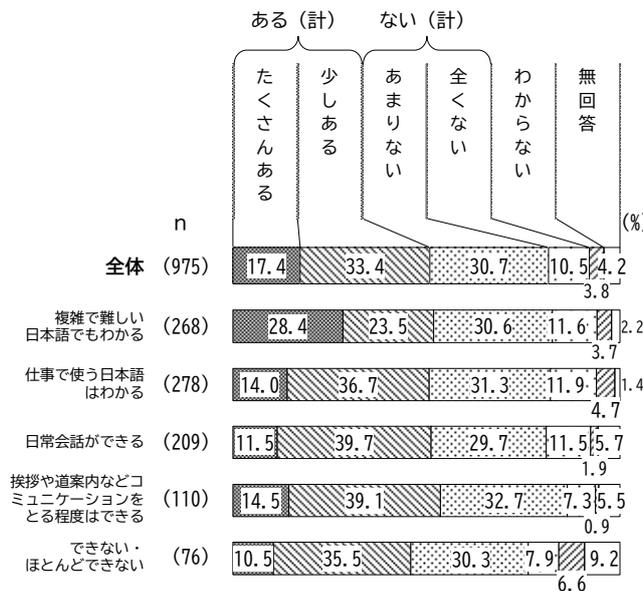
【聞く】



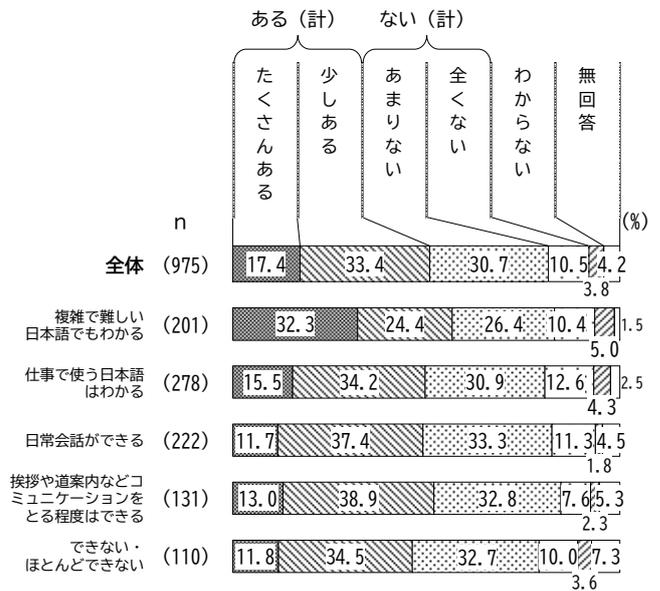
【話す】



【読む】



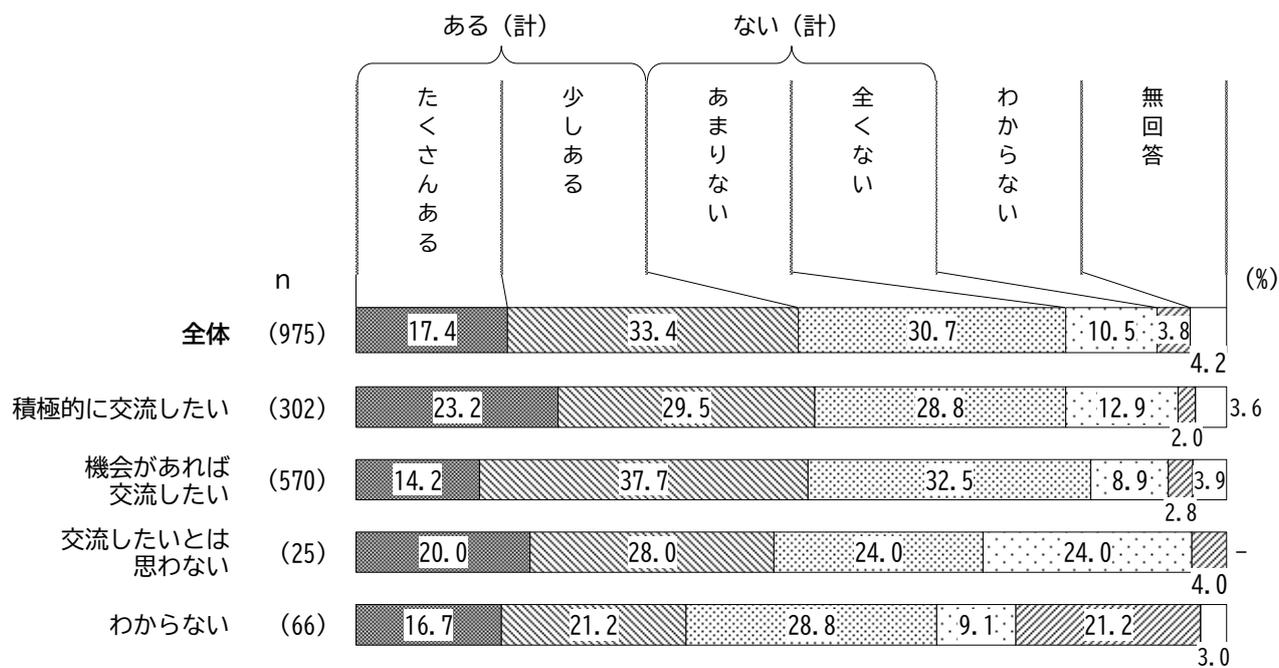
【書く】



【日本人との交流意向別】

日本人と交流意向が高いほど、地域の日本人と交流する機会がある割合が高い傾向にある。また、回答数が少ないため参考程度に留めるが、日本人と「交流したいとは思わない」で日本人との交流意向は「全くない」が高くなっている。

図表 地域に暮らす日本人と交流する機会（日本人との交流意向別）

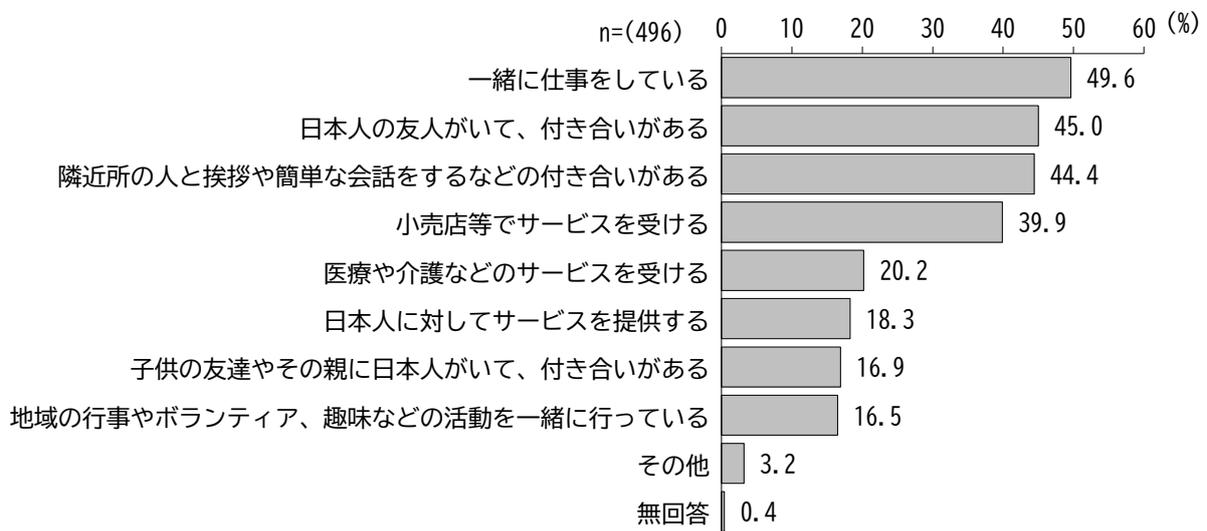


## (5) 地域内で日本人とかかわる場面

問36-2 【問36で「1 たくさんある」「2 少しある」と回答した方にお聞きします。】  
 あなたが地域内で日本人と関わるのはどのような場面ですか。  
 (当てはまるもの全てに○)

地域に暮らす日本人との交流の機会が、「たくさんある」「少しある」と回答した人に、地域内で日本人とかかわる場面について聞いたところ、「一緒に仕事をしている」(49.6%)が最も高く、次いで、「日本人の友人がいて、付き合いがある」(45.0%)、「隣近所の人と挨拶や簡単な会話をするなどの付き合いがある」(44.4%)、「小売店等でサービスを受ける」(39.9%)となっている。

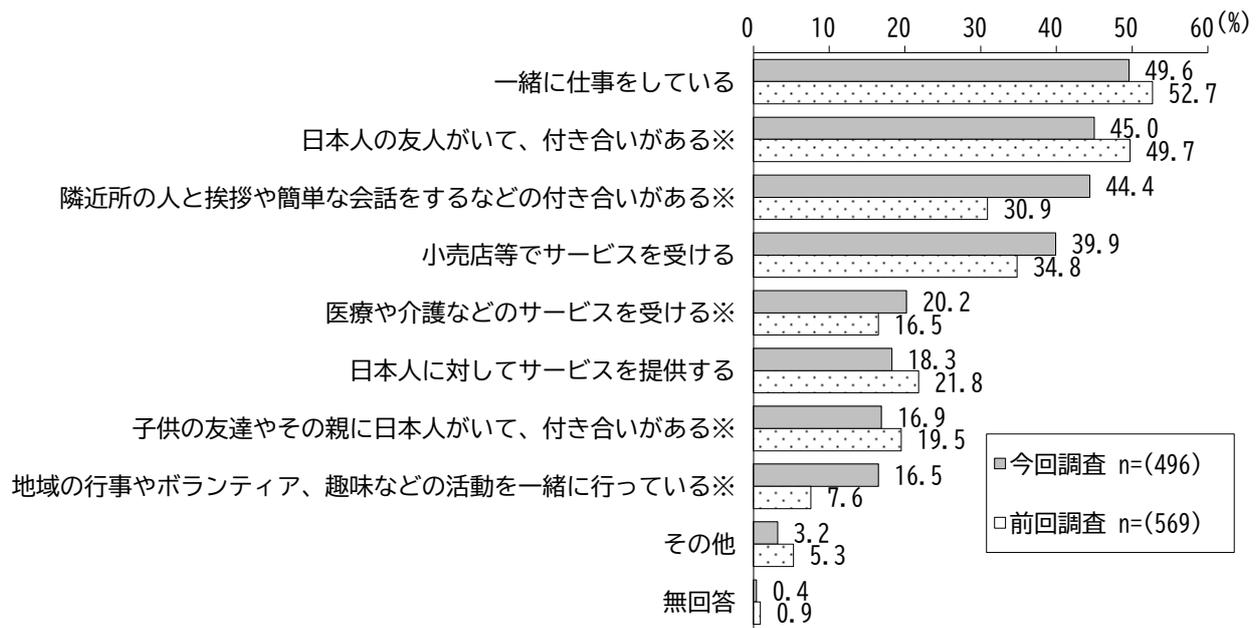
図表 地域内で日本人とかかわる場面（複数回答）



【経年比較】

前回との比較では、「隣近所の人と挨拶や簡単な会話をするなどの付き合いがある」が13.5ポイント増加している。また、「地域の行事やボランティア、趣味などの活動を一緒に行っている」「小売店等でサービスを受ける」がいずれも5ポイント以上増加している。一方、「日本人の友人がいて、付き合いがある」「日本人に対してサービスを提供する」「一緒に仕事をしている」はやや減少している。

図表 【経年比較】地域内で日本人とかかわる場面（複数回答）



※今回調査の選択肢「日本人の友人がいて、付き合いがある」は前回調査では「日本人の友人がおり、付き合いがある」、「子供の友達やその親に日本人がいて、付き合いがある」は「子供の友達やその親に日本人がおり、付き合いがある」、「地域の行事やボランティア、趣味などの活動を一緒に行っている」は「地域活動で一緒に活動している」、「隣近所の人と挨拶や簡単な会話をするなどの付き合いがある」は「隣近所の付き合いがある」、「医療や介護などのサービスを受ける」は「医療や介護現場でサービスを受ける」であった。

【居住形態別】

回答者数が少ないため参考程度にとどめるが、「社宅・官舎」では「一緒に仕事をしている」「医療や介護などのサービスを受ける」が他の居住形態と比較して高い。

図表 地域内で日本人とかかわる場面（居住形態別）

上段：人数 下段：%	調査数	一緒に仕事をしている	日本人の友人 がいて、付き合 いがある	隣近所の人と 挨拶や簡単な 会話をするな どの付き合い がある	小売店等で サービスを受 ける	医療や介護な どのサービス を受ける	日本人に対 してサービス を提供する	子供の友達や その親に日本 人がいて、付き 合いがある	地域の行事や ボランティア、 趣味などの活 動と一緒に 行っている	その他	無回答
全体	496 100.0%	246 49.6%	223 45.0%	220 44.4%	198 39.9%	100 20.2%	91 18.3%	84 16.9%	82 16.5%	16 3.2%	2 0.4%
持ち家(一戸建て)	17 100.0%	9 52.9%	13 76.5%	12 70.6%	3 17.6%	3 17.6%	3 17.6%	7 41.2%	7 41.2%	1 5.9%	-
持ち家(集合住宅)	116 100.0%	58 50.0%	47 40.5%	58 50.0%	48 41.4%	28 24.1%	31 26.7%	25 21.6%	12 10.3%	1 0.9%	2 1.7%
借家(一戸建て)	22 100.0%	14 63.6%	14 63.6%	13 59.1%	10 45.5%	4 18.2%	3 13.6%	8 36.4%	5 22.7%	2 9.1%	-
借家(集合住宅)	263 100.0%	131 49.8%	122 46.4%	100 38.0%	110 41.8%	55 20.9%	47 17.9%	39 14.8%	45 17.1%	6 2.3%	-
公社・都市再生機構 (旧公団)・公営住宅	7 100.0%	2 28.6%	2 28.6%	5 71.4%	1 14.3%	-	1 14.3%	1 14.3%	-	-	-
社宅・官舎	29 100.0%	19 65.5%	9 31.0%	14 48.3%	11 37.9%	9 31.0%	1 3.4%	3 10.3%	5 17.2%	-	-
間借り・住み込み・ 寮	20 100.0%	8 40.0%	5 25.0%	8 40.0%	9 45.0%	-	4 20.0%	-	3 15.0%	3 15.0%	-
その他	16 100.0%	4 25.0%	7 43.8%	9 56.3%	6 37.5%	1 6.3%	1 6.3%	1 6.3%	4 25.0%	3 18.8%	-

【日本人への親しみ度合い別】

日本人に「親しみを感じる」では「日本人の友人がいて、付き合いがある」「隣近所の人と挨拶や簡単な会話をするなどの付き合いがある」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。日本人に「どちらかといえば親しみを感じない」では「一緒に仕事をしている」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 地域内で日本人とかかわる場面（日本人への親しみ度合い別）

上段：人数 下段：%	調査数	一緒に仕事をしている	日本人の友人 がいて、付き合 いがある	隣近所の人と 挨拶や簡単な 会話をするな どの付き合い がある	小売店等で サービスを受 ける	医療や介護な どのサービス を受ける	日本人に対 してサービス を提供する	子供の友達や その親に日本 人がいて、付き 合いがある	地域の行事や ボランティア、 趣味などの活 動と一緒に 行っている	その他	無回答
全体	496 100.0%	246 49.6%	223 45.0%	220 44.4%	198 39.9%	100 20.2%	91 18.3%	84 16.9%	82 16.5%	16 3.2%	2 0.4%
親しみを感じる	142 100.0%	71 50.0%	73 51.4%	76 53.5%	48 33.8%	26 18.3%	29 20.4%	26 18.3%	22 15.5%	6 4.2%	1 0.7%
どちらかといえば 親しみを感じる	201 100.0%	100 49.8%	84 41.8%	94 46.8%	87 43.3%	42 20.9%	37 18.4%	43 21.4%	35 17.4%	5 2.5%	1 0.5%
どちらともいえない	89 100.0%	43 48.3%	40 44.9%	33 37.1%	41 46.1%	16 18.0%	13 14.6%	8 9.0%	16 18.0%	1 1.1%	-
どちらかといえば 親しみを感じない	43 100.0%	24 55.8%	19 44.2%	10 23.3%	11 25.6%	9 20.9%	7 16.3%	4 9.3%	5 11.6%	3 7.0%	-
親しみを感じない	19 100.0%	7 36.8%	6 31.6%	6 31.6%	11 57.9%	7 36.8%	5 26.3%	3 15.8%	3 15.8%	1 5.3%	-

【日本人との交流意向別】

日本人と「積極的に交流したい」で「一緒に仕事をしている」「隣近所の人と挨拶や簡単な会話をするなどの付き合いがある」が高くなっている。

図表 地域内で日本人とかかわる場面（日本人との交流意向別）

上段：人数 下段：%	調査数	一緒に仕事をしている	日本人の友人がいて、付き合いがある	隣近所の人と挨拶や簡単な会話をするなどの付き合いがある	小売店等でサービスを受ける	医療や介護などのサービスを受ける	日本人に対してサービスを提供する	子供の友達やその親に日本人がいて、付き合いがある	地域の行事やボランティア、趣味などの活動と一緒にしている	その他	無回答
全体	496 100.0%	246 49.6%	223 45.0%	220 44.4%	198 39.9%	100 20.2%	91 18.3%	84 16.9%	82 16.5%	16 3.2%	2 0.4%
積極的に交流したい	159 100.0%	90 56.6%	78 49.1%	82 51.6%	59 37.1%	33 20.8%	32 20.1%	26 16.4%	35 22.0%	3 1.9%	-
機会があれば交流したい	296 100.0%	140 47.3%	127 42.9%	119 40.2%	125 42.2%	62 20.9%	52 17.6%	50 16.9%	45 15.2%	11 3.7%	2 0.7%
交流したいとは思わない	12 100.0%	5 41.7%	6 50.0%	5 41.7%	7 58.3%	1 8.3%	3 25.0%	2 16.7%	-	-	-
わからない	25 100.0%	9 36.0%	8 32.0%	11 44.0%	7 28.0%	4 16.0%	4 16.0%	4 16.0%	-	2 8.0%	-

【年齢別】

「30～39歳」では「小売店等でサービスを受ける」、「40～49歳」「50～59歳」では「隣近所の人と挨拶や簡単な会話をするなどの付き合いがある」「子供の友達やその親に日本人がいて、付き合いがある」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 地域内で日本人とかかわる場面（年齢別）

上段：人数 下段：%	調査数	一緒に仕事をしている	日本人の友人がいて、付き合いがある	隣近所の人と挨拶や簡単な会話をするなどの付き合いがある	小売店等でサービスを受ける	医療や介護などのサービスを受ける	日本人に対してサービスを提供する	子供の友達やその親に日本人がいて、付き合いがある	地域の行事やボランティア、趣味などの活動と一緒にしている	その他	無回答
全体	496 100.0%	246 49.6%	223 45.0%	220 44.4%	198 39.9%	100 20.2%	91 18.3%	84 16.9%	82 16.5%	16 3.2%	2 0.4%
18～29歳	98 100.0%	52 53.1%	37 37.8%	32 32.7%	37 37.8%	10 10.2%	12 12.2%	4 4.1%	11 11.2%	4 4.1%	1 1.0%
30～39歳	191 100.0%	96 50.3%	90 47.1%	71 37.2%	88 46.1%	37 19.4%	29 15.2%	28 14.7%	37 19.4%	6 3.1%	-
40～49歳	109 100.0%	50 45.9%	42 38.5%	60 55.0%	42 38.5%	25 22.9%	24 22.0%	29 26.6%	16 14.7%	1 0.9%	-
50～59歳	61 100.0%	33 54.1%	32 52.5%	35 57.4%	19 31.1%	18 29.5%	17 27.9%	19 31.1%	13 21.3%	4 6.6%	1 1.6%
60～69歳	24 100.0%	10 41.7%	12 50.0%	13 54.2%	9 37.5%	4 16.7%	6 25.0%	2 8.3%	2 8.3%	-	-
70歳以上	11 100.0%	4 36.4%	8 72.7%	8 72.7%	3 27.3%	5 45.5%	3 27.3%	2 18.2%	2 18.2%	1 9.1%	-

【居住地域別】

「東上野地区」では「一緒に仕事をしている」、「浅草寿地区」では「日本人の友人がいて、付き合いがある」「隣近所の人と挨拶や簡単な会話をするなどの付き合いがある」が他の居住地域と比較して高い。

図表 地域内で日本人とかかわる場面（居住地域別）

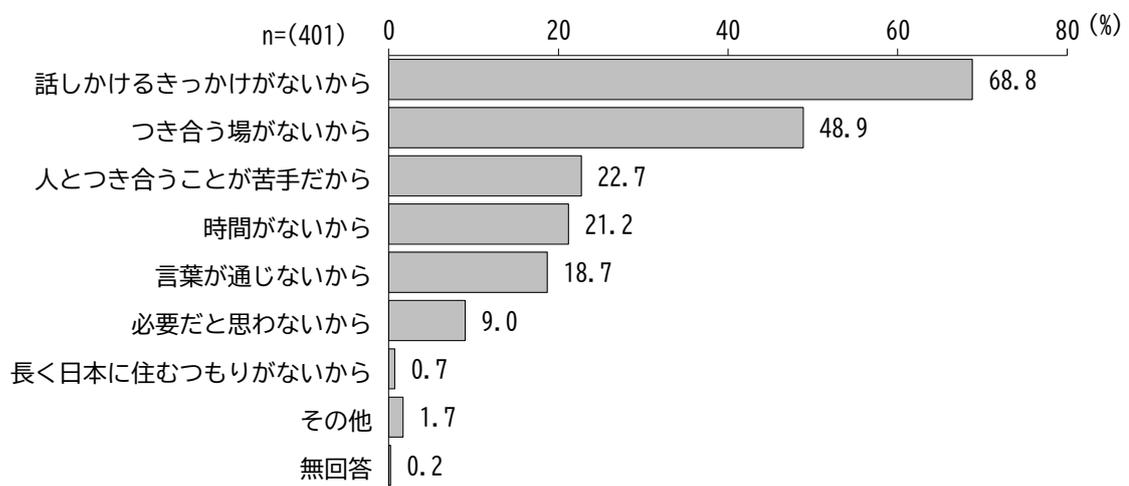
上段：人数 下段：%	調査数	一緒に仕事をしている	日本人の友人がいて、付き合いがある	隣近所の人と挨拶や簡単な会話をするなどの付き合いがある	小売店等でサービスを受ける	医療や介護などのサービスを受ける	日本人に対してサービスを提供する	子供の友達やその親に日本人がいて、付き合いがある	地域の行事やボランティア、趣味などの活動と一緒にやっている	その他	無回答
全体	496 100.0%	246 49.6%	223 45.0%	220 44.4%	198 39.9%	100 20.2%	91 18.3%	84 16.9%	82 16.5%	16 3.2%	2 0.4%
竹町地区	18 100.0%	7 38.9%	6 33.3%	9 50.0%	5 27.8%	3 16.7%	1 5.6%	5 27.8%	3 16.7%	- -	- -
東上野地区	58 100.0%	35 60.3%	26 44.8%	20 34.5%	20 34.5%	8 13.8%	9 15.5%	8 13.8%	8 13.8%	2 3.4%	- -
上野地区	63 100.0%	30 47.6%	25 39.7%	24 38.1%	22 34.9%	8 12.7%	14 22.2%	10 15.9%	7 11.1%	1 1.6%	- -
入谷地区	105 100.0%	54 51.4%	43 41.0%	33 31.4%	41 39.0%	21 20.0%	26 24.8%	16 15.2%	18 17.1%	2 1.9%	- -
金杉地区	22 100.0%	8 36.4%	10 45.5%	13 59.1%	12 54.5%	7 31.8%	5 22.7%	3 13.6%	3 13.6%	- -	- -
谷中地区	15 100.0%	9 60.0%	7 46.7%	11 73.3%	9 60.0%	2 13.3%	4 26.7%	6 40.0%	5 33.3%	2 13.3%	- -
浅草橋地区	68 100.0%	37 54.4%	32 47.1%	33 48.5%	27 39.7%	18 26.5%	6 8.8%	10 14.7%	17 25.0%	1 1.5%	- -
浅草寿地区	43 100.0%	20 46.5%	24 55.8%	26 60.5%	21 48.8%	12 27.9%	8 18.6%	10 23.3%	8 18.6%	1 2.3%	- -
雷門地区	31 100.0%	13 41.9%	14 45.2%	11 35.5%	11 35.5%	4 12.9%	2 6.5%	3 9.7%	2 6.5%	1 3.2%	1 3.2%
馬道地区	29 100.0%	14 48.3%	19 65.5%	20 69.0%	13 44.8%	7 24.1%	7 24.1%	7 24.1%	5 17.2%	3 10.3%	- -
清川地区	40 100.0%	17 42.5%	16 40.0%	19 47.5%	17 42.5%	10 25.0%	8 20.0%	6 15.0%	6 15.0%	2 5.0%	1 2.5%

(6) 地域内で日本人と交流する機会がない理由

問36-3 【問36で「3 あまりない」「4 全くない」と回答した方にお聞きします。】  
 あなたが地域内で日本人と交流する機会がないのはなぜですか。  
 (当てはまるもの全てに○)

地域に暮らす日本人との交流の機会が、「あまりない」「全くない」と回答した人に、地域内で日本人と交流する機会がない理由について聞いたところ、「話しかけるきっかけがないから」(68.8%)が最も高く、次いで、「つき合う場がないから」(48.9%)、「人とつき合うことが苦手だから」(22.7%)、「時間がないから」(21.2%)となっている。

図表 地域内で日本人と交流する機会がない理由 (複数回答)



【年齢別】

「18～29歳」で「時間がないから」、「30～39歳」で「話しかけるきっかけがないから」、「50～59歳」で「言葉が通じないから」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 地域内で日本人と交流する機会がない理由（年齢別）

上段:人数 下段:%	調査数	話しかけるきっかけがないから	つき合う場がないから	人とつき合うことが苦手だから	時間がないから	言葉が通じないから	必要だと思わないから	長く日本に住むつもりがないから	その他	無回答
全体	401 100.0%	276 68.8%	196 48.9%	91 22.7%	85 21.2%	75 18.7%	36 9.0%	3 0.7%	7 1.7%	1 0.2%
18～29歳	117 100.0%	80 68.4%	63 53.8%	31 26.5%	33 28.2%	17 14.5%	12 10.3%	- -	2 1.7%	- -
30～39歳	174 100.0%	129 74.1%	91 52.3%	43 24.7%	32 18.4%	33 19.0%	16 9.2%	2 1.1%	3 1.7%	1 0.6%
40～49歳	60 100.0%	39 65.0%	28 46.7%	8 13.3%	13 21.7%	11 18.3%	5 8.3%	- -	1 1.7%	- -
50～59歳	32 100.0%	17 53.1%	10 31.3%	6 18.8%	6 18.8%	8 25.0%	1 3.1%	- -	1 3.1%	- -
60～69歳	16 100.0%	10 62.5%	4 25.0%	2 12.5%	1 6.3%	4 25.0%	2 12.5%	1 6.3%	- -	- -
70歳以上	2 100.0%	1 50.0%	- -	1 50.0%	- -	2 100.0%	- -	- -	- -	- -

【居住地域別】

「浅草寿地区」では「時間がないから」が他の居住地域と比較して高い。

図表 地域内で日本人と交流する機会がない理由（居住地域別）

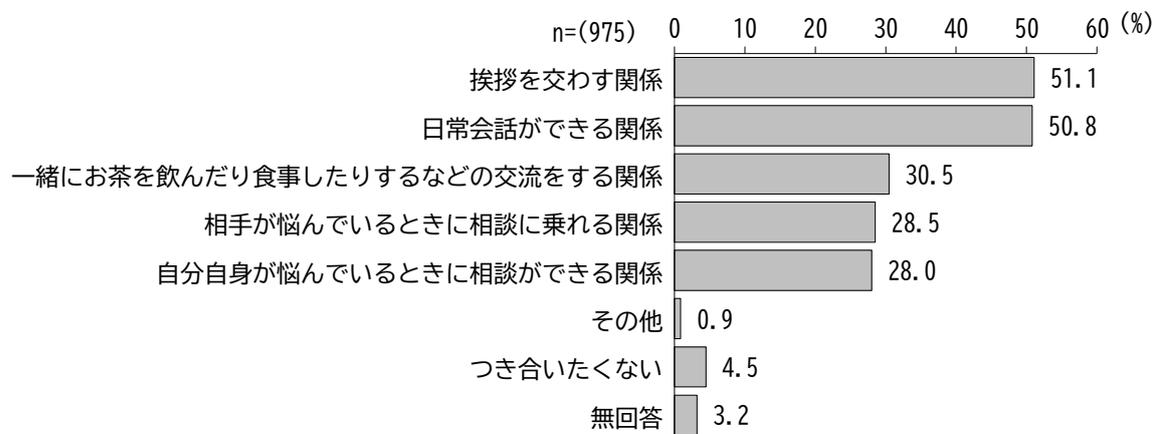
上段:人数 下段:%	調査数	話しかけるきっかけがないから	つき合う場がないから	人とつき合うことが苦手だから	時間がないから	言葉が通じないから	必要だと思わないから	長く日本に住むつもりがないから	その他	無回答
全体	401 100.0%	276 68.8%	196 48.9%	91 22.7%	85 21.2%	75 18.7%	36 9.0%	3 0.7%	7 1.7%	1 0.2%
竹町地区	17 100.0%	13 76.5%	9 52.9%	2 11.8%	2 11.8%	3 17.6%	- -	- -	1 5.9%	- -
東上野地区	62 100.0%	46 74.2%	30 48.4%	17 27.4%	13 21.0%	12 19.4%	3 4.8%	- -	- -	- -
上野地区	34 100.0%	23 67.6%	11 32.4%	9 26.5%	8 23.5%	8 23.5%	4 11.8%	- -	2 5.9%	- -
入谷地区	89 100.0%	62 69.7%	39 43.8%	17 19.1%	24 27.0%	14 15.7%	8 9.0%	1 1.1%	1 1.1%	1 1.1%
金杉地区	23 100.0%	11 47.8%	11 47.8%	7 30.4%	2 8.7%	6 26.1%	4 17.4%	- -	1 4.3%	- -
谷中地区	6 100.0%	5 83.3%	2 33.3%	2 33.3%	1 16.7%	2 33.3%	1 16.7%	- -	- -	- -
浅草橋地区	48 100.0%	31 64.6%	26 54.2%	9 18.8%	9 18.8%	6 12.5%	5 10.4%	- -	- -	- -
浅草寿地区	53 100.0%	37 69.8%	27 50.9%	9 17.0%	17 32.1%	12 22.6%	4 7.5%	1 1.9%	1 1.9%	- -
雷門地区	19 100.0%	13 68.4%	10 52.6%	5 26.3%	1 5.3%	5 26.3%	- -	- -	1 5.3%	- -
馬道地区	20 100.0%	15 75.0%	12 60.0%	6 30.0%	2 10.0%	3 15.0%	4 20.0%	1 5.0%	- -	- -
清川地区	24 100.0%	15 62.5%	14 58.3%	7 29.2%	4 16.7%	3 12.5%	1 4.2%	- -	- -	- -

(7) 地域の日本人とどのようなつき合いをしていきたいか

問37 地域に暮らす日本人とどのようなつき合いをしていきたいですか。  
(当てはまるもの全てに○)

「挨拶を交わす関係」(51.1%)が最も高く、「日常会話ができる関係」(50.8%)も半数以上が挙げている。次いで、「一緒にお茶を飲んだり食事したりするなどの交流をする関係」(30.5%)、「相手が悩んでいるときに相談に乗れる関係」(28.5%)、「自分自身が悩んでいるときに相談ができる関係」(28.0%)となっている。

図表 地域の日本人とどのようなつき合いをしていきたいか (複数回答)



【国籍別】

「一緒にお茶を飲んだり食事したりするなどの交流をする関係」は「アメリカ」で45.7%である一方で、「ベトナム」で17.1%となっている。

「アメリカ」「その他」では「日常会話ができる関係」「相手が悩んでいるときに相談に乗れる関係」、「フィリピン」「その他」では「自分自身が悩んでいるときに相談ができる関係」が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高くなっている。

図表 地域の日本人とどのようなつき合いをしていきたいか（国籍別）

上段:人数 下段:%	調査数	挨拶を交わす 関係	日常会話がで きる関係	一緒にお茶を 飲んだり食事し たりするなどの 交流をする関係	相手が悩んで いるときに相 談に乗れる関 係	自分自身が悩 んでいるときに 相談ができる 関係	その他	つき合いたくな い	無回答
全体	975 100.0%	498 51.1%	495 50.8%	297 30.5%	278 28.5%	273 28.0%	9 0.9%	44 4.5%	31 3.2%
中国	472 100.0%	245 51.9%	233 49.4%	129 27.3%	102 21.6%	101 21.4%	6 1.3%	22 4.7%	7 1.5%
韓国	92 100.0%	41 44.6%	35 38.0%	24 26.1%	21 22.8%	20 21.7%	1 1.1%	8 8.7%	6 6.5%
ベトナム	41 100.0%	20 48.8%	18 43.9%	7 17.1%	8 19.5%	13 31.7%	- -	2 4.9%	2 4.9%
フィリピン	59 100.0%	27 45.8%	33 55.9%	16 27.1%	18 30.5%	24 40.7%	1 1.7%	1 1.7%	8 13.6%
台湾	49 100.0%	25 51.0%	23 46.9%	16 32.7%	8 16.3%	9 18.4%	- -	6 12.2%	1 2.0%
アメリカ	35 100.0%	13 37.1%	20 57.1%	16 45.7%	17 48.6%	12 34.3%	1 2.9%	1 2.9%	- -
その他	224 100.0%	126 56.3%	132 58.9%	88 39.3%	102 45.5%	94 42.0%	- -	4 1.8%	6 2.7%

【台東区居住年数別】

「1年未満」では、「つき合いたくない」を除くいずれの項目も全体平均と比較して5ポイント以上高く、特に「日常会話ができる関係」が60%台半ばとなっている。また、台東区居住年数が短いほど、「一緒にお茶を飲んだり食事したりするなどの交流をする関係」の割合が高い傾向にある。

図表 地域の日本人とどのようなつき合いをしていきたいか（台東区居住年数別）

上段:人数 下段:%	調査数	挨拶を交わす 関係	日常会話がで きる関係	一緒にお茶を 飲んだり食事し たりするなどの 交流をする関 係	相手が悩んで いるときに相 談に乗れる関 係	自分自身が悩 んでいるときに 相談ができる 関係	その他	つき合いたく ない	無回答
全体	975 100.0%	498 51.1%	495 50.8%	297 30.5%	278 28.5%	273 28.0%	9 0.9%	44 4.5%	31 3.2%
1年未満	89 100.0%	50 56.2%	60 67.4%	39 43.8%	34 38.2%	38 42.7%	- -	3 3.4%	- -
1年～3年未満	354 100.0%	176 49.7%	182 51.4%	120 33.9%	108 30.5%	98 27.7%	5 1.4%	14 4.0%	9 2.5%
3年～5年未満	169 100.0%	86 50.9%	80 47.3%	48 28.4%	37 21.9%	32 18.9%	- -	10 5.9%	4 2.4%
5年～10年未満	189 100.0%	97 51.3%	98 51.9%	51 27.0%	58 30.7%	58 30.7%	2 1.1%	5 2.6%	5 2.6%
10年～20年未満	110 100.0%	59 53.6%	48 43.6%	25 22.7%	24 21.8%	29 26.4%	1 0.9%	10 9.1%	5 4.5%
20年以上	59 100.0%	27 45.8%	24 40.7%	14 23.7%	17 28.8%	18 30.5%	1 1.7%	2 3.4%	8 13.6%

【台東区の暮らしやすさ別】

台東区は「あまり暮らしやすくない」で「自分自身が悩んでいるときに相談ができる関係」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。また、暮らしやすくないと感じる人ほど、「一緒にお茶を飲んだり食事したりするなどの交流をする関係」の割合が高い傾向にある。

図表 地域の日本人とどのようなつき合いをしていきたいか（台東区の暮らしやすさ別）

上段:人数 下段:%	調査数	挨拶を交わす 関係	日常会話がで きる関係	一緒にお茶を 飲んだり食事し たりするなどの 交流をする関 係	相手が悩んで いるときに相 談に乗れる関 係	自分自身が悩 んでいるときに 相談ができる 関係	その他	つき合いたく ない	無回答
全体	975 100.0%	498 51.1%	495 50.8%	297 30.5%	278 28.5%	273 28.0%	9 0.9%	44 4.5%	31 3.2%
とても 暮らしやすい	383 100.0%	194 50.7%	192 50.1%	113 29.5%	111 29.0%	111 29.0%	4 1.0%	17 4.4%	10 2.6%
暮らしやすい	493 100.0%	260 52.7%	258 52.3%	153 31.0%	136 27.6%	138 28.0%	4 0.8%	20 4.1%	16 3.2%
あまり 暮らしやすくない	31 100.0%	16 51.6%	16 51.6%	12 38.7%	11 35.5%	12 38.7%	- -	2 6.5%	1 3.2%
暮らしにくい	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	2 66.7%	1 33.3%	- -	- -	- -
どちらとも いえない	61 100.0%	26 42.6%	26 42.6%	17 27.9%	18 29.5%	11 18.0%	1 1.6%	5 8.2%	4 6.6%

【日本人との交流意向別】

「挨拶を交わす関係」以外の項目は日本人と「積極的に交流したい」で全体平均と比較して5ポイント以上高く、特に「日常会話ができる関係」が60%台半ばとなっている。

図表 地域の日本人とどのようなつき合いをしていきたいか（日本人との交流意向別）

上段:人数 下段:%	調査数	挨拶を交わす関係	日常会話ができる関係	一緒にお茶を飲んだり食事したりするなどの交流をする関係	相手が悩んでいるときに相談に乗れる関係	自分自身が悩んでいるときに相談ができる関係	その他	つき合いたくない	無回答
全体	975 100.0%	498 51.1%	495 50.8%	297 30.5%	278 28.5%	273 28.0%	9 0.9%	44 4.5%	31 3.2%
積極的に交流したい	302 100.0%	153 50.7%	200 66.2%	160 53.0%	144 47.7%	131 43.4%	4 1.3%	3 1.0%	2 0.7%
機会があれば交流したい	570 100.0%	301 52.8%	282 49.5%	125 21.9%	117 20.5%	125 21.9%	4 0.7%	18 3.2%	19 3.3%
交流したいとは思わない	25 100.0%	13 52.0%	3 12.0%	1 4.0%	- -	3 12.0%	- -	7 28.0%	1 4.0%
わからない	66 100.0%	29 43.9%	8 12.1%	9 13.6%	14 21.2%	10 15.2%	1 1.5%	15 22.7%	2 3.0%

【年齢別】

「60～69歳」の年齢層で「挨拶を交わす関係」以外の割合が全体平均と比較して5ポイント以上低い。その他、大きな差異はみられない。

図表 地域の日本人とどのようなつき合いをしていきたいか（年齢別）

上段:人数 下段:%	調査数	挨拶を交わす関係	日常会話ができる関係	一緒にお茶を飲んだり食事したりするなどの交流をする関係	相手が悩んでいるときに相談に乗れる関係	自分自身が悩んでいるときに相談ができる関係	その他	つき合いたくない	無回答
全体	975 100.0%	498 51.1%	495 50.8%	297 30.5%	278 28.5%	273 28.0%	9 0.9%	44 4.5%	31 3.2%
18～29歳	233 100.0%	113 48.5%	118 50.6%	75 32.2%	65 27.9%	69 29.6%	3 1.3%	15 6.4%	2 0.9%
30～39歳	385 100.0%	206 53.5%	211 54.8%	127 33.0%	119 30.9%	107 27.8%	2 0.5%	15 3.9%	4 1.0%
40～49歳	185 100.0%	96 51.9%	91 49.2%	56 30.3%	52 28.1%	53 28.6%	2 1.1%	7 3.8%	7 3.8%
50～59歳	103 100.0%	50 48.5%	54 52.4%	29 28.2%	28 27.2%	32 31.1%	2 1.9%	3 2.9%	8 7.8%
60～69歳	47 100.0%	23 48.9%	13 27.7%	7 14.9%	10 21.3%	10 21.3%	- -	3 6.4%	4 8.5%
70歳以上	19 100.0%	9 47.4%	7 36.8%	2 10.5%	2 10.5%	2 10.5%	- -	1 5.3%	5 26.3%

【居住地域別】

「浅草寿地区」で「挨拶を交わす関係」、「雷門地区」で「日常会話ができる関係」「自分自身が悩んでいるときに相談ができる関係」、「金杉地区」で「一緒にお茶を飲んだり食事したりするなどの交流をする関係」、「浅草橋地区」で「一緒にお茶を飲んだり食事したりするなどの交流をする関係」「相手が悩んでいるときに相談に乗れる関係」の割合が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 地域の日本人とどのようなつき合いをしていきたいか（居住地域別）

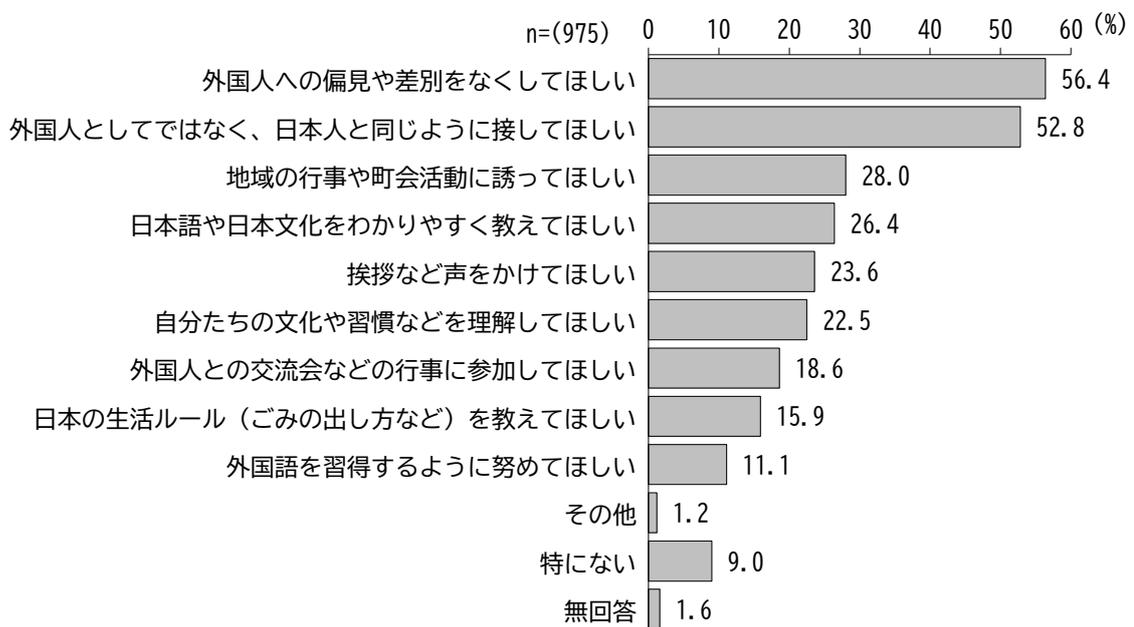
上段:人数 下段:%	調査数	挨拶を交わす 関係	日常会話がで きる関係	一緒にお茶を 飲んだり食事し たりするなどの 交流をする関係	相手が悩んで いるときに相談 に乗れる関係	自分自身が悩 んでいるときに 相談ができる 関係	その他	つき合いたくな い	無回答
全体	975 100.0%	498 51.1%	495 50.8%	297 30.5%	278 28.5%	273 28.0%	9 0.9%	44 4.5%	31 3.2%
竹町地区	40 100.0%	18 45.0%	23 57.5%	12 30.0%	11 27.5%	9 22.5%	- -	1 2.5%	1 2.5%
東上野地区	133 100.0%	69 51.9%	64 48.1%	36 27.1%	32 24.1%	35 26.3%	1 0.8%	6 4.5%	6 4.5%
上野地区	105 100.0%	51 48.6%	53 50.5%	27 25.7%	29 27.6%	31 29.5%	- -	3 2.9%	5 4.8%
入谷地区	211 100.0%	102 48.3%	106 50.2%	60 28.4%	56 26.5%	51 24.2%	3 1.4%	10 4.7%	5 2.4%
金杉地区	46 100.0%	23 50.0%	20 43.5%	18 39.1%	15 32.6%	13 28.3%	2 4.3%	4 8.7%	2 4.3%
谷中地区	21 100.0%	14 66.7%	12 57.1%	8 38.1%	6 28.6%	8 38.1%	- -	1 4.8%	- -
浅草橋地区	128 100.0%	65 50.8%	65 50.8%	48 37.5%	44 34.4%	42 32.8%	2 1.6%	7 5.5%	3 2.3%
浅草寿地区	104 100.0%	61 58.7%	52 50.0%	34 32.7%	33 31.7%	28 26.9%	- -	4 3.8%	2 1.9%
雷門地区	53 100.0%	28 52.8%	32 60.4%	15 28.3%	16 30.2%	18 34.0%	- -	1 1.9%	1 1.9%
馬道地区	53 100.0%	22 41.5%	27 50.9%	17 32.1%	14 26.4%	17 32.1%	1 1.9%	5 9.4%	3 5.7%
清川地区	67 100.0%	36 53.7%	32 47.8%	16 23.9%	16 23.9%	16 23.9%	- -	2 3.0%	3 4.5%

## (8) 住民相互の理解のために日本人に求めること

問38 住民相互の理解を深めるために、日本人に求めることは何ですか。  
(当てはまるもの全てに○)

「外国人への偏見や差別をなくしてほしい」(56.4%)が最も高く、「外国人としてではなく、日本人と同じように接してほしい」(52.8%)も半数以上が挙げている。次いで、「地域の行事や町会活動に誘ってほしい」(28.0%)、「日本語や日本文化をわかりやすく教えてほしい」(26.4%)となっている。

図表 住民相互の理解のために日本人に求めること（複数回答）



【国籍別】

「ベトナム」では、「外国人への偏見や差別をなくしてほしい」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

また、「アメリカ」では「外国人としてでなく、日本人と同じように接してほしい」「地域の行事や町会活動に誘ってほしい」が全体平均と比較して5ポイント以上高く、「フィリピン」では「日本語や日本文化をわかりやすく教えてほしい」「外国人との交流会などの行事に参加してほしい」が高くなっている。

図表 住民相互の理解のために日本人に求めること（国籍別）

上段:人数 下段:%	調査数	外国人への偏見や差別をなくしてほしい	外国人としてではなく、日本人と同じように接してほしい	地域の行事や町会活動に誘ってほしい	日本語や日本文化をわかりやすく教えてほしい	挨拶など声をかけてほしい	自分たちの文化や習慣などを理解してほしい
全体	975 100.0%	550 56.4%	515 52.8%	273 28.0%	257 26.4%	230 23.6%	219 22.5%
中国	472 100.0%	274 58.1%	276 58.5%	115 24.4%	117 24.8%	74 15.7%	106 22.5%
韓国	92 100.0%	48 52.2%	31 33.7%	22 23.9%	13 14.1%	16 17.4%	14 15.2%
ベトナム	41 100.0%	27 65.9%	19 46.3%	6 14.6%	14 34.1%	8 19.5%	12 29.3%
フィリピン	59 100.0%	34 57.6%	35 59.3%	10 16.9%	29 49.2%	16 27.1%	19 32.2%
台湾	49 100.0%	26 53.1%	23 46.9%	15 30.6%	11 22.4%	17 34.7%	12 24.5%
アメリカ	35 100.0%	17 48.6%	21 60.0%	15 42.9%	6 17.1%	12 34.3%	6 17.1%
その他	224 100.0%	122 54.5%	109 48.7%	90 40.2%	66 29.5%	87 38.8%	49 21.9%

上段:人数 下段:%	調査数	外国人との交流会などの行事に参加してほしい	日本の生活ルール(ごみの出し方など)を教えてください	外国語を習得するように努めてほしい	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	181 18.6%	155 15.9%	108 11.1%	12 1.2%	88 9.0%	16 1.6%
中国	472 100.0%	78 16.5%	79 16.7%	43 9.1%	5 1.1%	42 8.9%	3 0.6%
韓国	92 100.0%	11 12.0%	9 9.8%	5 5.4%	1 1.1%	14 15.2%	4 4.3%
ベトナム	41 100.0%	5 12.2%	10 24.4%	5 12.2%	-	2 4.9%	1 2.4%
フィリピン	59 100.0%	19 32.2%	12 20.3%	6 10.2%	1 1.7%	5 8.5%	5 8.5%
台湾	49 100.0%	4 8.2%	5 10.2%	6 12.2%	-	4 8.2%	-
アメリカ	35 100.0%	10 28.6%	2 5.7%	6 17.1%	2 5.7%	5 14.3%	-
その他	224 100.0%	52 23.2%	38 17.0%	37 16.5%	3 1.3%	16 7.1%	2 0.9%

【台東区居住年数別】

台東区での居住年数に関わらず、「外国人への偏見や差別をなくしてほしい」「外国人としてではなく、日本人と同じように接してほしい」が高く、「20年以上」で30%台であるのを除き、いずれも40%台以上となっている。

一方で、居住年数が浅いほど、「地域の行事や町会活動に誘ってほしい」「日本語や日本文化をわかりやすく教えてほしい」「挨拶など声をかけてほしい」がやや高い傾向がみられる。

図表 住民相互の理解のために日本人に求めること（台東区居住年数別）

上段:人数 下段:%	調査数	外国人への偏見や差別をなくしてほしい	外国人としてではなく、日本人と同じように接してほしい	地域の行事や町会活動に誘ってほしい	日本語や日本文化をわかりやすく教えてほしい	挨拶など声をかけてほしい	自分たちの文化や習慣などを理解してほしい
全体	975 100.0%	550 56.4%	515 52.8%	273 28.0%	257 26.4%	230 23.6%	219 22.5%
1年未満	89 100.0%	58 65.2%	44 49.4%	30 33.7%	35 39.3%	32 36.0%	24 27.0%
1年～3年未満	354 100.0%	214 60.5%	205 57.9%	112 31.6%	109 30.8%	86 24.3%	76 21.5%
3年～5年未満	169 100.0%	95 56.2%	85 50.3%	46 27.2%	43 25.4%	43 25.4%	38 22.5%
5年～10年未満	189 100.0%	105 55.6%	108 57.1%	54 28.6%	35 18.5%	39 20.6%	46 24.3%
10年～20年未満	110 100.0%	54 49.1%	48 43.6%	21 19.1%	26 23.6%	21 19.1%	25 22.7%
20年以上	59 100.0%	22 37.3%	21 35.6%	10 16.9%	9 15.3%	9 15.3%	10 16.9%

上段:人数 下段:%	調査数	外国人との交流会などの行事に参加してほしい	日本の生活ルール(ごみの出し方など)を教えてください	外国語を習得するように努めてほしい	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	181 18.6%	155 15.9%	108 11.1%	12 1.2%	88 9.0%	16 1.6%
1年未満	89 100.0%	24 27.0%	19 21.3%	18 20.2%	- -	9 10.1%	- -
1年～3年未満	354 100.0%	70 19.8%	64 18.1%	41 11.6%	2 0.6%	18 5.1%	3 0.8%
3年～5年未満	169 100.0%	39 23.1%	26 15.4%	16 9.5%	2 1.2%	15 8.9%	2 1.2%
5年～10年未満	189 100.0%	29 15.3%	28 14.8%	19 10.1%	4 2.1%	19 10.1%	2 1.1%
10年～20年未満	110 100.0%	13 11.8%	15 13.6%	11 10.0%	2 1.8%	18 16.4%	2 1.8%
20年以上	59 100.0%	6 10.2%	3 5.1%	3 5.1%	2 3.4%	9 15.3%	7 11.9%

【年齢別】

年齢層に関わらず、「外国人への偏見や差別をなくしてほしい」「外国人としてではなく、日本人と同じように接してほしい」が他の項目と比較して高く、「60～69歳」で「外国人としてではなく、日本人と同じように接してほしい」が20%台半ばであるのを除き、いずれも40%台以上となっている。また、年齢が若いほど割合がやや高い傾向がみられる。

図表 住民相互の理解のために日本人に求めること（年齢別）

上段:人数 下段:%	調査数	外国人への偏見や差別をなくしてほしい	外国人としてではなく、日本人と同じように接してほしい	地域の行事や町会活動に誘ってほしい	日本語や日本文化をわかりやすく教えてほしい	挨拶など声をかけてほしい	自分たちの文化や習慣などを理解してほしい
全体	975 100.0%	550 56.4%	515 52.8%	273 28.0%	257 26.4%	230 23.6%	219 22.5%
18～29歳	233 100.0%	142 60.9%	135 57.9%	61 26.2%	69 29.6%	56 24.0%	50 21.5%
30～39歳	385 100.0%	224 58.2%	210 54.5%	120 31.2%	95 24.7%	90 23.4%	86 22.3%
40～49歳	185 100.0%	97 52.4%	101 54.6%	55 29.7%	52 28.1%	42 22.7%	45 24.3%
50～59歳	103 100.0%	54 52.4%	49 47.6%	30 29.1%	34 33.0%	31 30.1%	28 27.2%
60～69歳	47 100.0%	20 42.6%	13 27.7%	6 12.8%	5 10.6%	8 17.0%	5 10.6%
70歳以上	19 100.0%	11 57.9%	6 31.6%	1 5.3%	1 5.3%	3 15.8%	4 21.1%

上段:人数 下段:%	調査数	外国人との交流会などの行事に参加してほしい	日本の生活ルール(ごみの出し方など)を教えてください	外国語を習得するように努めてほしい	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	181 18.6%	155 15.9%	108 11.1%	12 1.2%	88 9.0%	16 1.6%
18～29歳	233 100.0%	46 19.7%	38 16.3%	26 11.2%	1 0.4%	17 7.3%	1 0.4%
30～39歳	385 100.0%	79 20.5%	61 15.8%	48 12.5%	6 1.6%	35 9.1%	3 0.8%
40～49歳	185 100.0%	29 15.7%	30 16.2%	22 11.9%	3 1.6%	17 9.2%	1 0.5%
50～59歳	103 100.0%	24 23.3%	21 20.4%	12 11.7%	2 1.9%	9 8.7%	2 1.9%
60～69歳	47 100.0%	1 2.1%	5 10.6%	- -	- -	9 19.1%	4 8.5%
70歳以上	19 100.0%	- -	- -	- -	- -	1 5.3%	4 21.1%

【居住地域別】

地域に関わらず、「外国人への偏見や差別をなくしてほしい」「外国人としてではなく、日本人と同じように接してほしい」が他の項目と比較して高く、「雷門地区」で「外国人としてではなく、日本人と同じように接してほしい」が約40%であるのを除き、いずれも40%台以上となっている。

また、「金杉地区」では「地域の行事や町会活動に誘ってほしい」「日本語や日本文化をわかりやすく教えてほしい」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 住民相互の理解のために日本人に求めること（居住地域別）

上段:人数 下段:%	調査数	外国人への偏見や差別をなくしてほしい	外国人としてではなく、日本人と同じように接してほしい	地域の行事や町会活動に誘ってほしい	日本語や日本文化をわかりやすく教えてほしい	挨拶など声をかけてほしい	自分たちの文化や習慣などを理解してほしい
全体	975 100.0%	550 56.4%	515 52.8%	273 28.0%	257 26.4%	230 23.6%	219 22.5%
竹町地区	40 100.0%	22 55.0%	21 52.5%	11 27.5%	5 12.5%	3 7.5%	7 17.5%
東上野地区	133 100.0%	82 61.7%	69 51.9%	35 26.3%	34 25.6%	26 19.5%	30 22.6%
上野地区	105 100.0%	55 52.4%	58 55.2%	23 21.9%	33 31.4%	26 24.8%	31 29.5%
入谷地区	211 100.0%	125 59.2%	107 50.7%	65 30.8%	54 25.6%	45 21.3%	48 22.7%
金杉地区	46 100.0%	22 47.8%	22 47.8%	18 39.1%	18 39.1%	14 30.4%	8 17.4%
谷中地区	21 100.0%	15 71.4%	11 52.4%	6 28.6%	4 19.0%	7 33.3%	4 19.0%
浅草橋地区	128 100.0%	74 57.8%	68 53.1%	33 25.8%	36 28.1%	31 24.2%	30 23.4%
浅草寿地区	104 100.0%	54 51.9%	58 55.8%	36 34.6%	30 28.8%	35 33.7%	24 23.1%
雷門地区	53 100.0%	29 54.7%	21 39.6%	14 26.4%	11 20.8%	9 17.0%	10 18.9%
馬道地区	53 100.0%	26 49.1%	31 58.5%	15 28.3%	8 15.1%	16 30.2%	10 18.9%
清川地区	67 100.0%	39 58.2%	41 61.2%	15 22.4%	22 32.8%	15 22.4%	15 22.4%

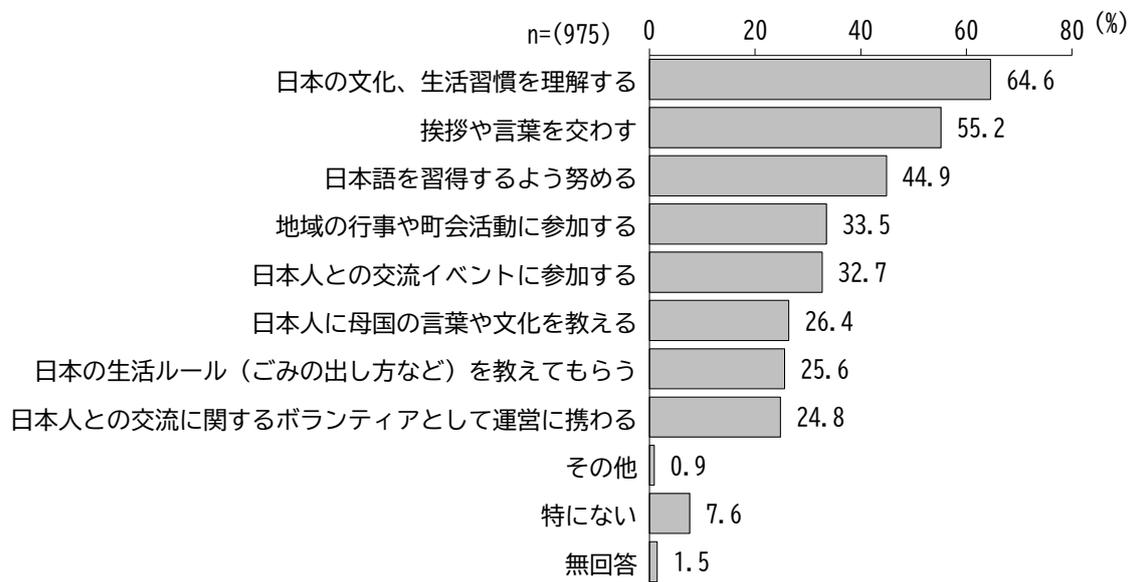
上段:人数 下段:%	調査数	外国人との交流会などの行事に参加してほしい	日本の生活ルール(ごみの出し方など)を教えてください	外国語を習得するように努めてほしい	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	181 18.6%	155 15.9%	108 11.1%	12 1.2%	88 9.0%	16 1.6%
竹町地区	40 100.0%	6 15.0%	5 12.5%	3 7.5%	2 5.0%	6 15.0%	1 2.5%
東上野地区	133 100.0%	23 17.3%	23 17.3%	14 10.5%	-	9 6.8%	3 2.3%
上野地区	105 100.0%	22 21.0%	20 19.0%	13 12.4%	1 1.0%	8 7.6%	2 1.9%
入谷地区	211 100.0%	37 17.5%	21 10.0%	23 10.9%	4 1.9%	18 8.5%	1 0.5%
金杉地区	46 100.0%	10 21.7%	11 23.9%	5 10.9%	2 4.3%	4 8.7%	1 2.2%
谷中地区	21 100.0%	4 19.0%	4 19.0%	2 9.5%	-	2 9.5%	-
浅草橋地区	128 100.0%	34 26.6%	23 18.0%	17 13.3%	1 0.8%	8 6.3%	2 1.6%
浅草寿地区	104 100.0%	17 16.3%	21 20.2%	13 12.5%	1 1.0%	8 7.7%	2 1.9%
雷門地区	53 100.0%	7 13.2%	8 15.1%	6 11.3%	-	7 13.2%	-
馬道地区	53 100.0%	10 18.9%	6 11.3%	4 7.5%	-	6 11.3%	3 5.7%
清川地区	67 100.0%	10 14.9%	11 16.4%	6 9.0%	1 1.5%	9 13.4%	1 1.5%

(9) 地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるために、自身が行おうと思うこと

問39 地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるため、あなたが行おうと思うことは何ですか。(当てはまるもの全てに○)

「日本の文化、生活習慣を理解する」(64.6%)が最も高く、「挨拶や言葉を交わす」(55.2%)も半数以上が挙げている。次いで、「日本語を習得するよう努める」(44.9%)、「地域の行事や町会活動に参加する」(33.5%)、「日本人との交流イベントに参加する」(32.7%)となっている。

図表 地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるために、自身が行おうと思うこと(複数回答)



【国籍別】

「ベトナム」「フィリピン」では、「日本の文化、生活習慣を理解する」、「フィリピン」では「日本語を習得するよう努める」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

また、「アメリカ」「その他」では「挨拶や言葉を交わす」が全体平均と比較して5ポイント以上高く、「アメリカ」では「地域の行事や町会活動に参加する」「日本人との交流イベントに参加する」「日本人に母国の言葉や文化を教える」「日本人との交流に関するボランティアとして運営に携わる」も高くなっている。

図表 地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるために、自身が行おうと思うこと（国籍別）

上段:人数 下段:%	調査数	日本の文化、生活習慣を理解する	挨拶や言葉を交わす	日本語を習得するよう努める	地域の行事や町会活動に参加する	日本人との交流イベントに参加する	日本人に母国の言葉や文化を教える
全体	975 100.0%	630 64.6%	538 55.2%	438 44.9%	327 33.5%	319 32.7%	257 26.4%
中国	472 100.0%	308 65.3%	245 51.9%	218 46.2%	148 31.4%	162 34.3%	118 25.0%
韓国	92 100.0%	45 48.9%	42 45.7%	21 22.8%	22 23.9%	20 21.7%	17 18.5%
ベトナム	41 100.0%	33 80.5%	23 56.1%	17 41.5%	9 22.0%	11 26.8%	12 29.3%
フィリピン	59 100.0%	44 74.6%	25 42.4%	36 61.0%	15 25.4%	16 27.1%	10 16.9%
台湾	49 100.0%	28 57.1%	27 55.1%	14 28.6%	12 24.5%	10 20.4%	12 24.5%
アメリカ	35 100.0%	25 71.4%	25 71.4%	18 51.4%	24 68.6%	17 48.6%	14 40.0%
その他	224 100.0%	144 64.3%	151 67.4%	114 50.9%	96 42.9%	81 36.2%	73 32.6%

上段:人数 下段:%	調査数	日本の生活ルール(ごみの出し方など)を教えてもらう	日本人との交流に関するボランティアとして運営に携わる	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	250 25.6%	242 24.8%	9 0.9%	74 7.6%	15 1.5%
中国	472 100.0%	145 30.7%	121 25.6%	4 0.8%	29 6.1%	4 0.8%
韓国	92 100.0%	16 17.4%	12 13.0%	1 1.1%	16 17.4%	4 4.3%
ベトナム	41 100.0%	7 17.1%	5 12.2%	-	2 4.9%	1 2.4%
フィリピン	59 100.0%	17 28.8%	14 23.7%	-	2 3.4%	2 3.4%
台湾	49 100.0%	10 20.4%	8 16.3%	-	8 16.3%	-
アメリカ	35 100.0%	9 25.7%	15 42.9%	1 2.9%	3 8.6%	-
その他	224 100.0%	45 20.1%	64 28.6%	3 1.3%	14 6.3%	4 1.8%

【台東区居住年数別】

台東区での居住年数に関わらず、「日本の文化、生活習慣を理解する」「挨拶や言葉を交わす」が高く、いずれも50%以上となっている。

一方で、居住年数が浅いほど、「日本語を習得するよう努める」「地域の行事や町会活動に参加する」「日本人に母国の言葉や文化を教える」がやや高い傾向がみられる。

図表 地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるために、自身が行おうと思うこと（台東区居住年数別）

上段:人数 下段:%	調査数	日本の文化、生活習慣を理解する	挨拶や言葉を交わす	日本語を習得するよう努める	地域の行事や町会活動に参加する	日本人との交流イベントに参加する	日本人に母国の言葉や文化を教える
全体	975 100.0%	630 64.6%	538 55.2%	438 44.9%	327 33.5%	319 32.7%	257 26.4%
1年未満	89 100.0%	64 71.9%	50 56.2%	48 53.9%	35 39.3%	33 37.1%	31 34.8%
1年～3年未満	354 100.0%	249 70.3%	201 56.8%	190 53.7%	129 36.4%	134 37.9%	101 28.5%
3年～5年未満	169 100.0%	111 65.7%	92 54.4%	76 45.0%	57 33.7%	64 37.9%	46 27.2%
5年～10年未満	189 100.0%	103 54.5%	99 52.4%	72 38.1%	61 32.3%	50 26.5%	43 22.8%
10年～20年未満	110 100.0%	69 62.7%	62 56.4%	34 30.9%	30 27.3%	28 25.5%	22 20.0%
20年以上	59 100.0%	30 50.8%	32 54.2%	18 30.5%	15 25.4%	9 15.3%	14 23.7%

上段:人数 下段:%	調査数	日本の生活ルール(ごみの出し方など)を教えてもらう	日本人との交流に関するボランティアとして運営に携わる	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	250 25.6%	242 24.8%	9 0.9%	74 7.6%	15 1.5%
1年未満	89 100.0%	29 32.6%	25 28.1%	-	6 6.7%	1 1.1%
1年～3年未満	354 100.0%	106 29.9%	92 26.0%	-	18 5.1%	3 0.8%
3年～5年未満	169 100.0%	42 24.9%	44 26.0%	1 0.6%	12 7.1%	3 1.8%
5年～10年未満	189 100.0%	29 15.3%	45 23.8%	4 2.1%	17 9.0%	2 1.1%
10年～20年未満	110 100.0%	33 30.0%	27 24.5%	4 3.6%	14 12.7%	2 1.8%
20年以上	59 100.0%	11 18.6%	9 15.3%	-	7 11.9%	4 6.8%

【居住地域別】

地域に関わらず、「日本の文化、生活習慣を理解する」「挨拶や言葉を交わす」が高く、いずれも50%以上となっている。

また、「金杉地区」「浅草寿地区」では「日本語を習得するよう努める」、「竹町地区」では「日本人との交流イベントに参加する」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるために、自身が行おうと思うこと（居住地域別）

上段:人数 下段:%	調査数	日本の文化、生活習慣を理解する	挨拶や言葉を交わす	日本語を習得するよう努める	地域の行事や町会活動に参加する	日本人との交流イベントに参加する	日本人に母国の言葉や文化を教える
全体	975 100.0%	630 64.6%	538 55.2%	438 44.9%	327 33.5%	319 32.7%	257 26.4%
竹町地区	40 100.0%	21 52.5%	22 55.0%	18 45.0%	13 32.5%	16 40.0%	7 17.5%
東上野地区	133 100.0%	89 66.9%	68 51.1%	61 45.9%	50 37.6%	42 31.6%	33 24.8%
上野地区	105 100.0%	72 68.6%	61 58.1%	41 39.0%	27 25.7%	23 21.9%	20 19.0%
入谷地区	211 100.0%	144 68.2%	111 52.6%	91 43.1%	66 31.3%	74 35.1%	62 29.4%
金杉地区	46 100.0%	28 60.9%	28 60.9%	25 54.3%	14 30.4%	13 28.3%	11 23.9%
谷中地区	21 100.0%	11 52.4%	13 61.9%	9 42.9%	7 33.3%	6 28.6%	5 23.8%
浅草橋地区	128 100.0%	86 67.2%	68 53.1%	53 41.4%	46 35.9%	48 37.5%	36 28.1%
浅草寿地区	104 100.0%	67 64.4%	64 61.5%	53 51.0%	39 37.5%	40 38.5%	35 33.7%
雷門地区	53 100.0%	28 52.8%	28 52.8%	23 43.4%	17 32.1%	14 26.4%	10 18.9%
馬道地区	53 100.0%	34 64.2%	30 56.6%	24 45.3%	18 34.0%	18 34.0%	12 22.6%
清川地区	67 100.0%	41 61.2%	36 53.7%	33 49.3%	24 35.8%	20 29.9%	22 32.8%

上段:人数 下段:%	調査数	日本の生活ルール(ごみの出し方など)を教えてもらう	日本人との交流に関するボランティアとして運営に携わる	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	250 25.6%	242 24.8%	9 0.9%	74 7.6%	15 1.5%
竹町地区	40 100.0%	12 30.0%	8 20.0%	2 5.0%	4 10.0%	1 2.5%
東上野地区	133 100.0%	24 18.0%	30 22.6%	1 0.8%	9 6.8%	3 2.3%
上野地区	105 100.0%	28 26.7%	18 17.1%	-	8 7.6%	2 1.9%
入谷地区	211 100.0%	54 25.6%	57 27.0%	5 2.4%	13 6.2%	2 0.9%
金杉地区	46 100.0%	15 32.6%	12 26.1%	-	5 10.9%	1 2.2%
谷中地区	21 100.0%	6 28.6%	4 19.0%	-	3 14.3%	-
浅草橋地区	128 100.0%	36 28.1%	40 31.3%	-	7 5.5%	2 1.6%
浅草寿地区	104 100.0%	28 26.9%	31 29.8%	-	10 9.6%	1 1.0%
雷門地区	53 100.0%	15 28.3%	11 20.8%	-	5 9.4%	2 3.8%
馬道地区	53 100.0%	10 18.9%	12 22.6%	-	1 1.9%	1 1.9%
清川地区	67 100.0%	17 25.4%	15 22.4%	1 1.5%	8 11.9%	-

### 第3章 外国人意識調査 調査結果の詳細

#### 【年齢別】

「18～29歳」で「日本の文化、生活習慣を理解する」が70.8%、30～59歳で「日本の文化、生活習慣を理解する」が60%台、「挨拶や言葉を交わす」が50%台と高くなっている。

図表 地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるために、自身が行おうと思うこと（年齢別）

上段:人数 下段:%	調査数	日本の文化、生活習慣を理解する	挨拶や言葉を交わす	日本語を習得するよう努める	地域の行事や町会活動に参加する	日本人との交流イベントに参加する	日本人に母国の言葉や文化を教える
全体	975 100.0%	630 64.6%	538 55.2%	438 44.9%	327 33.5%	319 32.7%	257 26.4%
18～29歳	233 100.0%	165 70.8%	111 47.6%	107 45.9%	75 32.2%	76 32.6%	62 26.6%
30～39歳	385 100.0%	251 65.2%	223 57.9%	183 47.5%	137 35.6%	142 36.9%	110 28.6%
40～49歳	185 100.0%	113 61.1%	109 58.9%	87 47.0%	71 38.4%	62 33.5%	51 27.6%
50～59歳	103 100.0%	70 68.0%	60 58.3%	46 44.7%	34 33.0%	30 29.1%	27 26.2%
60～69歳	47 100.0%	21 44.7%	22 46.8%	11 23.4%	6 12.8%	6 12.8%	5 10.6%
70歳以上	19 100.0%	7 36.8%	13 68.4%	4 21.1%	3 15.8%	1 5.3%	1 5.3%

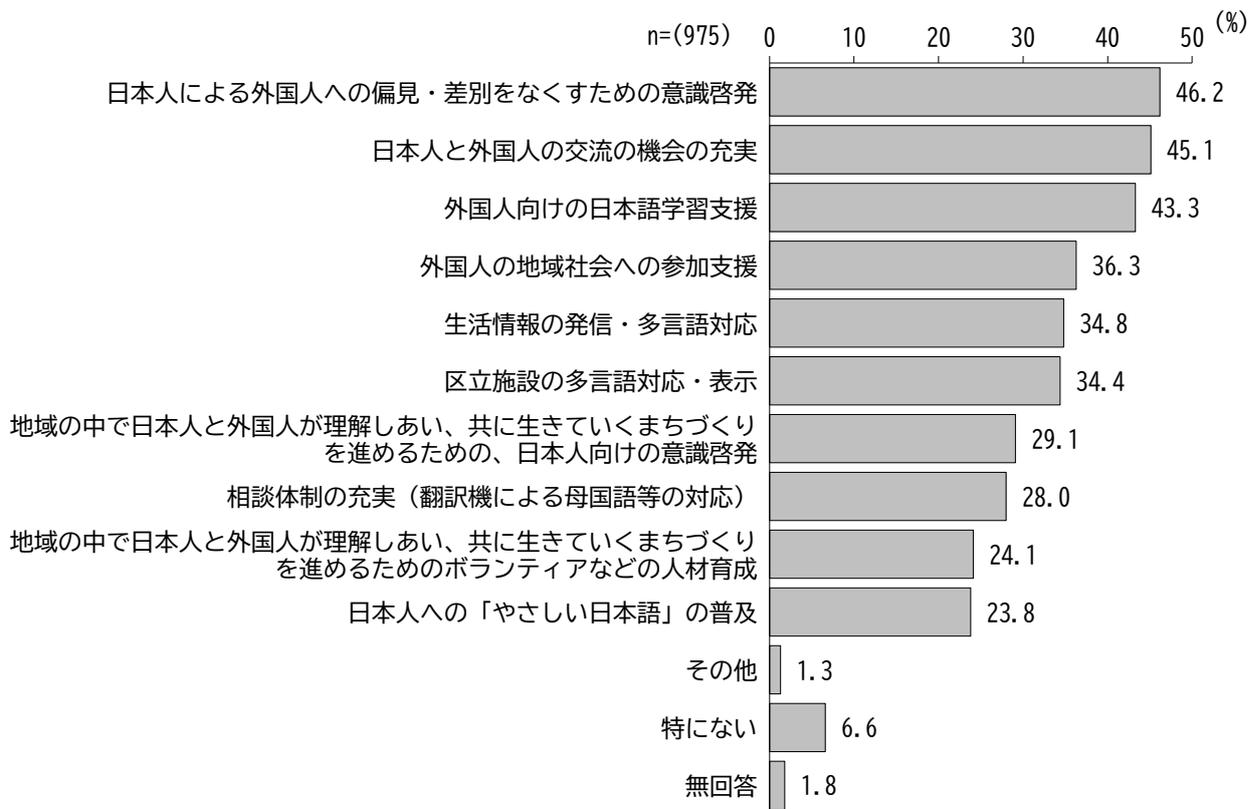
上段:人数 下段:%	調査数	日本の生活ルール(ごみの出し方など)を教えてもらう	日本人との交流に関するボランティアとして運営に携わる	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	250 25.6%	242 24.8%	9 0.9%	74 7.6%	15 1.5%
18～29歳	233 100.0%	58 24.9%	57 24.5%	-	15 6.4%	2 0.9%
30～39歳	385 100.0%	98 25.5%	97 25.2%	4 1.0%	33 8.6%	2 0.5%
40～49歳	185 100.0%	46 24.9%	51 27.6%	1 0.5%	11 5.9%	2 1.1%
50～59歳	103 100.0%	33 32.0%	26 25.2%	4 3.9%	6 5.8%	3 2.9%
60～69歳	47 100.0%	11 23.4%	8 17.0%	-	5 10.6%	4 8.5%
70歳以上	19 100.0%	3 15.8%	-	-	4 21.1%	2 10.5%

(10) 台東区が力を入れるべきだと思うこと

問40 地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるために、台東区が力を入れるべきだと思うことは何ですか。(当てはまるもの全てに○)

「日本人による外国人への偏見・差別をなくすための意識啓発」(46.2%)が最も高く、次いで、「日本人と外国人の交流の機会の充実」(45.1%)、「外国人向けの日本語学習支援」(43.3%)、「外国人の地域社会への参加支援」(36.3%)となっている。

図表 台東区が力を入れるべきだと思うこと(複数回答)



【国籍別】

「アメリカ」では、「日本人と外国人の交流の機会の充実」「外国人の地域社会への参加支援」「地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるための、日本人向けの意識啓発」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

また、「ベトナム」「フィリピン」「その他」では「外国人向けの日本語学習支援」が全体平均と比較して5ポイント以上高く、「フィリピン」では「生活情報の発信・多言語対応」「区立施設の多言語対応・表示」「日本人への『やさしい日本語』の普及」も高くなっている。

図表 台東区が力を入れるべきだと思うこと（国籍別）

上段:人数 下段:%	調査数	日本人による外国人への偏見・差別をなくすための意識啓発	日本人と外国人の交流の機会の充実	外国人向けの日本語学習支援	外国人の地域社会への参加支援	生活情報の発信・多言語対応	区立施設の多言語対応・表示	地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるための、日本人向けの意識啓発
全体	975 100.0%	450 46.2%	440 45.1%	422 43.3%	354 36.3%	339 34.8%	335 34.4%	284 29.1%
中国	472 100.0%	220 46.6%	228 48.3%	189 40.0%	173 36.7%	163 34.5%	151 32.0%	128 27.1%
韓国	92 100.0%	42 45.7%	35 38.0%	19 20.7%	36 39.1%	19 20.7%	18 19.6%	25 27.2%
ベトナム	41 100.0%	19 46.3%	11 26.8%	23 56.1%	11 26.8%	18 43.9%	20 48.8%	10 24.4%
フィリピン	59 100.0%	27 45.8%	24 40.7%	34 57.6%	21 35.6%	28 47.5%	34 57.6%	22 37.3%
台湾	49 100.0%	21 42.9%	18 36.7%	14 28.6%	17 34.7%	12 24.5%	5 10.2%	12 24.5%
アメリカ	35 100.0%	15 42.9%	20 57.1%	17 48.6%	15 42.9%	14 40.0%	11 31.4%	16 45.7%
その他	224 100.0%	104 46.4%	104 46.4%	124 55.4%	80 35.7%	84 37.5%	94 42.0%	71 31.7%

上段:人数 下段:%	調査数	相談体制の充実(翻訳機による母国語等の対応)	地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるためのボランティアなどの人材育成	日本人への「やさしい日本語」の普及	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	273 28.0%	235 24.1%	232 23.8%	13 1.3%	64 6.6%	18 1.8%
中国	472 100.0%	127 26.9%	126 26.7%	95 20.1%	3 0.6%	28 5.9%	5 1.1%
韓国	92 100.0%	16 17.4%	14 15.2%	9 9.8%	2 2.2%	9 9.8%	5 5.4%
ベトナム	41 100.0%	16 39.0%	8 19.5%	7 17.1%	-	2 4.9%	1 2.4%
フィリピン	59 100.0%	20 33.9%	16 27.1%	29 49.2%	-	1 1.7%	3 5.1%
台湾	49 100.0%	12 24.5%	6 12.2%	7 14.3%	-	8 16.3%	-
アメリカ	35 100.0%	10 28.6%	9 25.7%	5 14.3%	2 5.7%	3 8.6%	-
その他	224 100.0%	72 32.1%	56 25.0%	78 34.8%	6 2.7%	13 5.8%	4 1.8%

【台東区居住年数別】

「日本人による外国人への偏見・差別をなくすための意識啓発」「日本人と外国人の交流の機会の充実」は居住年数が浅いほど、割合が高い傾向にある。

図表 台東区が力を入れるべきだと思うこと（台東区居住年数別）

上段:人数 下段:%	調査数	日本人による外国人への偏見・差別をなくすための意識啓発	日本人と外国人の交流の機会の充実	外国人向けの日本語学習支援	外国人の地域社会への参加支援	生活情報の発信・多言語対応	区立施設の多言語対応・表示	地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるための、日本人向けの意識啓発
全体	975 100.0%	450 46.2%	440 45.1%	422 43.3%	354 36.3%	339 34.8%	335 34.4%	284 29.1%
1年未満	89 100.0%	47 52.8%	46 51.7%	46 51.7%	30 33.7%	38 42.7%	39 43.8%	21 23.6%
1年～3年未満	354 100.0%	174 49.2%	180 50.8%	173 48.9%	137 38.7%	140 39.5%	123 34.7%	112 31.6%
3年～5年未満	169 100.0%	84 49.7%	78 46.2%	64 37.9%	60 35.5%	58 34.3%	57 33.7%	55 32.5%
5年～10年未満	189 100.0%	82 43.4%	84 44.4%	76 40.2%	72 38.1%	48 25.4%	56 29.6%	56 29.6%
10年～20年未満	110 100.0%	46 41.8%	37 33.6%	46 41.8%	36 32.7%	36 32.7%	39 35.5%	25 22.7%
20年以上	59 100.0%	17 28.8%	15 25.4%	15 25.4%	17 28.8%	19 32.2%	20 33.9%	14 23.7%

上段:人数 下段:%	調査数	相談体制の充実(翻訳機による母国語等の対応)	地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるためのボランティアなどの人材育成	日本人への「やさしい日本語」の普及	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	273 28.0%	235 24.1%	232 23.8%	13 1.3%	64 6.6%	18 1.8%
1年未満	89 100.0%	25 28.1%	22 24.7%	28 31.5%	1 1.1%	5 5.6%	1 1.1%
1年～3年未満	354 100.0%	99 28.0%	95 26.8%	93 26.3%	2 0.6%	17 4.8%	4 1.1%
3年～5年未満	169 100.0%	41 24.3%	38 22.5%	38 22.5%	1 0.6%	11 6.5%	4 2.4%
5年～10年未満	189 100.0%	58 30.7%	42 22.2%	32 16.9%	5 2.6%	14 7.4%	2 1.1%
10年～20年未満	110 100.0%	36 32.7%	26 23.6%	29 26.4%	2 1.8%	10 9.1%	1 0.9%
20年以上	59 100.0%	14 23.7%	12 20.3%	12 20.3%	2 3.4%	7 11.9%	6 10.2%

【台東区の暮らしやすさ別】

台東区が暮らしやすいと感じる人（「とても暮らしやすい」「暮らしやすい」の合計）は、「あまり暮らしやすくない」人と比較すると、「日本人による外国人への偏見・差別をなくすための意識啓発」「日本人と外国人の交流の機会の充実」「外国人の地域社会への参加支援」「生活情報の発信・多言語対応」の割合が高い。

図表 台東区が力を入れるべきだと思うこと（台東区の暮らしやすさ別）

上段:人数 下段:%	調査数	日本人による外国人への偏見・差別をなくすための意識啓発	日本人と外国人の交流の機会の充実	外国人向けの日本語学習支援	外国人の地域社会への参加支援	生活情報の発信・多言語対応	区立施設の多言語対応・表示	地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるための、日本人向けの意識啓発
全体	975 100.0%	450 46.2%	440 45.1%	422 43.3%	354 36.3%	339 34.8%	335 34.4%	284 29.1%
とても暮らしやすい	383 100.0%	166 43.3%	173 45.2%	157 41.0%	143 37.3%	125 32.6%	125 32.6%	112 29.2%
暮らしやすい	493 100.0%	234 47.5%	234 47.5%	226 45.8%	178 36.1%	183 37.1%	178 36.1%	142 28.8%
あまり暮らしやすくない	31 100.0%	9 29.0%	9 29.0%	13 41.9%	7 22.6%	8 25.8%	12 38.7%	8 25.8%
暮らしにくい	3 100.0%	2 66.7%	2 66.7%	- -	- -	- -	- -	1 33.3%
どちらともいえない	61 100.0%	37 60.7%	20 32.8%	24 39.3%	23 37.7%	21 34.4%	17 27.9%	19 31.1%

上段:人数 下段:%	調査数	相談体制の充実(翻訳機による母国語等の対応)	地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるためのボランティアなどの人材育成	日本人への「やさしい日本語」の普及	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	273 28.0%	235 24.1%	232 23.8%	13 1.3%	64 6.6%	18 1.8%
とても暮らしやすい	383 100.0%	115 30.0%	93 24.3%	95 24.8%	4 1.0%	27 7.0%	6 1.6%
暮らしやすい	493 100.0%	135 27.4%	119 24.1%	112 22.7%	6 1.2%	30 6.1%	10 2.0%
あまり暮らしやすくない	31 100.0%	6 19.4%	5 16.1%	9 29.0%	2 6.5%	- -	1 3.2%
暮らしにくい	3 100.0%	- -	1 33.3%	- -	- -	- -	- -
どちらともいえない	61 100.0%	16 26.2%	15 24.6%	14 23.0%	1 1.6%	7 11.5%	1 1.6%

【年齢別】

年齢が若いほど「日本人による外国人への偏見・差別をなくすための意識啓発」の割合が高い。また、「40～49歳」で「外国人の地域社会への参加支援」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 台東区が力を入れるべきだと思うこと（年齢別）

上段:人数 下段:%	調査数	日本人による外国人への偏見・差別をなくすための意識啓発	日本人と外国人の交流の機会の充実	外国人向けの日本語学習支援	外国人の地域社会への参加支援	生活情報の発信・多言語対応	区立施設の多言語対応・表示	地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるための、日本人向けの意識啓発
全体	975 100.0%	450 46.2%	440 45.1%	422 43.3%	354 36.3%	339 34.8%	335 34.4%	284 29.1%
18～29歳	233 100.0%	114 48.9%	113 48.5%	93 39.9%	69 29.6%	90 38.6%	81 34.8%	64 27.5%
30～39歳	385 100.0%	185 48.1%	183 47.5%	176 45.7%	150 39.0%	129 33.5%	133 34.5%	133 34.5%
40～49歳	185 100.0%	83 44.9%	84 45.4%	91 49.2%	81 43.8%	61 33.0%	68 36.8%	49 26.5%
50～59歳	103 100.0%	44 42.7%	48 46.6%	45 43.7%	37 35.9%	40 38.8%	37 35.9%	25 24.3%
60～69歳	47 100.0%	17 36.2%	9 19.1%	12 25.5%	11 23.4%	12 25.5%	11 23.4%	9 19.1%
70歳以上	19 100.0%	5 26.3%	3 15.8%	3 15.8%	5 26.3%	6 31.6%	3 15.8%	4 21.1%

上段:人数 下段:%	調査数	相談体制の充実(翻訳機による母国語等の対応)	地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるためのボランティアなどの人材育成	日本人への「やさしい日本語」の普及	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	273 28.0%	235 24.1%	232 23.8%	13 1.3%	64 6.6%	18 1.8%
18～29歳	233 100.0%	62 26.6%	56 24.0%	53 22.7%	1 0.4%	16 6.9%	1 0.4%
30～39歳	385 100.0%	112 29.1%	92 23.9%	97 25.2%	7 1.8%	26 6.8%	2 0.5%
40～49歳	185 100.0%	54 29.2%	55 29.7%	51 27.6%	3 1.6%	10 5.4%	3 1.6%
50～59歳	103 100.0%	34 33.0%	24 23.3%	19 18.4%	2 1.9%	6 5.8%	3 2.9%
60～69歳	47 100.0%	10 21.3%	5 10.6%	8 17.0%	-	4 8.5%	4 8.5%
70歳以上	19 100.0%	1 5.3%	3 15.8%	2 10.5%	-	2 10.5%	5 26.3%

## 6. 地域での活動について

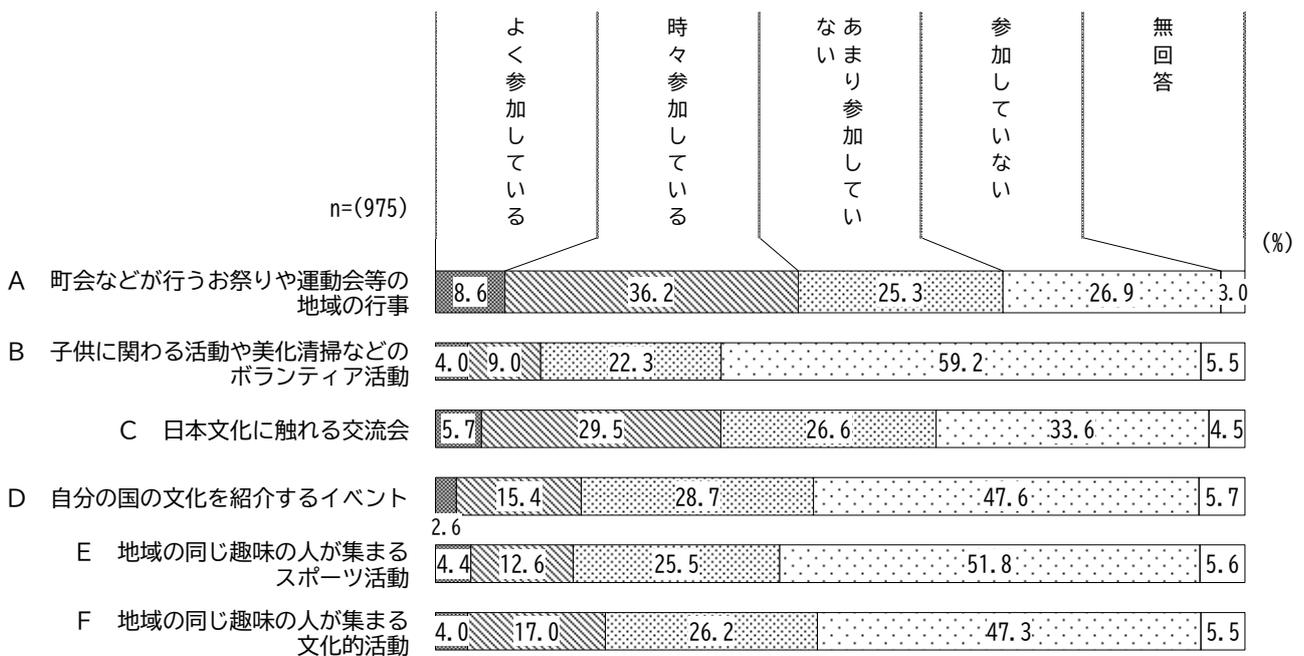
### (1) 地域活動の参加状況

問41 地域の活動に参加していますか。(それぞれひとつに○)

「よく参加している」「時々参加している」の合計の割合は、「A 町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事」(44.8%)、「C 日本文化に触れる交流会」(35.2%)、「F 地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動」(21.0%)の順に高い。

一方、「参加していない」「あまり参加していない」の合計では、「B 子供に関わる活動や美化清掃などのボランティア活動」(81.5%)が80%を超え、「E 地域の同じ趣味の人が集まるスポーツ活動」(77.3%)、「D 自分の国の文化を紹介するイベント」(76.3%)、「F 地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動」(73.5%)がいずれも70%以上となっている。

図表 地域活動の参加状況 (単一回答)



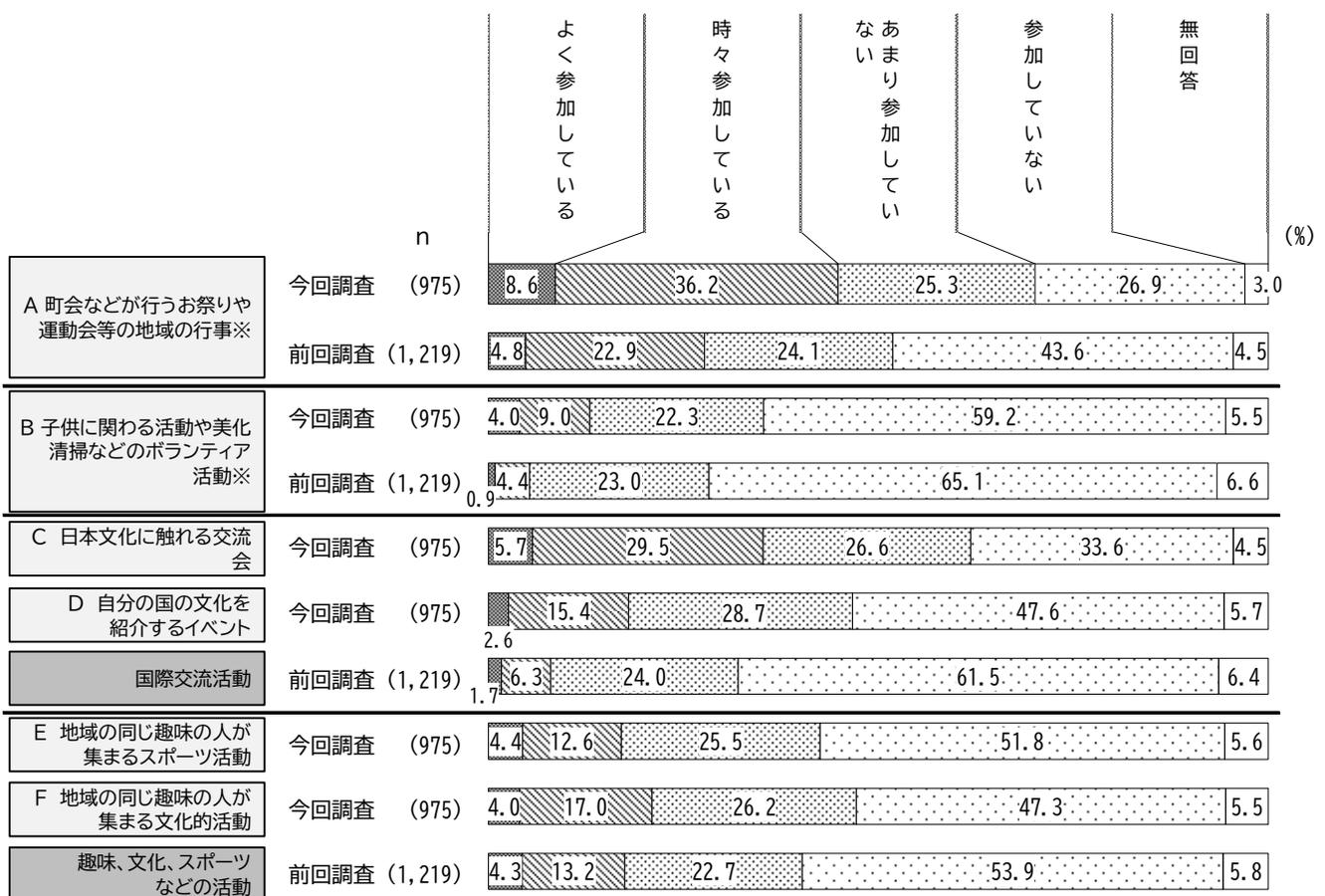
【経年比較】

前回との比較では、「A 町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事」で「時々参加している」が13.3ポイント増加し、「よく参加している」「時々参加している」の合計が17.1ポイント増加している。また、「B 子供に関わる活動や美化清掃などのボランティア活動」で「よく参加している」「時々参加している」の合計が7.7ポイント増加している。

また、前回とは項目名が異なるため参考程度にとどめるが、「C 日本文化に触れる交流会」「D 自分の国の文化を紹介するイベント」は前回の「国際交流活動」と比較すると、「よく参加している」「時々参加している」の合計が増加している。

「E 地域の同じ趣味の人が集まるスポーツ活動」「F 地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動」は前回の「趣味、文化、スポーツなどの活動」と比較すると、「F 地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動」のみ「よく参加している」「時々参加している」の合計がやや増加している傾向がみられる。

図表 【経年比較】 地域活動の参加状況（単一回答）



※前回調査の設問では「A. 町会等の地域の行事（お祭り等）」「B. 地域のボランティア活動」となっていた。

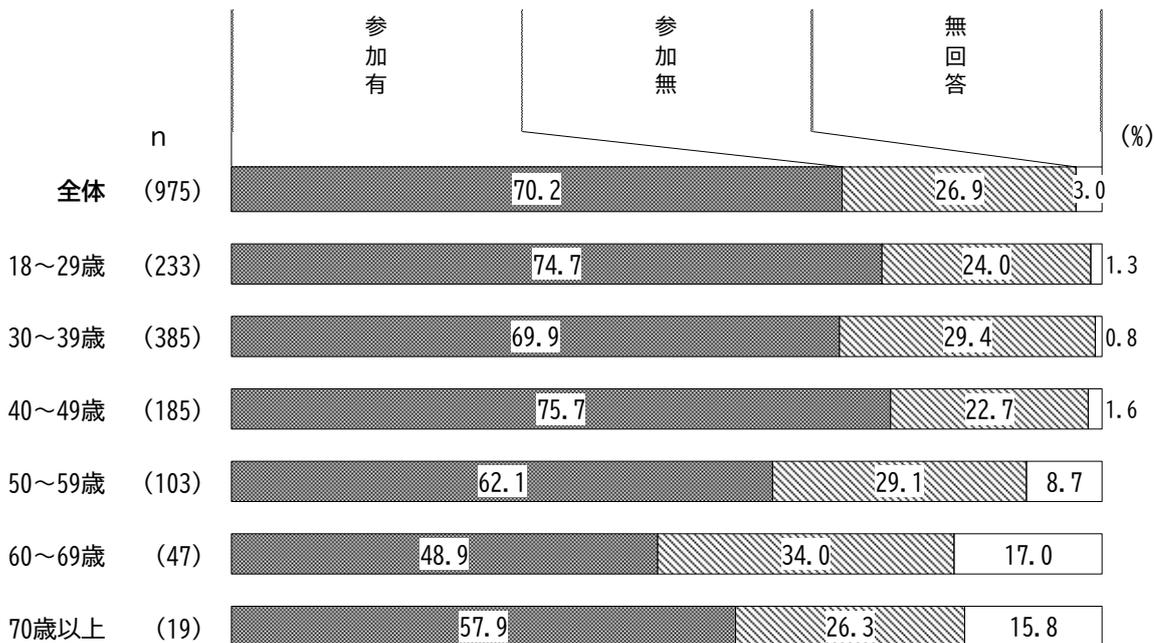
【A. 町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事】

【年齢別】

「参加有」は「18～29歳」「40～49歳」で70%台、「30～39歳」「50～59歳」で60%台、「60～69歳」で40%台となっている。

図表 地域活動の参加状況

【A. 町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事】（年齢別）



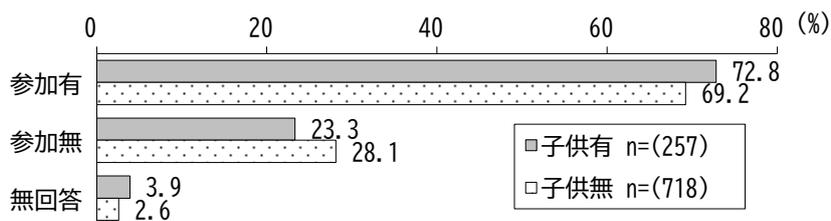
※「参加有」は「よく参加している」「時々参加している」「あまり参加していない」の計、「参加無」は「参加していない」の計として集計している（以下同様）

【子供の有無別】

特に大きな差異はみられない。

図表 地域活動の参加状況

【A. 町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事】（子供の有無別）



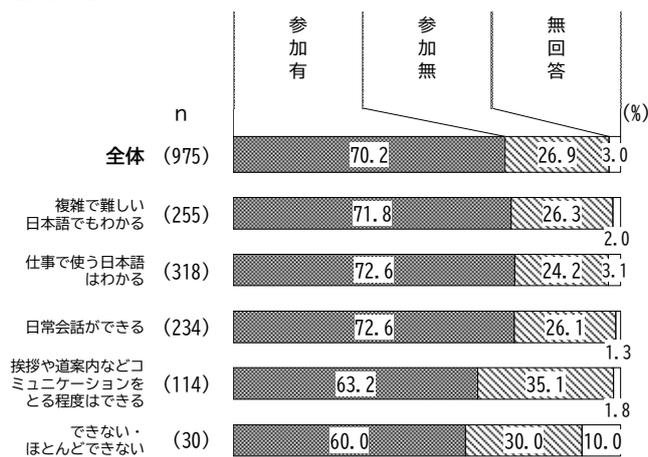
【日本語習得度別】

「聞く」「話す」「読む」「書く」いずれについても「できない・ほとんどできない」で、「参加有」が60%台と全体平均と比較して5ポイント以上低い。

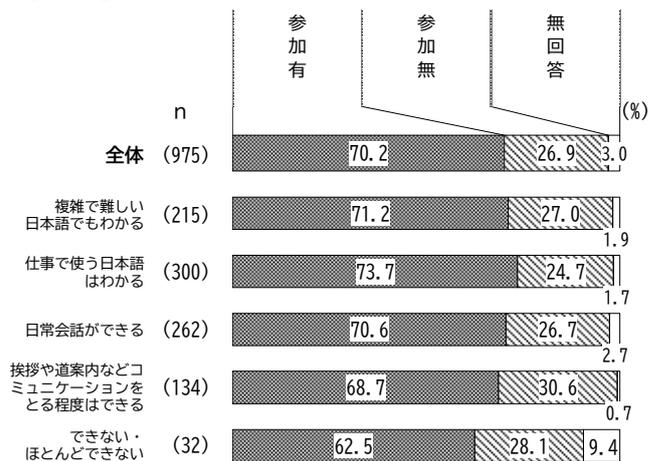
図表 地域活動の参加状況

【A. 町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事】（日本語習得度別）

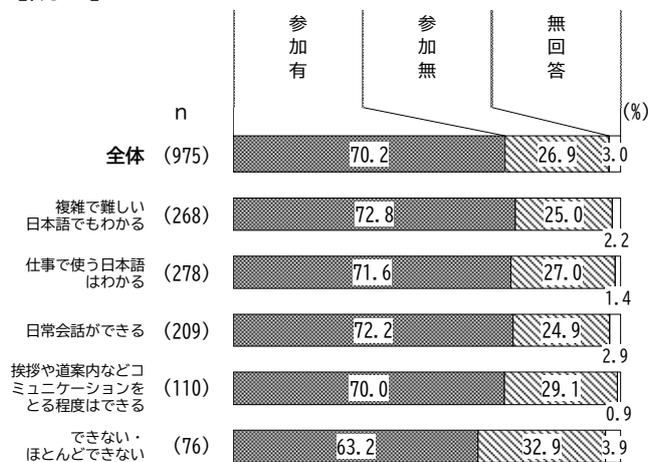
【聞く】



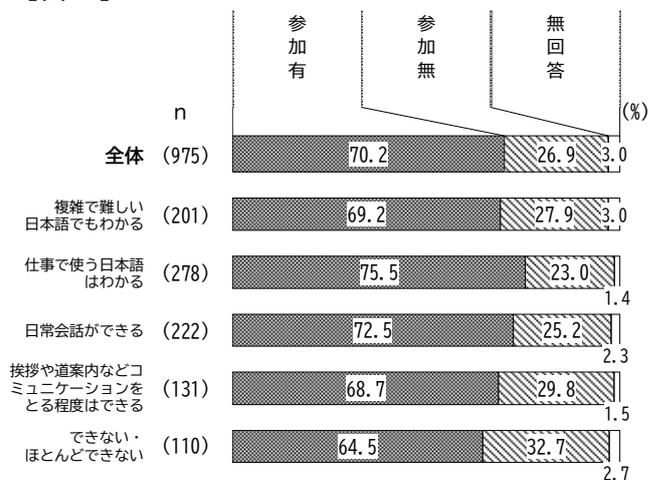
【話す】



【読む】



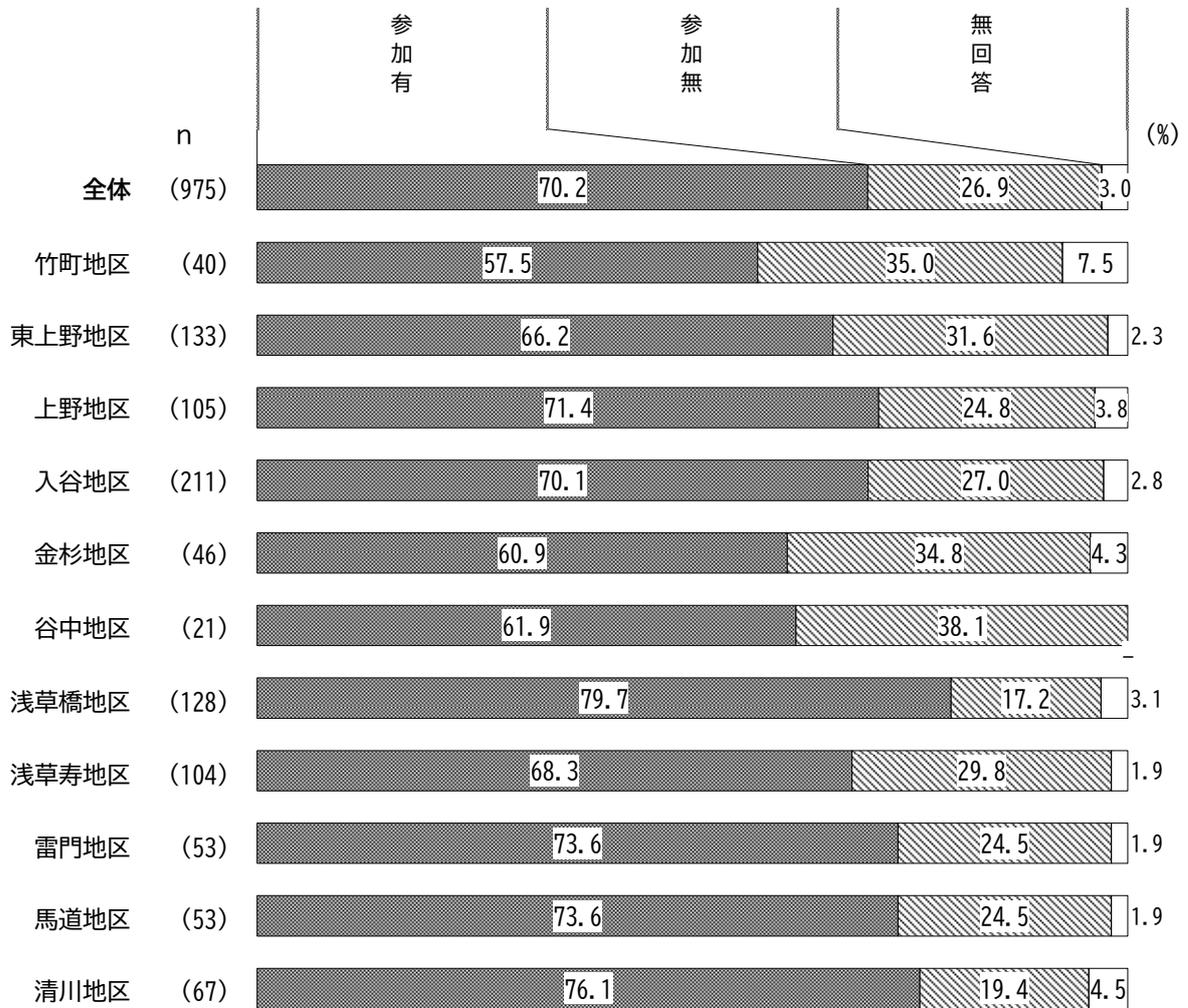
【書く】



【居住地域別】

「参加有」は「浅草橋地区」で約80%となっている一方で、「竹町地区」で57.5%と低い。

図表 地域活動の参加状況  
【A. 町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事】（居住地域別）



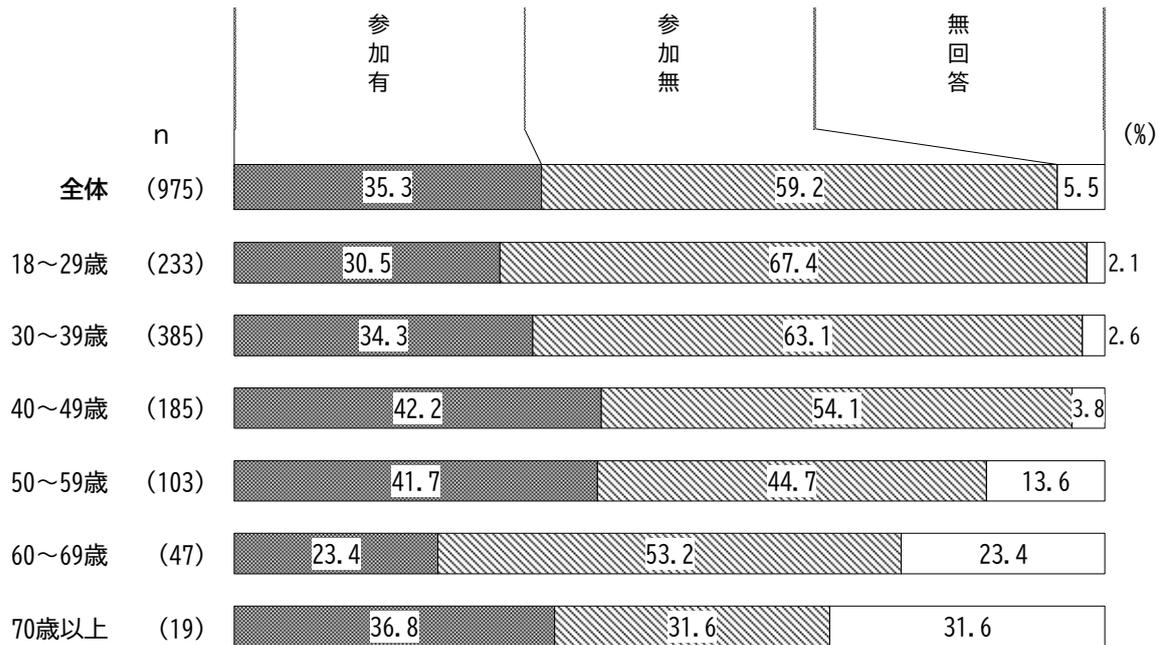
【B. 子供に関わる活動や美化清掃などのボランティア活動】

【年齢別】

「参加有」は「40～49歳」「50～59歳」で40%台、「18～29歳」「30～39歳」で30%台、「60～69歳」で20%を超えている。

図表 地域活動の参加状況

【B. 子供に関わる活動や美化清掃などのボランティア活動】（年齢別）

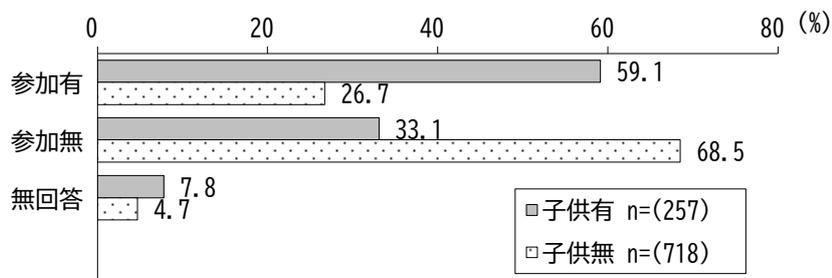


【子供の有無別】

「子供有」は「参加有」が59.1%で、「子供無」と比べて30ポイント以上高くなっている。

図表 地域活動の参加状況

【B. 子供に関わる活動や美化清掃などのボランティア活動】（子供の有無別）

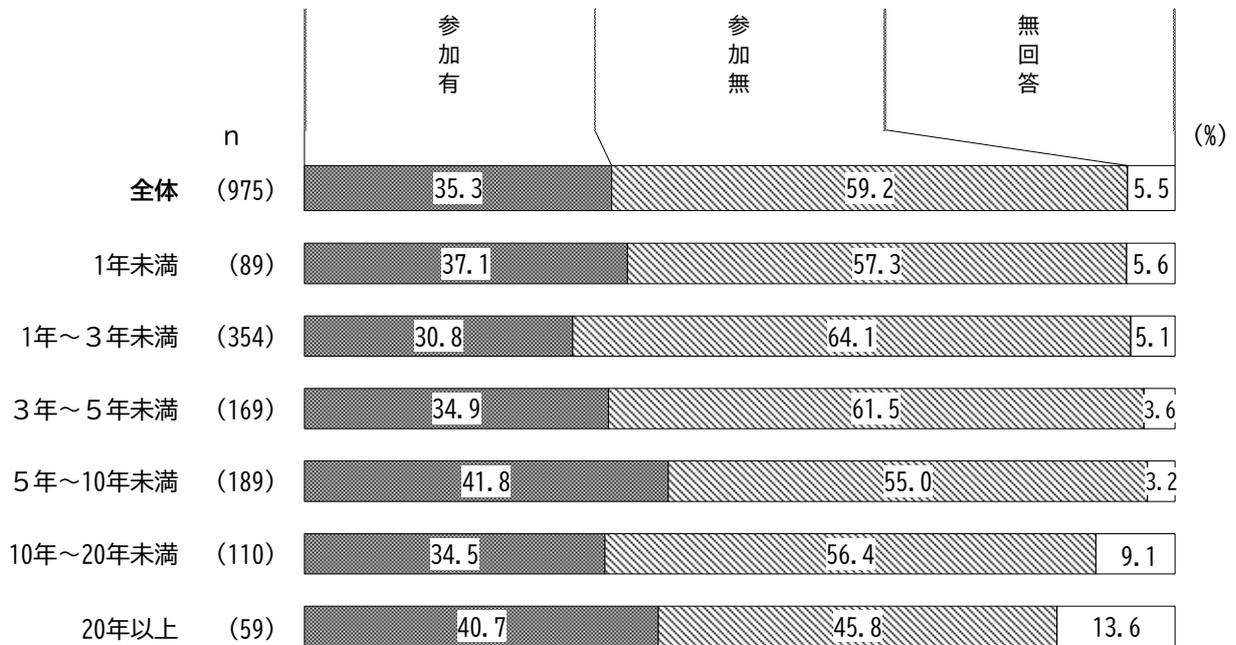


【台東区居住年数別】

すべての居住年数で「参加無」が「参加有」を上回っており、特に「1年～3年未満」「3年～5年未満」で「参加無」が60%台と高くなっている。

図表 地域活動の参加状況

【B. 子供に関わる活動や美化清掃などのボランティア活動】（台東区居住年数別）



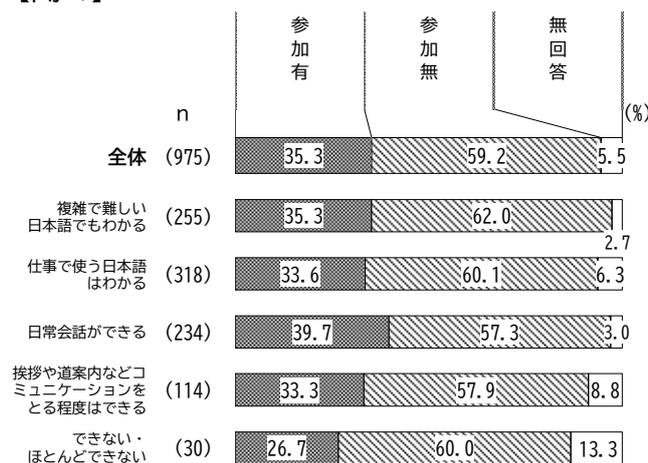
【日本語習得度別】

「聞く」が「できない・ほとんどできない」で、「参加有」が20%台半ばと低い。

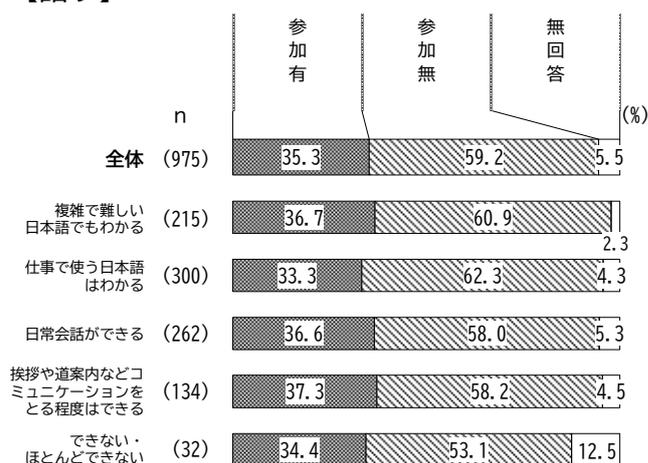
一方、「話す」「読む」「書く」では、日本語習得度別の参加状況にほとんど差異はみられない。

図表 地域活動の参加状況【B. 子供に関わる活動や美化清掃などのボランティア活動】  
(日本語習得度別)

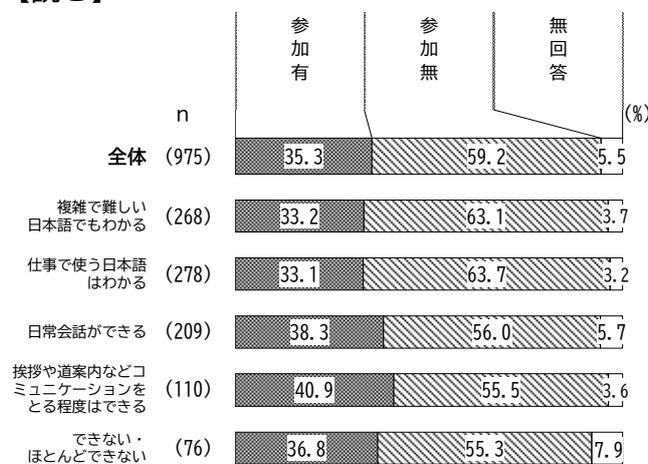
【聞く】



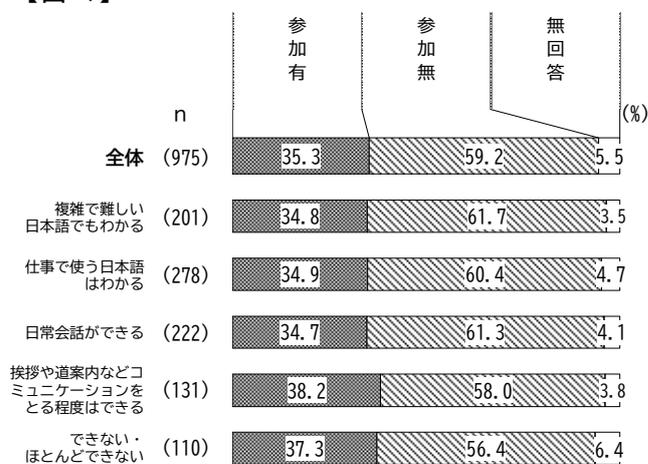
【話す】



【読む】



【書く】

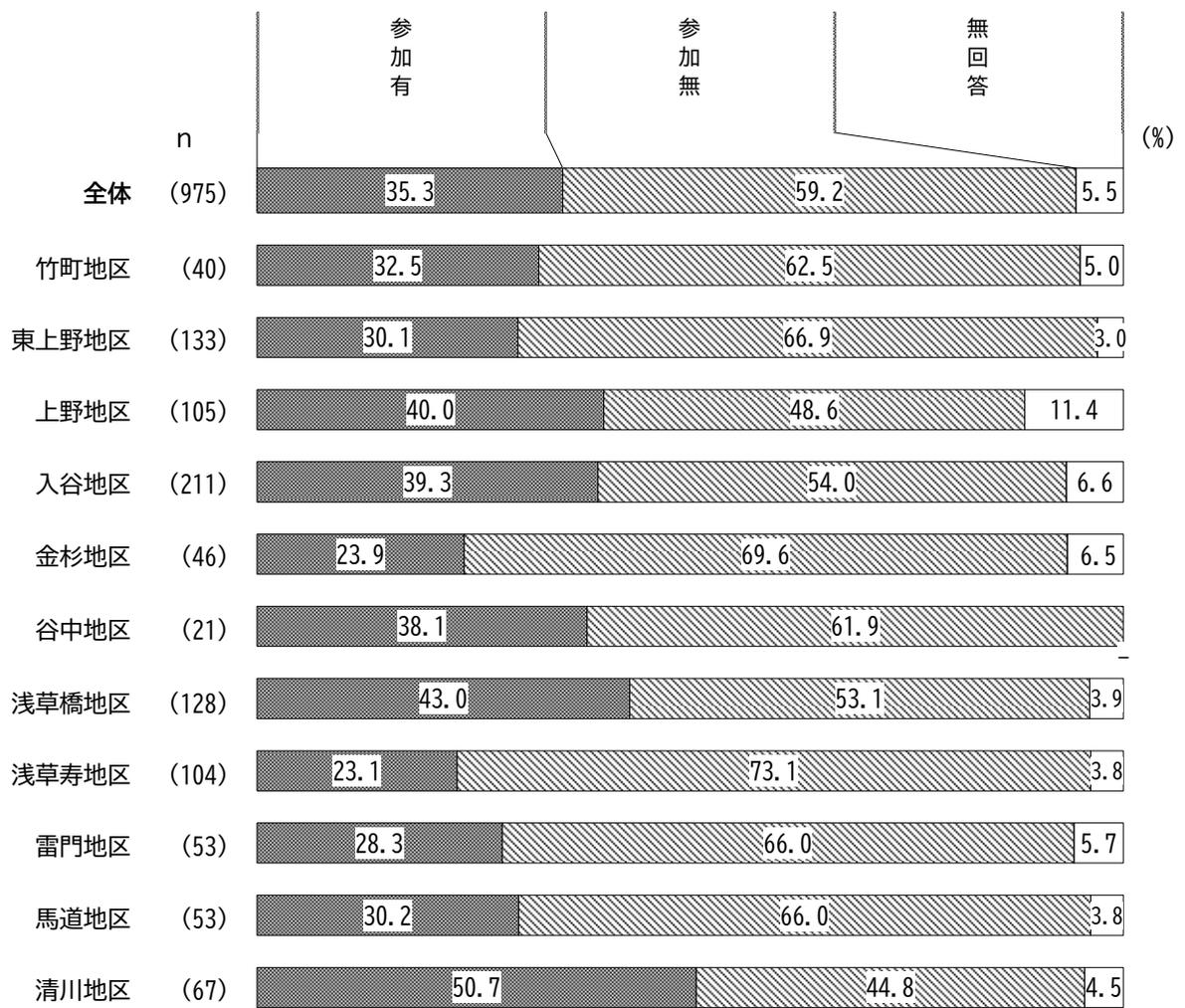


【居住地域別】

「参加有」は「清川地区」で約50%となっている一方で、「金杉地区」「浅草寿地区」「雷門地区」で20%台と低い。

図表 地域活動の参加状況

【B. 子供に関わる活動や美化清掃などのボランティア活動】（居住地域別）

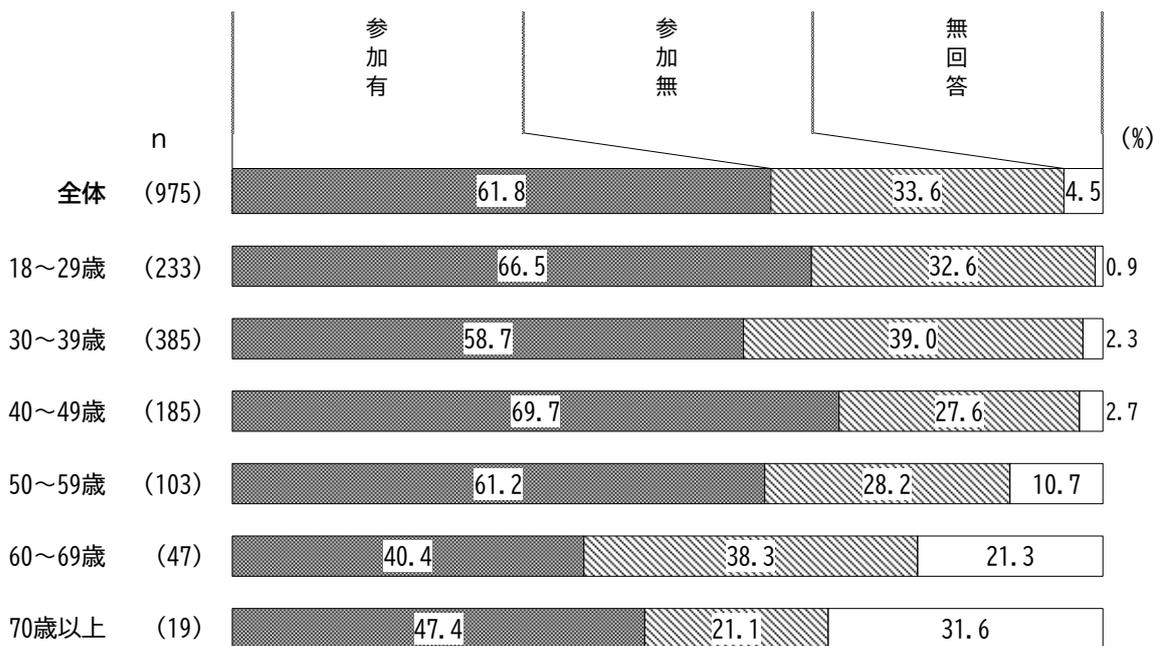


【C. 日本文化に触れる交流会】

【年齢別】

「参加有」は「18～29歳」「40～49歳」「50～59歳」で60%台であるものの、「60～69歳」では40.4%と低くなっている。

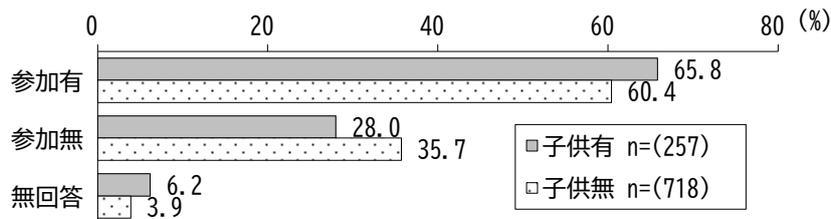
図表 地域活動の参加状況  
【C. 日本文化に触れる交流会】（年齢別）



【子供の有無別】

「子供有」「子供無」とともに60%台が「参加有」と回答しているが、「子供有」ではやや高くなっている。

図表 地域活動の参加状況  
【C. 日本文化に触れる交流会】（子供の有無別）

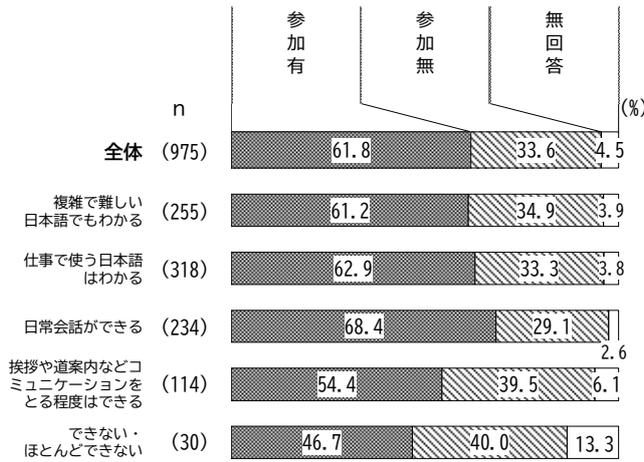


【日本語習得度別】

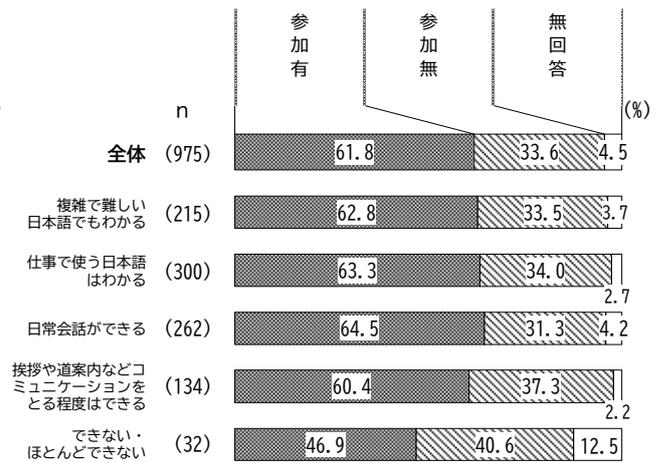
「聞く」「話す」が「できない・ほとんどできない」で「参加有」が40%台、「読む」「書く」が「できない・ほとんどできない」で「参加有」が50%台と、全体平均と比較して5ポイント以上低い。

図表 地域活動の参加状況  
【C. 日本文化に触れる交流会】(日本語習得度別)

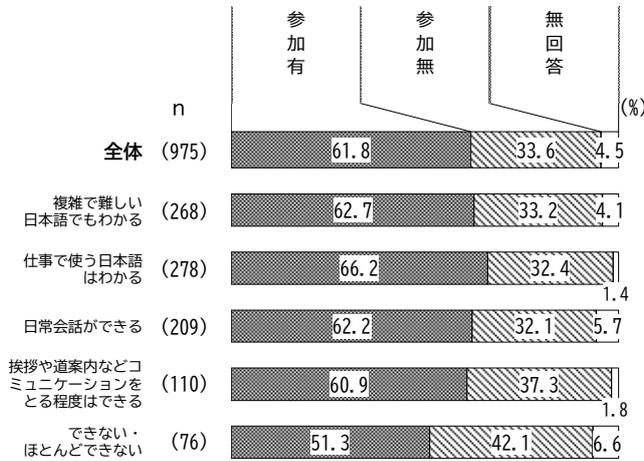
【聞く】



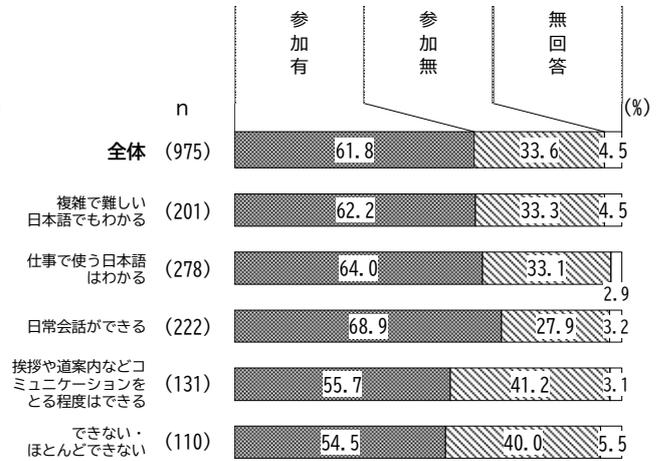
【話す】



【読む】



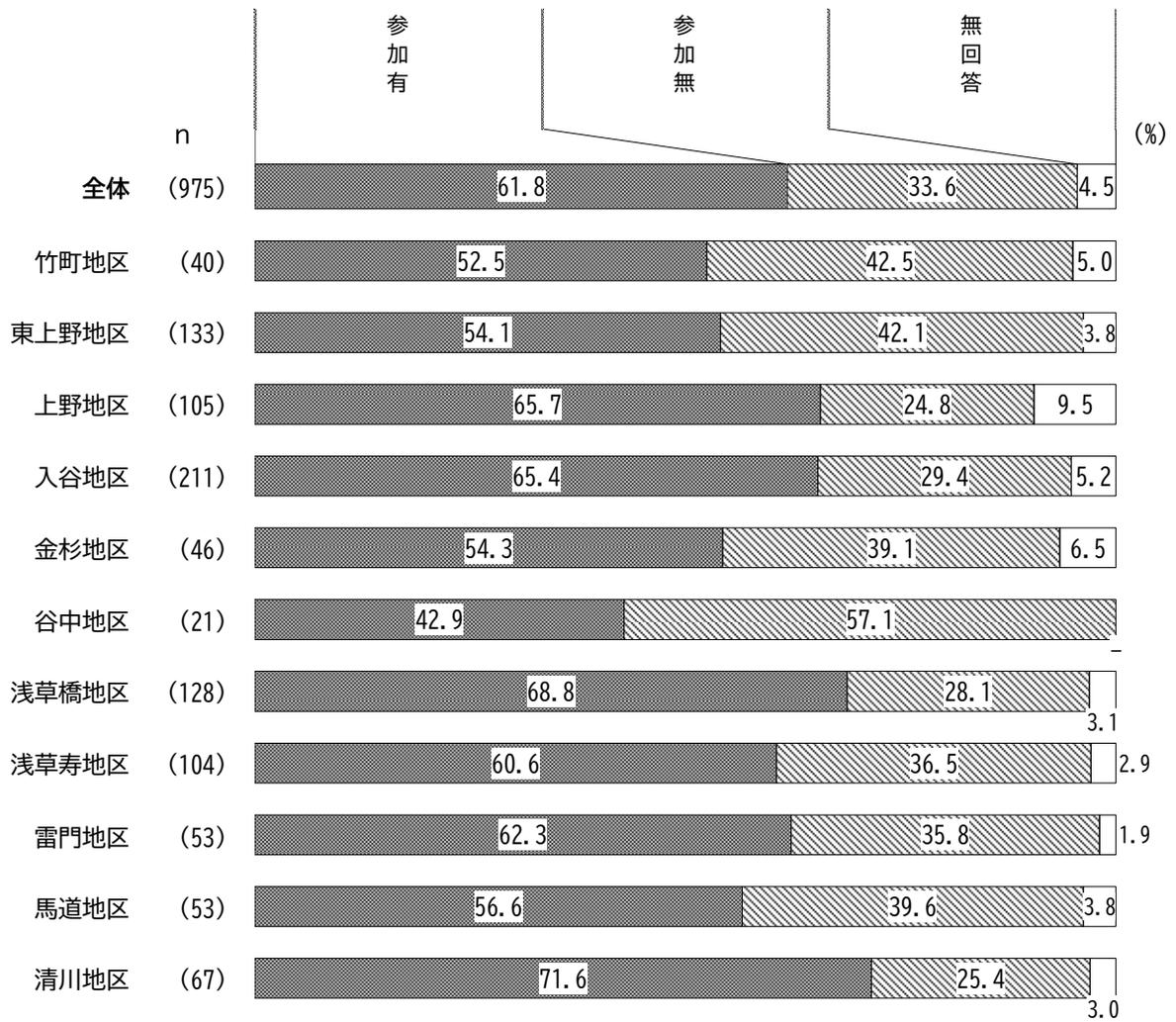
【書く】



【居住地域別】

「参加有」は「清川地区」で70%を超え、全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 地域活動の参加状況  
【C. 日本文化に触れる交流会】（居住地域別）

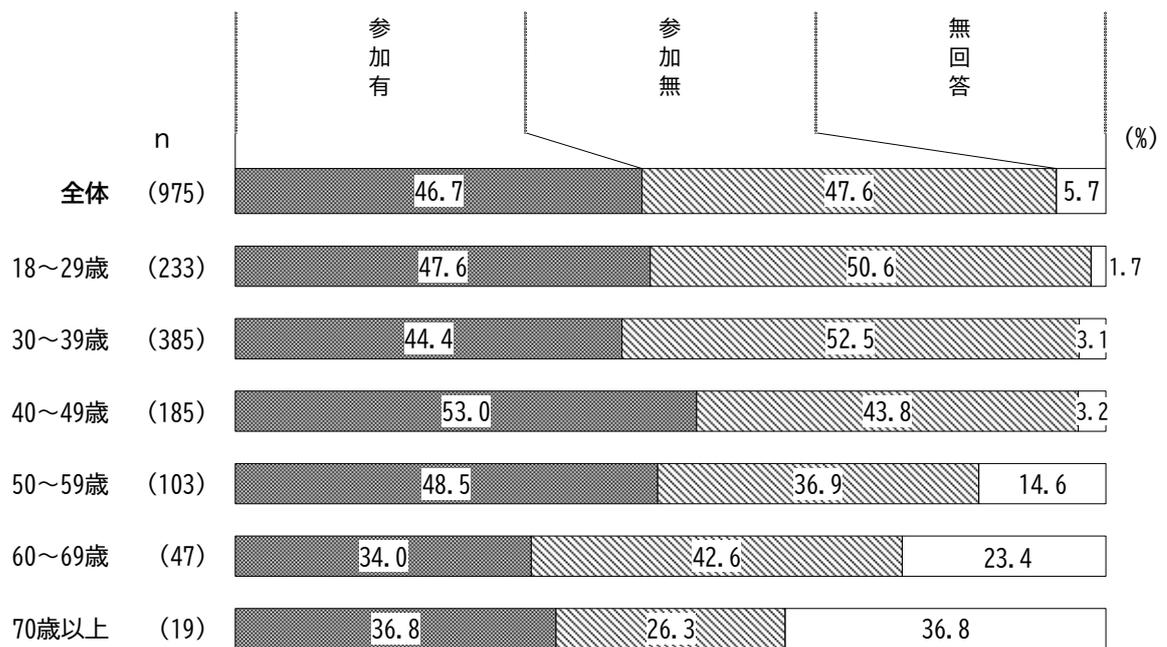


【D. 自分の国の文化を紹介するイベント】

【年齢別】

「40～49歳」「50～59歳」では「参加有」が「参加無」を上回っているものの、「18～29歳」「30～39歳」「60～69歳」では「参加無」が「参加有」を上回っている。

図表 地域活動の参加状況  
【D. 自分の国の文化を紹介するイベント】（年齢別）



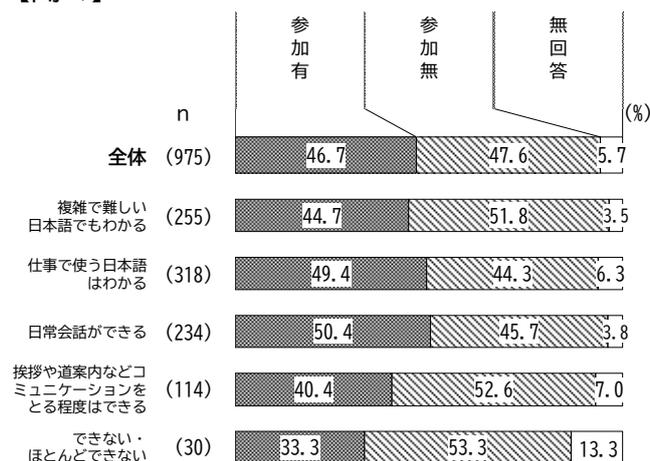
【日本語習得度別】

「聞く」「話す」が「できない・ほとんどできない」で、「参加有」が30%台と低い。  
一方、「読む」「書く」では、日本語習得度別の参加状況にほとんど差異はみられない。

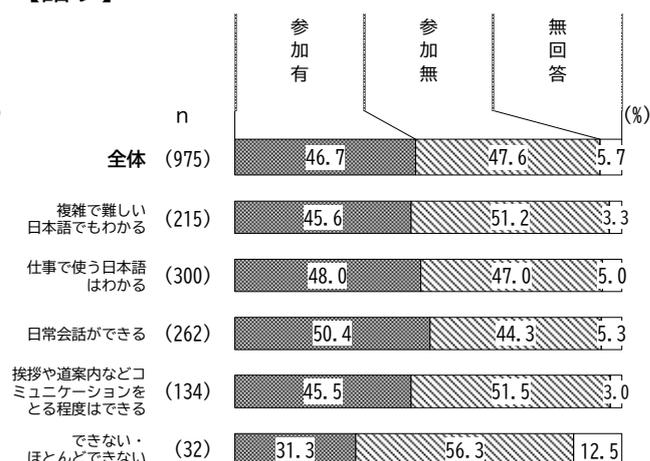
図表 地域活動の参加状況

【D. 自分の国の文化を紹介するイベント】（日本語習得度別）

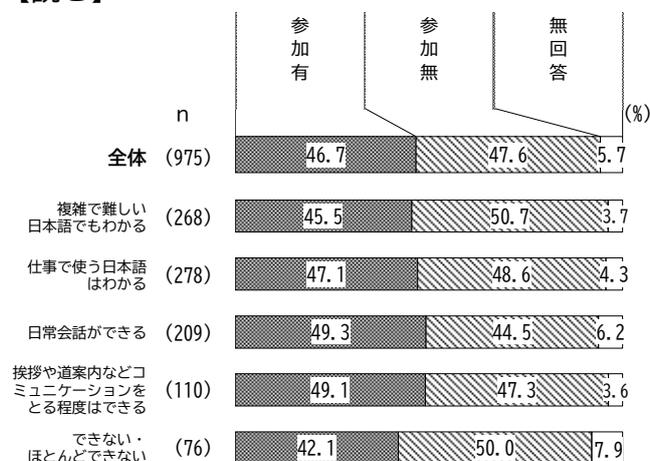
【聞く】



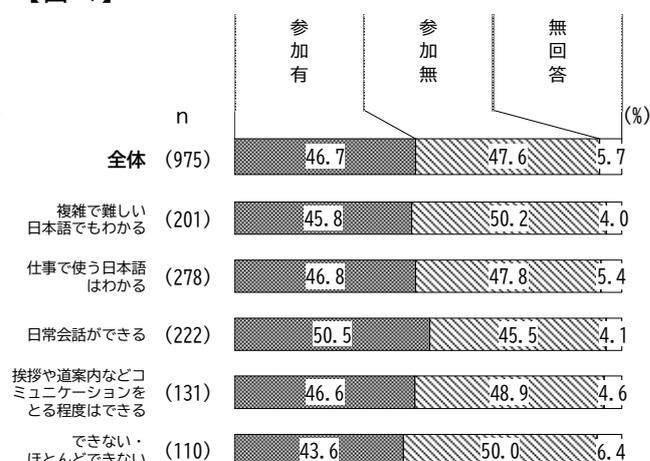
【話す】



【読む】



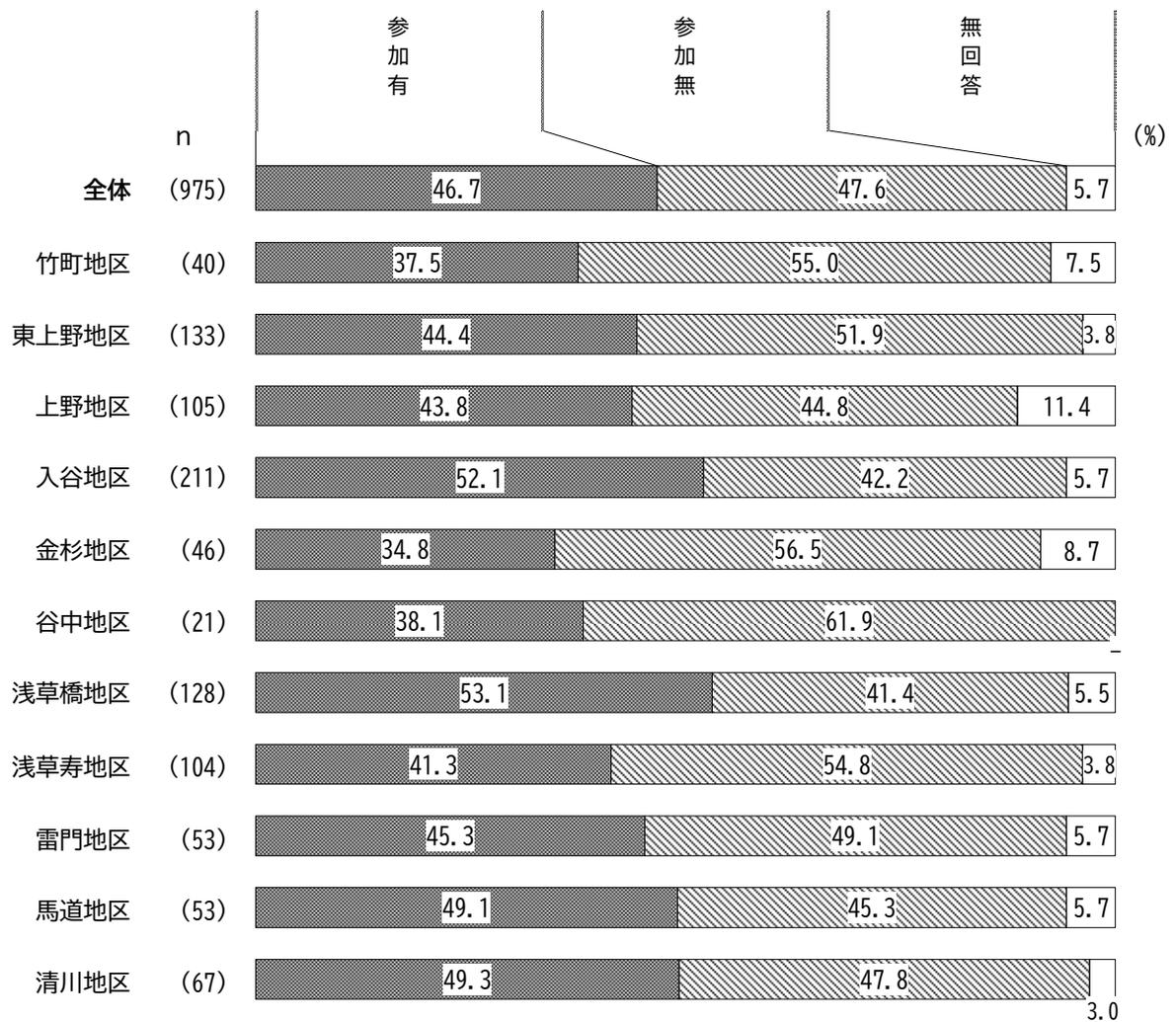
【書く】



【居住地域別】

「参加有」は「入谷地区」「浅草橋地区」で50%台と全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 地域活動の参加状況  
【D. 自分の国の文化を紹介するイベント】（居住地域別）

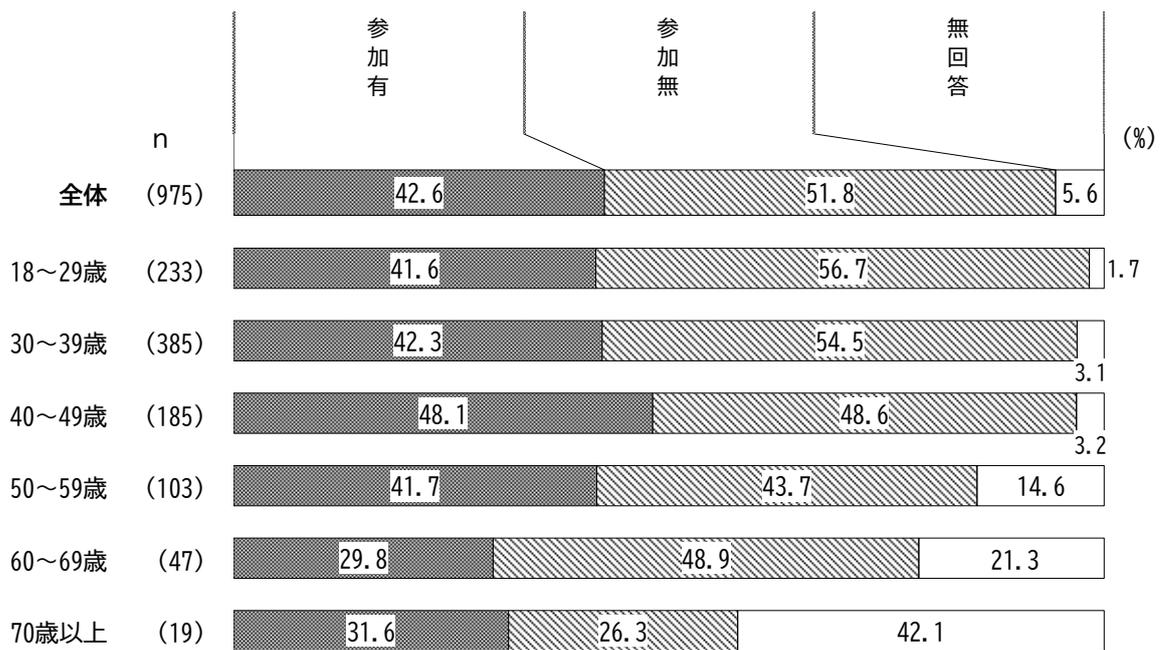


【E. 地域の同じ趣味の人が集まるスポーツ活動】

【年齢別】

すべての年代で「参加無」が「参加有」を上回っており、特に「18～29歳」「30～39歳」で「参加無」が50%台と高くなっている。

図表 地域活動の参加状況  
【E. 地域の同じ趣味の人が集まるスポーツ活動】（年齢別）



【日本語習得度別】

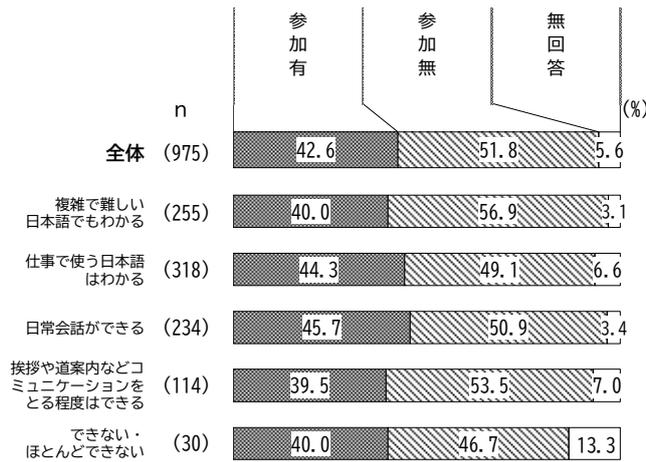
「話す」が「できない・ほとんどできない」で、「参加有」が31.3%と低い。

一方、「聞く」「読む」「書く」では、日本語習得度別の参加状況にほとんど差異はみられない。

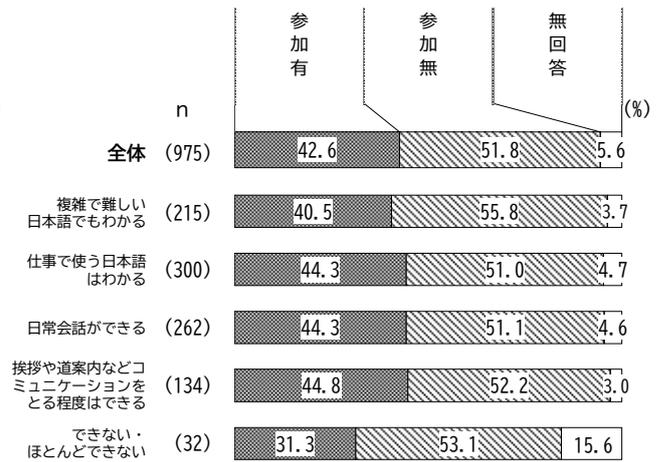
図表 地域活動の参加状況

【E. 地域の同じ趣味の人が集まるスポーツ活動】（日本語習得度別）

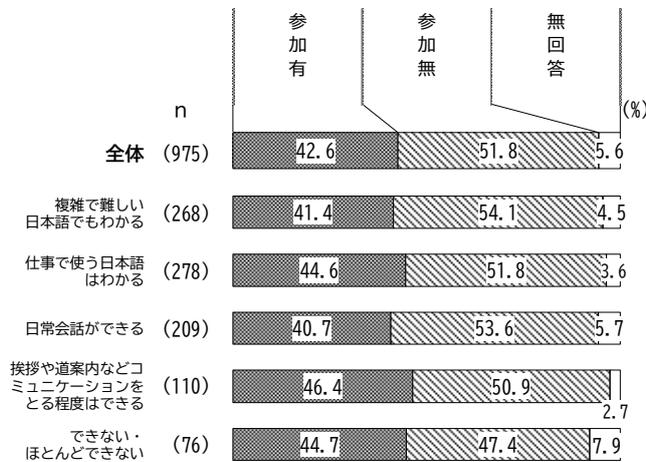
【聞く】



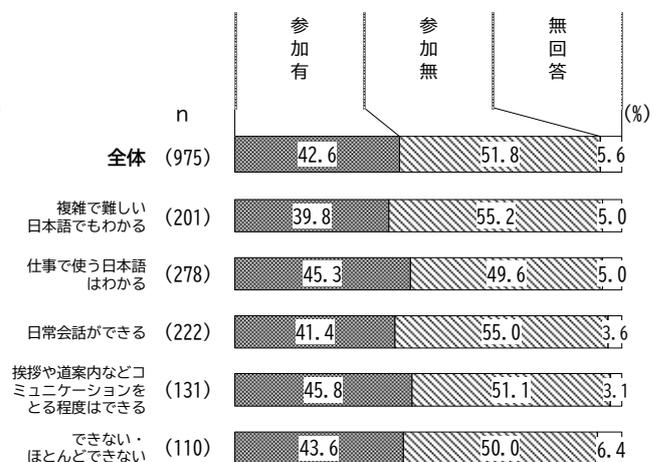
【話す】



【読む】



【書く】

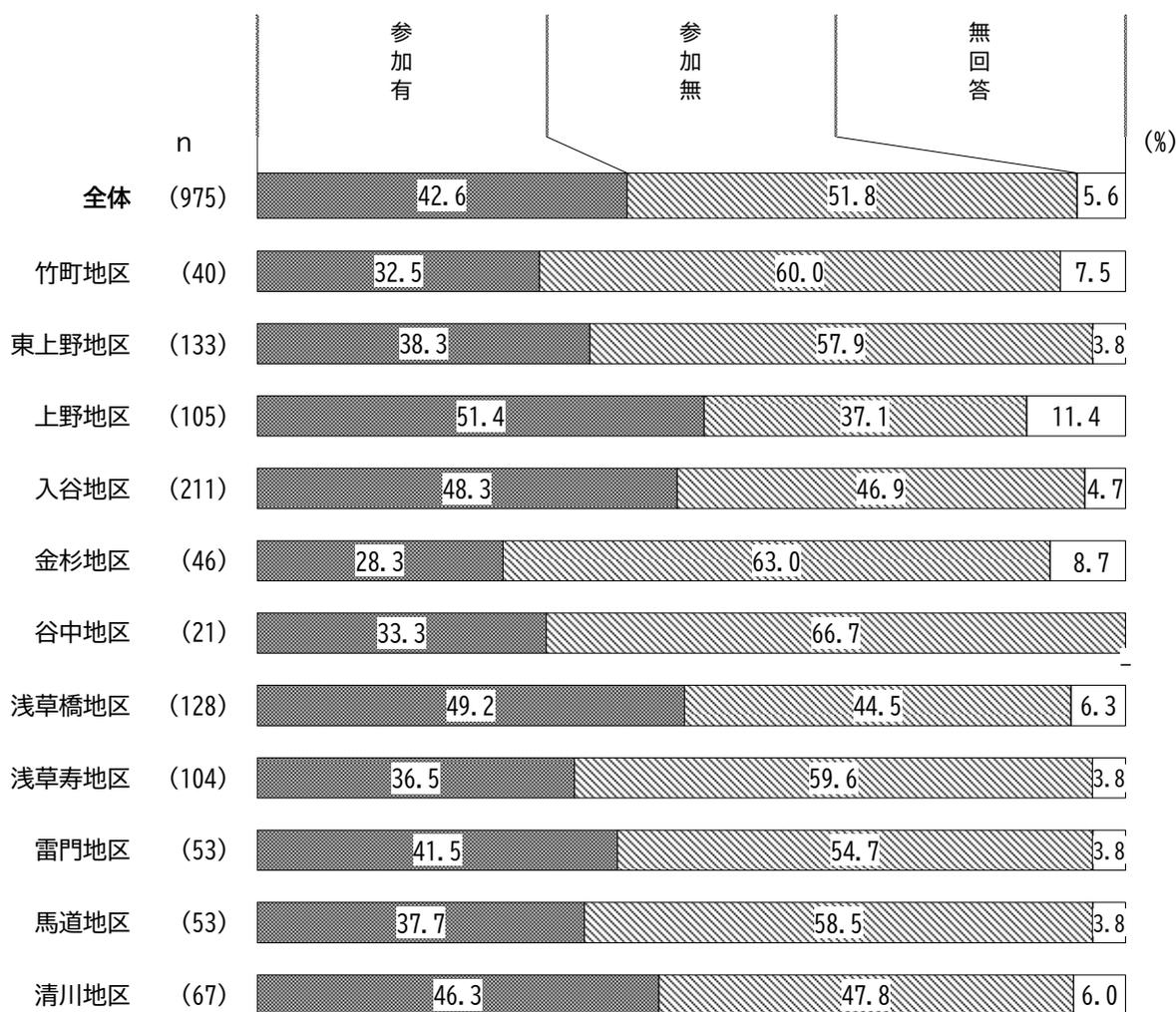


【居住地域別】

「参加有」は「上野地区」で50%を超え、「入谷地区」「浅草橋地区」で40%台と全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 地域活動の参加状況

【E. 地域の同じ趣味の人が集まるスポーツ活動】(居住地域別)

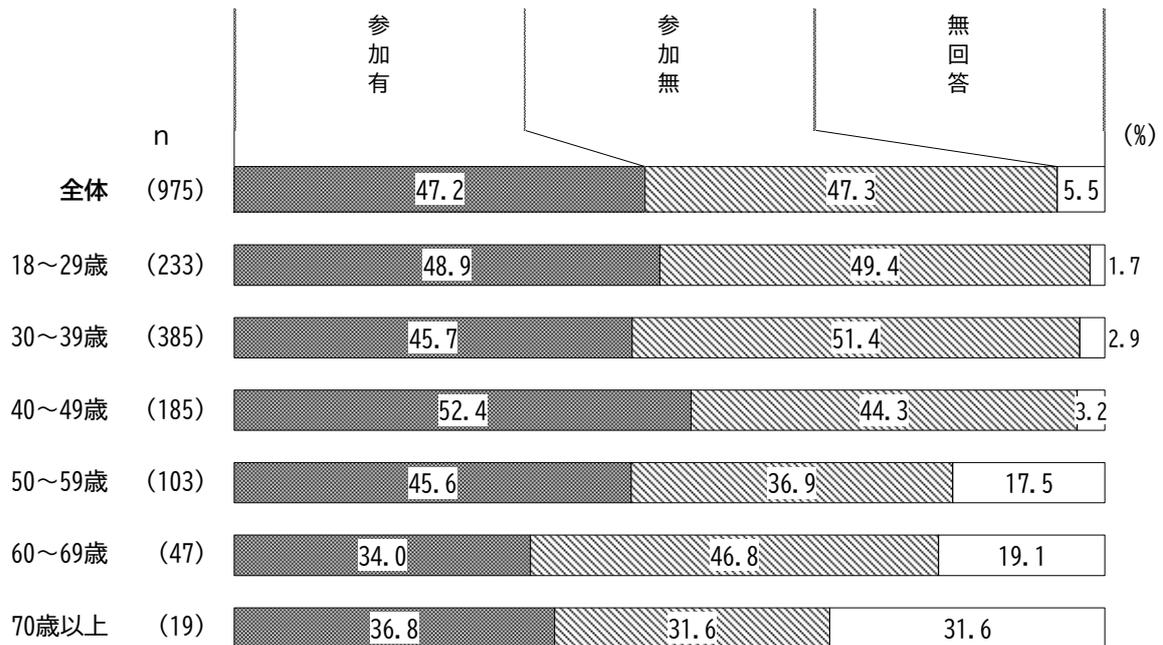


【F. 地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動】

【年齢別】

「40～49歳」で「参加有」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。また、「60～69歳」で「参加有」が全体平均と比較して5ポイント以上低い。

図表 地域活動の参加状況  
【F. 地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動】（年齢別）



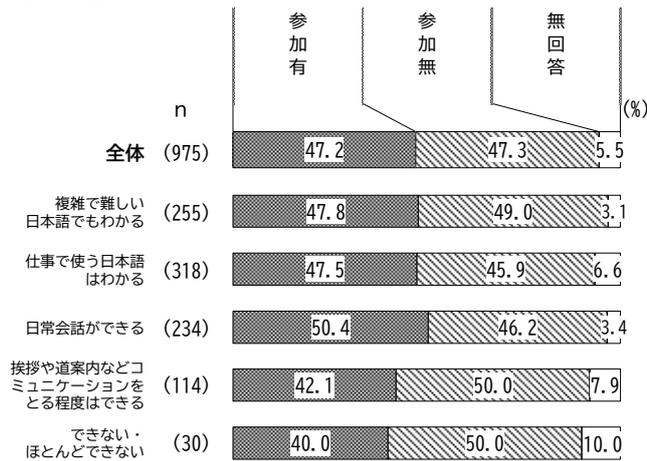
【日本語習得度別】

「書く」が「挨拶や道案内などコミュニケーションをとる程度はできる」で、「参加有」が約40%とやや低い。「聞く」「話す」「読む」では、日本語習得度別の参加状況に一部差がみられる。

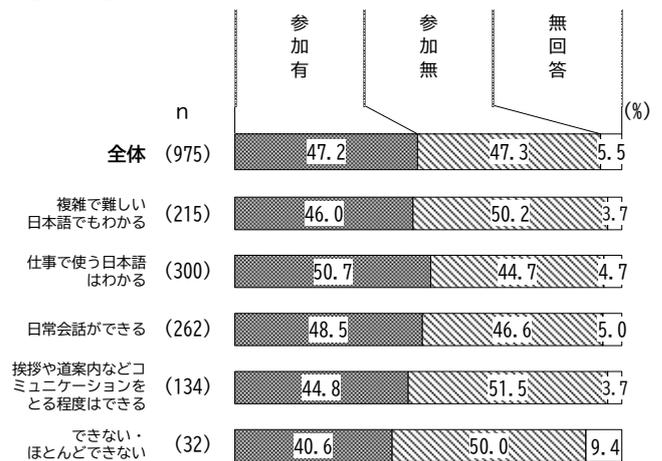
図表 地域活動の参加状況

【F. 地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動】（日本語習得度別）

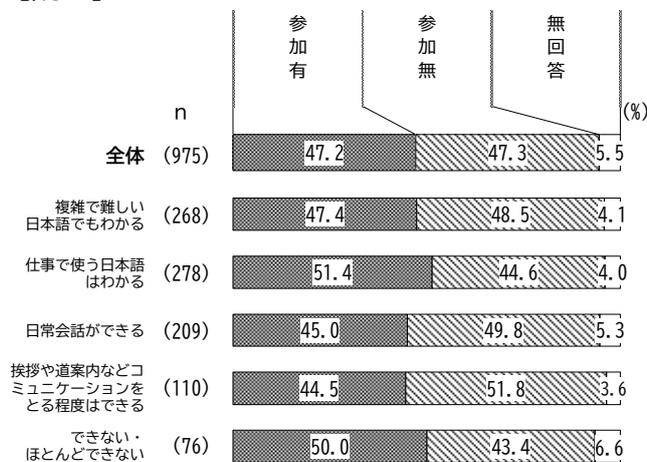
【聞く】



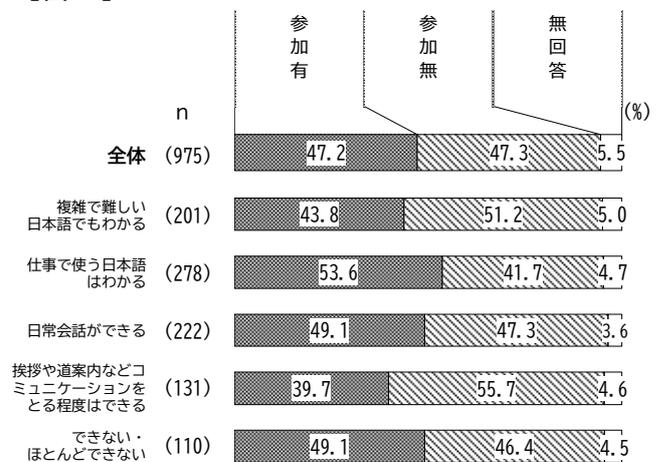
【話す】



【読む】



【書く】

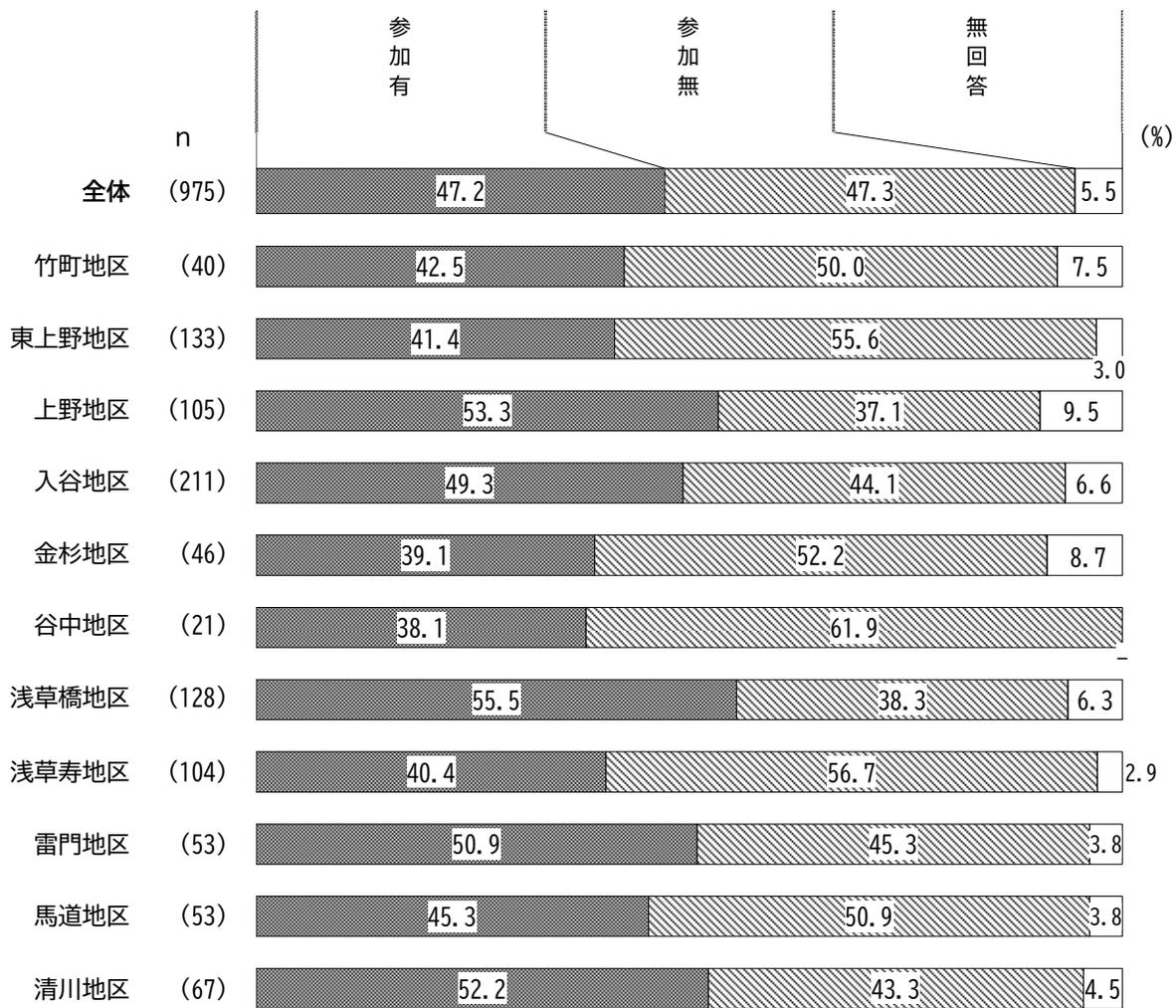


【居住地域別】

「参加有」は「上野地区」「浅草橋地区」「雷門地区」「清川地区」で50%台とやや高くなっている。

図表 地域活動の参加状況

【F. 地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動】（居住地域別）

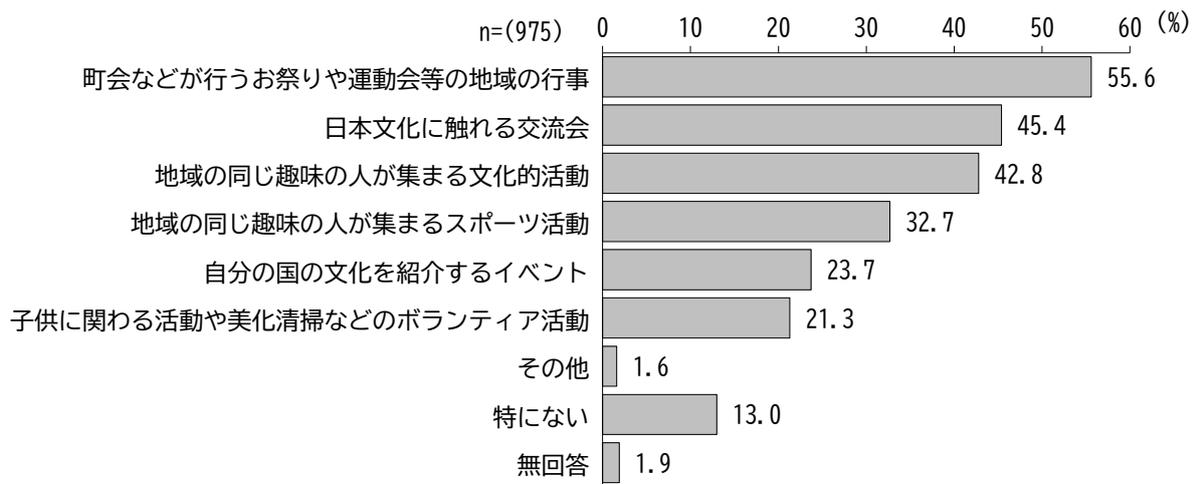


## (2) 今後参加したい地域の活動

問42 今後は、どのような地域の活動に参加したいですか。(当てはまるもの全てに○)

「町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事」(55.6%)が最も高く、次いで、「日本文化に触れる交流会」(45.4%)、「地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動」(42.8%)、「地域の同じ趣味の人が集まるスポーツ活動」(32.7%)となっている。

図表 今後参加したい地域の活動（複数回答）



【国籍別】

「アメリカ」では、「町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事」「地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

また、「ベトナム」では「自分の国の文化を紹介するイベント」「子供に関わる活動や美化清掃などのボランティア活動」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 今後参加したい地域の活動（国籍別）

上段:人数 下段:%	調査数	町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事	日本文化に触れる交流会	地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動	地域の同じ趣味の人が集まるスポーツ活動	自分の国の文化を紹介するイベント	子供に関わる活動や美化清掃などのボランティア活動	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	542 55.6%	443 45.4%	417 42.8%	319 32.7%	231 23.7%	208 21.3%	16 1.6%	127 13.0%	19 1.9%
中国	472 100.0%	271 57.4%	225 47.7%	213 45.1%	151 32.0%	102 21.6%	84 17.8%	8 1.7%	58 12.3%	6 1.3%
韓国	92 100.0%	33 35.9%	26 28.3%	37 40.2%	24 26.1%	10 10.9%	17 18.5%	1 1.1%	22 23.9%	5 5.4%
ベトナム	41 100.0%	23 56.1%	16 39.0%	10 24.4%	10 24.4%	16 39.0%	13 31.7%	- -	5 12.2%	1 2.4%
フィリピン	59 100.0%	26 44.1%	19 32.2%	9 15.3%	22 37.3%	14 23.7%	13 22.0%	- -	11 18.6%	3 5.1%
台湾	49 100.0%	30 61.2%	15 30.6%	18 36.7%	13 26.5%	9 18.4%	4 8.2%	- -	7 14.3%	1 2.0%
アメリカ	35 100.0%	23 65.7%	14 40.0%	24 68.6%	13 37.1%	7 20.0%	9 25.7%	2 5.7%	6 17.1%	- -
その他	224 100.0%	135 60.3%	126 56.3%	103 46.0%	84 37.5%	72 32.1%	68 30.4%	5 2.2%	18 8.0%	3 1.3%

【台東区居住年数別】

「1年未満」で「町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事」「日本文化に触れる交流会」「自分の国の文化を紹介するイベント」の割合が全体平均と比較して5ポイント以上高い。また、「日本文化に触れる交流会」「地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動」では、年数が浅いほど高くなる傾向がみられる。

図表 今後参加したい地域の活動（台東区居住年数別）

上段:人数 下段:%	調査数	町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事	日本文化に触れる交流会	地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動	地域の同じ趣味の人が集まるスポーツ活動	自分の国の文化を紹介するイベント	子供に関わる活動や美化清掃などのボランティア活動	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	542 55.6%	443 45.4%	417 42.8%	319 32.7%	231 23.7%	208 21.3%	16 1.6%	127 13.0%	19 1.9%
1年未満	89 100.0%	55 61.8%	52 58.4%	41 46.1%	28 31.5%	29 32.6%	22 24.7%	5 5.6%	12 13.5%	1 1.1%
1年～3年未満	354 100.0%	213 60.2%	186 52.5%	163 46.0%	128 36.2%	94 26.6%	71 20.1%	- -	36 10.2%	4 1.1%
3年～5年未満	169 100.0%	90 53.3%	81 47.9%	77 45.6%	61 36.1%	36 21.3%	31 18.3%	3 1.8%	20 11.8%	2 1.2%
5年～10年未満	189 100.0%	112 59.3%	69 36.5%	81 42.9%	59 31.2%	42 22.2%	50 26.5%	5 2.6%	22 11.6%	2 1.1%
10年～20年未満	110 100.0%	47 42.7%	37 33.6%	38 34.5%	32 29.1%	20 18.2%	24 21.8%	2 1.8%	25 22.7%	2 1.8%
20年以上	59 100.0%	25 42.4%	17 28.8%	17 28.8%	10 16.9%	9 15.3%	10 16.9%	- -	12 20.3%	7 11.9%

【日本人との交流意向別】

「特にない」以外の項目は日本人との交流意向が高いほど割合も高く、特に「積極的に交流したい」で「町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事」「日本文化に触れる交流会」が60%台となっている。

図表 今後参加したい地域の活動（日本人との交流意向別）

上段:人数 下段:%	調査数	町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事	日本文化に触れる交流会	地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動	地域の同じ趣味の人が集まるスポーツ活動	自分の国の文化を紹介するイベント	子供に関わる活動や美化清掃などのボランティア活動	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	542 55.6%	443 45.4%	417 42.8%	319 32.7%	231 23.7%	208 21.3%	16 1.6%	127 13.0%	19 1.9%
積極的に交流したい	302 100.0%	206 68.2%	185 61.3%	174 57.6%	142 47.0%	105 34.8%	97 32.1%	8 2.6%	17 5.6%	4 1.3%
機会があれば交流したい	570 100.0%	311 54.6%	242 42.5%	231 40.5%	164 28.8%	118 20.7%	104 18.2%	8 1.4%	61 10.7%	8 1.4%
交流したいとは思わない	25 100.0%	8 32.0%	3 12.0%	1 4.0%	1 4.0%	1 4.0%	- -	- -	15 60.0%	- -
わからない	66 100.0%	15 22.7%	12 18.2%	10 15.2%	12 18.2%	6 9.1%	5 7.6%	- -	33 50.0%	1 1.5%

【居住地域別】

「雷門地区」で「町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事」、「金杉地区」で「日本文化に触れる交流会」、「浅草寿地区」で「地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動」の割合が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高い。

図表 今後参加したい地域の活動（居住地域別）

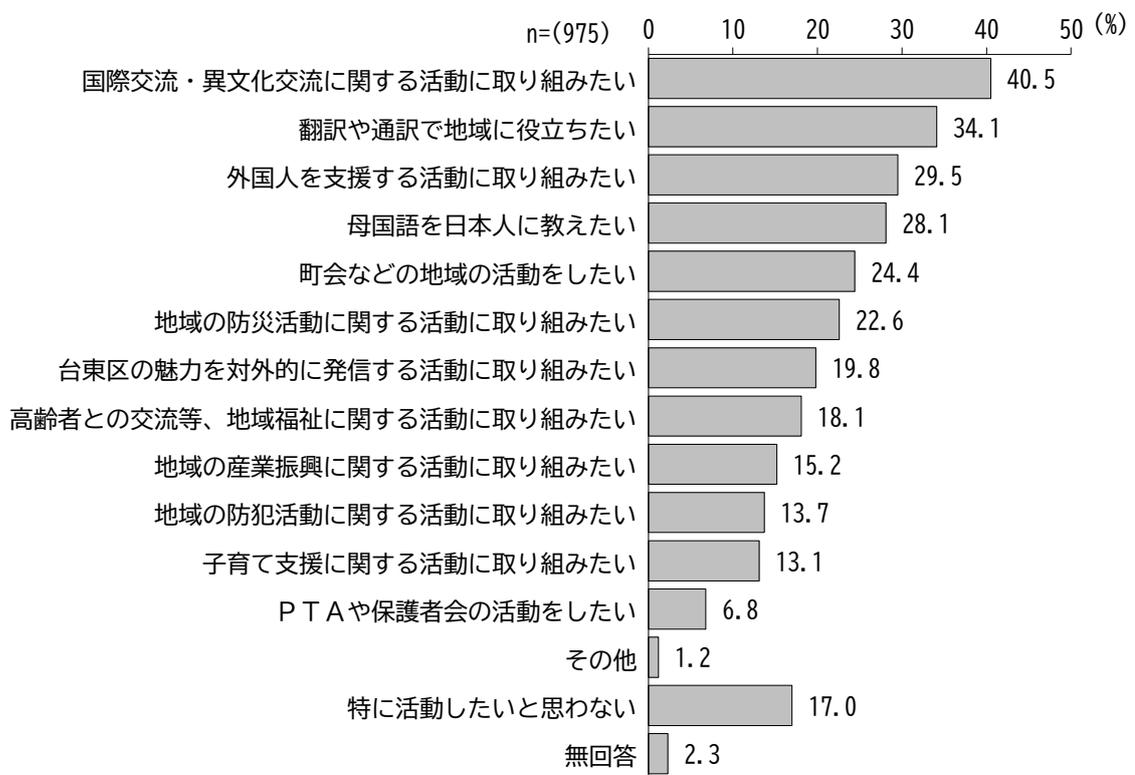
上段:人数 下段:%	調査数	町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事	日本文化に触れる交流会	地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動	地域の同じ趣味の人が集まるスポーツ活動	自分の国の文化を紹介するイベント	子供に関わる活動や美化清掃などのボランティア活動	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	542 55.6%	443 45.4%	417 42.8%	319 32.7%	231 23.7%	208 21.3%	16 1.6%	127 13.0%	19 1.9%
竹町地区	40 100.0%	19 47.5%	13 32.5%	11 27.5%	11 27.5%	4 10.0%	5 12.5%	- -	9 22.5%	1 2.5%
東上野地区	133 100.0%	71 53.4%	59 44.4%	61 45.9%	51 38.3%	31 23.3%	24 18.0%	2 1.5%	18 13.5%	2 1.5%
上野地区	105 100.0%	51 48.6%	47 44.8%	35 33.3%	31 29.5%	29 27.6%	24 22.9%	3 2.9%	14 13.3%	3 2.9%
入谷地区	211 100.0%	122 57.8%	106 50.2%	87 41.2%	70 33.2%	47 22.3%	42 19.9%	5 2.4%	27 12.8%	4 1.9%
金杉地区	46 100.0%	25 54.3%	25 54.3%	21 45.7%	11 23.9%	12 26.1%	13 28.3%	1 2.2%	6 13.0%	1 2.2%
谷中地区	21 100.0%	7 33.3%	5 23.8%	11 52.4%	6 28.6%	4 19.0%	7 33.3%	- -	3 14.3%	- -
浅草橋地区	128 100.0%	78 60.9%	54 42.2%	61 47.7%	49 38.3%	30 23.4%	28 21.9%	1 0.8%	15 11.7%	1 0.8%
浅草寿地区	104 100.0%	57 54.8%	50 48.1%	52 50.0%	39 37.5%	29 27.9%	26 25.0%	- -	12 11.5%	1 1.0%
雷門地区	53 100.0%	36 67.9%	24 45.3%	23 43.4%	15 28.3%	10 18.9%	10 18.9%	1 1.9%	5 9.4%	1 1.9%
馬道地区	53 100.0%	33 62.3%	22 41.5%	22 41.5%	11 20.8%	15 28.3%	14 26.4%	1 1.9%	4 7.5%	3 5.7%
清川地区	67 100.0%	36 53.7%	33 49.3%	29 43.3%	20 29.9%	18 26.9%	13 19.4%	2 3.0%	11 16.4%	1 1.5%

## (3) 地域活動への今後の参加意向

問43 日本人と外国人が助け合いながら生活していくために、皆さんの能力や経験を活かして地域で活躍してほしいと考えています。あなたは、地域の中でどのような活動をしてみたいですか。(当てはまるもの全てに○)

「国際交流・異文化交流に関する活動に取り組みたい」(40.5%)が最も高く、次いで、「翻訳や通訳で地域に役立ちたい」(34.1%)、「外国人を支援する活動に取り組みたい」(29.5%)、「母国語を日本人に教えたい」(28.1%)となっている。

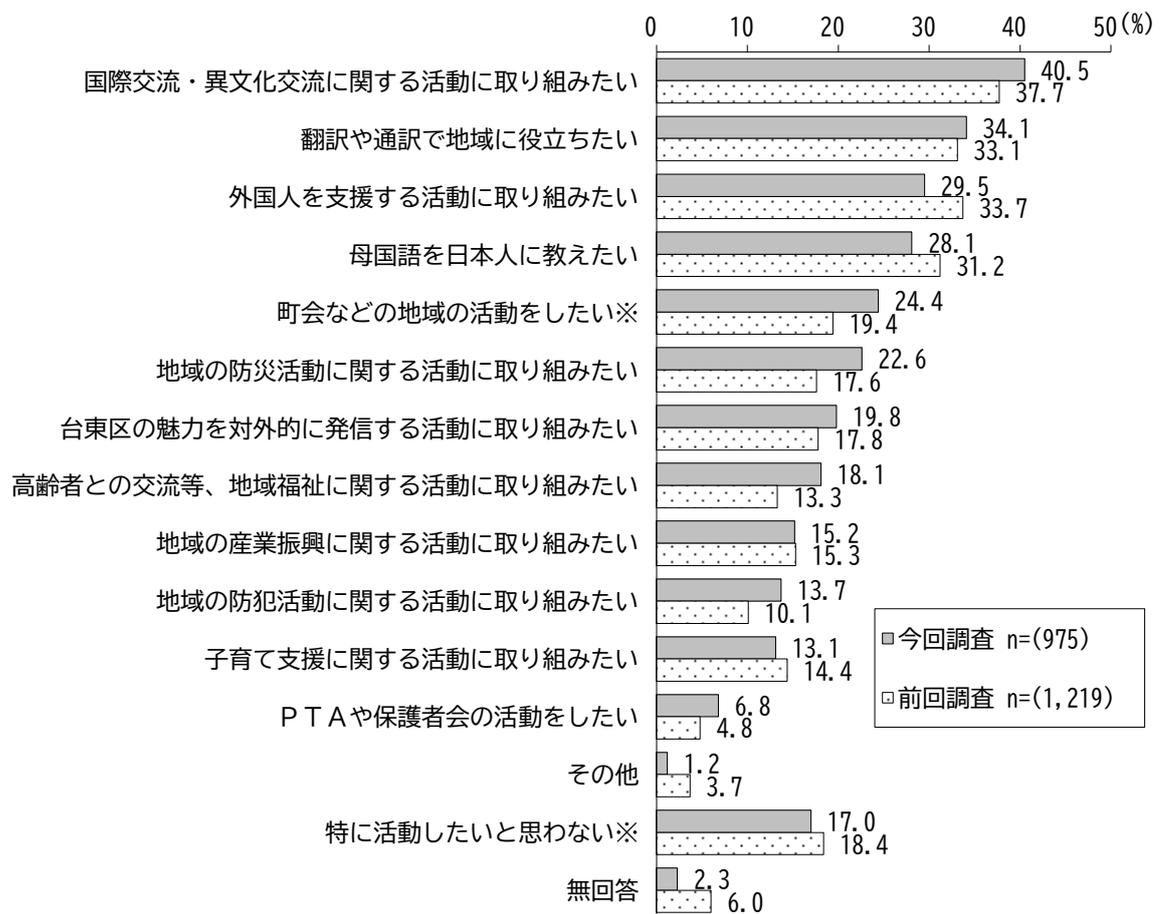
図表 地域活動への今後の参加意向（複数回答）



【経年比較】

前回との比較では、「町会などの地域の活動をしたい」「地域の防災活動に関する活動に取り組みたい」がともに5.0ポイント増加している。また、前回2位の「外国人を支援する活動に取り組みたい」と、前回3位の「翻訳や通訳で地域に役立ちたい」の順位が入れ替わっている。

図表 【経年比較】地域活動への今後の参加意向（複数回答）



※今回調査の選択肢「町会などの地域の活動をしたい」は、前回調査では「町会の活動をしたい」であった。

【年齢別】

「国際交流・異文化交流に関する活動に取り組みたい」が年代が若いほど高くなる傾向がみられる。また、「18～29歳」で「翻訳や通訳で地域に役立ちたい」、「40～49歳」で「外国人を支援する活動に取り組みたい」「町会などの地域の活動をしたい」「地域の防災活動に関する活動に取り組みたい」「台東区の魅力を対外的に発信する活動に取り組みたい」「子育て支援に関する活動に取り組みたい」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。一方、50歳台以降はいずれの活動も参加意向が10～20%台と低く、「特に活動したいと思わない」が「60～69歳」で30%台半ばと全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 地域活動への今後の参加意向（年齢別）

上段:人数 下段:%	調査数	国際交流・異文化交流に関する活動に取り組みたい	翻訳や通訳で地域に役立ちたい	外国人を支援する活動に取り組みたい	母国語を日本人に教えたい	町会などの地域の活動をしたい	地域の防災活動に関する活動に取り組みたい	台東区の魅力を対外的に発信する活動に取り組みたい	高齢者との交流等、地域福祉に関する活動に取り組みたい
全体	975 100.0%	395 40.5%	332 34.1%	288 29.5%	274 28.1%	238 24.4%	220 22.6%	193 19.8%	176 18.1%
18～29歳	233 100.0%	105 45.1%	95 40.8%	62 26.6%	74 31.8%	46 19.7%	35 15.0%	36 15.5%	32 13.7%
30～39歳	385 100.0%	173 44.9%	130 33.8%	129 33.5%	110 28.6%	110 28.6%	94 24.4%	78 20.3%	72 18.7%
40～49歳	185 100.0%	75 40.5%	67 36.2%	68 36.8%	56 30.3%	56 30.3%	57 30.8%	47 25.4%	37 20.0%
50～59歳	103 100.0%	28 27.2%	29 28.2%	19 18.4%	27 26.2%	23 22.3%	28 27.2%	22 21.4%	25 24.3%
60～69歳	47 100.0%	11 23.4%	11 23.4%	8 17.0%	5 10.6%	3 6.4%	3 6.4%	6 12.8%	8 17.0%
70歳以上	19 100.0%	2 10.5%	- -	1 5.3%	1 5.3%	- -	1 5.3%	2 10.5%	2 10.5%

上段:人数 下段:%	調査数	地域の産業振興に関する活動に取り組みたい	地域の防災活動に関する活動に取り組みたい	子育て支援に関する活動に取り組みたい	PTAや保護者会の活動をしたい	その他	特に活動したいと思わない	無回答
全体	975 100.0%	148 15.2%	134 13.7%	128 13.1%	66 6.8%	12 1.2%	166 17.0%	22 2.3%
18～29歳	233 100.0%	30 12.9%	21 9.0%	16 6.9%	10 4.3%	1 0.4%	38 16.3%	2 0.9%
30～39歳	385 100.0%	65 16.9%	60 15.6%	61 15.8%	27 7.0%	8 2.1%	62 16.1%	2 0.5%
40～49歳	185 100.0%	33 17.8%	33 17.8%	34 18.4%	20 10.8%	1 0.5%	19 10.3%	3 1.6%
50～59歳	103 100.0%	15 14.6%	15 14.6%	15 14.6%	8 7.8%	1 1.0%	21 20.4%	9 8.7%
60～69歳	47 100.0%	5 10.6%	2 4.3%	2 4.3%	1 2.1%	1 2.1%	16 34.0%	4 8.5%
70歳以上	19 100.0%	- -	1 5.3%	- -	- -	- -	10 52.6%	2 10.5%

【国籍別】

「ベトナム」で「国際交流・異文化交流に関する活動に取り組みたい」、「中国」で「翻訳や通訳で地域に役立ちたい」、「フィリピン」で「地域の防災活動に関する活動に取り組みたい」、「アメリカ」で「町会などの地域の活動をしたい」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。一方、「特に活動したいと思わない」割合は、「韓国」「台湾」で30%台と高くなっている。

図表 地域活動への今後の参加意向（国籍別）

上段:人数 下段:%	調査数	国際交流・異文化交流に関する活動に取り組みたい	翻訳や通訳で地域に役立ちたい	外国人を支援する活動に取り組みたい	母国語を日本人に教えたい	町会などの地域の活動をしたい	地域の防災活動に関する活動に取り組みたい	台東区の魅力を対外的に発信する活動に取り組みたい	高齢者との交流等、地域福祉に関する活動に取り組みたい
全体	975 100.0%	395 40.5%	332 34.1%	288 29.5%	274 28.1%	238 24.4%	220 22.6%	193 19.8%	176 18.1%
中国	472 100.0%	214 45.3%	191 40.5%	146 30.9%	153 32.4%	124 26.3%	112 23.7%	98 20.8%	86 18.2%
韓国	92 100.0%	21 22.8%	35 38.0%	21 22.8%	24 26.1%	13 14.1%	5 5.4%	10 10.9%	16 17.4%
ベトナム	41 100.0%	21 51.2%	11 26.8%	12 29.3%	12 29.3%	10 24.4%	9 22.0%	4 9.8%	4 9.8%
フィリピン	59 100.0%	11 18.6%	5 8.5%	13 22.0%	5 8.5%	5 8.5%	20 33.9%	15 25.4%	12 20.3%
台湾	49 100.0%	20 40.8%	15 30.6%	10 20.4%	11 22.4%	14 28.6%	6 12.2%	12 24.5%	6 12.2%
アメリカ	35 100.0%	11 31.4%	8 22.9%	10 28.6%	5 14.3%	14 40.0%	4 11.4%	9 25.7%	6 17.1%
その他	224 100.0%	96 42.9%	67 29.9%	75 33.5%	63 28.1%	58 25.9%	62 27.7%	43 19.2%	46 20.5%

上段:人数 下段:%	調査数	地域の産業振興に関する活動に取り組みたい	地域の防犯活動に関する活動に取り組みたい	子育て支援に関する活動に取り組みたい	PTAや保護者会の活動をしたい	その他	特に活動したいと思わない	無回答
全体	975 100.0%	148 15.2%	134 13.7%	128 13.1%	66 6.8%	12 1.2%	166 17.0%	22 2.3%
中国	472 100.0%	93 19.7%	70 14.8%	66 14.0%	33 7.0%	4 0.8%	62 13.1%	8 1.7%
韓国	92 100.0%	10 10.9%	5 5.4%	11 12.0%	8 8.7%	1 1.1%	28 30.4%	4 4.3%
ベトナム	41 100.0%	4 9.8%	3 7.3%	7 17.1%	3 7.3%	1 2.4%	4 9.8%	1 2.4%
フィリピン	59 100.0%	5 8.5%	8 13.6%	9 15.3%	6 10.2%	-	13 22.0%	5 8.5%
台湾	49 100.0%	4 8.2%	4 8.2%	1 2.0%	1 2.0%	-	15 30.6%	-
アメリカ	35 100.0%	2 5.7%	4 11.4%	7 20.0%	4 11.4%	4 11.4%	7 20.0%	-
その他	224 100.0%	30 13.4%	38 17.0%	27 12.1%	11 4.9%	2 0.9%	37 16.5%	4 1.8%

【居住地域別】

「東上野地区」で「国際交流・異文化交流に関する活動に取り組みたい」、「馬道地区」で「翻訳や通訳で地域に役立ちたい」、「浅草寿地区」で「外国人を支援する活動に取り組みたい」の割合が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高い。

図表 地域活動への今後の参加意向（居住地域別）

上段：人数 下段：%	調査数	国際交流・異文化交流に関する活動に取り組みたい	翻訳や通訳で地域に役立ちたい	外国人を支援する活動に取り組みたい	母国語を日本人に教えたい	町会などの地域の活動をし たい	地域の防災活動に関する活 動に取り組み たい	台東区の魅力 を対外的に発 信する活動に 取り組みたい	高齢者との交 流等、地域福祉 に関する活動 に取り組みた い
全体	975 100.0%	395 40.5%	332 34.1%	288 29.5%	274 28.1%	238 24.4%	220 22.6%	193 19.8%	176 18.1%
竹町地区	40 100.0%	8 20.0%	11 27.5%	4 10.0%	11 27.5%	6 15.0%	9 22.5%	2 5.0%	6 15.0%
東上野地区	133 100.0%	69 51.9%	51 38.3%	43 32.3%	30 22.6%	37 27.8%	32 24.1%	29 21.8%	24 18.0%
上野地区	105 100.0%	40 38.1%	22 21.0%	23 21.9%	30 28.6%	18 17.1%	15 14.3%	20 19.0%	12 11.4%
入谷地区	211 100.0%	81 38.4%	79 37.4%	63 29.9%	63 29.9%	45 21.3%	43 20.4%	40 19.0%	36 17.1%
金杉地区	46 100.0%	16 34.8%	16 34.8%	15 32.6%	16 34.8%	12 26.1%	8 17.4%	11 23.9%	5 10.9%
谷中地区	21 100.0%	7 33.3%	2 9.5%	6 28.6%	5 23.8%	5 23.8%	2 9.5%	5 23.8%	5 23.8%
浅草橋地区	128 100.0%	58 45.3%	43 33.6%	38 29.7%	36 28.1%	35 27.3%	35 27.3%	26 20.3%	30 23.4%
浅草寿地区	104 100.0%	50 48.1%	37 35.6%	41 39.4%	28 26.9%	27 26.0%	31 29.8%	22 21.2%	25 24.0%
雷門地区	53 100.0%	20 37.7%	20 37.7%	18 34.0%	19 35.8%	16 30.2%	15 28.3%	13 24.5%	12 22.6%
馬道地区	53 100.0%	14 26.4%	22 41.5%	15 28.3%	13 24.5%	14 26.4%	8 15.1%	9 17.0%	6 11.3%
清川地区	67 100.0%	28 41.8%	25 37.3%	20 29.9%	19 28.4%	18 26.9%	16 23.9%	13 19.4%	11 16.4%

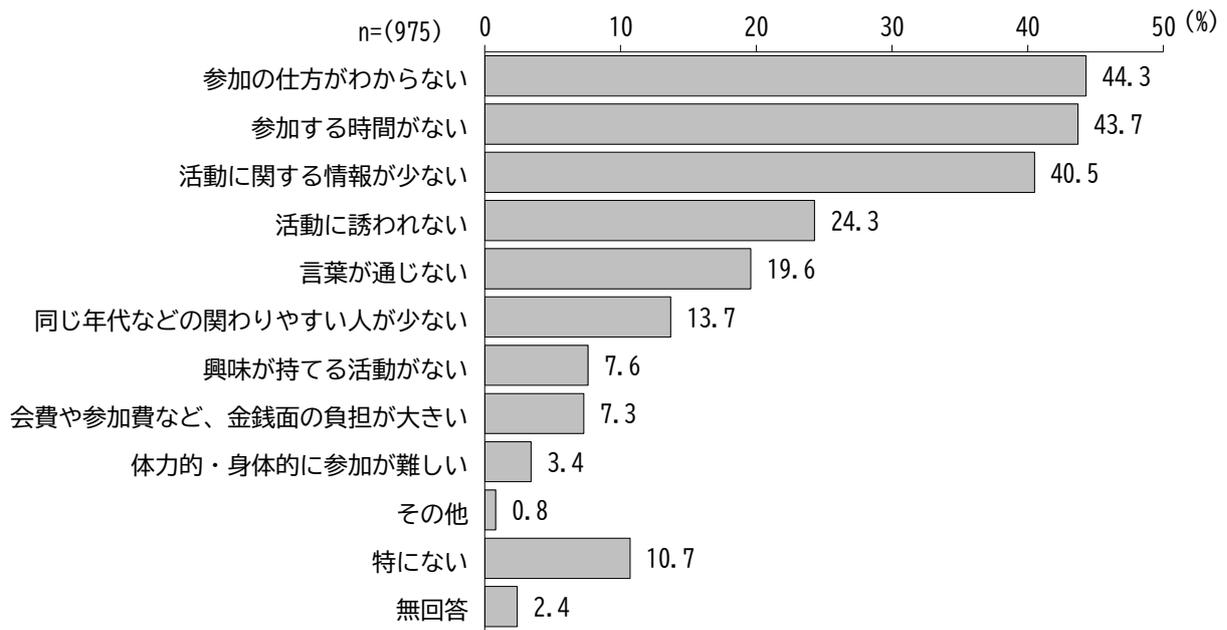
上段：人数 下段：%	調査数	地域の産業振興に関する活 動に取り組み たい	地域の防犯活 動に関する活 動に取り組み たい	子育て支援に 関する活動に 取り組みたい	PTAや保護者 会の活動をし たい	その他	特に活動した いと思わない	無回答
全体	975 100.0%	148 15.2%	134 13.7%	128 13.1%	66 6.8%	12 1.2%	166 17.0%	22 2.3%
竹町地区	40 100.0%	4 10.0%	3 7.5%	4 10.0%	2 5.0%	-	10 25.0%	1 2.5%
東上野地区	133 100.0%	21 15.8%	21 15.8%	13 9.8%	8 6.0%	1 0.8%	16 12.0%	4 3.0%
上野地区	105 100.0%	15 14.3%	9 8.6%	15 14.3%	9 8.6%	1 1.0%	24 22.9%	1 1.0%
入谷地区	211 100.0%	31 14.7%	24 11.4%	21 10.0%	13 6.2%	5 2.4%	28 13.3%	5 2.4%
金杉地区	46 100.0%	8 17.4%	6 13.0%	9 19.6%	3 6.5%	1 2.2%	12 26.1%	1 2.2%
谷中地区	21 100.0%	1 4.8%	1 4.8%	5 23.8%	3 14.3%	-	2 9.5%	-
浅草橋地区	128 100.0%	17 13.3%	21 16.4%	21 16.4%	11 8.6%	1 0.8%	21 16.4%	2 1.6%
浅草寿地区	104 100.0%	22 21.2%	18 17.3%	14 13.5%	5 4.8%	1 1.0%	18 17.3%	3 2.9%
雷門地区	53 100.0%	10 18.9%	11 20.8%	7 13.2%	4 7.5%	-	7 13.2%	1 1.9%
馬道地区	53 100.0%	8 15.1%	6 11.3%	6 11.3%	2 3.8%	1 1.9%	12 22.6%	3 5.7%
清川地区	67 100.0%	10 14.9%	12 17.9%	12 17.9%	6 9.0%	-	14 20.9%	1 1.5%

(4) 自身が地域で活動するときの困りごと

問44 あなたが地域で活動するときの困りごとは何ですか。(当てはまるもの全てに○)

「参加の仕方がわからない」(44.3%)が最も高く、次いで、「参加する時間がない」(43.7%)、「活動に関する情報が少ない」(40.5%)、「活動に誘われない」(24.3%)となっている。

図表 自身が地域で活動するときの困りごと (複数回答)



【国籍別】

「ベトナム」「その他」では、「参加の仕方がわからない」「言葉が通じない」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。「ベトナム」では「参加する時間がない」も高くなっている。

また、「アメリカ」では「参加する時間がない」「活動に関する情報が少ない」「活動に誘われない」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 自身が地域で活動するときの困りごと（国籍別）

上段:人数 下段:%	調査数	参加の仕方がわからない	参加する時間がない	活動に関する情報が少ない	活動に誘われない	言葉が通じない	同じ年代などの関わりやすい人が少ない
全体	975 100.0%	432 44.3%	426 43.7%	395 40.5%	237 24.3%	191 19.6%	134 13.7%
中国	472 100.0%	195 41.3%	213 45.1%	203 43.0%	114 24.2%	92 19.5%	84 17.8%
韓国	92 100.0%	32 34.8%	30 32.6%	29 31.5%	15 16.3%	4 4.3%	12 13.0%
ベトナム	41 100.0%	24 58.5%	24 58.5%	15 36.6%	6 14.6%	13 31.7%	2 4.9%
フィリピン	59 100.0%	18 30.5%	21 35.6%	15 25.4%	8 13.6%	11 18.6%	6 10.2%
台湾	49 100.0%	20 40.8%	15 30.6%	18 36.7%	13 26.5%	8 16.3%	9 18.4%
アメリカ	35 100.0%	17 48.6%	18 51.4%	20 57.1%	11 31.4%	7 20.0%	3 8.6%
その他	224 100.0%	125 55.8%	103 46.0%	94 42.0%	70 31.3%	55 24.6%	18 8.0%

上段:人数 下段:%	調査数	興味を持てない活動がない	会費や参加費など、金銭面の負担が大きい	体力的・身体的に参加が難しい	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	74 7.6%	71 7.3%	33 3.4%	8 0.8%	104 10.7%	23 2.4%
中国	472 100.0%	32 6.8%	32 6.8%	17 3.6%	4 0.8%	38 8.1%	8 1.7%
韓国	92 100.0%	15 16.3%	7 7.6%	3 3.3%	-	20 21.7%	3 3.3%
ベトナム	41 100.0%	4 9.8%	6 14.6%	2 4.9%	1 2.4%	2 4.9%	2 4.9%
フィリピン	59 100.0%	6 10.2%	3 5.1%	4 6.8%	1 1.7%	7 11.9%	6 10.2%
台湾	49 100.0%	2 4.1%	5 10.2%	-	-	9 18.4%	1 2.0%
アメリカ	35 100.0%	3 8.6%	1 2.9%	1 2.9%	-	3 8.6%	-
その他	224 100.0%	12 5.4%	17 7.6%	5 2.2%	2 0.9%	25 11.2%	3 1.3%

### 第3章 外国人意識調査 調査結果の詳細

#### 【職業別】

「会社勤務（経営者・役員）」で「参加の仕方がわからない」「活動に関する情報が少ない」が、「会社勤務（一般正社員）」で「参加する時間がない」が、「学生」で「活動に誘われない」「同じ年代などの関わりやすい人が少ない」が、「専業主婦・主夫」で「言葉が通じない」が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高い。

図表 自身が地域で活動するときの困りごと（職業別）

上段:人数 下段:%	調査数	参加の仕方がわからない	参加する時間がない	活動に関する情報が少ない	活動に誘われない	言葉が通じない	同じ年代などの関わりやすい人が少ない
全体	975 100.0%	432 44.3%	426 43.7%	395 40.5%	237 24.3%	191 19.6%	134 13.7%
会社勤務 (経営者・役員)	109 100.0%	55 50.5%	48 44.0%	54 49.5%	30 27.5%	19 17.4%	10 9.2%
会社勤務 (一般正社員)	425 100.0%	200 47.1%	223 52.5%	182 42.8%	106 24.9%	62 14.6%	60 14.1%
自営業者	49 100.0%	23 46.9%	24 49.0%	22 44.9%	14 28.6%	10 20.4%	11 22.4%
公務員・団体職員	8 100.0%	2 25.0%	3 37.5%	4 50.0%	3 37.5%	2 25.0%	- -
契約・嘱託・ 派遣社員	35 100.0%	16 45.7%	15 42.9%	13 37.1%	7 20.0%	8 22.9%	2 5.7%
パート・アルバイト	101 100.0%	36 35.6%	37 36.6%	31 30.7%	13 12.9%	22 21.8%	9 8.9%
専業主婦・主夫	61 100.0%	23 37.7%	10 16.4%	22 36.1%	16 26.2%	22 36.1%	7 11.5%
学生	107 100.0%	46 43.0%	48 44.9%	48 44.9%	36 33.6%	28 26.2%	25 23.4%
無職	43 100.0%	16 37.2%	6 14.0%	9 20.9%	4 9.3%	12 27.9%	4 9.3%
その他	29 100.0%	13 44.8%	11 37.9%	7 24.1%	4 13.8%	4 13.8%	4 13.8%

上段:人数 下段:%	調査数	興味を持てる活動がない	会費や参加費など、金銭面の負担が大きい	体力的・身体的に参加が難しい	その他	特になし	無回答
全体	975 100.0%	74 7.6%	71 7.3%	33 3.4%	8 0.8%	104 10.7%	23 2.4%
会社勤務 (経営者・役員)	109 100.0%	5 4.6%	4 3.7%	2 1.8%	1 0.9%	11 10.1%	2 1.8%
会社勤務 (一般正社員)	425 100.0%	34 8.0%	31 7.3%	8 1.9%	3 0.7%	39 9.2%	5 1.2%
自営業者	49 100.0%	7 14.3%	2 4.1%	2 4.1%	-	4 8.2%	1 2.0%
公務員・団体職員	8 100.0%	-	1 12.5%	-	1 12.5%	1 12.5%	-
契約・嘱託・ 派遣社員	35 100.0%	2 5.7%	2 5.7%	1 2.9%	-	6 17.1%	1 2.9%
パート・アルバイト	101 100.0%	5 5.0%	6 5.9%	3 3.0%	-	17 16.8%	2 2.0%
専業主婦・主夫	61 100.0%	6 9.8%	7 11.5%	8 13.1%	2 3.3%	5 8.2%	4 6.6%
学生	107 100.0%	9 8.4%	14 13.1%	3 2.8%	1 0.9%	10 9.3%	-
無職	43 100.0%	4 9.3%	3 7.0%	6 14.0%	-	8 18.6%	4 9.3%
その他	29 100.0%	2 6.9%	-	-	-	3 10.3%	2 6.9%

【年齢別】

年代が若いほど「活動に誘われない」「同じ年代などの関わりやすい人が少ない」が高くなる傾向がみられる。また、「30～39歳」では「参加する時間がない」、「40～49歳」では「言葉が通じない」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。一方、「特にない」が「60～69歳」で20%台半ばと全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 自身が地域で活動するときの困りごと（年齢別）

上段:人数 下段:%	調査数	参加の仕方が わからない	参加する時間 がない	活動に関する 情報が少ない	活動に誘われ ない	言葉が通じな い	同じ年代など の関わりやす い人が少ない
全体	975 100.0%	432 44.3%	426 43.7%	395 40.5%	237 24.3%	191 19.6%	134 13.7%
18～29歳	233 100.0%	104 44.6%	104 44.6%	100 42.9%	69 29.6%	38 16.3%	49 21.0%
30～39歳	385 100.0%	183 47.5%	193 50.1%	160 41.6%	105 27.3%	81 21.0%	54 14.0%
40～49歳	185 100.0%	84 45.4%	74 40.0%	83 44.9%	43 23.2%	47 25.4%	19 10.3%
50～59歳	103 100.0%	47 45.6%	36 35.0%	40 38.8%	15 14.6%	16 15.5%	8 7.8%
60～69歳	47 100.0%	12 25.5%	9 19.1%	9 19.1%	5 10.6%	3 6.4%	4 8.5%
70歳以上	19 100.0%	1 5.3%	8 42.1%	2 10.5%	-	5 26.3%	-

上段:人数 下段:%	調査数	興味を持てる 活動がない	会費や参加費 など、金銭面 の負担が大き い	体力的・身体的 に参加が難し い	その他	特にない	無回答
全体	975 100.0%	74 7.6%	71 7.3%	33 3.4%	8 0.8%	104 10.7%	23 2.4%
18～29歳	233 100.0%	17 7.3%	28 12.0%	7 3.0%	2 0.9%	27 11.6%	3 1.3%
30～39歳	385 100.0%	30 7.8%	25 6.5%	8 2.1%	4 1.0%	39 10.1%	3 0.8%
40～49歳	185 100.0%	17 9.2%	9 4.9%	3 1.6%	1 0.5%	9 4.9%	3 1.6%
50～59歳	103 100.0%	7 6.8%	7 6.8%	6 5.8%	1 1.0%	11 10.7%	7 6.8%
60～69歳	47 100.0%	2 4.3%	-	4 8.5%	-	13 27.7%	5 10.6%
70歳以上	19 100.0%	1 5.3%	2 10.5%	4 21.1%	-	5 26.3%	2 10.5%

### 第3章 外国人意識調査 調査結果の詳細

#### 【居住地域別】

「浅草橋地区」で「参加の仕方がわからない」が約50%、「雷門地区」「馬道地区」で「活動に誘われない」が30%台と高くなっている。

図表 自身が地域で活動するときの困りごと（居住地域別）

上段:人数 下段:%	調査数	参加の仕方がわからない	参加する時間がない	活動に関する情報が少ない	活動に誘われない	言葉が通じない	同じ年代などの関わりやすい人が少ない
全体	975 100.0%	432 44.3%	426 43.7%	395 40.5%	237 24.3%	191 19.6%	134 13.7%
竹町地区	40 100.0%	14 35.0%	19 47.5%	12 30.0%	7 17.5%	6 15.0%	4 10.0%
東上野地区	133 100.0%	65 48.9%	57 42.9%	59 44.4%	38 28.6%	31 23.3%	25 18.8%
上野地区	105 100.0%	39 37.1%	47 44.8%	35 33.3%	16 15.2%	19 18.1%	8 7.6%
入谷地区	211 100.0%	89 42.2%	98 46.4%	85 40.3%	45 21.3%	32 15.2%	30 14.2%
金杉地区	46 100.0%	21 45.7%	19 41.3%	19 41.3%	12 26.1%	11 23.9%	7 15.2%
谷中地区	21 100.0%	11 52.4%	11 52.4%	10 47.6%	6 28.6%	7 33.3%	5 23.8%
浅草橋地区	128 100.0%	65 50.8%	53 41.4%	48 37.5%	33 25.8%	26 20.3%	19 14.8%
浅草寿地区	104 100.0%	48 46.2%	43 41.3%	46 44.2%	29 27.9%	23 22.1%	8 7.7%
雷門地区	53 100.0%	21 39.6%	24 45.3%	19 35.8%	16 30.2%	15 28.3%	10 18.9%
馬道地区	53 100.0%	25 47.2%	23 43.4%	24 45.3%	16 30.2%	5 9.4%	5 9.4%
清川地区	67 100.0%	26 38.8%	26 38.8%	30 44.8%	12 17.9%	10 14.9%	10 14.9%

上段:人数 下段:%	調査数	興味を持てない活動がない	会費や参加費など、金銭面の負担が大きい	体力的・身体的に参加が難しい	その他	特になし	無回答
全体	975 100.0%	74 7.6%	71 7.3%	33 3.4%	8 0.8%	104 10.7%	23 2.4%
竹町地区	40 100.0%	2 5.0%	1 2.5%	2 5.0%	-	6 15.0%	-
東上野地区	133 100.0%	12 9.0%	13 9.8%	4 3.0%	1 0.8%	12 9.0%	3 2.3%
上野地区	105 100.0%	3 2.9%	7 6.7%	5 4.8%	1 1.0%	13 12.4%	2 1.9%
入谷地区	211 100.0%	13 6.2%	14 6.6%	3 1.4%	2 0.9%	26 12.3%	5 2.4%
金杉地区	46 100.0%	7 15.2%	6 13.0%	1 2.2%	1 2.2%	3 6.5%	2 4.3%
谷中地区	21 100.0%	3 14.3%	3 14.3%	-	-	-	-
浅草橋地区	128 100.0%	12 9.4%	11 8.6%	3 2.3%	1 0.8%	11 8.6%	5 3.9%
浅草寿地区	104 100.0%	8 7.7%	4 3.8%	2 1.9%	-	12 11.5%	2 1.9%
雷門地区	53 100.0%	3 5.7%	2 3.8%	5 9.4%	-	4 7.5%	-
馬道地区	53 100.0%	3 5.7%	2 3.8%	2 3.8%	-	7 13.2%	3 5.7%
清川地区	67 100.0%	4 6.0%	6 9.0%	4 6.0%	1 1.5%	10 14.9%	1 1.5%

## (5) 台東区における多文化共生の推進についての意見（自由記述）

問45 台東区における地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるため、ご意見がありましたらご記入ください。

台東区における多文化共生の推進に対する自由記述に213名（回答者に占める割合で21.8%）の回答があった。以下に、アンケート調査の内容にあわせて記述内容を整理し、自由記述の件数と主な内容を掲載する（趣旨が不明な意見3名、意見が無いまたはわからないと記述された意見38名は除く）。

## ①多文化共生・地域での日本人とのかかわりに関すること（72件）

- ・台東区は美しい街です。外国人も多いですが、日本人は親切で敬意を払ってくれます。（その他・30～39歳）
- ・市内で起こりうる予期せぬ災害時にボランティア活動ができるように、私たちのような外国人も無料訓練を受けることは一般的になっている。（訓練を通して）このような姿を見せることで、必要な際には私たちも日本人のために役立てるということを理解してくれるだろう。（フィリピン・40～49歳）
- ・差別なくしてください。（その他・20～29歳）
- ・外国人と日本人の間には「言葉の壁」、「制度の壁」、「心の壁」という3つの壁があります。なかでも一番の障壁となるのが「心の壁」と呼ばれる偏見であり、それを払拭することが重要と考えられます。（中国・30～39歳）
- ・私たちのような外国人も平等に扱ってもらえたらと思っている。（フィリピン・40～49歳）
- ・外国人が悪いことをしたとしても、それはその人の性格で、その人の国の人全員が悪いというイメージに思わないでほしいです。（ミャンマー・20～29歳）
- ・人が他者を差別する場合、自分がステレオタイプや偏見の影響によりそうしていると、自ら意識することはなかなか難しいと思います。多文化共生の環境を作るために、会社でのセクハラやパワハラ教育みたいに、「差別」とは？から普及するのが、もしかすると効果的かもとふと思いました。（中国・30～39歳）
- ・外国人との共生に関する台東区の取り組みには感謝している。お互いの偏見や差別をなくせると良い。日本にいるほとんどの外国人は日本のことが好きで、日本の秩序や清潔さ、モラルの高さに好感を持っている。私は、日本の文化をこれからも尊重したいし、一日も早く溶け込みたいと思っている。（中国・60～69歳）
- ・お互いの文化を理解する事。（ミャンマー・40～49歳）
- ・何もしないほうが良いと思う。税金も日本人のために使う方が良いでしょう。なぜなら、多文化共生社会は包括的な社会環境の結果である。それを政治目標としてどのように達成するかは、さらなる不公平を生み出すだけだと思う。私の意見では、現在の日本社会は寛容すぎると思う。（中国・20～29歳）
- ・翻訳者や通訳者として地元の人々の手助けをしたいと思っている。（ネパール・40～49歳）

- ・外国人と地元の人々が一緒に活動に参加し、お互いを知り、助け合い、和やかで友好的な生活環境を築く。(中国・30～39歳)
- ・いつもお互いに助け合う。(ベトナム・20～29歳)
- ・結束と相互の信頼が必要だと思います。そうすれば、和を以て共生できる。(インド・50～59歳)
- ・互いに学び合って多くの日本人と友達になる。(中国・40～49歳)
- ・物事が上手く行くように、みんながコミュニケーションを取れるようになればと思う。ありがとうございます。(フィリピン・50～59歳)
- ・双方にとって共生が負担にならないよう、適切なバランスを保つことが重要です。外国人住民は日本語を学ぶ努力をする必要がありますが、日本人住民も心を開く必要があります。真の多様性の効果は、背景そのものからではなく、人々の実際の経験(知識、職業、興味)から生まれるからです。(その他・30～39歳)
- ・お互いを理解できるチャンスをもっと増やしていきたいです。(中国・30～39歳)
- ・会話を促進し、日本人と外国人の間に何らかの接点をもたらすよう試みるのが大切です。(その他・30～39歳)
- ・日本人が気を遣うのではなく外国人が日本の風習や法律、ルールを学ばなければならない。日本人は外国人だと構えずに非常識だと思うことは教えてあげれば良いのでは？頭ごなしで怒るのではなく。また、日本人は欧米人には優しいがアジア系の人には口調が厳しくなる。(韓国・50～59歳)
- ・外国人に対し、まず日本の習慣やルールなどについて教育と広報を行う必要があると思う。そうした上で日本人と交流することで、不要な誤解を減らし、より良い交流を行えるようになると思う。(中国・50～59歳)
- ・ライングループを作ったりSNSを活用したりして、人々がコミュニティに参加しやすくなるよう工夫する。(中国・30～39歳)
- ・台東区のコミュニティはよくしてくれていて、日本人はとても親切で礼儀正しいというのが私の意見です。コミュニケーションには言葉が重要で、私の場合は日本人がもう少し英語を話してくれるとありがたいです。日本人が少しでも英語を話せば、どんな外国人居住者にとってもコミュニケーションが容易になるでしょう。(インド・20～29歳)
- ・理解を深めるためのコミュニティを作ることだと思います。(台湾・30～39歳)
- ・絆は頻繁な交流によって築かれます。だから一緒に過ごす機会を増やす活動が必要ですね。しかし、皆、仕事や家庭で忙しく(特に日本の過酷な労働環境では)外国人を理解しようとする時間など誰にあるのでしょうか？(その他・40～49歳)
- ・地域に住む外国人についてもっと知ることは、(日本の)子供たちや若者にとっても良いことだと思います。(その他・50～59歳)
- ・子供の頃から正しい価値観を教えて、偏見のない人に、グローバル的になる。(中国・30～39歳)
- ・日本人は他国に関心を高めてくれたらと思います。(中国・30～39歳)

## ②地域でのイベントを通じた交流に関すること（34件）

- ・観光以外でも日本人と外国人が交流できる機会が必要だと思います。また、私のように地域のイベントやボランティア活動に興味があるにもかかわらず、参加方法が分からない人が多いと思います。チラシなどで誘うのが良いかもしれません。（その他・20～29歳）
- ・普段は看板など見ないので、活動やお知らせなども知らないのです。（中国・30～39歳）
- ・お祭りやお祝い事の際に、マンションの外国人も地域行事にお誘いいただいているが、今後もっとそれが広まっていけば良いと思う。日本在住の外国人とその家族をもっと誘って欲しい。（フィリピン・20～29歳）
- ・自分も子育てをしているので、日本のパパママたちとも知り合いたいと思っていますが、文化の違いもあってか、一緒に遊んだり交流できる機会がなかなかないと感じています。ぜひ、いろいろな国の親子が参加できる活動を企画していただけたら嬉しいです。今回このアンケートをいただいて、とてもありがたく思います。皆さんのご努力を感じることができ、感謝しています。（中国・30～39歳）
- ・毎朝、公園でラジオ体操をやる文化はとても素敵だと思います。たまに朝の太極拳など、外国のストレッチを皆で一緒にやりたいと思ったことがあります。そのようなイベントの開催を検討していただけたら、楽しく参加したいと思います。（中国・40～49歳）
- ・1番簡単な方法は交流イベントだと思います。例えば、外国の料理祭りかな？（タイ・30～39歳）
- ・一緒に、もっとお祭りを企画しましょう。（インド・40～49歳）
- ・人が集まるイベントや互いに交流する活動を日ごろから行うと良い。例えば、カラオケ大会や老人福祉活動など。（中国・50～59歳）
- ・一緒に交流した方がいいと思う。例えばボランティアや防災活動、祭りなどです。（その他・30～39歳）
- ・いろんな国の文化を紹介したり、体験するイベントがあったら嬉しいです。（韓国・30～39歳）
- ・台東区は、日本人と外国人居住者がそれぞれの伝統を共有する文化交流イベントを促進することで、調和を図ることができると思います。ギリシャ人として、私は自国の言語と文化を共有し、相互理解を深めたいと考えています。お互いから学ぶことで、より強く、より包摂的なコミュニティを築くことができるでしょう。（その他・40～49歳）

## ③日常生活のルールやマナーに関すること（22件）

- ・ごみ出しなど、ルールやマナーを守る。挨拶などをしっかりと行う。（台湾・40～49歳）
- ・我々外国人は日本の生活の決まりごとをきちんと守るようにする。日本人は外国人に対し偏見の目で見ないことを心がける。（韓国・60～69歳）
- ・外国人が日本で暮らす上で大変お世話になっています。感謝しています。同時に、外国人ではありますが、税金をたくさん納付し、社会のルールを守り、日本の社会に溶けこむ努力もしています。そういう外国人もたくさんいることを一般の日本人も知ってほしいです。（中国・50～59歳）
- ・日本社会の常識やマナーについて、外国人の中には知らない人が多いと感じます。日本人にとっては「当たり前」だと思っていることでも、外国の方には、わからない場合が多いです。

だからこそ、日本人の側から説明したり、教えたりすることが大切だと思います。(中国・30～39歳)

- ・外国人が自らの生活を日本に合わせていけるようなプロモーションなら何でも良いと思います。日本人が外国人に合わせてるのではなく、私たち外国人こそ学ぶ必要があります。(その他・30～39歳)
- ・台東区では、ごみの捨て方など、台東区に住む外国人のための日常生活ルールを普及させ、誰もが生活ルールを守れるようになればと思います。(中国・50～59歳)
- ・日本に住む外国人に日本のマナー(電車などのマナー)などを学んでもらえるとより良い日本社会ができると思います。要するに、「郷に入っては郷に従え」です。(フィリピン・20～29歳)
- ・台東区には日本の文化を尊重しない、ルール違反をする外国人が多いです。日本人と共生するためには日本語や日本のルールの学習が必ず必要です。それができないと結局それぞれの国ごとのコミュニティになってしまいます。最近、外国人のトラブルが増えて、日本で真面目に働いている外国人にも影響があります。まずは多文化環境を作る前に日本人が安心して外国人を受け入れるための対策を模索してください。(アメリカ・30～39歳)

#### ④区の施策に関すること (20件)

- ・台東区の活動に関するニュースが届かない。台東区は、SNSやメールを通じて、このような活動のプロモーションを改善することができないだろうか。(その他・30～39歳)
- ・こういうアンケート調査などの活動を通じて、重要かつ緊急性がある課題をしぼって、重点的に対策を取ったほうが効果があると思います。(中国・60～69歳)
- ・このようなアンケートをいただくのは初めてで、台東区が外国人を大切にしてくださっていると感じ、うれしく思います。イベントにはあまり参加しておらず、内容もよく分からないため意見は難しいですが、今後の取り組みを楽しみにしています。(台湾・30～39歳)
- ・台東区すごくいいと思います！(中国・50～59歳)
- ・これは外国人が地域社会にさらに溶け込む素晴らしい機会であり、台東区による非常に素晴らしい取り組みです。ありがとうございます！(フランス・40～49歳)
- ・台東区に住むことができ、とても安全な暮らしができています。(ネパール・20～29歳)

#### ⑤言葉や日本語学習に関すること (12件)

- ・短期(1ヶ月程度)の日本語教室を開いてほしい。または有料の個別日本語学習。(中国・30～39歳)
- ・特に子供たちへの日本語学習支援を増やしてください。(フィリピン・30～39歳)
- ・多言語での情報発信やサービスの案内、大変助かります。いつもありがとうございます。(ベトナム・20～29歳)
- ・母国語で無料相談が受けられるとありがたいです。(その他・30～39歳)

⑥日本での生活に関すること（6件）

- ・東京での生活が楽しい。（中国・40～49歳）
- ・税金と年金の支払いが大変。（フィリピン・30～39歳）

⑦観光客や観光施策に関すること（4件）

- ・差別や偏見をなくすことだと思います。また、台東区に泊まる観光客へのマナー啓発の発信も重要です。定住している人は分かっているけど、旅行で来た人＝外国人のため、長く住んでいる人の負の影響もないとは言えません。（台湾・30～39歳）

⑧本アンケートに関すること（2件）

- ・お互いを理解するためには、日本人も同様にアンケートが必要だと思います。（中国・30～39歳）

※掲載した意見は、母国語で書かれた場合は翻訳を介している。また、文意が通じやすくするためや特定の国籍や集団等に対する意見については偏見や差別、誤解を招かないようにするため一部を他の言葉に置き換えているが、基本的に記載された意見をそのまま掲載したもので、区の見解を示したものではない。

